

ANNUAL REPORT OF YAMANASHI PREFECTURAL MUSEUM OF ART 2025

ANNUAL REPORT OF YAMANASHI PREFECTURAL

MUSEUM OF ART 2025

令和7年度

山梨県立美術館年報

YAMANASHI PREFECTURAL MUSEUM OF ART 2025

ANNUAL REPORT OF YAMANASHI

ANNUAL REPORT OF YAMANASHI PREFECTURAL MUSEUM OF ART 2025

YAMANASHI PREFECTURAL MUSEUM OF ART 2025

令和 7 年度

山梨県立美術館年報

ANNUAL REPORT OF
YAMANASHI PREFECTURAL MUSEUM OF ART
2025



目次

■沿革	2
■施設・設備の概要	12
芸術の森公園建物配置図・平面図・建物用途別面積	12
■特別展	17
皇室の美と山梨 皇居三の丸尚蔵館の名品	17
ポップ・アート 時代を変えた4人	22
生誕100年 山下清展 一 百年目の大回想	30
「日本画」の挑戦者たち それぞれの葛藤と探求	38
■コレクション展	43
令和7年度コレクション展出品目録	43
高精細画像を使った動画、タブレットを使ったマップ情報	59
ポケット学芸員	60
■キュレーターズ・アイ	61
■教育普及活動	62
美術講演会	62
県民ギャラリー等施設の使用状況	63
美術体験・実技講座	69
創作教室（つくろう！あそぼう！造形広場を含む）	71
対話型鑑賞プログラム「アートでトーク」	74
博学連携・教育課程での利用状況	75
オリエンテーション実施状況	76
映画会	77
博物館実習	78
みんなでつくる美術館 2025	79
特別展関連ワークショップ	83
手でみるミレー	84
教師のための鑑賞研究会・教育団体の研修会	85
移動アート・ボックス	86
アートカード「みるえ」	88
広報活動	89
ニューイヤークンサート、ロビーコンサート	90
美術館システム・美術館ホームページ	91
■所蔵作品・資料	93
新収蔵作品	93
項目別収蔵作品	98
新収蔵図書	112
定期購読雑誌	134
新収蔵映像資料	135
修復記録	136
刊行物記録	138
美術資料貸出記録	139
■関係法規	140
■組織図	158
■関係委員等名簿	159
■入館者状況	162
■利用案内	163
■交通アクセス	164

沿革

昭和47年	3月27日	●置県百年記念事業として総合博物館の建設を決定、調査費50万円可決
昭和48年	3月28日	●博物館構想を変更、美術館建設に決定。ガイドライン（企画書）予算230万円可決
昭和49年	3月26日	●2月議会において基本設計予算2,800万円可決
	3月31日	●「山梨県立美術館（仮称）企画書」策定、基本構想について検討に入る
	9月10日	●美術資料調査員制度発足、調査員委嘱、県内美術資料所在調査開始 （49年＝35名、50年＝14名、51年＝12名）
昭和50年	5月12日	●建設用地地盤調査実施（期間5月20日～5月27日）
	9月22日	●「県立美術館建設委員会要綱」の策定
		●県立美術館建設委員会（委員19名）および同専門委員会（委員20名）設置
		●「山梨県立美術館建設計画（基本構想）」の策定
	9月30日	●基本設計を前川國男建築設計事務所に委託（期間10月1日～3月25日）
	10月19日	●建設地を甲府市貢川一丁目4番27号（旧農業試験場跡地）に決定、全敷地59,010.84㎡のうち一次計画として37,950㎡を決定
昭和51年	3月25日	●「山梨県美術資料取得基金条例」制定（施行4月1日、基金1,000万円）
	5月12日	●建設用地測量実施（期間6月20日～28日）
	6月29日	●6月県議会において実施設計予算4,245万円可決
	6月30日	●実施計画を前川國男建築設計事務所に委託（期間7月1日～10月28日）
昭和52年	3月23日	●建築本体工事関係業者決定 本体部工事＝大成建設 強電設備関係工事＝日本電設 空調換気関係工事＝高砂熱学
	3月25日	●2月補正予算において、建設費として1,725,076千円 （継続費51年度＝61,076千円、52年度＝930,227千円、53年度＝733,773千円）を計上、可決
		●工期52年3月から53年7月まで
		●開館予定53年11月を決定
		●近代美術館としての性格を知事議会表明
		●整地事業着工
	4月1日	●美術館建設準備室設置
	4月13日	●建設地において起工式を挙行、工事全面着工
	5月17日	●「美術資料取得基金」を5千万円に増額決定
	7月2日	●造園工事開始＝富士緑化
	9月28日	●9月県議会において、ミレー《種をまく人》、《夕暮れに羊を連れ帰る羊飼ひ》、ムーア《四つに分かれた横たわる人体》の企業局購入を決定
昭和53年	3月24日	●「美術資料取得基金」を1億5千万円に増額決定
（1978）	4月1日	●「山梨県立美術館設置及び管理条例」、「山梨県立美術館協議会条例」及び両条例の「施行規則」、「処務規程」の制定施行
		●山梨県立美術館（事務局）発足
	5月20日	●建築本体工事完成、最終検査
	6月1日	●建築引渡し、事務局移転
	7月10日	●ムーア彫刻設置
	7月15日	●山梨県立美術館協議会（委員15名）発足
		●外構工事完了
		●コロア《大農園》、クールベ《川辺の鹿》、ターナー《インヴェラレイ城の見えるファイン湾》を購入
	8月3日	●山梨県立美術館初代館長に千澤楨治就任
	8月26日	●美術館ボランティア開講式（講座開設8月26日～10月7日）
	9月1日	●「山梨県立美術館専門委員会要綱」制定
		●山梨県立美術館専門委員会委員委嘱、委員会発足 （委員：富山秀男、高階秀爾、佐々木英也各氏）
	9月28日	●「山梨県立美術館美術資料取扱要綱」制定
	10月20日	●「山梨県立美術館施設使用取扱要綱」制定
	11月2日	●開館記念式典挙行

- 11月 3日 ●開館 一般公開 企画展「ヨーロッパの風景画」(～1月15日)
常設展「ミレーとその周辺、県関係作家」
一般展「県芸術祭、美術、書道、写真」
- 昭和54年 1月12日 ●入館者数10万人に達す
(1979) 2月 3日 ●「近藤浩一路展」開催(～3月11日)
4月 7日 ●「望月春江展」開催(～5月6日)
5月26日 ●「米倉壽仁展」開催(～6月24日)
7月26日 ●「ロダン展」開催(～8月19日)
10月 4日 ●ミレー《ポーリーヌ・V・オノの肖像》、《ダフニスとクロエ》、《冬(凍えたキューピッド)》の3点を購入
10月13日 ●一周年記念展「ミレーとバルビゾン派」展開催(～11月23日)
- 昭和55年 1月 8日 ●「小磯良平展」開催(～2月11日)
(1980) 3月23日 ●入館者数50万人に達す
4月 4日 ●福沢一郎《失楽園》一般公開
4月19日 ●「川崎小虎展」開催(～5月21日)
6月 1日 ●「ロートレックと歌麿展」開催(～6月29日)
8月 1日 ●「ルドン展」開催(～8月31日)
10月17日 ●「生活にみる山梨の美 伝統の色形」展開催(～11月24日)
- 昭和56年 1月 8日 ●「浜田庄司展」開催(～2月11日)
(1981) 1月25日 ●皇太子殿下、同妃殿下行啓
2月19日 ●「昭和55年度新収蔵品展」(昭和55年以前の未陳列作品含む) 開催
4月18日 ●「インドネシア古代美術展」開催(～5月17日)
5月18日 ●ミレー《ヴォージュ山中の牧場風景》を購入
5月23日 ●「クリムト」展開催(～6月28日)
5月27日 ●野口小蘋《溪山春霞図》ほか5点を購入
6月14日 ●入館者数100万人に達す
7月17日 ●小磯良平《朝のひととき》ほか3点、小出檐重《静物》を購入
7月23日 ●近藤浩一路「五十三駅」の内10点、白瀧幾之助《伊国ナポリ》ほか25点を購入
7月25日 ●「岡本太郎展」開催(～9月15日)
8月 4日 ●常陸宮殿下、同妃殿下お成り
9月25日 ●「名取春仙展」開催(～10月23日)
10月31日 ●「ピカソ陶芸展」開催(～12月13日)
- 昭和57年 1月 8日 ●「昭和56年度新収蔵品展」開催(～2月28日)
(1982) 4月17日 ●「鐵齋」展開催(～5月23日)
6月 5日 ●「野口小蘋展」開催(～7月11日)
6月15日 ●加倉井和夫《春べ》、《冬》を購入
6月24日 ●近藤浩一路「五十三駅」の内11点、安井曾太郎《裸婦》ほか29点を購入
7月24日 ●「愛とユーモア・久里洋二の世界」展開催(～8月29日)
9月11日 ●「ブールデル展」開催(～10月24日)
11月 3日 ●「近代日本絵画を築いた・天才達の20歳代作品展」開催(～12月12日)
- 昭和58年 1月 8日 ●「昭和57年度新収蔵品展」開催(～2月13日)
(1983) 1月10日 ●岡本太郎《樹人》を購入
4月 6日 ●「シャガール展」開催(～5月8日)
5月15日 ●「シュールレアリスムの巨匠たち展」開催(～6月19日)
6月28日 ●ブールデル《ケンタウロス》を購入
7月 2日 ●「良寛展」開催(～8月4日)
8月10日 ●「チェコガラスの美300年」展開催(～9月11日)
9月24日 ●開館5周年記念式典及び新収蔵品ブールデル《ケンタウロス》披露
9月25日 ●開館5周年記念特別展「時世粧の芸術・日本の女ごころ」開催(～11月23日)
10月22日 ●入館者数200万人に達す
12月27日 ●藤田嗣治『黙示録』より《天国と地獄》を購入
- 昭和59年 1月 8日 ●「昭和58年度新収蔵作品展」開催(～1月31日)
(1984) 3月10日 ●「第1回山梨県新人選抜展」開催(～3月25日)
3月26日 ●池田龍雄《出口のない貌》ほか31点を購入
3月31日 ●ジュール・デュブレ《森はずれの小川》、ヨンキント「オランダ風景」シリーズ7点を購入

- 4月 7日 ●「マイヨール展」開催（～5月6日）
4月21日 ●千澤楨治館長逝去
5月12日 ●「ジャコモ・マンズー展」開催（～6月17日）
7月16日 ●西川新次館長就任
7月25日 ●藤田嗣治『黙示録』より《四人の騎士》を購入
8月 4日 ●「シチリアの古代ギリシャ展」展開（～9月2日）
9月 9日 ●「モローと象徴主義の画家たち」展開催（～10月4日）
10月21日 ●「宅間正一展」開催（～11月25日）
昭和60年 1月 8日 ●「昭和59年度新収蔵品展」開催（～1月31日）
（1985） 3月30日 ●ミレー《落ち穂拾い》エッチング第一版を購入
4月23日 ●「ミレー展 ポストン美術館蔵」開催（～5月19日）
4月30日 ●「ミレー展シンポジウム」開催
5月25日 ●「ラファエル前派とその時代展」開催（～6月23日）
7月 4日 ●「ピカソ展～長女マヤ・ピカソの秘蔵コレクション～」開催（～7月28日）
8月 4日 ●「ミレーとバルビゾンの画家たち」展開催（～9月8日）
8月31日 ●藤田嗣治『黙示録』より《七つのトランペット》を購入
10月26日 ●「アルプ展」開催（～11月24日）
12月20日 ●原勝郎《街》、《郊外の村》を購入
昭和61年 1月 8日 ●「昭和60年度新収蔵品展」開催（～1月31日）
（1986） 1月31日 ●山崎隆夫《山下白雨》、近藤浩一路《甲斐駒ヶ岳》を購入
2月 9日 ●入館者数300万人に達す
3月 9日 ●「第2回山梨県新人選抜展」開催（～3月23日）
3月31日 ●トロワイヨン《近づく嵐》を購入
4月 5日 ●「コンスタブル展」開催（～5月11日）
5月24日 ●「萩原英雄の世界」展開催（～6月29日）
7月18日 ●「エゴン・シーレとウィーン世紀末展」開催（～8月17日）
8月23日 ●「白簾史朗の世界」展開催（～9月15日）
9月 6日 ●徳仁親王殿下お成り
9月27日 ●「山梨の文学と美術」展開催（～11月3日）
10月25日 ●田中繁吉《毛皮の女》を購入
10月30日 ●川崎小虎《行く秋》を購入
11月 8日 ●「私のやまなし展」開催（～11月20日）
11月23日 ●「四川省現代美術展」開催（～12月21日）
12月 6日 ●ケールベ《嵐の海》を購入
昭和62年 1月 8日 ●「昭和61年度新収蔵品展」開催（～2月28日）
（1987） 3月17日 ●萩原英雄「三十六富士」を購入
4月 8日 ●「石井鶴三展」開催（～5月10日）
5月16日 ●「バーン・ジョーンズと後期ラファエル前派展」開催（～6月21日）
7月 4日 ●「中国・明清絵画展」開催（～8月16日）
8月17日 ●ミレー《鷺鳥を追う少女》、デューラー『黙示録』より《四人の騎士》、ドービニー《オワーズ河の夏の朝》を購入
8月27日 ●「ボン・タヴェン派とナビ派展」開催（～9月27日）
10月 3日 ●「ポール・デューブスの世界展」開催（～11月8日）
昭和63年 1月 5日 ●萩原英雄『ギリシャ神話』、川瀬巴水「旅みやげ第二集 甲州梁川」他25点、ジャ
（1988） スパー・ジョーンズ《腹話術師》を購入
1月 8日 ●「昭和62年度新収蔵品展」開催（～1月31日）
3月 6日 ●「第3回山梨県新人選抜展」開催（～3月21日）
3月31日 ●高芙蓉《静釣図》、《山水図》、近藤浩一路《双鶴図》を購入
4月 2日 ●「魅惑の西洋絵画展」開催（～5月1日）
5月 3日 ●「武田信玄の世界展」開催（～6月5日）
5月21日 ●入館者数400万人に達す
6月11日 ●「山梨の近代美術」展開催（～7月10日）
7月15日 ●ライスダール《ベントハイム城の見える風景》を購入
7月16日 ●「フランス近代風景画展」開催（～8月14日）
7月23日 ●クチュール《ゼリ・ケールベの肖像》を購入
8月21日 ●「李朝陶磁500年の美展、併設浅川伯教資料展」開催（～9月25日）

- 10月12日 ●開館10周年記念特別展「中丸精十郎とその時代」展開催（～11月23日）
 11月10日 ●郷土作家シリーズ「野田修一郎展」開催（～11月27日）
 平成元年 1月 8日 ●「昭和63年度新収蔵品展」開催（～1月31日）
 （1989） 3月 4日 ●郷土作家シリーズ「斎藤静輝展」開催（～3月21日）
 3月20日 ●加倉井和夫《春臚》を購入
 4月 8日 ●「ヴィクトリア朝の絵画」展開催（～5月7日）
 5月20日 ●「吾妻兼治郎展」開催（～6月18日）
 7月 8日 ●「山田申吾展」開催（～8月6日）
 7月21日 ●大河内夜江《たにまの春》、ブレイク『ヨブ記の挿絵』、藤川勇造《裸》ほか2点を購入
 8月12日 ●「宋濂」展開催（～9月24日）
 10月 7日 ●「ザッキン展」開催（～11月23日）
 11月 3日 ●芸術の森公園、県立文学館オープン
 12月 5日 ●郷土作家シリーズ「手澤宗信展」開催（～12月21日）
 12月15日 ●野田修一郎《水呑み場》ほか1点、斎藤静輝《人と馬との景Ⅱ》ほか1点を購入
 平成2年 1月 3日 ●「平成元年度新収蔵品展」開催（～1月21日）
 （1990） 2月11日 ●郷土作家シリーズ「遠藤享展」開催（～2月28日）
 3月 8日 ●「第4回山梨県新人選抜展」開催（～3月25日）
 3月15日 ●テオドール・ルソー《櫛のある風景》を購入
 4月 6日 ●「佐藤忠良のすべて」展開催（～5月6日）
 5月12日 ●「牛島憲之展」開催（～6月10日）
 6月23日 ●「川瀬巴水展」開催（～7月22日）
 8月11日 ●「佐藤正明展」開催（～9月16日）
 9月 8日 ●入館者数500万人に達す
 10月 6日 ●「クノップ展」開催（～11月11日）
 平成3年 1月 8日 ●「平成2年度新収蔵品展」開催（～1月31日）
 （1991） 2月10日 ●郷土作家シリーズ「進藤春木展」開催（～2月27日）
 2月15日 ●ボテロ《リトル・バード》、ザッキン《三美神》、グレコ《うづくまる女》、佐藤忠良《カ
 モシカと少年》、吾妻兼治郎《YU-5》を購入
 3月 7日 ●郷土作家シリーズ「早川重章展」開催（～3月24日）
 4月 1日 ●濱田隆館長就任
 4月 6日 ●「芸術が都市をひらく」展開催（～5月12日）
 5月25日 ●「現代の屏風絵」展開催（～6月30日）
 7月13日 ●「深沢幸雄展」開催（～8月25日）
 8月31日 ●ドラクロワ『ハムレット連作』を購入
 9月 7日 ●「イギリスの水彩展」開催（～10月20日）
 9月30日 ●グレコ《作品Ⅱ》ほか8点を購入
 11月 3日 ●「ミレー展」開催（～12月8日）
 12月15日 ●「平成3年度新収蔵品展」開催（～平成4年1月15日）
 平成4年 1月25日 ●郷土作家シリーズ「森川勇展」開催（～2月11日）
 （1992） 1月31日 ●近藤浩一路《下京の夜》、深沢幸雄《骨疾（B）》ほか59点、ディアズ《魚釣りをす
 る子供たち》、山本正文《花びらⅠ～Ⅲ》ほか2点、早川重章《伝承》ほか1点、
 進藤春木《草むらの秋》ほか1点を購入
 2月16日 ●郷土作家シリーズ「飯田四郎展」開催（～3月4日）
 3月 8日 ●「第5回山梨県新人選抜展」開催（～3月26日）
 3月31日 ●浅岡慶子《阿梨耶》、近藤浩一路《人物》を購入
 4月 4日 ●「エゴン・シーレ展」開催（～5月12日）
 5月23日 ●「呉団良展」開催（～7月19日）
 8月 1日 ●「伊東深水 全木版画展」開催（～8月30日）
 9月 5日 ●「フィラデルフィア美術館展」開催（～10月4日）
 10月10日 ●「大木コレクション名品展」（～12月13日）
 10月12日 ●飯田四郎《天上の美神たち》を購入
 10月20日 ●森川勇《作品67-B（2つのスペース）》ほか1点を購入
 平成5年 1月 8日 ●「平成4年度新収蔵品展」開催（～1月31日）
 （1993） ●ディアズ《フォンテーヌブローの櫛の木（怒れる者）》、望月春江《花（ダリア）》ほ
 か8点を購入
 2月 6日 ●郷土作家シリーズ「武田好文展」開催（～2月21日）

- 2月26日 ●入館者数600万人に達す
- 3月 6日 ●郷土作家シリーズ「佐野智子展」開催（～3月21日）
- 3月31日 ●穴山勝堂《清風》、コルヴィッツ『農民戦争』より《突撃》、《戦場》を購入
- 4月 2日 ●「プチ・パレ美術館名品展」開催（～5月5日）
- 5月22日 ●「葡萄とワインの美術」展開催（～8月22日）
- 7月30日 ●トロワイヨン《市日》ほか5点を購入
- 7月31日 ●クロード・ロラン《木を伐り出す人々（川のある風景）》ほか1点を購入
- 8月28日 ●「アフリカ彫刻展」開催（～9月26日）
- 10月16日 ●開館15周年記念特別展「バルビゾン派と日本」展開催（～12月5日）
- 11月 4日 ●開館15周年記念式典《ミレーとルソーの記念碑》除幕
- 12月24日 ●ジュール・デュブレ《森の中ー夏の朝》を購入
- 平成6年 1月 8日 ●「平成5年度新収蔵品展」開催（～1月16日）
- (1994) 1月22日 ●郷土作家シリーズ「鈴木美江展」開催（～2月8日）
- 2月13日 ●「第6回山梨県新進作家選抜展」開催（～3月4日）
- 3月11日 ●郷土作家シリーズ「山田耕三の世界展」開催（～3月27日）
- 4月 2日 ●「舟越保武の世界」展開催（～5月8日）
- 5月12日 ●「一九三〇年代上海・魯迅」展開催（～6月26日）
- 6月15日 ●ゴヤ銅版画集『闘牛技』を購入
- 7月 2日 ●「三枝茂雄展」開催（～7月31日）
- 8月 6日 ●「ヨーロッパ工芸新世紀展」開催（～9月25日）
- 10月 1日 ●「トゥール美術館展」開催（～11月6日）
- 10月24日 ●コルヴィッツ《青い布を羽織った女性労働者の胸像》ほか15点を購入
- 11月24日 ●空調工事に伴う休館（～平成7年2月27日）
- 12月10日 ●「近代文学とミレー展」開催（～平成7年2月19日）会場：県立文学館
- 平成7年 2月 8日 ●ミレー《夏（ケレス）の習作》を購入
- (1995) 2月28日 ●「平成6年度新収蔵品展」開催（～3月19日）
- 3月 6日 ●シーレ《自画像》ほか13点を購入
- 3月25日 ●郷土作家シリーズ「石井精一展」開催（～4月16日）
- 4月22日 ●「香月泰男 シベリア・シリーズ展」開催（～6月4日）
- 6月17日 ●子供のための美術展'95「美術の光・光の美術」開催（～8月6日）
- 8月12日 ●「マックスフィールド・パリッシュ展」開催（～9月10日）
- 9月16日 ●「時間・空間・思索・彫刻家ーダニ・カラヴァン」展開催（～10月22日）
- 11月 3日 ●「時衆の美術と文芸」展開催（～12月10日）
- 平成8年 1月 9日 ●「平成7年度新収蔵品展」開催（～1月28日）
- (1996) 1月31日 ●ミレー《グレヴィルの断崖》ほか17点を購入
- 2月 4日 ●「第7回山梨県新進作家選抜展」開催（～2月23日）
- 3月 2日 ●郷土作家シリーズ「山川輝夫展」開催（～3月24日）
- 3月25日 ●ミレー《落ち穂拾い、夏》を購入（山梨県公営企業40周年記念事業）
- 3月26日 ●《落ち穂拾い、夏》の購入を記念して常設展無料公開（～3月31日）
- 4月 2日 ●「柳原義達展」開催（～5月5日）
- 5月12日 ●「笠松紫浪木版画展」開催（～6月16日）
- 6月16日 ●入館者数700万人に達す
- 6月22日 ●「暁斎の戯画・狂画展」開催（～7月21日）
- 7月31日 ●皇太子殿下・同妃殿下行啓
- 8月 1日 ●「水の記憶展」開催（～9月23日）
- 10月 5日 ●「ミロ版画1933ー1963」展開催（～12月1日）
- 12月18日 ●ジャック《森の中の羊の群れ》ほか31点を購入
- 平成9年 1月15日 ●「平成8年度新収蔵品展」開催（～2月8日）
- (1997) 2月15日 ●「'97ぶどうの国の国際版画ビエンナーレ」展開催（～3月16日）
- 3月23日 ●郷土作家シリーズ「水出陽平展」開催（～4月20日）
- 4月26日 ●「懐かしい風景・伊藤孝之木版画展」開催（～6月1日）
- 6月14日 ●子どものための美術展'97「2D？3D！たて、よこ、たかさ。ひろがり…」開催（～8月10日）
- 7月 1日 ●収蔵庫増築工事着工（～平成10年9月30日）
- 8月23日 ●「アルザスとフランス近代美術の歩み」展開催（～9月28日）
- 10月 4日 ●「アイルランド美術の100年」展開催（～11月9日）

- 10月28日 ●特別展示「向嶽寺の名宝」展開催（～11月9日）
 11月22日 ●「シャルル・デスピオ展」開催（～12月21日）
 12月 8日 ●耐震補強他改修工事着工（～平成10年7月31日）
 平成10年 1月11日 ●郷土作家シリーズ「早川二三郎展」開催（～2月1日）
 （1998） 2月 6日 ●「第8回山梨県新進作家選抜展」開催（～2月27日）
 3月 1日 ●耐震補強他改修工事のため休館（～6月1日）
 3月 7日 ●「県立美術館所蔵名品展」を美術館休館にともない文学館で無料開催（～5月31日）
 3月27日 ●ジュリアン・デュプレ《牧草の取り入れ》、中西夏之《白、緑より白くーⅣ》、山本正文「太陽」（4点組）ほか4点を購入
 4月25日 ●「画文交響」展を県立文学館で文学館と共催で開催（～6月28日）
 6月13日 ●「近代日本画に見る美人画名作展」開催（～7月12日）
 7月22日 ●「山梨の現代作家たち1984－1998」展開催（～9月15日）
 7月28日 ●ミレー《鶏に餌をやる女》を購入
 9月26日 ●開館20周年記念特別展「自然に帰れーミレーと農民画の伝統ー」展開催（～12月6日）
 10月19日 ●開館20周年記念式典及び新収蔵庫竣工披露（建物面積1,621㎡、延床面積8,505㎡）
 10月20日 ●特別展示「穴山氏の肖像画と応挙の秋草図」を常設展示室で開催（～12月17日）
 11月 7日 ●「自然に帰れーミレーと農民画の伝統ー」展シンポジウム開催
 平成11年 1月 8日 ●「平成9、10年度新収蔵品展」開催（～2月7日）
 （1999） 2月20日 ●「'99ぶどうの国の国際版画ビエンナーレ」展開催（～3月28日）
 4月17日 ●「ダリの世界」展開催（～5月30日）
 6月12日 ●「ルーベンスとバロック絵画の巨匠たち」展開催（～7月18日）
 7月31日 ●「現代中国画五十年の鼓動」展開催（～9月26日）
 10月 9日 ●「山梨県立美術館名品選」展開催（～12月12日）
 平成12年 1月 8日 ●企画展示「甲府道祖神祭と広重の幕絵」開催（～2月13日）
 （2000） 2月26日 ●郷土作家シリーズ「窪田知矩展」開催（～3月26日）
 3月17日 ●萩原英雄コレクション（本人の蒐集品及び本人作品）の寄贈受け入れ
 4月 1日 ●島田紀夫館長就任
 4月15日 ●「のむら清六展」開催（～5月28日）
 6月17日 ●「現代美術百貨展」開催（～8月16日）
 6月24日 ●入館者数800万人に達す
 7月25日 ●ミレー《無原罪の聖母》を㈱相川プレス工業より寄贈受け入れ
 8月25日 ●大島理森文部大臣来館
 8月26日 ●「黄金王国モチェ発掘展」開催（～10月1日）
 10月21日 ●「グレー村の画家たち展」開催（～11月26日）
 12月 2日 ●「平成11、12年度新収蔵品展」開催（～12月19日）
 平成13年 1月20日 ●「萩原英雄コレクション展」開催（～3月25日）
 （2001） 4月 7日 ●「萩原英雄全仕事」展開催（～5月27日）
 6月 9日 ●「バルビゾン派の画家たち」展開催（～7月22日）
 8月 4日 ●「アートになった動物たち」展開催（～9月16日）
 10月13日 ●「大名細川家の至宝」展開催（～11月25日）
 平成14年 2月19日 ●「新版 日本の美術」展開催（～3月29日）
 （2002） 4月13日 ●「所蔵名品展」開催（～6月2日）
 6月15日 ●「シニャック」展開催（～7月14日）
 7月27日 ●「桑原福保展」開催（～9月1日）
 9月14日 ●開館25周年記念特別展「ボストンと山梨のミレー」展開催（～11月4日）
 9月20日 ●清子内親王殿下お成り
 11月 2日 ●高円宮殿下・同妃殿下お成り
 11月 6日 ●展示施設増築工事着工
 11月16日 ●「戦後のおもちゃと遊び」展開催（～12月15日）
 平成15年 1月11日 ●「ボルティモア美術館所蔵 バルビゾン派～印象派展」開催（～2月16日）
 （2003） 2月25日 ●「平成14年度新収蔵品展」開催（～3月16日）
 4月 5日 ●「桃山陶に魅せられた七人の陶芸家」展開催（～5月25日）
 6月 7日 ●「ブルガリア現代版画と日本ーそれぞれの版表現ー」展開催（～7月21日）
 8月 2日 ●「白簾史朗 日本と世界の名峰を讃う」展開催（～9月15日）
 8月 9日 ●入館者数900万人に達す
 9月27日 ●「ポール・ホリウチ展ーシアトルに渡った日本の感性ー」開催（～11月24日）

- 11月25日 ●増築棟と接続工事のため休館（～平成16年4月2日）
 12月9日 ●ミレーとバルビゾン派の作品の一部を県立文学館で展示（～3月28日）
 平成16年 4月2日 ●展示施設増築工事竣工披露
 （2004） 4月3日 ●修復報告展「よみがえるミレーと所蔵名品」開催（～5月16日）
 5月29日 ●「神と人とファラオー古代エジプトの美」展開催（～7月11日）
 7月15日 ●テオドール・ルソー《フォンテーヌブローの森のはずれ》を三枝守雄、三枝佐枝子氏より寄贈受け入れ
 7月21日 ●「親子で楽しむ美術展ー絵ができるまでー」開催（～8月25日）
 9月11日 ●「京都の日本画ー京都画壇の俊英たちー」展開催（～10月24日）
 11月3日 ●新展示室オープニング式典
 11月3日 ●「マン・レイ展『私は謎だ。』」開催（～12月15日）
 平成17年 2月19日 ●「近代から現代へー戦後木版画の革新」展開催（～3月27日）
 （2005） 4月23日 ●「明治の宮廷画家 野口小蘋と近代南画」展開催（～6月5日）
 6月18日 ●「絵になった富士山」展開催（～7月24日）
 8月6日 ●「サヴァリン・ワンダーマン・コレクション ジャン・コクトー展」開催（～9月7日）
 9月17日 ●「南仏モンペリエ ファーブル美術館所蔵 魅惑の17ー19世紀フランス絵画展」開催（～11月3日）
 11月12日 ●「平木コレクション 浮世絵名作展」開催（～12月11日）
 平成18年 1月28日 ●「平成17年度新収蔵品展」開催（～3月12日）
 （2006） 4月1日 ●白石和己館長就任
 4月15日 ●「ー柳宗悦の心と眼ー 柳宗悦の民藝と巨匠たち展」開催（～5月21日）
 6月3日 ●「ードイツ表現主義の彫刻家ーエルンスト・バルラハ展」開催（～7月17日）
 7月22日 ●「夏休み企画 こんな顔 あんな顔 いろんな顔」展開催（～8月18日）
 8月26日 ●「巴里憧憬 エコール・ド・パリと日本の画家たち」展開催（～10月1日）
 10月15日 ●入館者数1000万人に達す
 10月21日 ●「光の水墨画 近藤浩一路の全貌」展開催（～11月26日）
 平成19年 1月20日 ●「バルセロナ35年の軌跡 山本正文の世界」展開催（～2月25日）
 （2007） 4月21日 ●「川崎小虎と東山魁夷展」開催（～5月27日）
 6月2日 ●「シュルレアリスム展 謎をめぐる不思議な旅」開催（～7月8日）
 7月21日 ●「親と子で見る絵本原画展 ー宮城県美術館コレクションからー」開催（～8月26日）
 9月8日 ●「プラハ国立美術館展 ルーベンスとブリューゲルの時代」開催（～10月14日）
 10月27日 ●「深沢幸雄展 ーいのちの根源を謳うー」開催（～12月9日）
 平成20年 1月26日 ●「平成18・19年度新収蔵品展」開催（～3月2日）
 （2008） 2月27日 ●「萩原英雄追悼展」開催（～5月25日）
 4月3日 ●佐藤正明《The Big Apple No.45》除幕式
 4月19日 ●開館30周年記念特別展「田園讃歌 近代絵画に見る自然と人間」開催（～6月1日）
 6月7日 ●開館30周年記念特別展「富士山ー近代に展開した日本の象徴」開催（～7月21日）
 7月26日 ●開館30周年記念特別展「みんな大好きアンパンマン やなせたかしの世界」開催（～8月31日）
 7月29日 ●ジュール・デュプレ《海景》を購入
 9月13日 ●開館30周年記念特別展「県美30年の歴史 わたしが選ぶこの一点」開催（～12月21日）
 10月9日 ●ミレー《眠れるお針子》、ジュール・ブルトン《朝》、アルピニー《陽のあたる道》を購入
 10月18日 ●開館30周年記念 アート・アンド・クラフト市開催（～10月19日、25日、26日）
 11月4日 ●本館常設展示室閉室・改修工事（～12月21日）
 平成21年 1月5日 ●「ミレー館」オープニング式典
 （2009） 1月6日 ●「ミレー館」リニューアルオープン、新収蔵作品《眠れるお針子》他3点一般公開
 1月6日 ●南館展示室（新特別展示室）閉室・現場工事（ガラスケース）（～2月5日）
 2月7日 ●開館30周年記念特別展「山梨に眠る秘蔵の日本美術」開催（～3月29日）
 2月10日 ●本館特別展示室（新常設展示室Ⅱ）閉室・工事（ガラスケース・電気設備）（～3月1日）
 4月1日 ●美術館・文学館・芸術の森公園の管理運営業務に指定管理者制度を導入
 4月18日 ●「ベルギー近代絵画のあゆみ」展開催（～7月5日）
 7月19日 ●「ハンス・フィッシャーの世界」展開催（～8月23日）
 9月1日 ●「地域文化振興プランやまなし2009 山梨県芸術の森公園 文化の種まきプロジェクト」開催（～12月23日）

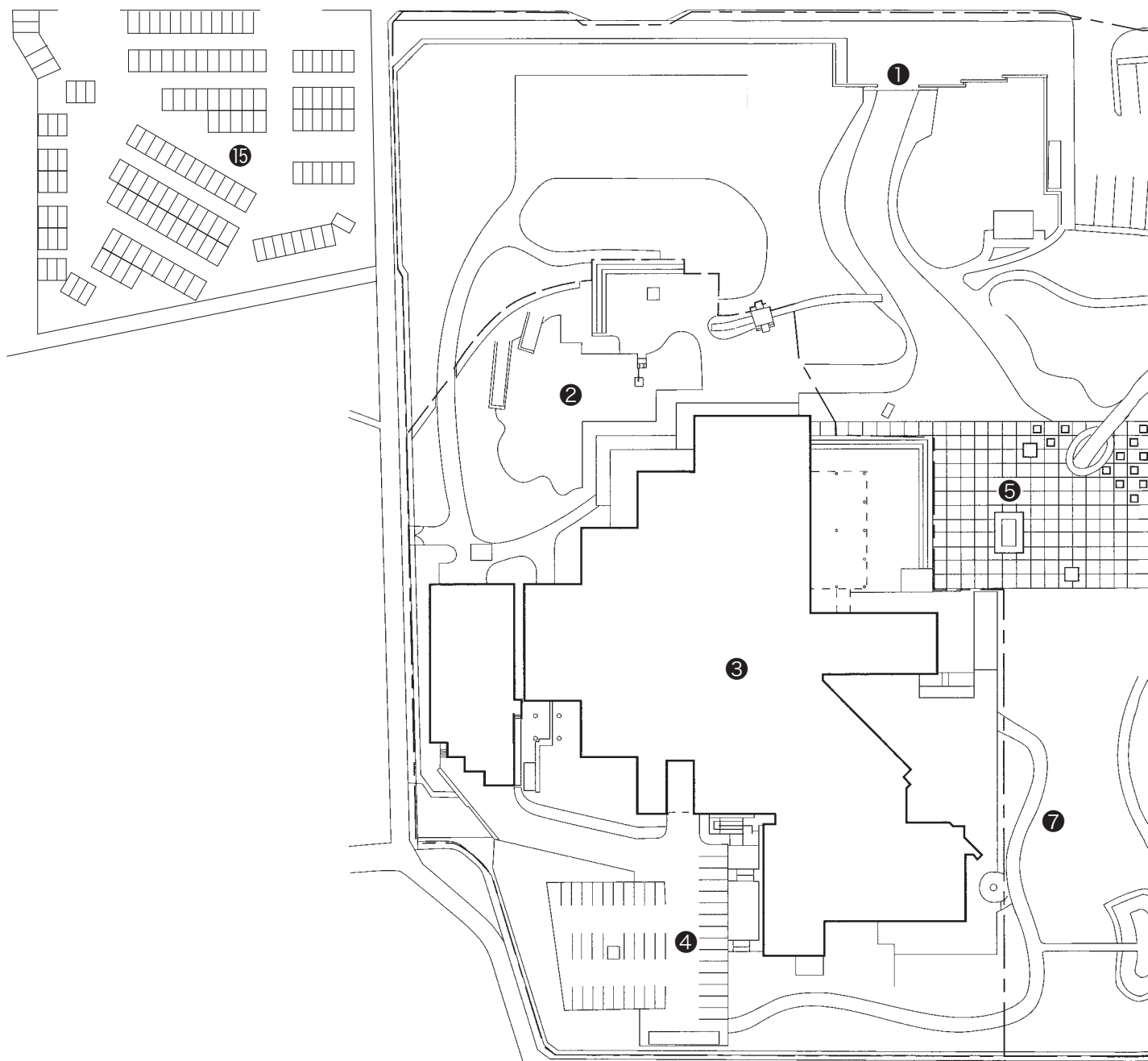
- 9月12日 ●ミュージアム甲斐・ネットワーク事業「やまなしの美術館大全展」開催(～9月27日)
- 9月30日 ●美術館・文学館屋外通路他改修工事(～平成22年2月5日)
- 10月17日 ●「イメージをめぐる冒険」展開催(～11月23日)
- 12月23日 ●「美しきアジアの玉手箱」展開催(～平成22年2月28日)
- 平成22年 3月13日 ●「平成20・21年度新収蔵品展」開催(～3月28日)
- (2010) 4月10日 ●「愛のヴィクトリアン・ジュエリー展」開催(～6月6日)
- 6月19日 ●「池田龍雄 アヴァンギャルドの軌跡」展開催(～7月19日)
- 7月25日 ●「くじらぐもからチックタックまで」展開催(～8月29日)
- 9月 4日 ●「フェリックス・ティオリエ写真展」開催(～10月17日)
- 10月30日 ●「小林一三の世界展」開催(～11月30日)
- 11月13日 ●観覧者数1200万人に達す
- 12月 3日 ●県民ギャラリー閉室・改修工事(～12月16日)
- 平成23年 1月15日 ●「ひびきあう作品たち 所蔵作品特集展」開催(～2月27日)
- (2011) 3月 5日 ●「平成22年度新収蔵品展」開催(～4月10日)
- 5月10日 ●「ゲージュツのウラ」展開催(～6月26日)
- 7月 9日 ●「ムーミンと仲間たち」展開催(～8月28日)
- 9月17日 ●「川端康成コレクションと東山魁夷」展開催(～11月6日)
- 11月19日 ●「浅川伯教・巧 兄弟の心と眼」展開催(～12月25日)
- 12月14日 ●ミレー《古い塀》を購入
- 12月15日 ●レルミット《洗濯をする女たち》を購入
- 平成24年 1月10日 ●「モーリス・ドニ」展開催(～3月4日)
- (2012) 3月24日 ●「平成23年度新収蔵品展」開催(～4月15日)
- 4月28日 ●「マリー・ローランサンと東郷青児展」開催(～6月24日)
- 6月12日 ●「美術館に行こう！ ディック・ブルーナに学ぶモダン・アートの楽しみ方」開催(～9月17日)
- 7月14日 ●「増田誠 パリー人生の哀歓」展開催(～9月23日)
- 10月13日 ●「大倉集古館名品展 豪快なる大倉財閥の美術コレクション」開催(～11月25日)
- 12月15日 ●「十一屋コレクションの名品～野口柿邨をめぐる文人たち～」展開催(～平成25年2月11日)
- 平成25年 1月 2日 ●富士の国やまなし国文祭記念事業「山梨県立美術館ミレー・コレクションのすべて」展開催(～3月3日)
- (2013) 3月30日 ●「平成24年度新収蔵品展」開催(～4月14日)
- 4月27日 ●富士の国やまなし国文祭記念事業「望月春江とその時代」展開催(～6月9日)
- 6月15日 ●富士の国やまなし国文祭記念事業「やまなしの美術大全 水をめぐる旅」展開催(～6月30日)
- 7月13日 ●開館35周年記念「近代自然主義絵画の成立 オランダ・ハーグ派展」開催(～8月25日)
- 9月 7日 ●富士の国やまなし国文祭記念事業「日本のわざと美」展開催(～10月14日)
- 10月26日 ●富士の国やまなし国文祭記念事業「生誕100年 萩原英雄展」開催(～12月8日)
- 12月14日 ●「動物ものがたり」展開催(～平成26年1月19日)
- 平成26年 3月29日 ●「平成25年度新収蔵品展」開催(～4月13日)
- (2014) 4月 1日 ●指定管理第2期(～平成31年3月31日)
- 4月26日 ●「動く！光る？魔法の芸術 キネティック・アート」展開催(～6月15日)
- 7月19日 ●開館35周年記念「生誕200年 ミレー展」開催(～8月31日)
- 9月20日 ●「やまなしの戦後美術 四人の革新者たち」展開催(～11月3日)
- 11月15日 ●「大阪新美術館コレクション 佐伯祐三とパリ ポスターのある街角」展開催(～平成27年1月18日)
- 平成27年 1月 3日 ●コレクション企画展「山梨の魅力～風景と人々の営み」開催(～3月1日)
- (2015) 3月21日 ●「平成26年度新収蔵品展」開催(～4月12日)
- 4月18日 ●「夜の画家たち 蠟燭の光とテネブリスム」展開催(～6月14日)
- 6月27日 ●「印象派の故郷 ノルマンディー ～近代風景画のはじまり～」展開催(～8月23日)
- 9月 1日 ●「ルートヴィヒ・コレクション ピカソ」展開催(～10月25日)
- 11月 3日 ●「花の画家 ルドゥーテのバラ展」開催(～平成28年1月17日)
- 平成28年 1月 8日 ●観覧者数1300万人に達す
- (2016) 1月26日 ●コレクション企画展「命をめぐる物語ー画家たちはその時なにを思って描いたのかー」開催(～3月6日)

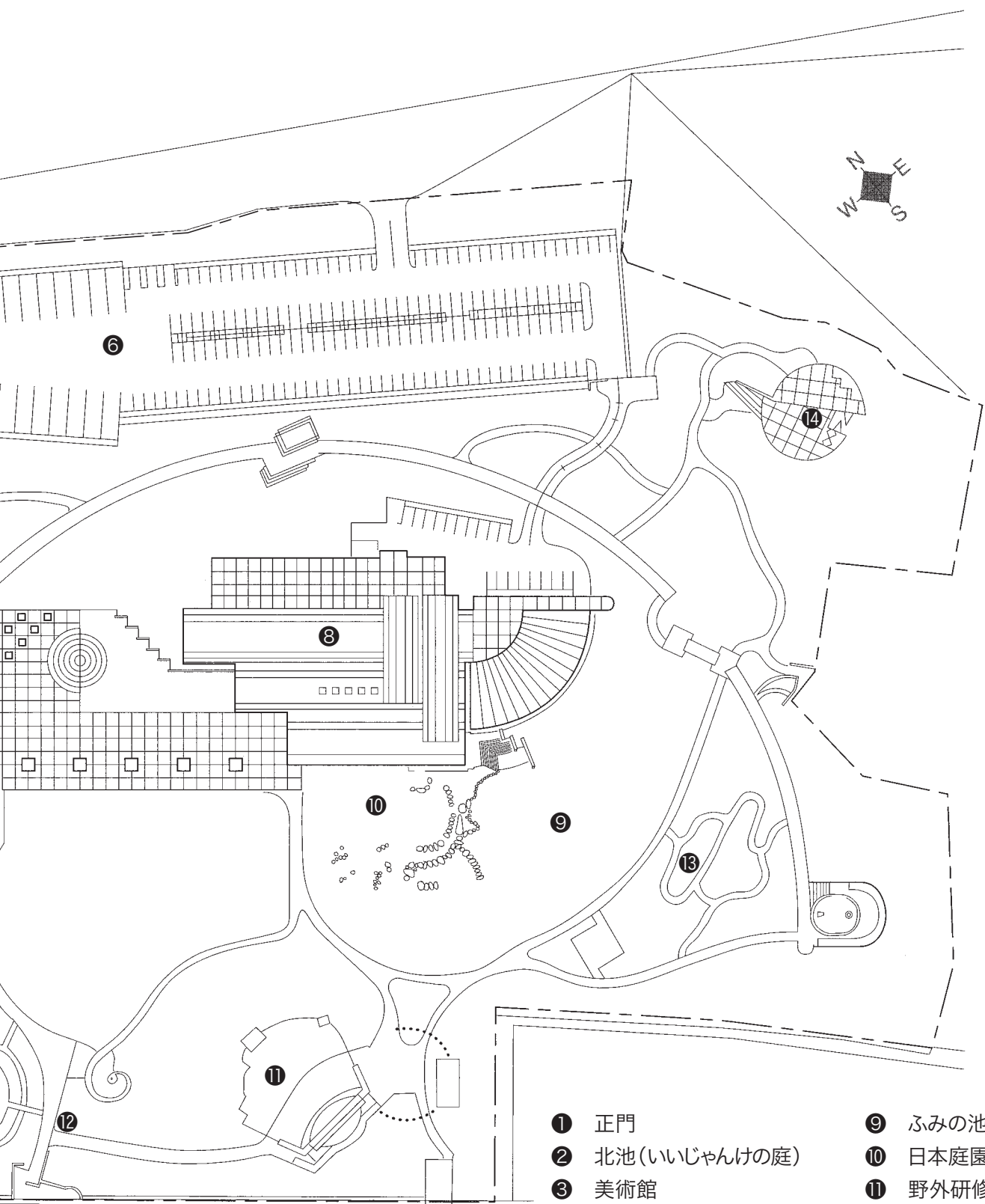
- 2月26日 ●テーマ展示室（旧常設展示室Ⅱ）壁面改修工事（塗装）完了
 3月26日 ●「平成27年度新収蔵品展」開催（～4月10日）
 3月31日 ●案内標識改修工事（外国人対応拡充事業）完了
 4月23日 ●「ルネサンスの巨匠 ミケランジェロ」展開催（～6月12日）
 6月25日 ●「美し、やまなし、パワー！ 山梨の女性アーティストたち」展開催（～8月21日）
 9月 3日 ●「国立美術館巡回展 煌めく名作たち」展開催（～10月10日）
 10月22日 ●「フランスの風景 樹をめぐる物語ーコローからモネ、ピサロ、マティスまでー」展開催（～12月11日）
- 平成29年 1月21日 ●コレクション企画展「没後100年 野口小嶺」開催（～2月26日）
 （2017） 3月18日 ●「平成28年度新収蔵品展」開催（～4月2日）
 4月 1日 ●青柳正規館長就任
 4月15日 ●「バロックの巨匠たち ルーベンス、レンブラント、ベラスケスと栄光の時代」展開催（～6月11日）
 7月 1日 ●「フジフィルム・フォトコレクション 私の1枚 日本の写真史を飾った101人」展開催（～8月20日）
 9月 2日 ●「ヴラマンク展 絵画と言葉で紡ぐ人生」開催（～10月22日）
 11月 3日 ●「狩野芳崖と四天王ー近代日本画、もうひとつの水脈ー」展開催（～12月17日）
- 平成30年 1月 2日 ●コレクション企画展「山梨県立美術館物語ー40年間のストーリー&ヒストリーー」開催（～3月4日）
 （2018） 3月27日 ●ハロゲン消火設備取替修繕完了
 4月13日 ●キャッチコピー「種をまく 世界がひらく」及びアイコン「種をまく人」発表
 4月21日 ●開館40周年記念「『100万回生きたねこ』 佐野洋子の世界」展開催（～6月17日）
 6月30日 ●開館40周年記念「魔法の美術館 光と遊ぶ、真夏のワンダーランド」展開催（～8月26日）
 7月 4日 ●ミレー《角笛を吹く牛飼い》、ドービニー《版画集「船の旅」》を購入
 9月 1日 ●開館40周年記念「銅版画の詩人 追悼 深沢幸雄展」開催（～10月8日）
 10月16日 ●開館40周年記念事業「文化の種まきプロジェクト」開催（～平成31年3月3日）（一部、地域と共働した美術館・歴史博物館創造活動支援事業）
 10月19日 ●開館40周年記念式典
 10月20日 ●開館40周年記念「シャルル＝フランソワ・ドービニー バルビゾン派から印象派への架け橋」展開催（～12月16日）
 12月18日 ●野口コレクションの寄贈受け入れ
- 平成31年 2月 2日 ●「平成30年度新収蔵品展」開催（～3月3日）
 （2019） 4月 1日 ●指定管理第3期（～令和5年3月31日）
 4月13日 ●「デザインあ展 in YAMANASHI」開催（～6月9日）
- 令和元年 6月22日 ●「黄昏の絵画たち 近代絵画に描かれた夕日・夕景」展開催（～8月25日）
 9月 7日 ●「萩尾望都 SF 原画展 宇宙にあそび、異世界にはばたく」開催（～11月4日）
 11月16日 ●「現代日本の工芸 ー国際交流基金寄託作品と山梨の工芸ー」展開催（～令和2年1月13日）
- 令和2年 2月 8日 ●「コレクション企画展 野口コレクションの精華」展開催（～3月8日 ※2月28日～臨時休室）
 （2020） 2月28日 ●新型コロナウイルス感染拡大防止のため展示室休室
 4月 1日 ●組織改編のため美術館が教育庁から知事部局観光文化部に移管になる
 4月 7日 ●新型コロナウイルス感染拡大防止のため臨時休館（～5月31日）
 6月 2日 ●コレクション展、ミュージアムショップ、レストラン再開
 8月12日 ●山梨県文化観光推進地域計画認定（令和2年度～令和6年度）
 9月11日 ●「クールベと海 フランス近代 自然へのまなざし」展開催（～11月3日）
 10月 6日 ●山梨県立美術館地域文化観光推進事業開始
 11月14日 ●「栗田宏一・須田悦弘展ーContentment in the detailsー」開催（～令和3年1月31日）
- 令和3年 2月 6日 ●山梨アートプロジェクト2020「開発好明《テーブルズ》」（～3月21日）
 （2021） 2月11日 ●「キューガーデン 英国王室が愛した花々 シャーロット王妃とボタニカルアート」展開催（～3月28日）
 3月18日 ●ホームページリニューアル
 ●館内 Wi-Fi 整備完了
 4月 6日 ●山梨県立美術館地域文化観光推進事業実施（～令和4年3月31日）
 4月24日 ●「テオ・ヤンセン展」開催（～6月22日）

	7月10日	●「蜷川実花展 ―虚構と現実の間に―」開催（～8月29日 ※8月8日～臨時休館）
	8月 8日	●新型コロナウイルス感染拡大防止のため臨時休館（～9月12日）
	9月14日	●「新版画 ―笠松紫浪を中心に―」展開催（～10月24日）
	11月 3日	●「シダネルとマルタン展 最後の印象派」開催（～令和4年1月10日）
	11月16日	●山梨アートプロジェクト2021 「深澤孝史《道祖神リプレゼンテーション》」「藤原隆洋《IntheWind》」（～12月12日）
	11月23日	●山梨アートプロジェクト2021 「宇田奈緒《不在の中の在― Presence in the Absence ―》」（～12月12日）
令和4年	3月15日	●コレクション企画展「クローン文化財 ミレーの《種をまく人》」開催（～3月27日）
(2022)	4月 1日	●山梨県立美術館地域文化観光推進事業実施（～令和5年3月31日）
	4月16日	●「フランソワ・ポンポン展」開催（～6月12日）
	7月16日	●「宮城県美術館所蔵 絵本原画の世界2022」展開催（～8月28日）
	9月10日	●「縄文― JOMON ―展」開催（～11月6日）
	10月8日	●山梨アートプロジェクト2022「諏訪綾子展 TALISMAN in the woods 内臓であじわ う循環のテイスト」（～10月30日）
	11月19日	●「米倉壽仁展 透明ナ歳月 詩情（ポエジイ）のシュルレアリスム画家」開催（～ 令和5年1月22日）
	12月16日	●観覧者数1400万人に達す
令和5年	2月28日	●LABONCHI たかくらかずき「メカリアル」展開催（～3月26日）
(2023)	4月 1日	●山梨県立美術館地域文化観光推進事業実施（～令和6年3月31日）
	4月22日	●「開館45周年記念 山梨県立美術館コレクション REMIX」展開催（～6月11日）
	6月 1日	●「新たな価値を生み出す山梨県立美術館ビジョン」策定
	7月 1日	●「開館45周年記念 ミレーと4人の現代作家たち」展開催（～8月27日）
	8月31日	●野口小蘋《甲州御嶽図》、《秋園錦繍図》を購入
	9月 9日	●「開館45周年記念 テルマエ展 お風呂でつながる古代ローマと日本」開催 （～11月5日）
	11月18日	●「アーツ・アンド・クラフツとデザイン ウィリアム・モリスからフランク・ロイ ド・ライトまで」展開催（～令和6年1月21日）
令和6年	2月27日	●LABONCHI 雨宮庸介「まだ溶けてないほうの山梨県美」展開催（～3月24日）
(2024)	4月 1日	●山梨県立美術館地域文化観光推進事業実施（～令和7年3月31日）
		●指定管理第4期（～令和10年3月31日）
	4月20日	●「ベル・エポック―美しき時代― パリに集った芸術家たち ワイズマン & マイケ ルコレクションを中心に」展開催（～6月16日）
	7月20日	●コレクション企画展「―没後100年― 富岡鉄斎 鉄斎と文人書画の優品」開催（～ 8月25日）
	9月14日	●「山梨モダン 1912～1945 大正・昭和前期に華ひらいた山梨美術」展開催（～ 11月4日）
	11月20日	●「超絶技巧、未来へ！ 明治工芸とそのDNA」展開催（～令和7年2月2日）
令和7年	2月15日	●「ドキュメント『アートキャンプ白州』―記録映像で甦る夏1988～2010―」展開 (2025) 催（～3月23日）
	4月26日	●「皇室の美と山梨 皇居三の丸尚蔵館の名品」展開催（～6月1日）
	7月12日	●「ポップ・アート 時代を変えた4人」展開催（～8月24日）
	9月20日	●「生誕100年 山下清展―百年目の大回想」開催（～11月24日）
	12月 6日	●「『日本画』の挑戦者たち それぞれの葛藤と探求」展開催（～令和8年2月1日）

■ 施設・設備の概要

芸術の森公園建物配置図

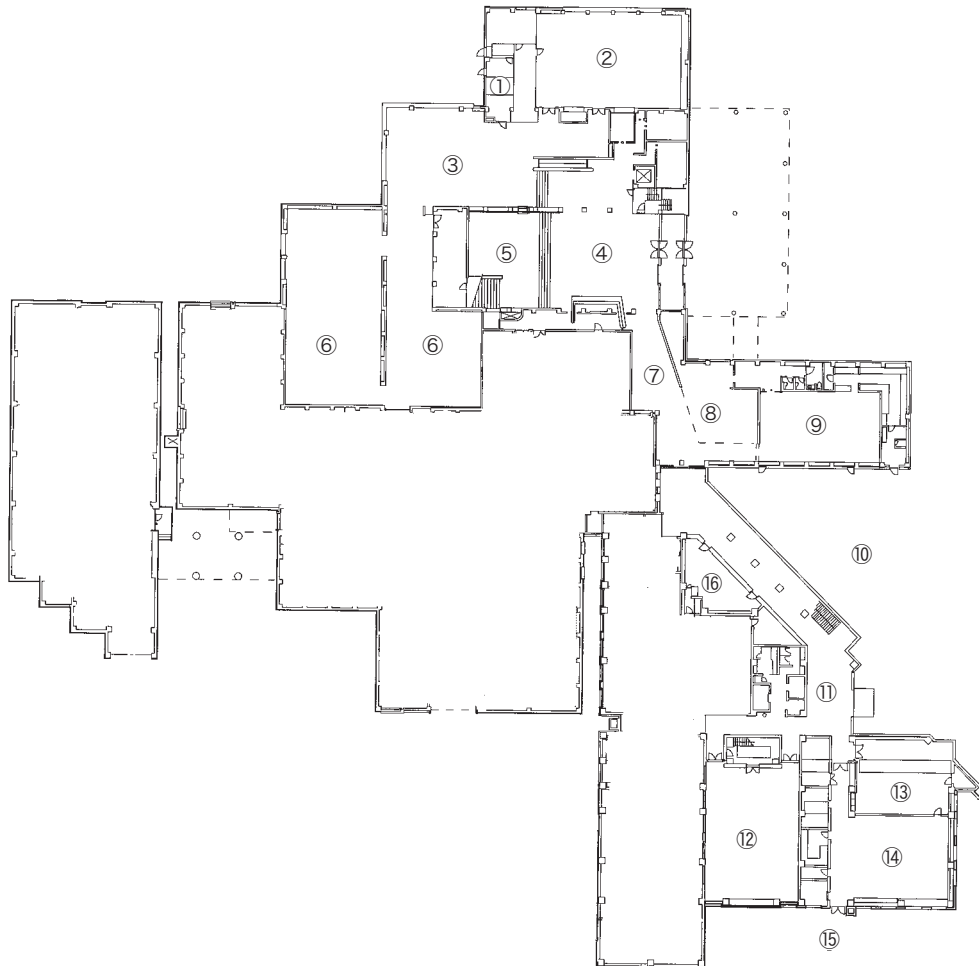




- | | |
|----------------|-----------|
| ① 正門 | ⑨ ふみの池 |
| ② 北池(いいじゃんけの庭) | ⑩ 日本庭園 |
| ③ 美術館 | ⑪ 野外研修施設 |
| ④ 第2駐車場 | ⑫ バラ園 |
| ⑤ さんさん広場 | ⑬ ボタン園 |
| ⑥ 第1駐車場 | ⑭ 茶室「素心菴」 |
| ⑦ プロムナード | ⑮ 第3駐車場 |
| ⑧ 文学館 | |

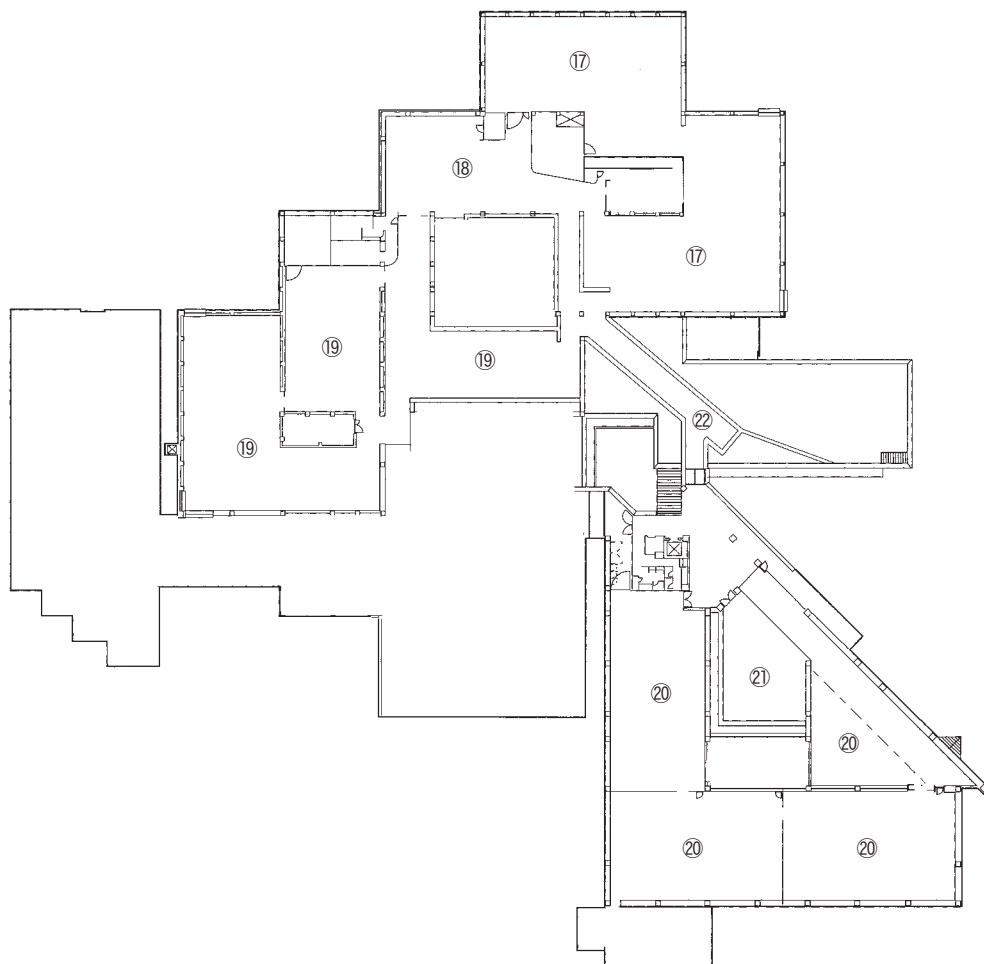
平面図

▶ 1 階



- | | |
|---------------|--------------|
| ① 休憩室 | ⑨ レストラン |
| ② 県民ギャラリーC | ⑩ ミュージアム・コート |
| ③ 1Fロビー | ⑪ 南館エントランス |
| ④ エントランスホール | ⑫ 講堂 |
| ⑤ ギャラリー・エコー | ⑬ ワークショップ室 |
| ⑥ 県民ギャラリーAB | ⑭ 工房 |
| ⑦ 情報コーナー | ⑮ 屋外テラス |
| ⑧ ミュージアム・ショップ | ⑯ 美術図書室 |

▶ 2 階



- ①⑦ ミレー館
- ①⑧ 2Fロビー
- ①⑨ テーマ展示室
- ②⑩ 特別展示室
- ②⑪ 萩原英雄記念室
- ②⑫ 富士見の窓

建物用途別面積

	部 屋 名	床面積 (m ²)
展 示 部 門	ミ レ ー 館 A	429.32
	ミ レ ー 館 B	371.51
	テ ー マ 展 示 室 C 1	358.93
	テ ー マ 展 示 室 C 2	212.04
	テ ー マ 展 示 室 C 3	405.60
	萩 原 英 雄 記 念 室	171.95
	特 別 展 示 室 (A)	299.45
	特 別 展 示 室 (B)	299.45
	特 別 展 示 室 (C)	266.68
	特 別 展 示 室 (D)	282.93
	ワ ー ク シ ョ ッ プ 室	110.36
	そ の 他	82.03
	小 計	3,290.25
教 育 活 動 部 門	県 民 ギ ャ ラ リ ー A	288.24
	県 民 ギ ャ ラ リ ー B	209.95
	県 民 ギ ャ ラ リ ー C	221.95
	県 民 ギ ャ ラ リ ー 控 室	25.40
	美 術 図 書 室	63.33
	工 房	184.59
	講 堂	194.60
	そ の 他	107.77
	小 計	1,295.83

	部 屋 名	床面積 (m ²)
収 蔵 部 門	収 蔵 庫 1	184.81
	収 蔵 庫 2	179.89
	収 蔵 庫 3	299.74
	収 蔵 庫 4	411.81
	収 蔵 庫 5	113.60
	収 蔵 庫 前 室 1	17.56
	収 蔵 庫 前 室 2	37.98
	収 蔵 庫 前 室 3	46.33
	一 時 保 管 庫 兼 検 証 室	177.83
	小 計	1,469.55
	館 長 室	39.48
管 理 部 門	応 接 室	39.48
	会 議 室	54.18
	事 務 室	119.16
	学 芸 員 室・学 芸 諸 室	142.65
	監 視 員 室	38.71
	電 機・機 械・中 央 監 視 室	1,306.76
	警 備 員 室・宿 直 室	15.61
	作 業 員 室	17.96
	そ の 他	1,424.91
	小 計	3,198.90
	そ の 他	2,764.29
	計	12,018.82

	平成16年度 増築部分	既存部分	合 計	単 位
1 階 床 面 積	1,715.10	4,368.82	6,083.92	m ²
2 階 床 面 積	1,798.85	3,862.14	5,660.99	m ²
屋 階 / 3 階 床 面 積	—	273.91	273.91	m ²
延 床 面 積	3,513.95	8,504.87	12,018.82	m ²
建 築 面 積	1,773.00	4,423.14	6,196.14	m ²

■ 特 別 展

皇室の美と山梨 皇居三の丸尚蔵館の名品



ポスター



会場風景

会 期 令和7年4月26日（土）～6月1日（日）
 主 催 山梨県立美術館、テレビ山梨、皇居三の丸尚蔵館
 後 援 NHK 甲府放送局、山梨日日新聞社・山梨放送、
 テレビ朝日甲府支局、朝日新聞甲府総局、毎日
 新聞甲府支局、読売新聞甲府支局、産経新聞甲
 府支局、共同通信社甲府支局、時事通信社甲府
 支局、山梨新報社、日本ネットワークサービス、
 エフエム富士、エフエム甲府
 協 力 山梨交通
 協 賛 早野グループ
 特別協力 文化庁、紡ぐプロジェクト、読売新聞社

皇室に代々受け継がれた美術品を保存・調査研究・展示している皇居三の丸尚蔵館。本展では、皇室の御慶事に際して制作された絵画や工芸品をはじめ、山梨ゆかりの画家の絵画、県産の工芸品、山梨を主題とした美術品など、山梨に関係する様々なテーマで皇室の名品を紹介した。

第1章「野口小蘋と帝室技芸員たち」では、豪商として知られた甲府の酒造業野口家へ嫁ぎ、のちに帝室技芸員として近代を代表する画家となった野口小蘋の作品を中心に、他の帝室技芸員による作品も紹介した。第2章「富岡鉄斎と富士山の美術」では、山梨へしばしば訪れた富岡鉄斎の作品と、富士山を主題とした明治時代の工芸品や近現代の絵画などを紹介した。第3章「山梨ゆかりの美術と皇室の名品」では、山梨出身の作家による美術品や山梨にゆかりある工芸品などとともに、皇室の名品として広く知られる書跡や絵画も紹介した。

これら皇居三の丸尚蔵館の名品の数々に関連した当館収蔵品もあわせて展示することで、皇室と山梨をめぐる美術を鑑賞するまたとない機会となった。

■講演会

「皇居三の丸尚蔵館の収蔵品とこれまでのあゆみ」

講 師 木谷 知香氏（皇居三の丸尚蔵館研究員）
 日 時 5月10日（土） 午後1時30分～3時
 場 所 講堂

「山梨ゆかりの作家と皇室の美術」

講 師 平林彰（当館学芸課長）

日 時 5月17日（土） 午後1時30分～ 3時

場 所 講堂

■担当学芸員によるギャラリー・トーク

日 時 5月5日（月・祝） 午後2時～ 3時

■ワークショップ

「たいけん！はっけん！日本美術」

日 時 5月25日（日） 午後1時30分～ 3時

対 象 小学生（定員：15名程度）

場 所 工房、講堂、特別展示室

■出版物

『皇室の美と山梨 皇居三の丸尚蔵館の名品』（図録）

編集・発行 山梨県立美術館

制 作 シマトミ企画

■関連記事

紡ぐプロジェクト「皇室の美と山梨～皇居三の丸尚蔵館の名品～」『読売新聞』3回連載

平林 彰 「大正度 悠紀地方風俗歌屏風」5月13日

平林 彰 「扶桑第一峰」5月16日

下東佳那 「雨端黒石地気球硯」5月17日

出品目録



図録

・所蔵の明記がない作品は、国所有（皇居三の丸尚蔵館収蔵） ※山梨県立美術館蔵 ※※個人蔵（山梨県立美術館寄託）

図録 No.	作品名	作者名	制作または年代	材質技法	所蔵者
プロローグ 御慶事の美術					
17	大正度 悠紀地方風俗歌屏風	野口小蘋	大正4年(1915)	紙本着色	
16	旭日双鶴松竹梅図	左右幅：野口小蘋 中幅：荒木寛畝	明治27年(1894)	絹本着色	
18	悠紀地方風俗歌屏風小下絵	野口小蘋	大正4年(1915)	紙本淡彩	※※
74	宝船形ボンボニエール		昭和10年(1935)	銀	
75	扇形菊桜文ボンボニエール		昭和10年(1935)	銀	
76	丸形梅唐草文ボンボニエール		昭和18年(1943)	木、蒔絵	
77	菊花形双鶴若杉桐文ボンボニエール		昭和41年(1966)	銀	
78	角鳥籠形ボンボニエール		昭和時代前期 (20世紀)	銀	
79	地球儀形ボンボニエール		昭和6年(1931)	銀	
80	文箱形鳥居文ボンボニエール		昭和9年(1934)	銀	
81	扇形三笠山に若杉桐文ボンボニエール		昭和16年(1941)	陶磁	
82	菊花形双鶴付ボンボニエール		昭和34年(1959)	銀	
83	扇形桐文ボンボニエール		昭和45年(1970)	銀	
第一章 野口小蘋と帝室技芸員たち					
1	美人招涼図	野口小蘋	明治20年(1887)	絹本着色	※
2	西王母図	野口小蘋	明治23年(1890)	絹本着色	※※
3	甲州御嶽図	野口小蘋	明治26年(1893)	絹本着色	※
4	蘭亭図	野口小蘋	明治34年(1901)	絹本着色	
5	青緑山水図	野口小蘋	明治39年(1906)	絹本着色	
6	溪山僊隠図	野口小蘋	大正3年(1914)	絹本着色	※※
7	縮図帖(大)	野口小蘋	制作年不詳	絹本着色	※※
8	縮図帖(小)	野口小蘋	制作年不詳	絹本着色	※※
9	張交画帖	野口小蘋ほか	明治28年(1895)	絹本着色	
10	日本美術協会画帖 第1帖	野口小蘋ほか	明治33年(1900)	絹本着色	
11	画帖 上	野口小蘋ほか	大正4年(1915)	絹本着色	
12	宜男富貴図	野口小蘋	明治20年代 (19世紀)	絹本着色	※

図録 No.	作品名	作者名	制作または年代	材質技法	所蔵者
13	富貴百齡図	野口小蘋	明治25年(1892)	絹本着色	※
14	松菊図	野口小蘋	明治39年(1906)頃	絹本着色	
15	秋園錦繍図	野口小蘋	明治34～45年 (1901～1912)頃	絹本着色	※
19	秋草図	野口小蕙	明治30年代 (19～20世紀)	絹本着色	
20	桜に小禽図	川端玉章	明治17年(1884)	絹本着色	
21	文禽芳草	田崎草雲	明治時代(19世紀)	絹本着色	
22	住吉富士吉野図	右幅：瀧和亭 中幅：狩野永憚 左幅：野口幽谷	明治22年(1889)頃	絹本着色	
23	秋景山水	寺崎廣業	明治39年(1906)	絹本着色	
24	春庭秋圃	小室翠雲	大正8年(1919)	絹本着色	
25	梅花鴛鴦(《瑞彩》のうち)	今尾景年	大正13年(1924)	絹本着色	
26	窟前歌舞図(《瑞彩》のうち)	小堀鞆音	大正13年(1924)	絹本着色	
27	桑木地飾棚	九代 伊藤平左衛門	明治40年(1907)	木	
28	古今集歌絵画帖 (桑木地飾棚 棚飾品)	野口小蘋ほか、 表紙裂：二代 川島甚兵衛	明治40年(1907)	絹本着色 表紙：綴錦	
29	鹿鎮子(桑木地飾棚 棚飾品)	石川光明	明治40年(1907)	牙彫	
30	牡丹折枝簞笥鏡板 (桑木地飾棚 棚飾品)	海野勝珉	明治40年(1907)	彫金	
31	獅子鈕銅印(桑木地飾棚 棚飾品)	鈴木長吉、中井敬所	明治40年(1907)	銅・铸造	
32	龍青華肉池(桑木地飾棚 棚飾品)	初代 宮川香山	明治40年(1907)	陶磁	
33	七宝双蝶香合(桑木地飾棚 棚飾品)	濤川惣助	明治40年(1907)	七宝	
34	桜花白磁香炉(桑木地飾棚 棚飾品)	三代 清風與平	明治40年(1907)	陶磁	
35	古今集蘆手蒔絵香盆 (桑木地飾棚 棚飾品)	川之邊一朝	明治40年(1907)	木、漆塗、蒔絵 螺鈿	
36	松波蒔絵硯箱(桑木地飾棚 棚飾品)	白山松哉	明治40年(1907)	木、漆塗、蒔絵	
37	蛇籠千鳥水滴(桑木地飾棚 棚飾品)	香川勝廣	明治40年(1907)	銀、彫金	
38	鶴亀置物(桑木地飾棚 棚飾品)	高村光雲 竹内久一	明治40年(1907)	木彫、彩色	
39	鐘ノ歌	新海竹太郎	大正13年(1924)	木彫	
40	養蚕天女	高村光雲	大正13年(1924)	木彫	
第二章 富岡鉄斎と富士山の美術					
41	登嶽巻	富岡鉄斎	明治8年(1875)	紙本着色	※
42	富士山巔麓略図	富岡鉄斎	明治8年(1875)	紙本墨画淡彩	※
43	和気清磨朝臣図巻	富岡鉄斎	明治17年(1884)	紙本着色	
44	武陵桃源・瀛洲神境	富岡鉄斎	大正12年(1923)	紙本着色	
45	京都市画帖 上巻	富岡鉄斎ほか	大正4年(1915)	絹本着色	
46	礪駟盧島(《瑞彩》のうち)	富岡鉄斎	大正13年(1924)	絹本着色	
47	富士山図	佐々木道介、本多錦吉郎	明治19年(1886)頃	紙、水彩	
48	田子之浦	五姓田義松	明治25年(1892)	カンヴァス、油 彩	

図録 No.	作品名	作者名	制作または年代	材質技法	所蔵者
49	朝陽富士	和田英作	大正6年(1917)	カンヴァス、油彩	
50	函嶺蘆湖図	森琴石	明治24年(1891)	絹本着色	
51	琵琶湖・富士図	山元春挙	大正14年(1925)	絹本着色	
52	扶桑第一峰	横山大観	昭和3年(1928)	絹本着色	
53	山中湖より	奥村土牛	昭和53年(1978)	紙、水彩	
54	七宝富嶽図 莚皿		明治20～30年代 (19世紀)	七宝	
55	富岳図巻煙草箱	二代 豊川光長	明治38年(1905)	銀、臙銀	
56	薩摩焼色絵富士図花瓶	有山長太郎ほか	明治40年(1907)	陶磁	
57	富士山二十四景	玄鹿館	明治28年(1895)頃	プラチナプリント	
58	神韻霊峰	岡田紅陽	昭和18年(1943)	ゼラチンシル バープリント	
第三章 山梨ゆかりの美術と皇室の名品					
59	古今和歌集 巻上	伝 藤原俊成	鎌倉時代(13世紀)	紙本墨書	
60	塩山蒔絵十種香箱		江戸時代(18世紀)	木、漆塗、蒔絵	
61	源氏物語図屏風	伝 狩野永徳	安土桃山時代(16～ 17世紀)	紙本着色	
62	曾我物語 (富士の巻狩・夜討曾我・十番切)		安土桃山～江戸時 代初期(16～17世 紀)	紙本着色	
63	小栗判官絵巻 巻6上	岩佐又兵衛	江戸時代(17世紀)	紙本着色	
64	西行物語絵巻 巻4	尾形光琳	江戸時代(18世紀)	紙本着色	
65	正五九花卉図	柳沢淇園	江戸時代(18世紀)	絹本着色	
66	水晶玉蟠龍置物	台:精工社	明治12年(1879)	水晶置物:銀、 鑄造台:木、漆 塗、蒔絵、象嵌	
67	獅子舞(《瑞彩》のうち)	近藤浩一路	大正13年(1924)	絹本着色	
68	現代風俗絵巻	穴山勝堂ほか	昭和3年(1928)	絹本着色	
69	雨端黒石地球硯	雨宮弥兵衛	大正4年(1915)頃	石	
70	雨端黒石海天雲月硯	雨宮静軒/十一代 雨宮弥兵衛	昭和6年(1931)頃	石	
71	水晶印(高松宮家之印)	小林守一	昭和時代(20世紀)	水晶	
72	瑪瑙香炉	宅間宝石彫刻研究所	昭和時代(20世紀)	瑪瑙	
73	紫金石香炉	宅間裕	昭和63年(1988)頃	紫金石	
84	(高精細複製品) 唐獅子図屏風	〔複製〕 キヤノン株式会社 〔原本〕 右隻:狩野永徳 左隻:狩野常信	〔複製〕 令和5年(2023) 〔原本〕 右隻:安土桃山時代 (16世紀) 左隻:江戸時代(17 世紀)	〔複製〕 紙・印刷・金箔	

ポップ・アート 時代を変えた4人



会場風景

会 期 2025年7月12日(土)～ 8月24日(日)

主 催 山梨県立美術館

後 援 アメリカ大使館、スペイン大使館、NHK 甲府放送局、山梨日日新聞社・山梨放送、テレビ山梨、テレビ朝日甲府支局、朝日新聞甲府総局、毎日新聞甲府支局、読売新聞甲府支局、産経新聞甲府支局、共同通信社甲府支局、時事通信社甲府支局、山梨新報社、日本ネットワークサービス、エフエム富士、エフエム甲府

協 力 日本航空、山梨交通

企画協力 ブレントラスト

会 場 山梨県立美術館 特別展示室

「ポップ・アート」とは1960年代、アメリカなどを中心に発展した芸術動向を指す。大量生産された商品、広告やコミック、著名人のポートレートなどをモチーフに、現代生活や大衆文化をテーマとした作品は色鮮やかに、そして時には社会風刺的に表され、その後の芸術の方向性を大きく変えた。本展ではロイ・リキテンスタイン、ジャスパー・ジョーンズ、ロバート・ラウシェンバーグ、アンディ・ウォーホルというアメリカのポップ・アートを代表する四人のアーティストを中心に、同時代に活躍したロバート・インディアナ、ジェームズ・ローゼンクイスト、トム・ウェッセルマン、ジム・ダインも合わせて紹介した。

本展の展示作品はスペイン出身のコレクター、ホセリス・ルペレス氏が所蔵する版画やポスター約120点で、すべて日本初公開だった。また本展は当館で戦後アメリカ美術をテーマとした初めての特別展であった。

■ワークショップ

「シルクスクリーンでオリジナルトートバッグを作ろう！」

日 時 8月10日(日) 午後1時30分～ 4時

場 所 ワークショップ室、工房、特別展示室

■関連映画会（ミュージアム・シアター）

「アドバンスト・スタイル そのファッションが人生」
(2014年)

日 時 7月19日（土）午後1時30分～（72分）

場 所 講堂

■担当学芸員によるギャラリー・トーク

日 時 7月21日（月・祝）

1 午前10時30分～（リキテンスタイン、
ウォーホルを中心に）

2 午後2時30分～（ラウシェンバーク、
ジョーンズを中心に）

場 所 特別展示室

■ Gallery Tour in English（英語でギャラリー・トーク）

日 時 8月9日（土）午後2時～

場 所 特別展示室

■出版物

『ポップ・アート 時代を変えた4人』（図録）

執 筆 ホセルイス・ルペレス

濱田洋亮（福島県立美術館学芸員）

下東佳那（本展担当学芸員）

山口菜月（福島県立美術館学芸員）

那須孝幸（北九州市立美術館学芸課長）

清田幸枝（北九州市立美術館学芸員）

内藤和音（富山県美術館学芸員）

坂本龍太（三重県立美術館学芸員）

編集協力 アイマラ・ガルシア

ヤン・ファリノー＝ル・シダネル（美術史家）

編 集 株式会社ブレントラスト

デザイン 川添英昭

制 作 廣瀬歩（STORK）

印 刷 株式会社シナノパブリッシングプレス

発 行 「ポップ・アート 時代を変えた4人」カタログ
制作委員会 ©2024

出品目録



図録

作品番号	作家	作品	制作年	素材・技法	寸法 (cm)
第1章 ザ・シク스티ーズ (1960年代)					
1		ニュー・リアリスツ [シドニー・ジャニス・ギャラリー]	1962	オフセット・リトグラフ	63.0×42.0
2a	ロイ・リキテンスタイン	パーン! / ロイ・リキテンスタイン [レオ・キャステリ・ギャラリー]	1963	オフセット・リトグラフ	52.0×72.0
2b	ジャック・エーブル	スター・スパンゲルド・ウォー・ストーリー #102	1962	オフセット・リトグラフ	26.0×36.0
3	アンディ・ウォーホル	キャンベル・スープ / アンディ・ウォーホル [フェラス・ギャラリー]	1962	スクリーンプリント	32.0×26.0
4	アンディ・ウォーホル	アンディ・ウォーホル作貯金箱。RCAカラー・スキャナーによるあくどい貯金さ。"豚の写真"みたいにキレイだろ?	1968	オフセット・リトグラフ	84.0×127.5
5	ロバート・ラウシェンバーグ	ラウシェンバーグ [ユダヤ博物館]	1963	オフセット・リトグラフ	81.3×55.9
6	ロバート・ラウシェンバーグ	100周年証書MMA	1969	オフセット・リトグラフ	95.0×64.8
7	ジャスパー・ジョーンズ	コート・ハンガー	1960	オフセット・リトグラフ	57.0×40.0
8	ジャスパー・ジョーンズ	マース・カニンガム舞踊団 (標的)	1968	スクリーンプリント	88.2×58.0
第2章 戦争をしないで、恋をしよう (音楽を奏でよう)					
10a	ロイ・リキテンスタイン	どうしようもない / ロイ・リキテンスタイン [クンストハレ・ベルン]	1968	オフセット・リトグラフ	91.0×96.5
10b	トニー・アブルツォ	シークレット・ハーツ	1962	オフセット・リトグラフ	26.0×36.0
14	ロバート・ラウシェンバーグ	アースデイ	1970	オフセット・リトグラフ	85.5×64.0
16	ジャスパー・ジョーンズ	モラトリウム	1969	オフセット・リトグラフ	57.0×73.0
17	ロバート・インディアナ	LOVE	1967	スクリーンプリント	74.5×74.8
15	ロバート・ラウシェンバーグ	ボストン交響楽団	1981	リトグラフ	96.5×65.5
9	ロイ・リキテンスタイン	アスペン・ウィンター・ジャズ	1967	スクリーンプリント	101.6×66.0
18	ジェームズ・ローゼンクイスト	アスペン・イースター・ジャズ	1967	スクリーンプリント	66.0×67.0

作品番号	作家	作品	制作年	素材・技法	寸法 (cm)
12	アンディ・ウォーホル	ザ・ビートルズ	1980	オフセット・リトグラフ	30.0×92.0
13	アンディ・ウォーホル	ザ・ローリング・ストーンズ	1975	オフセット・リトグラフ	各14.8×9.4
11	アンディ・ウォーホル	9枚のレコード(デビー・ハリー、ヴェルヴェット・アンダーグラウンド・アンド・ニコ、アレサ・フランクリン、ダイアナ・ロス、ザ・ローリング・ストーンズ、ケレル、ポール・アンカ、ビリー・スクワイア、ラッツ・アンド・スター)	1960-80	オフセット・リトグラフ	各31.0×31.0
第3章 ポップ・アート、ファッションと出会う					
19	アンディ・ウォーホル	ザ・スーパー・ドレス	1966	スクリーンプリント、セルロース、綿	92.0×60.0
20	ジェームズ・ローゼンクイスト	ペーパー・スーツ	1998	紙	80.0×65.0
第4章 ロイ・リキテンスタイン					
21a	ロイ・リキテンスタイン	火ぶたを切りながら	1966	オフセット・リトグラフ	66.9×158.0
21b	ジェリー・グランデネッティ	オール・アメリカン・メン・オブ・ウォー #90	1962	オフセット・リトグラフ	26.0×36.0
22	ロイ・リキテンスタイン	船上の少女	1965	オフセット・リトグラフ	69.0×51.5
23	ロイ・リキテンスタイン	スイート・ドリームス、ベイビー!	1966	スクリーンプリント	87.0×55.0
24a	ロイ・リキテンスタイン	キス V/ロイ・リキテンスタイン ポスター・オリジナルズ	1990	スクリーンプリント	94.2×88.5
24b	ジェイ・スコット・パイク	女の子たちのロマンス #97	1963	オフセット・リトグラフ	36.0×26.0
25	ロイ・リキテンスタイン	筆触/ロイ・リキテンスタイン [パサデナ美術館、ウォーカー・アート・センター]	1967	スクリーンプリント	64.0×86.0
26	ロイ・リキテンスタイン	リンカーン・センター	1966	スクリーンプリント	116.0×76.0
27	ロイ・リキテンスタイン	活動のマートン	1968	スクリーンプリント	73.0×51.0
28	ロイ・リキテンスタイン	ジョアンナ	1968	オフセット・リトグラフ	52.1×67.4
29	ロイ・リキテンスタイン	牛I	1982	スクリーンプリント	63.0×75.0
30	ロイ・リキテンスタイン	牛II	1982	スクリーンプリント	63.0×75.0
31	ロイ・リキテンスタイン	牛III	1982	スクリーンプリント	63.0×75.0
33a	ロイ・リキテンスタイン	読書をするタンタン	1995	オフセット・リトグラフ	100.0×70.0
33b	エルジェ	かけた耳	1966	オフセット・リトグラフ	26.0×36.0
32	ロイ・リキテンスタイン	種をまく人	1990	オフセット・リトグラフ	59.4×84.0
34	ロイ・リキテンスタイン	ヌード [レオ・キャステリ・ギャラリー]	1994	オフセット・リトグラフ	85.0×60.0
第5章 アンディ・ウォーホル					
35	アンディ・ウォーホル	花	1970	スクリーンプリント	91.4×91.4
36	アンディ・ウォーホル	花	1970	スクリーンプリント	91.4×91.4

作品 番号	作家	作品	制作年	素材・技法	寸法 (cm)
37	アンディ・ウォーホル	花	1970	スクリーンプリント	91.4×91.4
38	アンディ・ウォーホル	花	1970	スクリーンプリント	91.4×91.4
39	アンディ・ウォーホル	花	1970	スクリーンプリント	91.4×91.4
40	アンディ・ウォーホル	花	1970	スクリーンプリント	91.4×91.4
41	アンディ・ウォーホル	花	1970	スクリーンプリント	91.4×91.4
42	アンディ・ウォーホル	花	1970	スクリーンプリント	91.4×91.4
43	アンディ・ウォーホル	花 (モノクロ)	1974	リトグラフ	105.0×70.0
44	アンディ・ウォーホル	花 (モノクロ)	1974	リトグラフ	105.0×70.0
45	アンディ・ウォーホル	花 (モノクロ)	1974	リトグラフ	105.0×70.0
46	アンディ・ウォーホル	花 (モノクロ)	1974	リトグラフ	105.0×70.0
57	アンディ・ウォーホル	牛	1971	スクリーンプリント	115.6×75.6
58	アンディ・ウォーホル	牛	1971	スクリーンプリント	115.6×75.6
47	アンディ・ウォーホル	マリリン	1970	スクリーンプリント	91.4×91.4
48	アンディ・ウォーホル	マリリン	1970	スクリーンプリント	91.4×91.4
49	アンディ・ウォーホル	マリリン	1970	スクリーンプリント	91.4×91.4
50	アンディ・ウォーホル	マリリン	1970	スクリーンプリント	91.4×91.4
51	アンディ・ウォーホル	マリリン	1970	スクリーンプリント	91.4×91.4
52	アンディ・ウォーホル	マリリン	1970	スクリーンプリント	91.4×91.4
53	アンディ・ウォーホル	マリリン	1970	スクリーンプリント	91.4×91.4
54	アンディ・ウォーホル	マリリン	1970	スクリーンプリント	91.4×91.4
55	アンディ・ウォーホル	マリリン	1970	スクリーンプリント	91.4×91.4
56	アンディ・ウォーホル	マリリン	1970	スクリーンプリント	91.4×91.4
59	アンディ・ウォーホル	リズ／アンディ・ウォーホルとポップ・アート [ジニー・アヴェイユ]	1975	オフセット・リトグラフ	58.0×39.0
62	アンディ・ウォーホル	イザベル・アジャーン	1975	スクリーンプリント	68.0×51.0
60	アンディ・ウォーホル	レディース&ジェントルマン	1975	スクリーンプリント	85.1×67.3
61	アンディ・ウォーホル	キミコ・パワーズ／アンディ・ウォーホル [コロラド州立大学]	1981	オフセット・リトグラフ	99.5×78.0
63	アンディ・ウォーホル	シャネル	1986	スクリーンプリント	96.0×96.0
第6章 ロバート・ラウシェンバーク					
64	ロバート・ラウシェンバーク	ダンテ『地獄篇』のためのドローイング 第III歌	1964	オフセット・リトグラフ	36.2×29.2
65	ロバート・ラウシェンバーク	ダンテ『地獄篇』のためのドローイング 第IX歌	1964	オフセット・リトグラフ	36.2×29.2
66	ロバート・ラウシェンバーク	ダンテ『地獄篇』のためのドローイング 第XII歌	1964	オフセット・リトグラフ	36.2×29.2
67	ロバート・ラウシェンバーク	ダンテ『地獄篇』のためのドローイング 第XIII歌	1964	オフセット・リトグラフ	36.2×29.2
68	ロバート・ラウシェンバーク	ダンテ『地獄篇』のためのドローイング 第XVI歌	1964	オフセット・リトグラフ	36.2×29.2
69	ロバート・ラウシェンバーク	ダンテ『地獄篇』のためのドローイング 第XVIII歌	1964	オフセット・リトグラフ	36.2×29.2

作品 番号	作家	作品	制作年	素材・技法	寸法 (cm)
70	ロバート・ラウシェンバーグ	ダンテ『地獄篇』のためのドローイング 第XIX歌	1964	オフセット・リトグラフ	36.2×29.2
71	ロバート・ラウシェンバーグ	ダンテ『地獄篇』のためのドローイング 第XX歌	1964	オフセット・リトグラフ	36.2×29.2
72	ロバート・ラウシェンバーグ	ダンテ『地獄篇』のためのドローイング 第XXIII歌	1964	オフセット・リトグラフ	36.2×29.2
73	ロバート・ラウシェンバーグ	ダンテ『地獄篇』のためのドローイング 第XXIV歌	1964	オフセット・リトグラフ	36.2×29.2
74	ロバート・ラウシェンバーグ	ダンテ『地獄篇』のためのドローイング 第XXVIII歌	1964	オフセット・リトグラフ	36.2×29.2
75	ロバート・ラウシェンバーグ	ダンテ『地獄篇』のためのドローイング 第XXIX歌	1964	オフセット・リトグラフ	36.2×29.2
78	ロバート・ラウシェンバーグ	1984年ロサンゼルス・オリンピック	1984	リトグラフ	61.0×91.0
76	ロバート・ラウシェンバーグ	光線	1973	スクリーンプリント	134.5×99.0
77	ロバート・ラウシェンバーグ	ラウシェンバーグ [シカゴ美術館]	1977	オフセット・リトグラフ	116.0×75.5
79	ロバート・ラウシェンバーグ	第1回国際アジア映画祭	1989	スクリーンプリント	95.0×68.7
80	ロバート・ラウシェンバーグ	ROCI USA [ワシントン・ナショナル・ギャラリー]	1990	スクリーンプリント	67.0×99.0
81	ロバート・ラウシェンバーグ	アーツ・フォー ACT	1994	リトグラフ	95.0×65.0
82	ロバート・ラウシェンバーグ	自由の女神	1963	オフセット・リトグラフ	71.0×51.0
83	ロバート・ラウシェンバーグ	ワン・ライオナー	2000	リトグラフ	88.9×61.0
第7章 ジャスパー・ジョーンズ					
84	ジャスパー・ジョーンズ	旗Ⅱ	1975	リトグラフ	55.0×46.0
85	ジャスパー・ジョーンズ	旗Ⅲ	1975	リトグラフ	55.0×46.0
86	ジャスパー・ジョーンズ	2つの旗 [ホイットニー美術館]	1980	リトグラフ	117.0×77.0
87	ジャスパー・ジョーンズ	標的	1960	オフセット・リトグラフ	57.1×44.4
88	ジャスパー・ジョーンズ	技術と創造力	1970	リトグラフ	27.0×22.0
89	ジャスパー・ジョーンズ	近作の静物 [RISD美術館]	1968	スクリーンプリント	90.0×51.0
90	ジャスパー・ジョーンズ	カップ、2人のピカソ	1973	リトグラフ	39.0×28.0
91	ジャスパー・ジョーンズ	ジャスパー・ジョーンズ 17のモノタイプ [バーゼル美術館]	1985	リトグラフ	84.0×59.0
特別 出品 2	エキーボ・アブリル	サヴァラン・コーヒー	2024	缶、絵筆、刷毛	
92	ジャスパー・ジョーンズ	手	1970	リトグラフ	56.7×44.1
93	ジャスパー・ジョーンズ	デバイス／ジャスパー・ジョーンズ [レオ・キャステリ・ギャラリー]	1963	スクリーンプリント	81.0×53.0
95	ジャスパー・ジョーンズ	四季・夏 第2ステート	1991	リトグラフ	28.0×21.0
94	ジャスパー・ジョーンズ	死体と鏡 [マルゴ・リーヴィン・ギャラリー]	1978	オフセット・リトグラフ	112.0×40.0
96	ジャスパー・ジョーンズ	無題	2013	オフセット・リトグラフ	39.0×29.0

作品番号	作家	作品	制作年	素材・技法	寸法 (cm)
第8章 ロバート・インディアナ					
97	ロバート・インディアナ	インディアナ・エリオット、《マザー・オヴ・アス・オール》より	1977	リトグラフ	58.0×48.0
98	ロバート・インディアナ	離婚男性は大統領になったことが一度もない	1997	スクリーンプリント	55.4×42.8
99	ロバート・インディアナ	HOPE	2008	オフセット・リトグラフ	65.0×65.0
第9章 ジェームズ・ローゼンクvist					
100	ジェームズ・ローゼンクvist ／ルイス・D・ブランダイス判事	西洋人の偉大なアイデア [コンテナ・コーポレーション・オブ・アメリカ]	1966	オフセット・リトグラフ	114.2×76.3
101	ジェームズ・ローゼンクvist	ニューヨーク・セズ・イット	1983	カラー・リトグラフ、セリグラフ	76.2×86.4
第10章 トム・ウェッセルマン					
102	トム・ウェッセルマン	ポップ・アート [シティ・ギャルリチュエリッヒ]	1965	オフセット・リトグラフ	104.0×66.0
103	トム・ウェッセルマン	スモーカー	1976	スクリーンプリント	57.8×76.6
104	トム・ウェッセルマン	トム・ウェッセルマン [ギャレリア・ブラー]	1984	オフセット・リトグラフ	60.0×101.0
105	トム・ウェッセルマン	第23回ニューヨーク映画祭 (モニカ)	1985	スクリーンプリント	98.3×93.2
第11章 ジム・ダイン					
106	ジム・ダイン	ドリアン・ 그레이の肖像 (ポートフォリオ『ドリアン・ 그레이の肖像』より)	1968	リトグラフ、エッチング	42.0×30.0
107	ジム・ダイン	虹色のスカーフを纏ったドリアン・ 그레이 (ポートフォリオ『ドリアン・ 그레이の肖像』より)	1968	リトグラフ、エッチング	42.0×30.0
108	ジム・ダイン	ホース・ランプ (ポートフォリオ『ドリアン・ 그레이の肖像』より)	1968	リトグラフ、エッチング	42.0×30.0
109	ジム・ダイン	映画館にいるヘンリー卿 (ポートフォリオ『ドリアン・ 그레이の肖像』より)	1968	リトグラフ、エッチング	42.0×30.0
110	ジム・ダイン	黒いレザースーツ姿のバジル (ポートフォリオ『ドリアン・ 그레이の肖像』より)	1968	リトグラフ、エッチング	42.0×30.0
111	ジム・ダイン	木 (ポートフォリオ『ドリアン・ 그레이の肖像』より)	1968	リトグラフ、エッチング	42.0×30.0
112	ジム・ダイン	色とりどりのビニールケープを纏ったドリアン・ 그레이 (ポートフォリオ『ドリアン・ 그레이の肖像』より)	1968	リトグラフ、エッチング	42.0×30.0
113	ジム・ダイン	家にいるヘンリー卿 (ポートフォリオ『ドリアン・ 그레이の肖像』より)	1968	リトグラフ、エッチング	42.0×30.0
114	ジム・ダイン	衣装室にいるシビル (ポートフォリオ『ドリアン・ 그레이の肖像』より)	1968	リトグラフ、エッチング	42.0×30.0
115	ジム・ダイン	赤いピアノ (ポートフォリオ『ドリアン・ 그레이の肖像』より)	1968	リトグラフ、エッチング	42.0×30.0
116	ジム・ダイン	ドリアン・ 그레이 (ポートフォリオ『ドリアン・ 그레이の肖像』より)	1968	リトグラフ、エッチング	42.0×30.0
117	ジム・ダイン	ジュリエットに扮するシビル (ポートフォリオ『ドリアン・ 그레이の肖像』より)	1968	リトグラフ、エッチング	42.0×30.0

作品 番号	作家	作品	制作年	素材・技法	寸法 (cm)
118	ジム・ダイン	黒地に赤いブーツ	1968	スクリーンプリント	38.7×38.1
119	ジム・ダイン	ピノキオ	2008	スクリーンプリント	82.0×59.0
第12章 1 セント・ライフ					
120	ジェームス・ローゼンクイスト	『1セント・ライフ』挿絵	1964	リトグラフ	59.0×41.5
121	トム・ウェッセルマン	『1セント・ライフ』挿絵	1964	リトグラフ	59.0×41.5
122	ロバート・ラウシェンバーグ	『1セント・ライフ』挿絵	1964	リトグラフ	59.0×41.5
123	ロイ・リキテンスタイン	少女 (『1セント・ライフ』より)	1964	リトグラフ	59.0×41.5
124	アンディ・ウォーホル	マリリン・モンロー、あなたのキスを愛する、永遠に、永遠に (『1セント・ライフ』より)	1964	リトグラフ	59.0×41.5
125	ロバート・インディアナ	四方の風 (『1セント・ライフ』より)	1964	リトグラフ	59.0×41.5
126	ジム・ダイン	『1セント・ライフ』挿絵	1964	リトグラフ	59.0×41.5
特別 出品 1	エキーボ・アブリル	ザ・ファブ・フォー	2022	油彩、カンヴァス	100.0×100.0

生誕100年 山下清展 ― 百年目の大回想



ポスター



会場風景

会 期 2025(令和7)年9月20日(土)～11月24日(月・振休)
 主 催 山梨県立美術館・山梨日日新聞社・山梨放送
 後 援 NHK 甲府放送局、テレビ山梨、テレビ朝日甲府支局、朝日新聞甲府総局、毎日新聞甲府支局、読売新聞甲府支局、産経新聞甲府支局、共同通信社甲府支局、時事通信社甲府支局、山梨新報社、日本ネットワークサービス、エフエム富士、エフエム甲府
 協 力 山梨交通
 特別協力 山下清作品管理事務所
 企画協力 ステップ・イースト
 会 場 山梨県立美術館 特別展示室

生誕100年を記念し、「放浪の天才画家」と言われた山下清の画業と人生を5章立てで紹介した。幼少期の鉛筆画、初期から晩年までの貼絵、油彩、水彩画、ペン画、陶磁器の絵付けなど約190点を展示し、山下芸術の豊かさ、奥深さを余すところなく紹介することで、芸術家・山下清の真の姿を伝えようとする展覧会だった。あわせて、放浪中に使用したリュックサックや浴衣などの関連資料も展示し、その人物像にも迫ろうとした。

第5章の展示室に映像コーナーを設置し、山下清の制作風景を収めた映像をエンドレスで流した。また出口付近の壁面に作家の顔写真のパネルを取り付け、撮影コーナーとした。人気声優がナビゲーターを務める音声ガイド(約30分)も導入した。

■講演会

「家族が語る山下清」

講 師 山下浩氏(山下清作品管理事務所代表、山下清の甥)

日 時 10月25日(土) 午後2時～3時30分

場 所 講堂

■アートでトーク

ファシリテーター 当館職員

日 時 10月2日(木) ①午前11時～11時40分

②午後1時30分～2時10分

場 所 特別展示室

■映画会（ミュージアム・シアター）

「長岡大花火 打ち上げ、開始でございます」
(2024年)

日 時 10月18日（土）午後1時30分～（100分）

場 所 講堂

■出版物

『生誕100年 山下清展—百年目の大回想』（図録）

監 修 山下浩（山下清作品管理事務所代表）

編 集 ステップ・イースト

印 刷 瞬報社

発 行 ステップ・イースト ©2022

■関連記事

「芸術家 山下清の世界 県立美術館特別展から」

『山梨日日新聞社』4回連載

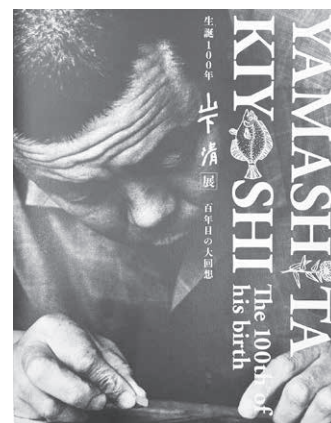
高野早代子「代表作『長岡の花火』 超絶技巧生かした
『貼絵』」

「甲府の個展で反響『昇仙峡』 ペン画や貼絵何度も描く」

「現存少ない油彩画 乾く時間好まず遠ざかる」

「ヨーロッパ9カ国を旅 40日間でスケッチ20点余」

出品目録



図録

No.	作品名	制作年	技法等	寸法 (縦×横mm)	所蔵先
第1章 山下清の誕生 — 昆虫そして絵との出会い					
1	花火 (大橋清)	1930-1932 (昭和5-昭和7) 年頃	鉛筆画	160×228	山下清作品管理事務所蔵
2	お風呂 (大橋清)	1930-1932 (昭和5-昭和7) 年頃	鉛筆画	175×190	山下清作品管理事務所蔵
3	食事 (大橋清)	1930-1932 (昭和5-昭和7) 年頃	鉛筆画	160×228	山下清作品管理事務所蔵
4	こいのぼり (大橋清)	1930-1932 (昭和5-昭和7) 年頃	鉛筆画	160×228	山下清作品管理事務所蔵
5	街風景 (大橋清)	1930-1932 (昭和5-昭和7) 年頃	鉛筆画	160×228	山下清作品管理事務所蔵
6	あしなが蜂	1934 (昭和9) 年	貼絵	130×195	山下清作品管理事務所蔵
7	蝶々	1934 (昭和9) 年	貼絵	120×170	山下清作品管理事務所蔵
8	ほたる	1934 (昭和9) 年	貼絵	120×175	山下清作品管理事務所蔵
9	せみ	1934 (昭和9) 年	貼絵	135×180	山下清作品管理事務所蔵
10	とんぼ	1934 (昭和9) 年	貼絵	120×170	山下清作品管理事務所蔵
11	蝶	1934 (昭和9) 年	貼絵	135×190	山下清作品管理事務所蔵
12	くもとけむしのスケッチ	1936 (昭和11) 年	鉛筆画	275×182	山下清作品管理事務所蔵
13	かみきり虫	1936 (昭和11) 年	鉛筆画	178×277	山下清作品管理事務所蔵
14	蜂1	制作年不詳	ペン画	270×240	山下清作品管理事務所蔵
15	蜂2	制作年不詳	ペン画	270×240	山下清作品管理事務所蔵
16	蝶々	制作年不詳	ペン画	270×240	山下清作品管理事務所蔵
17	かたつむり	制作年不詳	ペン画	270×240	山下清作品管理事務所蔵
18	とんぼ	制作年不詳	ペン画	270×240	山下清作品管理事務所蔵
19	さかな	制作年不詳	ペン画	270×240	山下清作品管理事務所蔵
第2章 学園生活と放浪への旅立ち					
20	ラジオ体操	1936 (昭和11) 年	貼絵	290×375	山下清作品管理事務所蔵
21	餅つき	1935 (昭和10) 年	貼絵	280×370	山下清作品管理事務所蔵
22	剣道	1936 (昭和11) 年	貼絵	280×365	山下清作品管理事務所蔵
23	柔道	1937 (昭和12) 年	貼絵	290×380	山下清作品管理事務所蔵
24	風呂場	1937 (昭和12) 年	貼絵	290×375	山下清作品管理事務所蔵

No.	作品名	制作年	技法等	寸法 (縦×横mm)	所蔵先
25	大工さん	1937(昭和12)年	貼絵	300×390	山下清作品管理事務所蔵
26	学校で活動写真を写している所	1938(昭和13)年	貼絵	280×365	山下清作品管理事務所蔵
27	身体検査	1937(昭和12)年	貼絵	290×370	山下清作品管理事務所蔵
28	寝る支度をしているところ	1936(昭和11)年	貼絵	275×365	山下清作品管理事務所蔵
29	就寝	1937(昭和12)年	貼絵	290×370	山下清作品管理事務所蔵
30	雪だるま	1937(昭和12)年	貼絵	290×370	山下清作品管理事務所蔵
31	ともだち	1938(昭和13)年	貼絵	240×330	山下清作品管理事務所蔵
32	二重橋	1937(昭和12)年	貼絵	370×560	山下清作品管理事務所蔵
33	上野の地下鉄	1937(昭和12)年	貼絵	360×560	山下清作品管理事務所蔵
34	上野の東照宮	1939(昭和14)年	貼絵	580×755	山下清作品管理事務所蔵
35	八幡様の鳥居	1939(昭和14)年	貼絵	580×760	山下清作品管理事務所蔵
36	農園	1937(昭和12)年	貼絵	290×375	山下清作品管理事務所蔵
37	園芸作業	1939(昭和14)年	貼絵	585×760	山下清作品管理事務所蔵
38	庭	1937(昭和12)年	貼絵	300×390	山下清作品管理事務所蔵
39	桃畠	1937(昭和12)年	貼絵	280×365	山下清作品管理事務所蔵
40	湖畔	1937(昭和12)年	貼絵	570×740	山下清作品管理事務所蔵
41	田舎の風景	1937(昭和12)年	貼絵	470×620	山下清作品管理事務所蔵
42	鉢花	1937(昭和12)年	貼絵	290×385	山下清作品管理事務所蔵
43	ゆり	1938(昭和13)年	貼絵	570×750	山下清作品管理事務所蔵
44	栗	1938(昭和13)年	貼絵	230×320	山下清作品管理事務所蔵
45	栗の花	1938(昭和13)年	貼絵	直径205	山下清作品管理事務所蔵
46	船のもけいとゆり	1937(昭和12)年	貼絵	570×745	山下清作品管理事務所蔵
47	菊	1939(昭和14)年	貼絵	750×570	山下清作品管理事務所蔵
48	菊	1940(昭和15)年	貼絵	750×570	山下清作品管理事務所蔵
49	いけ花	1938(昭和13)年	貼絵	575×755	山下清作品管理事務所蔵
50	桜	1939(昭和14)年	貼絵	235×345	山下清作品管理事務所蔵
51	観兵式	1937(昭和12)年	貼絵	380×585	山下清作品管理事務所蔵
52	鉄条網	1938(昭和13)年	貼絵	580×760	山下清作品管理事務所蔵
53	軍艦	1938(昭和13)年	貼絵	575×760	山下清作品管理事務所蔵
54	高射砲	1938(昭和13)年	貼絵	580×760	山下清作品管理事務所蔵
55	学園から出かけるところ	1955(昭和30)年	鉛筆画	145×205	山下清作品管理事務所蔵
56	トンネルをくぐる時のこと	1954(昭和29)年	鉛筆画	180×255	山下清作品管理事務所蔵
57	汽車道を歩いているところ	1954(昭和29)年	鉛筆画	145×205	山下清作品管理事務所蔵
58	うすい峠	1954(昭和29)年	鉛筆画	145×205	山下清作品管理事務所蔵
59	草津温泉の電車を歩いているところ	1954(昭和29)年	鉛筆画	145×205	山下清作品管理事務所蔵
60	草津温泉	1954(昭和29)年	鉛筆画	145×205	山下清作品管理事務所蔵
61	岡部駅で休んで居る所	1954(昭和29)年	鉛筆画	145×205	山下清作品管理事務所蔵
62	埼玉県熊谷の花火	1955(昭和30)年	鉛筆画	145×205	山下清作品管理事務所蔵
63	高崎線の汽車の窓から外の景色を見て居る所	1954(昭和29)年	鉛筆画	145×205	山下清作品管理事務所蔵

No.	作品名	制作年	技法等	寸法 (縦×横mm)	所蔵先
64	横濱の港で遊んで居る所	1954(昭和29)年	鉛筆画	145×205	山下清作品管理事務所蔵
65	江の島の景色	1954(昭和29)年	鉛筆画	145×205	山下清作品管理事務所蔵
66	熱海の海岸の景色を見ながら歩いて いるところ	1954(昭和29)年	鉛筆画	145×205	山下清作品管理事務所蔵
67	東海道線の島田で夕飯を貰いにいくと ころ	1954(昭和29)年	鉛筆画	145×205	山下清作品管理事務所蔵
68	袋井で夕飯を貰っているところ	1954(昭和29)年	鉛筆画	145×205	山下清作品管理事務所蔵
69	新しいリュックの中へ品物をしまうところ	1954(昭和29)年	鉛筆画	145×205	山下清作品管理事務所蔵
70	易者に運勢を見て貰った時の事	1954(昭和29)年	鉛筆画	180×255	山下清作品管理事務所蔵
71	寝る時の事	1954(昭和29)年	鉛筆画	180×255	山下清作品管理事務所蔵
72	水に溺れた時の事	1954(昭和29)年	鉛筆画	180×255	山下清作品管理事務所蔵
73	遠足	1950(昭和25)年	貼絵	530×760	山下清作品管理事務所蔵
74	山の頂上から見た景色	1950(昭和25)年	貼絵	550×760	山下清作品管理事務所蔵
75	金町の魚つり	1950(昭和25)年	貼絵	530×780	山下清作品管理事務所蔵
76	神宮外苑	1950(昭和25)年	貼絵	600×800	山下清作品管理事務所蔵
77	アキノキリンソウ	1943(昭和18)年	貼絵	310×250	山下清作品管理事務所蔵
78	さるすべり	1940(昭和15)年	貼絵	250×305	山下清作品管理事務所蔵
79	金せん花	1949(昭和24)年	貼絵	250×350	山下清作品管理事務所蔵
80	もくれん	1940(昭和15)年	貼絵	300×240	山下清作品管理事務所蔵
81	練兵場へ遠足	1940(昭和15)年	貼絵	585×765	山下清作品管理事務所蔵
82	上野不忍池	1940(昭和15)年	貼絵	580×760	山下清作品管理事務所蔵
83	上野の五重塔	1940(昭和15)年	貼絵	750×570	山下清作品管理事務所蔵
84	ラ・ムスメ(娘)—ゴッホによる	1940(昭和15)年	貼絵	750×570	山下清作品管理事務所蔵
85	自分の顔	1950(昭和25)年	貼絵	760×530	山下清作品管理事務所蔵
86	長岡の花火	1950(昭和25)年	貼絵	530×750	山下清作品管理事務所蔵
87	学園附近の景色	1943(昭和18)年	貼絵	453×680	個人蔵
88	伊豆大島の風景	1954(昭和29)年	貼絵	540×760	山下清作品管理事務所蔵
89	桜島	1954(昭和29)年	貼絵	540×765	山下清作品管理事務所蔵
90	桜島	制作年不詳	ペン画	580×880	個人蔵
91	桜島	制作年不詳	ペン画	231×262	個人蔵
92	桜島	制作年不詳	染絵	585×620	個人蔵
第3章 画家・山下清のはじまり — 多彩な芸術への試み					
93	市川の風景	1951(昭和26)年	油彩	520×440	山下清作品管理事務所蔵
94	群鶏	1960(昭和35)年	油彩	520×450	山下清作品管理事務所蔵
95	ぼけ	1951(昭和26)年	油彩	580×440	山下清作品管理事務所蔵
98	つばき	1951(昭和26)年	油彩	直径205	山下清作品管理事務所蔵
99	桜	1951(昭和26)年	油彩	直径205	山下清作品管理事務所蔵
100	ストックと矢車草	1951(昭和26)年	油彩	直径205	山下清作品管理事務所蔵
101	ラッパ水仙	1951(昭和26)年	油彩	直径150	山下清作品管理事務所蔵
102	チューリップ	1951(昭和26)年	油彩	直径205	山下清作品管理事務所蔵

No.	作品名	制作年	技法等	寸法 (縦×横mm)	所蔵先
103	両国の花火	制作年不詳	ペン画	480×580	山下清作品管理事務所蔵
104	横浜埠頭にて	1956(昭和31)年	ペン画	235×263	山下清作品管理事務所蔵
105	港の船(スケッチブックより)	1956(昭和31)年	ペン画	300×370	山下清作品管理事務所蔵
106	小石川の後楽園	1960(昭和35)年	ペン画	240×330	山下清作品管理事務所蔵
107	杉並の大聖堂	制作年不詳	ペン画	370×450	山下清作品管理事務所蔵
108	赤ん坊の顔	1956(昭和31)年	ペン画	350×250	山下清作品管理事務所蔵
109	ストリップ嬢	1956(昭和31)年	ペン画	270×240	山下清作品管理事務所蔵
110	大谷の平和観音	1958(昭和33)年	ペン画	320×405	山下清作品管理事務所蔵
111	仙台の七夕	1956(昭和31)年	ペン画	390×300	山下清作品管理事務所蔵
112	岩手の鹿踊り	1956(昭和31)年	ペン画	302×241	山下清作品管理事務所蔵
113	秋田の竿灯	1957(昭和32)年	ペン画	395×303	山下清作品管理事務所蔵
114	トンネルのある風景	1956(昭和31)年	ペン画	240×240	山下清作品管理事務所蔵
115	昇仙峡	1957(昭和32)年	ペン画	405×315	個人蔵
116	養老の滝	1957(昭和32)年	ペン画	390×300	山下清作品管理事務所蔵
117	岐阜の紙の大仏	1957(昭和32)年	ペン画	530×380	山下清作品管理事務所蔵
118	奈良二月堂	1957(昭和32)年	ペン画	355×430	山下清作品管理事務所蔵
119	夙川風景	1956(昭和31)年	ペン画	265×233	山下清作品管理事務所蔵
120	南京町	1956(昭和31)年	ペン画	265×233	山下清作品管理事務所蔵
121	はまごう	1956(昭和31)年	ペン画	265×345	山下清作品管理事務所蔵
122	石庭	1956(昭和31)年	ペン画	235×340	山下清作品管理事務所蔵
123	関門海峡	1956(昭和31)年	ペン画	365×400	山下清作品管理事務所蔵
124	阿波踊り	1956(昭和31)年	ペン画	232×263	山下清作品管理事務所蔵
125	お蝶夫人屋敷	1956(昭和31)年	ペン画	280×355	山下清作品管理事務所蔵
126	与賀神社	1957(昭和32)年	ペン画	308×388	山下清作品管理事務所蔵
127	開聞岳	1956(昭和31)年	ペン画	233×265	山下清作品管理事務所蔵
128	腕ずもう	1956(昭和31)年	ペン画	240×270	山下清作品管理事務所蔵
129	東京オリンピック	1964(昭和39)年	ペン画	385×300	山下清作品管理事務所蔵
特3	兼六園の庭	1957(昭和32)年	ペン画	450×375	個人蔵
131	ソニコンロケット	1959(昭和34)年頃	貼絵	440×360	株式会社増田屋コーポレーション蔵
第4章 ヨーロッパにて ― 清がみた風景					
132	ハイデルベルクの古城	1964(昭和39)年	貼絵	440×520	山下清作品管理事務所蔵
133	パリのサクレクール寺院	1962(昭和37)年	貼絵	455×530	山下清作品管理事務所蔵
134	スイス風景	1963(昭和38)年	貼絵	455×530	山下清作品管理事務所蔵
135	スイス風景	制作年不詳	貼絵	453×528	個人蔵
136	スイスの町	1963(昭和38)年	貼絵	460×535	山下清作品管理事務所蔵
137	ロンドンのタワーブリッジ	1965(昭和40)年	貼絵	440×520	山下清作品管理事務所蔵
139	パリのエッフェル塔	1961(昭和36)年	水彩画	735×540	山下清作品管理事務所蔵
140	パリのノートルダム寺院	1961(昭和36)年	水彩画	760×560	山下清作品管理事務所蔵
141	パリのムーランルージュ	1961(昭和36)年	水彩画	560×380	山下清作品管理事務所蔵

No.	作品名	制作年	技法等	寸法 (縦×横mm)	所蔵先
142	パリのムーランルージュ (ヨーロッパ・スケッチブックより)	1961(昭和36)年	ペン画	405×310	山下清作品管理事務所蔵
143	パリの凱旋門	1961(昭和36)年	ペン画	560×770	山下清作品管理事務所蔵
144	パリのモンマルトル	1961(昭和36)年	ペン画	375×565	山下清作品管理事務所蔵
145	ロンドン塔付近	1961(昭和36)年	水彩画	560×765	山下清作品管理事務所蔵
146	ストックホルムの市役所	1961(昭和36)年	水彩画	535×360	山下清作品管理事務所蔵
147	ストックホルムの市役所の庭	1961(昭和36)年	水彩画	370×550	山下清作品管理事務所蔵
148	ストックホルムの市役所 ストリンドベリ石像の習作 (ヨーロッパ・スケッチブックより)	1961(昭和36)年	ペン画	405×315	山下清作品管理事務所蔵
149	ストックホルムの夜景	1961(昭和36)年	水彩画	540×740	山下清作品管理事務所蔵
150	オランダの風車	1961(昭和36)年	水彩画	540×365	山下清作品管理事務所蔵
151	コペンハーゲンの人魚像	1961(昭和36)年	水彩画	375×565	山下清作品管理事務所蔵
152	コペンハーゲンの人魚像	1961(昭和36)年頃	水彩画	476×551	公益財団法人増田美術・武 道振興協会蔵
153	ベニスのサンマルコ寺院	1961(昭和36)年	水彩画	555×760	山下清作品管理事務所蔵
154	ベニスのゴンドラ風景	1961(昭和36)年	水彩画	540×365	山下清作品管理事務所蔵
155	ベニスのゴンドラ風景	1961(昭和36)年	ペン画	265×233	山下清作品管理事務所蔵
156	スイスの町	1961(昭和36)年	ペン画	545×740	山下清作品管理事務所蔵
157	アラスカにて	1961(昭和36)年	ペン画	222×288	山下清作品管理事務所蔵
158	ヨーロッパの壺(清水焼)	1961(昭和36)年	壺	H220/直径 180	山下清作品管理事務所蔵
159	ベニスのゴンドラ風景(清水焼)	1961(昭和36)年	大皿	直径370	山下清作品管理事務所蔵
第5章 円熟期の創作活動					
160	花もも(九谷焼)	1956(昭和31)年	色絵蓋物	H120/直径 250	山下清作品管理事務所蔵
161	カーネーション	1956(昭和31)年	大皿	直径275	山下清作品管理事務所蔵
162	かたつむり	1956(昭和31)年	大皿	直径340	山下清作品管理事務所蔵
163	群鶏(布志名焼)	1956(昭和31)年	ガレナ釉 大皿	直径450	山下清作品管理事務所蔵
164	大文字焼風景(牛ノ戸焼)	1956(昭和31)年	鉄釉壺	H270/直径 270	山下清作品管理事務所蔵
165	かたつむりととんぼと弘法麦	1956(昭和31)年	壺	H260/直径 100	山下清作品管理事務所蔵
166	指描き模様の皿 (布志名焼)	1956(昭和31)年	大皿	直径333	山下清作品管理事務所蔵
167	こうぼう麦	制作年不詳	ガレナ釉 飾皿	直径243	山下清作品管理事務所蔵
168	春夏秋冬	制作年不詳	急須・ 湯呑	急須 H150/ 直径120 湯呑 H55/ 直径89	山下清作品管理事務所蔵
169	蛸と海月と貝	制作年不詳	急須	H175/直径160	山下清作品管理事務所蔵
170	虫のいろいろ	制作年不詳	黒釉金箔 花瓶	H283/直径82	山下清作品管理事務所蔵

No.	作品名	制作年	技法等	寸法 (縦×横mm)	所蔵先
171	長岡の花火(有田焼)	1957(昭和32)年	色絵大皿	直径508	公益財団法人増田美術・武道振興協会蔵
172	蜂	制作年不詳	皿	直径275	山下清作品管理事務所蔵
173	蝶々	1956(昭和31)年	絵付大皿	直径365	株式会社西邑画廊蔵
174	蝶々・つゆ草	1956(昭和31)年	絵付丸壺	H242/直径220	株式会社西邑画廊蔵
175	富士山	1957(昭和32)年	ペン画	530×375	山下清作品管理事務所蔵
176	富士山	制作年不詳	タイル画	570×420	山下清作品管理事務所蔵
177	富士山	制作年不詳	自筆石版	370×315	山下清作品管理事務所蔵
178	日本平よりの富士	制作年不詳	ペン画	240×270	山下清作品管理事務所蔵
179	富士山	制作年不詳	絵付壺	H278/直径210	株式会社西邑画廊蔵
180	東海道五十三次・富士(吉原)	制作年不詳	版画	270×350	山下清作品管理事務所蔵
181	東海道五十三次・矢矧橋(岡崎)	制作年不詳	ペン画	305×395	個人蔵
182	東海道五十三次・川崎大師(川崎)	制作年不詳	版画	350×270	山下清作品管理事務所蔵
183	東海道五十三次・横浜中央通り(横浜)	制作年不詳	版画	270×350	山下清作品管理事務所蔵
184	東海道五十三次・松並木(大磯)	制作年不詳	版画	270×350	山下清作品管理事務所蔵
185	東海道五十三次・山のちかい町(蒲原)	制作年不詳	版画	270×350	山下清作品管理事務所蔵
186	東海道五十三次・峠の景色(岡部)	制作年不詳	版画	350×270	山下清作品管理事務所蔵
187	東海道五十三次・天龍川(磐田)	制作年不詳	版画	270×350	山下清作品管理事務所蔵
188	東海道五十三次・弁天島(舞阪)	制作年不詳	版画	270×350	山下清作品管理事務所蔵
189	東海道五十三次・舟でくる町(桑名)	制作年不詳	版画	270×350	山下清作品管理事務所蔵
190	東海道五十三次・ふつうの景色(庄野)	制作年不詳	版画	270×350	山下清作品管理事務所蔵
191	東海道五十三次・瀬田の唐橋(大津)	制作年不詳	版画	270×350	山下清作品管理事務所蔵

「日本画」の挑戦者たち それぞれの葛藤と探求



ポスター



会場風景

会 期 令和7年12月6日(土)～令和8年2月1日(日)

主 催 山梨県立美術館

後 援 NHK 甲府放送局、山梨日日新聞社・山梨放送、
テレビ山梨、テレビ朝日甲府支局、朝日新聞甲
府総局、毎日新聞甲府支局、読売新聞甲府支局、
産経新聞甲府支局、共同通信社甲府支局、時事
通信社甲府支局、山梨新報社、日本ネットワ
ークサービス、エフエム富士、エフエム甲府

会 場 山梨県立美術館 特別展示室

「日本画」は、江戸時代以前の日本絵画と比べて“革新的”、新しく流入した西洋絵画に対しては“伝統的”という相反する性格を併せ持って近代に誕生した。

本展は、明治から昭和（1900～1980年代）にかけて独自の日本画の表現を模索した画家27人の挑戦に焦点を当てた。西欧美術への傾倒、古典の新解釈、画壇への反発、画風の固定化からの脱却など、それぞれの画家による葛藤と探求から、各時代の日本画の課題や展開の様相を浮かび上がらせるとともに、山梨ゆかりの日本画家をそれらの動向の中に位置づけた。

「日本画」の挑戦者たちの生き方と作品世界を通して、日本画の変遷と多様な魅力、山梨の作家の個性を紹介することを目的とした。一部の作品を写真撮影可とした。

■アートでトーク「日本画作品で語ろう」

日 時 12月14日(日) ①午前11時～11時40分
②午後1時30分～2時10分

■ワークショップ

「日本画の岩絵具・つぶつぶの感覚を楽しもう」

日 時 1月11日(日) 午後1時30分～3時30分

■担当学芸員ギャラリートーク

日 時 1月17日(土) ①午前11時～12時
②午後1時30分～2時30分

■ミュージアム・シアター

「明日をへぐる」(2021年)

日 時 1月24日(土) 午後1時30分～(73分)

■出版物

『「日本画」の挑戦者たち それぞれの葛藤と探求』(図録)

編 集 井澤英理子 (当館学芸幹)

執 筆 井澤英理子

森卓也 (当館学芸員)

制 作 株式会社少國民社

発 行 山梨県立美術館 ©2025

■関連記事

井澤英理子「日本画表現 葛藤と模索 上・下」『山梨
日日新聞社』1月7日、1月24日

出品目録



図録

※作品番号は図録掲載番号。会場の展示順と一部異なる。

※会期中、一部の作品の展示替えを行った。前期：12月6日～12月26日／後期：1月2日～2月1日

No	展示替	作家名	作品名	制作年	材質・技法	寸法 (縦×横cm)	所蔵者
第1章 「日本画」 黎明期の挑戦 ― 明治期							
1		横山大観	隠棲	1902 (明治35)	絹本着色	120.0×49.0	茨城県近代美術館
2	後	菱田春草	春野	1901 (明治34) 頃	絹本着色	116.1×41.2	京都国立近代美術館
3	前	菱田春草	入船	1902 (明治35)	絹本着色	124.0×49.0	京都国立近代美術館
		横山大観	帰路	1902 (明治35)	絹本着色	124.0×49.0	京都国立近代美術館
4		菱田春草	林和靖	1908 (明治41)	絹本着色	116.0×50.3	茨城県近代美術館
第2章 伝統と革新の交錯 ― 大正・昭和初期							
5	前	今村紫紅	江上吟	1912 (大正元)	絹本着色	120.9×49.0	横浜美術館
6		今村紫紅	月明り	1914 (大正3) 頃	絹本着色	125.5×51.2	横浜美術館
7		今村紫紅	沙魚	1915 (大正4)	絹本着色	145.3×42.3	横浜美術館 (原範行氏・ 原會津子氏寄贈)
8	後	今村紫紅	東海道左富士	1915 (大正4)	絹本着色	126.5×41.7	横浜美術館
9	前	速水御舟	丘の並木	1922 (大正11)	絹本着色	36.5×49.3	東京国立近代美術館
10	後	速水御舟	秋茄子と黒茶碗	1921 (大正10)	絹本着色	28.0×25.0	京都国立近代美術館
11		速水御舟	水仙図	1925 (大正14)	絹本着色	40.0×55.0	横浜美術館
12		速水御舟	麦	1925 (大正14)	絹本着色	131.0×41.0	横浜美術館 (藤浦了一氏寄贈)
13	前	小野竹喬	黍熟るる島	1917 (大正6)	絹本着色	130.0×41.8	新潟県立近代美術館・ 万代島美術館
14	後	小野竹喬	村道 (北国の田舎道)	1923 (大正12)	紙本着色	117.4×112.0	京都国立近代美術館
15		近藤浩一路	下京の夜	1913 (大正2)	油彩・麻布	60.8×80.6	山梨県立美術館
16		近藤浩一路	市原野夕照 (京洛十題のうち)	1924 (大正13)	紙本墨画	53.5×68.3	山梨県立美術館
17		近藤浩一路	巨椋池浅春 (京洛十題のうち)	1924 (大正13)	紙本墨画	53.9×67.0	山梨県立美術館
18		近藤浩一路	一条戻橋	1925 (大正14)	紙本墨画	53.1×66.4	山梨県立美術館
19		近藤浩一路	潦 (仲秋)	1936 (昭和11)	紙本墨画	60.2×75.4	山梨県立美術館
20		近藤浩一路	雨期	1951 (昭和26)	紙本墨画	54.3×61.0	山梨県立美術館
21		近藤浩一路	花雨	1952 (昭和27)	紙本墨画	45.8×51.8	山梨県立美術館
22	後	川端龍子	慈悲光礼讃 (朝・夕)	1918 (大正7)	絹本着色	朝 139.3×147.5 夕 139.3×146.8	東京国立近代美術館

No	展示替	作家名	作品名	制作年	材質・技法	寸法 (縦×横cm)	所蔵者
23	後	川端龍子	佳人好在	1925 (大正14)	絹本着色	136.3×115.1	京都国立近代美術館
24	前	川端龍子	曲水図	1941 (昭和16)	絹本着色	各171.5×360.0	京都国立近代美術館
25		川崎小虎	教会堂の夜	1912-14 (大正1-3)	紙本着色	43.0×63.0	山梨県立美術館
26		川崎小虎	朝の牧場	1912-14 (大正1-3)	紙本着色	46.0×63.0	山梨県立美術館
27		川崎小虎	こだま	1930 (昭和5)	紙本着色	225.0×180.0	東京国立近代美術館
28		川崎小虎	七面鳥(雌と雛)	1938 (昭和13)	紙本着色	174.0×166.0	山梨県立美術館
29		穴山勝堂	浦のはつ夏	1919 (大正8)	絹本着色	86.2×89.8	山梨県立美術館
30		穴山勝堂	高嶺秋色	1923 (大正12)	絹本着色	137.5×218.0	山梨県立美術館
31		穴山勝堂	白壁に描く	1941 (昭和16)	絹本着色	191.5×112.0	山梨県立美術館
32		穴山勝堂	踏切を通過する	1957 (昭和32)	絹本着色	75.5×145.3	山梨県立美術館
33		穴山勝堂	疾走する貨物車	1958 (昭和33)	紙本着色	67.2×143.9	笛吹市教育委員会
34		望月春江	春日	1921 (大正10) 頃	絹本着色	各172.0×168.0	山梨県立美術館
35		望月春江	春に生きんとす	1921 (大正10)	紙本着色	140.0×150.5	個人 (山梨県立美術館寄託)
36		望月春江	美ヶ原	1938 (昭和13)	紙本着色	189.0×200.0	山梨県立美術館
37		望月春江	咲く(ダリア)	1965 (昭和40)	紙本着色	191.0×130.0	山梨県立美術館
38		近藤乾年	初夏の苑	1933-34 (昭和8-9)	紙本着色	182.0×206.7	山梨県立美術館
39		近藤乾年	岩燕	1939-40 (昭和14-15)	紙本着色	195.0×210.0	山梨県立美術館
第3章 新しい造形意識と前衛 ― 戦中・戦後期							
40		吉岡堅二	氷原	1940 (昭和15)	紙本着色	211.7×546.0	東京国立近代美術館
41		山岡良文	ザーグフリード線	1939 (昭和14)	紙本着色	60.6×72.8	京都国立近代美術館
42		山崎隆	神仙	1948 (昭和23)	紙本着色	57.2×67.5	京都国立近代美術館
43		三上誠	戦災風物誌	1948 (昭和23)	紙本着色	52.0×74.2	京都国立近代美術館
44		東山魁夷	樹根	1955 (昭和30)	紙本着色	118.2×91.0	目黒区美術館
45		東山魁夷	森のささやき	1963 (昭和38)	紙本着色	65.0×92.0	東京都現代美術館
46		山田申吾	水郷風景	1931 (昭和6)	絹本着色	142.5×176.0	山梨県立美術館
47		山田申吾	田園譜	1958 (昭和33)	紙本着色	145.5×200.5	山梨県立美術館
48		山田申吾	空	1961 (昭和36)	紙本着色	121.0×121.0	山梨県立美術館
49		高山辰雄	夜	1963 (昭和38)	紙本着色	218.0×136.0	神奈川県立近代美術館
第4章 独自性の探求 ― 昭和後期							
50		谷口山郷	凍天	1954 (昭和29)	紙本墨画	119.5×165.0	朝日町立ふるさと美術館
51		谷口山郷	山容	1958 (昭和33)	紙本墨画	145.0×193.0	朝日町立ふるさと美術館
52		岩崎巴人	山河経文	1952 (昭和27)	紙本着色	各127.0×347.0	朝日町立ふるさと美術館
53		のむら清六	世相マンダラ図の中 (券をかう行列)	1955 (昭和30)	紙本着色	175.0×145.5	山梨県立美術館
54		のむら清六	北端(果ての海)	1958 (昭和33)	紙本着色	172.5×181.0	山梨県立美術館
55		のむら清六	ハハコ像	1966 (昭和41)	紙本着色	162.1×130.3	山梨県立美術館
56		のむら清六	月夜のたまり	1971 (昭和46)	紙本着色	95.5×75.5	朝日町立ふるさと美術館

No	展示替	作家名	作品名	制作年	材質・技法	寸法 (縦×横cm)	所蔵者
57		のむら清六	騷春図	1977(昭和52)	紙本着色	各189.6×367.1	個人 (山梨県立美術館寄託)
58		長崎莫人	名立の山	1959(昭和34)	紙本着色	90.6×60.3	新潟県立近代美術館・ 万代島美術館
59		長崎莫人	畑と太陽	1969(昭和44)	紙本着色	90.8×132.6	新潟県立近代美術館・ 万代島美術館
60		横山操	波濤	1960(昭和35)	紙本着色	245.0×462.5	神奈川県立近代美術館
61		横山操	雪峽	1963(昭和38)	紙本着色	239.5×480.0	新潟県立近代美術館・ 万代島美術館
62		加山又造	冬	1957(昭和32)	紙本着色	128.5×191.5	東京国立近代美術館
63		中村正義	男と女	1963(昭和38)	紙本着色	162.0×226.5	豊橋市美術博物館
64		中村正義	うしろの人	1972-77 (昭和47-52)	紙本着色	162.1×130.3	豊橋市美術博物館
65		片岡球子	火山(浅間山)	1965(昭和40)	麻布着色	258.5×181.5	神奈川県立近代美術館
66		片岡球子	面構 足利義満	1966(昭和41)	紙本着色	161.8×130.4	神奈川県立近代美術館
67		三枝茂雄	玄麟図	1947(昭和22)	紙本着色	31.0×42.2	山梨県立美術館
68		三枝茂雄	マリア・マグダレナ	1967(昭和42)	油彩・麻布	115.7×90.0	山梨県立美術館
69		三枝茂雄	達磨図	1968(昭和43)	紙本着色	42.3×33.2	山梨県立美術館
70		三枝茂雄	玉虫厨子画意	1973(昭和48)	紙本着色	41.7×30.5	個人
71		三枝茂雄	赤光	1975(昭和50)	紙本着色	95.5×78.0	個人
72		三枝茂雄	歎氣息	1977(昭和52)	紙本着色	34.4×24.3	個人
73		三枝茂雄	椿簪図	1978(昭和53)	紙本着色	24.5×35.0	個人
74		三枝茂雄	永泰公主	1978(昭和53)頃	紙本着色	34.5×24.3	個人
75		三枝茂雄	虞姬項羽	1978(昭和53)頃	紙本着色	42.0×34.0	個人
76		三枝茂雄	カルマ(業)	1980(昭和55)	紙本着色	68.4×105.0	山梨県立美術館

■ コレクション展

令和7年度コレクション展出品目録

コレクション展 A (ミレー館)

展示期間		①～④は表中の記号を示す	
春	2025 (令和7) 年 3月11日～ 6月 8日…①		
夏	2025 (令和7) 年 6月10日～ 8月31日…②	6月10日～22日…②－※	
秋	2025 (令和7) 年 9月 2日～12月 7日…③		
冬	2025 (令和7) 年12月 9日～2026 (令和8) 年3月8日 …④		

出品目録

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法(縦×横cm)	展示期間			
油彩									
1	J.F.ミレー	種をまく人	1850	油彩・麻布	99.7×80.0	①	②	③	④
2	J.F.ミレー	眠れるお針子	1844-45	油彩・麻布	45.7×38.1	①	②	③	④
3	J.F.ミレー	ポーリーヌ・V・オノの肖像	1841-42頃	油彩・麻布	73.0×63.0	①	②	③	④
4	J.F.ミレー	落ち穂拾い、夏	1853	油彩・麻布	38.3×29.3	①	②	③	④
5	J.F.ミレー	ダフニスとクロエ	1845頃	油彩・麻布	82.5×65.0	①	②	③	④
6	J.F.ミレー	鶏に餌をやる女	1853-56頃	油彩・板	73.0×53.5	①	②-※		④
7	J.F.ミレー	夕暮れに羊を連れ帰る羊飼	1857-60頃	油彩・板	53.5×71.0	①	②-※		④
8	J.F.ミレー	冬(凍えたキューピッド)	1864-65	油彩・麻布	205.0×112.0	①	②	③	④
9	J.F.ミレー	古い塀	1862頃	油彩・麻布	50.8×61.6	①	②	③	④
10	J.F.ミレー	グレヴィルの断崖	1870	油彩・麻布	24.0×33.0	①	②	③	④
11	J.F.ミレー	角笛を吹く牛飼	不詳	油彩・板	38.1×27.9	①	②-※		④
12	C.ロラン	木を伐り出す人々(川のある風景)	1637頃	油彩・麻布	79.0×115.6	①	②	③	④
13	ジョルジュ・ミシェル	風車のある風景	1820-40頃	油彩・麻布	60.4×86.5	①	②	③	④
14	J.V.ライスダール	ベントハイム城の見える風景	1655頃	油彩・麻布	63.5×68.0	①	②		
15	ジュール・デュプレ	森の中ー夏の朝	1840頃	油彩・麻布	95.5×76.0	①	②	③	④
16	ジュール・デュプレ	海景	1870頃	油彩・麻布	51.0×63.5	①	②	③	④
17	ディアズ・ド・ラ・ペーニャ	フォンテーヌブローの森	1862	油彩・麻布	51.0×71.0	①	②	③	④
18	C.E.ジャック	森の中の羊の群れ	1860頃	油彩・板	49.0×118.0	①	②	③	④
19	C.E.ジャック	森はずれの羊飼いの女	1870-80頃	油彩・麻布	81.2×66.3	①	②	③	④
20	C.トロワイヨン	近づく嵐	1859	油彩・麻布	113.0×145.0	①	②	③	④
21	Th.ルソー	フォンテーヌブローの森のはずれ	1866	油彩・麻布	76.0×95.0	①	②		
22	Th.ルソー	櫛のある風景	不詳	油彩・麻布	75.0×95.0			③	④
23	C.コロー	大農園	1860-65頃	油彩・麻布	55.2×80.8	①	②	③	④
24	G.クールベ	嵐の海	1865	油彩・麻布	54.0×73.0	①	②	③	④
25	G.クールベ	川辺の鹿	1864頃	油彩・麻布	73.0×92.0	①	②	③	④
26	C.F.ドービニー	オワーズ河の夏の朝	1869	油彩・麻布	68.6×100.3	①	②	③	④

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法(縦×横cm)	展示期間			
27	ヨハン・バルトールト・ヨンキント	ドルトレヒトの月明かり	1872頃	油彩・麻布	59.5×102.0	①	②	③	④
28	ジュリアン・デュプレ	牧草の取り入れ	1890-95頃	油彩・麻布	65.1×81.0	①	②	③	④
29	ジュール・ブルトン	朝	1888	油彩・麻布	101.6×76.2	①	②	③	④

水彩、素描、パステル

1	ジョセフ・マロード・ウィリアム・ターナー	インヴェラレイ城の見えるファイン湾	1802-05	水彩・紙	56.0×83.0			③	
2	J.F.ミレー	「箕をふるう人」の習作	1847頃	鉛筆・紙	31.0×22.0			③	
3	J.F.ミレー	「モンマルトルの土木工事人」の習作	1848-50	木炭・紙	36.0×22.0			③	
4	J.F.ミレー	「種をまく人」の習作	1849-50	黒、赤 チョーク、 木炭・紙	36.0×27.0			③	
5	J.F.ミレー	「夏・ケレス」の習作	1864頃	黒、赤鉛 筆・紙	34.0×22.5			③	
6	J.F.ミレー	雁を見上げる羊飼いの少女	1865	黒クレヨン、 パステル・紙	58.0×41.6				④
7	J.F.ミレー	鷺鳥を追う少女	1865頃	水彩・紙	24.5×37.8		②		
8	J.F.ミレー	ヴォージュ山中の牧場風景	1868	パステル・紙	70.0×95.0			③	

版画

1	J.F.ミレー	種をまく人	1851	リトグラフ	19.1×15.6			③	
2	J.F.ミレー	高い樹林	1851頃	リトグラフ	63.0×50.0			③	
3	J.F.ミレー	二人の農婦の習作	1853頃	インク・紙	19.6×15.0				④
4	J.F.ミレー	鷺鳥番の少女	1855-56	ドライポイント	14.5×12.2		②		
5	J.F.ミレー	落ち穂拾い(第1版)	1855-56	エッチング	19.0×25.2			③	
6	J.F.ミレー	落ち穂拾い(第2版)	1855-56	エッチング	19.0×25.2				④
7	J.F.ミレー	羊毛を梳く女	1855-56	エッチング	25.6×17.7				④
8	J.F.ミレー	羊飼いの女(大)	1862	エッチング	31.7×23.6				④
9	J.F.ミレー	母親の心づかい	1862	ガラス版画	28.5×22.5				④
10	J.F.ミレー	桶の水を空ける婦人	1862	ガラス版画	28.5×22.5				④
11	J.F.ミレー	仕事に出かける人	1863	エッチング	38.5×31.0				④

彫刻

1	M・マリーニ	ヘンリー・ムアの肖像	1962	ブロンズ	高さ30.7	①	②	③	④
2	須田悦弘	麦・蕎麦	2020	木に彩色		①			

コレクション展 B (テーマ展示室) 春季

● 展示期間：2025(令和7)年3月11日(火)～2025(令和7)年6月22日(日)

※は6月8日(日)まで

出品目録

作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法(縦×横cm)	寄贈者等
「花めぐりー春から初夏へ」					
※ 望月春江	寒月梅花	1976	紙本着色	160.0×200.0	作者寄贈
※ 妣田圭子	紅白梅図屏風	1980	草絵貼屏風	149.0×535.8	作者寄贈
※ 加倉井和夫	春朧	1986	紙本着色	134.8×205.0	
※ 心海	花鳥図屏風	不詳	紙本着色	152.0×173.0	寄託
※ 穴山勝堂	四季花鳥図 春/夏	不詳	紙本着色	180.0×95.0	穴山徹氏寄贈
※ 望月春江	菖蒲郷	1971	紙本着色	220.0×126.5	作者寄贈
※ 望月春江	惜春	1978	紙本着色	180.0×252.0	望月芳子氏寄贈
※ 望月定夫	大手毬咲く	1980	紙本着色	185.0×158.0	作者寄贈
※ 佐野智子	花の風景	1990	油彩・麻布	130.3×130.3	
※ 小枝繁昭	花 2003 山梨 アネモネ	2003	ラムダプリント・紙	85.0×85.0	作者寄贈
※ 小枝繁昭	花 2003 山梨 椿	2003	ラムダプリント・紙	85.0×85.0	ブルガリア現代版画と日本展実行委員会寄贈
※ 小枝繁昭	花 2003 山梨 百合	2003	ラムダプリント・紙	85.0×85.0	ブルガリア現代版画と日本展実行委員会寄贈
「萩原英雄と春への賛歌」					
萩原英雄	自画像	1998	油彩・麻布	41.0×31.5	作者寄贈
萩原英雄	妻の像	1946	油彩・紙	13.0×8.0	作者寄贈
萩原英雄	父の像	1980	油彩・麻布	65.4×45.6	作者寄贈
萩原英雄	母の像	1980	油彩・麻布	44.0×31.2	作者寄贈
萩原英雄	Portrait of my son Jo	1947	パステル・紙	27.3×19.3	作者寄贈
幼い頃の思い出ー雪の記憶					
萩原英雄	朝鮮の思い出	1963	油彩・麻布	38.0×46.0	作者寄贈
萩原英雄	雪の夜の思い出	1974	油彩・麻布	31.8×41.0	作者寄贈
萩原英雄	雪国の思い出	1972	油彩・麻布	53.0×65.2	作者寄贈
萩原英雄	雪の記憶 (1)	1959	木版	38.0×53.5	作者寄贈
萩原英雄	雪の記憶 (2)	1959	木版	63.0×41.0	作者寄贈
萩原英雄	「雪降れば淡い光を投げかける街灯のように遠い思い出」	1993	紙本墨書淡彩	27.0×24.0	作者寄贈
萩原英雄を取り巻く人々ー友人、作家仲間					
萩原英雄	天城の像	1983	油彩・麻布	52.0×44.0	作者寄贈
萩原英雄	長谷川利行像	1983	油彩・麻布	80.3×65.2	作者寄贈
萩原英雄	利行像	1983	油彩・麻布	45.5×38.0	作者寄贈
萩原英雄	N君の像	1958	黒チョーク・紙	34.0×24.0	作者寄贈
萩原英雄	杉本君像	1958頃	木炭・紙	56.5×45.0	作者寄贈
春への賛歌					
萩原英雄	春の雪	1959	木版	30.0×45.0	作者寄贈
萩原英雄	萌芽 (1)	1959	木版	55.0×38.0	作者寄贈

作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法(縦×横cm)	寄贈者 等
萩原英雄	花園 (A)	1983	木版	22.0×30.0	作者寄贈
萩原英雄	「三十六富士」石和早春	1981 - 1986	木版	47.0×35.0	
萩原英雄	「三十六富士」春日遅々	1981 - 1986	木版	35.0×47.0	
萩原英雄	「三十六富士」春日遅々版本	1981 - 1986	ベニヤ板		萩原襄氏寄贈
萩原英雄	「三十六富士」花霞	1981 - 1986	木版	35.0×47.0	
萩原英雄	「三十六富士」鯉泳ぐ	1981 - 1986	木版	47.0×35.0	
萩原英雄	「三十六富士」箆坂慕情	1981 - 1986	木版	35.0×47.0	
短歌・俳句					
萩原英雄	「一芽立ち二芽立ちしていつしかに ためらうごとく春はくるなり」	1993	紙本墨書淡彩	27.5×24.5	作者寄贈
萩原英雄	「うめつばき連翹木蓮花うつぎ十坪 の春に吾は酔うなり」	1993	紙本墨書淡彩	27.0×24.0	作者寄贈
萩原英雄	「わた帽子いつしか脱ぎて木蓮の 白き花びらほころび初めぬ」	1993	紙本墨書淡彩	27.0×24.0	作者寄贈
萩原英雄	「山里をめぐりし春はうらうらと雑 木交じりし山桜咲く」	1993	紙本墨書淡彩	27.0×24.0	作者寄贈
萩原英雄	「春の夜の星の涙の一雫空に向か いて花水木咲く」	1993	紙本墨書淡彩	25.0×17.3	作者寄贈
萩原英雄	「春の雨音もなくふる夜半にして訪 うごとく雨だれのうつ」	1993	紙本墨書淡彩	27.0×24.0	作者寄贈
萩原英雄	「美しき人に逢いたる後のごと心な ごめる春の宵闇」	1992	紙本墨書	33.0×48.5	作者寄贈
Pick up ART					
萩原英雄	EXPO'70	1969	木版	34.0×54.0	作者寄贈
	『ルック』誌	1969年10月 21日号			萩原英雄氏寄贈
「令和5・6年度新収蔵作品」					
山田敬中	唐美人	1914	絹本着色	238.0×120.0	山田敬伸氏寄贈
穴山勝堂	鏡	1947	紙本着色	154.0×120.0	三原雅子氏寄贈
穴山勝堂	夕富士	1961	紙本着色	66.0×96.0	三原雅子氏寄贈
穴山勝堂	スピード試作	1964	紙本着色	86.0×115.0	穴山勝一氏寄贈
穴山勝堂	富士	1965	紙本着色	134.0×83.0	穴山勝一氏寄贈
穴山勝堂	富士賛歌	1967	紙本着色	66.0×61.0	穴山勝一氏寄贈
大河内夜江	耶馬溪図帖	1934	紙本墨画淡彩	30.0×21.0	佐々木純子氏寄贈
中澤年章	仮名手本忠臣蔵	1864-1921	木版	21.0×33.0	知和晴美氏寄贈
二代目 林茂松	深海の遺産、91-10	1991	陶	H70.0×W106.0 ×D14.5	林弘記氏寄贈
二代目 林茂松	深海の遺産、2006-10	2006	陶	H69.0×W24.5 ×D24.5	林弘記氏寄贈
土屋義郎	野花	1926	油彩・板	25.5×33.5	個人寄贈
土屋義郎	あんずのある前庭	1955	油彩・麻布	73.0×61.0	個人寄贈
米倉壽仁	襟裳岬	不詳	油彩・板	23.5×33.0	百瀬良彦氏寄贈
濱田稔	残体	1958	油彩・麻布	91.0×73.0	濱田玲児氏寄贈
濱田稔	石化	1958	油彩・麻布	91.0×116.0	濱田玲児氏寄贈
濱田稔	(不詳)	1980-82	油彩・麻布	53.0×65.0	濱田玲児氏寄贈
田邊喜規	ブルージュ風景	1929	水彩・紙	48.0×64.5	塚本喜代美氏寄贈
田邊喜規	パリ (セーヌ河畔)	1929	水彩・紙	48.0×63.0	塚本喜代美氏寄贈
田邊喜規	ブルージュ	1929	水彩・紙	48.0×63.0	塚本喜代美氏寄贈

作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法(縦×横cm)	寄贈者 等
田邊喜規	塔のある風景	不詳	油彩・麻布	53.0×45.5	塚本喜代美氏寄贈
田邊喜規	白い家のある道	不詳	油彩・麻布	60.5×72.5	塚本喜代美氏寄贈
萩原英雄	〈ギリシャ神話〉「メデューサ」下絵	1965	鉛筆・紙	38.1×46.0	萩原襄氏寄贈
萩原英雄	〈ギリシャ神話〉「メデューサ」版木	1965	ベニヤ板		萩原襄氏寄贈
萩原英雄	〈三十六富士〉「夏草夏雲」下絵	1981-86	水彩、鉛筆・紙	38.1×46.0	萩原襄氏寄贈
萩原英雄	〈拾遺富士〉「暮れなずむ」下絵	1990-91	水彩、鉛筆・紙	38.1×46.0	萩原襄氏寄贈
萩原英雄	「悪の華-鉄線花-」版木	1960	ベニヤ板、紙、紐		萩原襄氏寄贈
萩原英雄	「お伽の国 No.15」版木	1967	ベニヤ板、おがくず		萩原襄氏寄贈
半田強	流転	1982-83	油彩・麻布	130.3×162.2	作者寄贈
半田強	豊饒礼賛	2014-15	油彩・麻布	130.3×291.0	作者寄贈
阪本トクロウ	デイライト	2007	アクリル ガッシュ・雲肌麻紙	162.0×130.3	石原薫氏寄贈
浅井裕介	大地と人	2023	山梨の土、アクリルレジン、釉薬、木炭・パネル	131.5×111.5	山梨県立美術館協力会寄贈
浅井裕介	大地と獣	2023	山梨の土、アクリルレジン、釉薬、木炭・パネル	131.5×111.5	山梨県立美術館協力会寄贈
たかくらかずき	仮現和合図	2023	UVプリント・焼箔	162.0×130.0	作者寄贈
たかくらかずき	善悪和合図	2023	UVプリント・焼箔	162.0×65.5	作者寄贈
たかくらかずき	生死和合図	2023	UVプリント・焼箔	162.0×65.5	作者寄贈
たかくらかずき	十道祖神図	2023	UVプリント・焼箔	23.0×230.0	作者寄贈
参考出品					
米倉壽仁	スケッチ	1952			米倉壽士氏寄贈
萩原英雄	メデューサ(『ギリシャ神話』より)	1957-65	木版	53.0×38.0	
萩原英雄	悪の華-鉄線花	1960	木版	61.0×42.0	作者寄贈
萩原英雄	お伽の国 No.15	1967	木版	50.0×80.0	作者寄贈

コレクション展 B (テーマ展示室) 夏季

● 展示期間：2025(令和7)年6月24日(火)～9月7日(日)

※は6月10日(火)～8月31日(日)

出品目録

作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法(縦×横cm)	寄贈者等
「夏の情景」					
※ 山田申吾	海辺三景一岩	1941	紙本着色	120.0×91.0	山田敬伸氏寄贈
※ 山田申吾	海辺三景一流木	1941	紙本着色	130.0×241.0	山田敬伸氏寄贈
※ 山田申吾	海辺三景一砂	1941	紙本着色	120.0×91.0	山田敬伸氏寄贈
※ 穴山勝堂	土用波	1939	絹本着色	193.5×161.0	安田みね子氏寄贈
※ 近藤乾年	浜働き	1934頃	紙本着色	176.0×194.0	小穴笑子氏寄贈
※ 望月春江	白雨	1937	紙本着色	217.0×192.5	作者寄贈
※ 川瀬巴水	旅みやげ第二集 甲州梁川	1921	木版	36.5×24.1	
※ 川瀬巴水	身延山久遠寺	1930	木版	36.3×24.1	
※ 川瀬巴水	河口湖(松)	1935	木版	28.5×37.5	
※ 笠松紫浪	紀の国坂 梅雨	1938	木版	41.3×25.8	笠松喬介・充子・三保子氏寄贈
※ 笠松紫浪	初夏の竹	1954	木版	36.6×24.6	笠松喬介・充子・三保子氏寄贈
※ 笠松紫浪	弁慶橋 初夏	1938	木版	36.3×24.0	笠松喬介・充子・三保子氏寄贈
※ 笠松紫浪	鎌倉 稲村ヶ崎	1956	木版	36.0×24.4	笠松喬介・充子・三保子氏寄贈
※ 伊藤孝之	大井川初夏	1953	木版	24.2×36.5	伊藤倫氏寄贈
※ 伊東深水	五月雨(現代美人集第一輯の内)	1931	木版	43.0×27.8	小河てる氏寄贈
※ 伊東深水	蚊帳(現代美人集第一輯の内)	1929	木版	43.2×28.5	小河てる氏寄贈
※ 伊東深水	丸髻	1924	木版	39.7×27.3	小河てる氏寄贈
※ 伊東深水	蛭狩(現代美人集第一輯の内)	1931	木版	41.4×25.9	
※ 伊東深水	蛭(現代美人集第二輯の内)	1934	木版	44.1×28.3	小河てる氏寄贈
※ 伊東深水	洗ひ髪(現代美人集第二輯の内)	1936	木版	40.2×26.5	
※ 橋口五葉	夏衣の女	1920	木版	43.6×27.8	清水政治氏寄贈
※ 橋口五葉	髪梳ける女	1920	木版	43.1×31.5	清水政治氏寄贈
※ 萩原英雄	〈三十六富士〉夏草夏雲	1981-86	木版	35.0×47.0	
※ 萩原英雄	〈三十六富士〉雨後幻想	1981-86	木版	35.0×47.0	
※ 萩原英雄	〈三十六富士〉高速終点近し	1981-86	木版	35.0×47.0	
※ 萩原英雄	〈三十六富士〉二合目快晴	1981-86	木版	35.0×47.0	
「戦後80年 戦争と日々」					
ケーテ・ コルヴィッツ	自画像	1927	リトグラフ	32.4×30.0	
ケーテ・ コルヴィッツ	青い布を羽織った女性労働者の胸像	1903	リトグラフ	35.2×24.6	
ケーテ・ コルヴィッツ	鋤をひく人(『農民戦争』第1葉)	1906	エッチング	31.8×45.2	
ケーテ・ コルヴィッツ	鎌を研ぐ(『農民戦争』第8葉)	1905	エッチング、アク アチント	29.8×29.8	

作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法(縦×横cm)	寄贈者 等
ケーテ・ コルヴィッツ	凌辱(『農民戦争』第2葉)	1907	エッチング、アク アチント	30.8×52.8	
ケーテ・ コルヴィッツ	アーチの下での武装 (『農民戦争』第4葉)	1906	エッチング、アク アチント	49.7×32.9	
ケーテ・ コルヴィッツ	突撃(『農民戦争』第5葉)	1903	エッチング、アク アチント	50.7×59.2	
ケーテ・ コルヴィッツ	子供を抱いて眠る母	1929	木版	30.0×35.9	
ケーテ・ コルヴィッツ	囚われた人々 (『農民戦争』第7葉)	1908	エッチング	32.7×42.3	
ケーテ・ コルヴィッツ	志願兵たち(『戦争』第2葉)	1921-23	木版	35.0×49.0	
ケーテ・ コルヴィッツ	死の膝に抱かれた少女 (『死』第2葉)	1934	リトグラフ	43.4×37.8	
オノレ・ドーミエ	ナポリにて 最良の王たる者は国家 を秩序によって統治する(『時事問 題』より)	1851	リトグラフ	21.5×28.0	
オノレ・ドーミエ	新型銃発明者の夢 エギュイユにて「諸 聖人の祝日」に(『時事問題』より)	1866	リトグラフ	23.3×19.9	
オノレ・ドーミエ	その場限りの口づけ(『時事問題』より)	1867	リトグラフ	23.5×20.5	保坂和彦氏寄贈
オノレ・ドーミエ	ヨーロッパの均衡(『時事問題』より)	1867	リトグラフ	25.4×21.0	保坂和彦氏寄贈
オノレ・ドーミエ	人間のピラミッド(『時事問題』より)	1867	リトグラフ	26.4×21.4	保坂和彦氏寄贈
オノレ・ドーミエ	呪われた年(『時事問題』より)	1872	リトグラフ	23.8×20.3	保坂和彦氏寄贈
オノレ・ドーミエ	1870年のある風景 (『戒厳令下シリーズ』より)	1870-71	リトグラフ	22.5×17.8	保坂和彦氏寄贈
オノレ・ドーミエ	恐るべき遺産(『戒厳令下シリーズ』 より)	1870-71	リトグラフ	23.0×18.0	保坂和彦氏寄贈
オノレ・ドーミエ	ナポレオンの小公園 (『戒厳令下シリーズ』より)	1870-71	リトグラフ	21.5×18.0	保坂和彦氏寄贈
米倉壽仁	早春	1940	油彩・麻布	162.1×130.3	作者寄贈
米倉壽仁	霧	1941	油彩・麻布	94.3×90.5	作者寄贈
米倉壽仁	スケッチブック(満洲、朝鮮)	1935、1943			米倉壽士氏寄贈
浜田知明	初年兵哀歌(歩哨)	1951	エッチング、アク アチント	30.4×21.5	
浜田知明	初年兵哀歌 (ぐにゃぐにゃとした太陽が昇る)	1951	エッチング	8.9×17.6	
浜田知明	初年兵哀歌(陣地)	1953	エッチング、アク アチント	20.0×15.5	
浜田知明	初年兵哀歌 風景(一隅)	1954	エッチング、アク アチント	18.7×24.0	
浜田知明	初年兵哀歌(歩哨)	1954	エッチング、アク アチント	23.8×16.2	
深沢幸雄	自画像	1945	鉛筆・紙	51.0×33.5	作者寄贈
深沢幸雄	本郷2丁目の焼跡	1945	コンテ・紙	41.0×57.0	作者寄贈
深沢幸雄	材木屋(荻窪にて)	1948	コンテ・紙	49.8×75.0	作者寄贈
深沢幸雄	ノート『坑道陣地』『寒村篇』	1945			作者寄贈
深沢幸雄	廃墟の貌	1955	エッチング	17.5×10.0	作者寄贈
深沢幸雄	餓鬼	1955	エッチング、アク アチント、ルー レット	23.6×16.6	作者寄贈

作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法(縦×横cm)	寄贈者 等
深沢幸雄	骨疾E	1955	エッチング、アクアチント	25.5×18.3	作者寄贈
深沢幸雄	骨疾F	1955	エッチング、アクアチント	24.1×18.4	作者寄贈
深沢幸雄	めし	1956	メゾチント	24.1×18.0	作者寄贈
池田龍雄	地圧(化物の系譜シリーズ)	1955	鉛筆、インク、水彩・紙	22.0×36.7	
池田龍雄	谷間(化物の系譜シリーズ)	1955	インク、コンテ・紙	27.5×36.5	
池田龍雄	湿地帯(化物の系譜シリーズ)	1956	木炭、鉛筆、インク・紙	36.7×28.0	
池田龍雄	出口のない貌	1959	インク、コンテ、油彩・紙	136.0×91.0	
高山良策	自画像	1943	鉛筆、水彩・紙	39.5×27.0	高山利子氏寄贈
高山良策	傘のある風景	1951	油彩・麻布	53.0×88.0	高山利子氏寄贈
秋山令一	象徴とイメージ 近づけない時の流れに I	1998	複合技法	187.0×719.0	山梨県立美術館協力会寄贈
柳幸典	PACIFIC K100B-M2	1997	ブロンズ、ステール	64.8×31.9	『現代美術百貨展』実行委員会寄贈
柳幸典	PACIFIC K100B-M1	1997	ブロンズ、ステール	101.2×37.8	『現代美術百貨展』実行委員会寄贈
柳幸典	PACIFIC K100B-M4	1997	ブロンズ、ステール	47.9×40.2	『現代美術百貨展』実行委員会寄贈
日々を描く					
桑原福保	或る日の家族	1943	油彩・麻布	116.7×90.9	桑原万里子氏寄贈
土屋義郎	机上のざくろ	1942	油彩・麻布	65.2×90.9	作者寄贈
小山周次	甲州ぶどう	1942	水彩・紙	33.0×52.5	小山新氏寄贈
川崎小虎	初夏の林(甲州風景シリーズ)	1945-1950	絹本着色	54.0×48.0	川崎清子氏寄贈
川崎小虎	初夏の丘(甲州風景シリーズ)	1945-1950	絹本着色	47.0×58.0	川崎清子氏寄贈
川崎小虎	初夏の楡形山(甲州風景シリーズ)	1945-1950	絹本着色	51.0×58.0	川崎清子氏寄贈
川崎小虎	水辺初夏(甲州風景シリーズ)	1945-1950	紙本着色	52.0×55.0	川崎清子氏寄贈
川崎小虎	山の朝日(甲州風景シリーズ)	1945-1950	紙本着色	51.0×59.0	川崎清子氏寄贈
川崎小虎	裏町(甲州風景シリーズ)	1945-1950	紙本着色	60.0×58.0	川崎清子氏寄贈
川崎小虎	収穫A(甲州風景シリーズ)	1945-1950	紙本着色	49.0×37.0	川崎清子氏寄贈
川崎小虎	収穫B(甲州風景シリーズ)	1945-1950	紙本着色	49.0×29.0	川崎清子氏寄贈
川崎小虎	つるし柿(甲州スケッチシリーズ)	1945-1950	鉛筆、淡彩・紙	27.0×39.0	川崎清子氏寄贈
川崎小虎	行水(甲州風景シリーズ)	1945-1950	紙本墨画	31.0×44.0	川崎清子氏寄贈
川崎小虎	馬耕田(甲州風景シリーズ)	1945-1950	紙本墨画	44.0×57.0	川崎清子氏寄贈
川崎小虎	堤(甲州風景シリーズ)	1945-1950	紙本墨画	45.0×69.0	川崎清子氏寄贈
近藤浩一路	葡萄村	1947	紙本墨画淡彩	36.3×41.0	近藤きよ氏寄贈
近藤浩一路	甲斐駒ヶ岳	1944頃	紙本墨画淡彩	46.0×50.7	
尾澤真蔵	大菩薩への峠道	1940	水彩・紙	32.0×50.0	作者寄贈
小林萬吾	富士	1941	油彩・麻布	53.0×72.7	
望月春江	富士山	1943-1944	紙本墨画	42.0×58.0	朝比奈ふさ氏寄贈

コレクション展 B (テーマ展示室) 秋季

● 展示期間：2025(令和7)年9月9日(火)～12月14日(日)

※は9月2日(火)～12月7日(日)

出品目録

作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法(縦×横cm)	寄贈者 等
「秋の情景」					
野口小蘋	秋山暮靄図 (前期展示：9/2～10/19)	明治後期	絹本着色	124.0×50.0	
野口小蘋	秋草七種図 (後期展示：10/21～12/7)	明治後期- 大正前期	絹本着色	134.5×56.5	寄託
※ 中丸精十郎	秋邨暮靄図	1863	紙本着色	152.3×328.4	関本勘次氏寄贈
※ 穴山勝堂	獣王図	1930	紙本着色	184.0×450.0	
※ 望月春江	花(ダリア)	1951	紙本着色	149.5×154.5	
大正新版画 (秋の景色)					
※ 橋口五葉	神戸の宵月	1920	木版	28.2×44.6	清水政治氏寄贈
※ 橋口五葉	鴨	1920	木版	24.8×38.1	清水政治氏寄贈
※ 川瀬巴水	山中湖不動坂の秋	1936	木版	28.7×39.9	
※ 川瀬巴水	鳴沢の富士(青い山)	1936	木版	24.1×36.1	
※ 川瀬巴水	平野の秋	1945	木版	33.3×47.0	
※ 川瀬巴水	舟津の秋	1953	木版	24.0×36.4	
※ 伊藤孝之	奥入瀬晩秋 (国立公園十和田湖ノ内)	1949	木版	23.8×36.3	伊藤倫氏寄贈
※ 伊藤孝之	弘前城之秋	1950	木版	24.1×36.6	伊藤倫氏寄贈
※ 笠松紫浪	行徳今井橋の深秋 (東京近郊八景の内)	1939	木版	24.1×36.7	笠松喬介・充子・三保子氏寄贈
※ 笠松紫浪	秋立つ町 糸魚川	1948	木版	41.3×25.8	笠松喬介・充子・三保子氏寄贈
※ 笠松紫浪	日光 華嚴の瀧	1952	木版	36.3×24.1	笠松喬介・充子・三保子氏寄贈
※ 笠松紫浪	鎌倉 鶴岡八幡	1953	木版	36.4×24.0	笠松喬介・充子・三保子氏寄贈
※ 笠松紫浪	御岳昇仙峡	1954	木版	36.6×24.4	笠松喬介・充子・三保子氏寄贈
秋の実り					
※ 神中糸子	静物	1915-17	油彩・麻布	50.0×60.5	菊池薫氏寄贈
※ 前田青邨	静物	不詳	紙本着色	37.3×47.4	平林節氏寄贈
※ 小出楯重	静物	1930	油彩・ガラス	24.3×29.8	
※ 近藤浩一路	皿の葡萄	1950	紙本墨画	48.0×62.5	近藤きよ氏寄贈
コレクションに見る20世紀の美術					
レオン＝オー ギュスタン・レル ミット	洗濯をする女たち	1910	油彩・麻布	54.6×70.8	
カミーユ・ピサロ	鋤をひく男	1901	リトグラフ	23.4×15.2	山梨県立美術館協力会寄贈
ピエール＝オー ギュスト・ルノ ワール	ジャンヌ・ボドーの肖像	1896	油彩・麻布	24.0×19.0	寄託

作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法(縦×横cm)	寄贈者 等
アンリ・マティス	女の顔(『VISAGES』より)	1946	リトグラフ	33.7×25.3	萩原コレクション
アンリ・マティス	女の顔(『VISAGES』より)	1946	リトグラフ	33.7×25.3	萩原コレクション
アンリ・マティス	女の顔(『VISAGES』より)	1946	リトグラフ	33.7×25.3	萩原コレクション
ジョルジュ・ルオー	生きるとは辛い業…(『ミセレーレ』より)	1922	エリオグラヴュール、アクアチント、ルーレット、他	48.2×36.3	萩原コレクション
ジョルジュ・ルオー	イエスは辱められ…(『ミセレーレ』より)	1922	エリオグラヴュール、アクアチント、ルーレット、他	55.0×40.1	萩原コレクション
ジョルジュ・ルオー	われを信ずる者は、死すとも生きん(『ミセレーレ』より)	1923	エリオグラヴュール、アクアチント、ドライポイント	57.8×43.6	萩原コレクション
パブロ・ピカソ	老王	1959	リトグラフ	65.0×50.0	萩原コレクション
マルク・シャガール	10. かくしてモーセは手を海に差し出した…すると海水は戻り、戦車と騎兵、彼らを追って海に入ったファラオの軍隊をも、ことごとく飲み込んだ。(『出エジプト記』より)	1966	リトグラフ	50.0×37.0	萩原コレクション
マルク・シャガール	11. そしてアロンの姉にして女預言者ミリヤムはタンバリンを手に取った。彼女に続き、女たちは皆タンバリンを手に持ち、輪になって躍りながら姿を見せた。(『出エジプト記』より)	1966	リトグラフ	50.0×37.0	萩原コレクション
マルク・シャガール	14. モーセはかくして、民の長老たちを呼び集め、神が彼に命じた言葉を一つ残らず彼らに語り聞かせた。(『出エジプト記』より)	1966	リトグラフ	50.0×37.0	萩原コレクション
ジョアン・ミロ	アイルランドの老人	1969	エッチング、アクアチント、カーボランダム	106.0×70.5	
アントニ・クラベ	テーブルと布袋	1971	エッチング、カーボランダム	85.0×54.0	
アントニ・タビエス	追憶	1969	エッチング	35.0×50.0	
エンリク・コルメンザーナ	無題Ⅱ	1994	エッチング・複合技法	100.0×59.0	
梅原龍三郎	ばら	1973	油彩・麻布	100.0×80.3	小佐野政邦氏寄贈
里見勝蔵	ペール・リュノアの家	1958	油彩・麻布	72.7×100.0	山内摩耶子氏寄贈
安井曾太郎	自宅の離れ婦人像(良子さん)	1949	鉛筆、水彩・紙	30.5×22.5	
須田国太郎	白ばら	1950頃	墨彩・色紙	27.0×24.0	
須田国太郎	鷺	1950頃	墨彩・色紙	27.0×24.0	
須田国太郎	鷺	1950頃	鉛筆・紙	21.5×24.0	
紙 その豊かな表現					
近藤浩一路	九体寺路	1928	紙本墨画淡彩	45.0×54.2	近藤噉氏寄贈
ポール・ホリウチ	作品 No.1	1987	コラージュ、アクリル絵具・麻布	76.0×93.8	バナデッド・ホリウチ氏、ポール・ホリウチ・ジュニア氏寄贈
小林正治	ある断層	1963	ポスターカラー、水彩、コラージュほか・紙	91.5×49.0	小林美弥子氏寄贈
増田実	KODAMA(木霊)	1997	パステル・紙	48.0×180.0	平野和子氏寄贈

作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法(縦×横cm)	寄贈者 等
中込靖成	Landscape #64	2003	アクリル 絵の具、油彩・紙	61.0×188.0	作者寄贈
阪本トクロウ	アフターイメージ	2009	アクリル 絵の具・雲肌麻紙	162.0×97.0	作者寄贈
石田泰道	環風景	2003	コンテ、染料、パラフィン、他・和紙	256.0×185.0	作者寄贈
銅版画の緻密な宇宙					
ハンス・ゼーバルト・ペーハム	アダムとイヴ	1543	エンブレイヴィング	5.5×7.8	山梨県立美術館協定会寄贈
フランシスコ・ホセ・デ・ゴヤ・イ・ルシエンテス	カルロス5世、バリャドリード闘牛場で、槍で牡牛を突く(『闘牛技』より)	1815-16	エッチング、アクアチント、他	20.7×30.8	
フランシスコ・ホセ・デ・ゴヤ・イ・ルシエンテス	有名なピカドール、フェルナンド・デル・トーロは突き棒で猛牛にしかける(『闘牛技』より)	1815-16	エッチング、アクアチント、他	20.4×32.0	
ウィリアム・ブレイク	ヨブと彼の家族(『ヨブ記』の挿絵より)	1823-26	エンブレイヴィング	18.4×15.1	
ウィリアム・ブレイク	ヨブの子どもたち全員の絶命(『ヨブ記』の挿絵より)	1823-26	エンブレイヴィング	20.0×15.5	
シャルル・メリヨン	時計塔(『パリの銅版画』より)	1852	エッチング、エンブレイヴィング	24.6×13.1	山梨県立美術館協定会寄贈
シャルル・メリヨン	ノートルダムの後陣(『パリの銅版画』より)	1854	ドライポイント	16.5×30.0	山梨県立美術館協定会寄贈
シャルル=フランソワ・ドービニー	アトリエ船(版画集『船の旅』より)	1862	エッチング	11.1×15.5	
シャルル=フランソワ・ドービニー	蒸気船(版画集『船の旅』より)	1862	エッチング	10.2×13.5	
エドゥアル・マネ	ローラ・ド・ヴァランス(『腐食銅版画家協会:近代の腐食銅版画』より)	1863	エッチング	23.0×15.7	
シャルル=エミール・ジャック	J.ルケ氏、腐食銅版画家協会会長(『腐食銅版画家協会:近代の腐食銅版画』より)	1866	エッチング	25.4×20.4	
ウジェーヌ・ドラクロワ	鍛冶屋(『腐食銅版画家協会:近代の腐食銅版画』より)	1863	エッチング	15.9×9.6	
長谷川潔	蝶のいる静物(『長谷川潔の肖像』より)	1963	メゾチント	21.0×17.0	萩原コレクション
長谷川潔	ニレの老樹(『長谷川潔の肖像』より)	1963	エッチング	21.0×17.0	萩原コレクション
菅野陽	廃墟の幽霊	1955	エッチング	13.3×11.2	深沢コレクション
瑛九	愛情	1953	エッチング、アクアチント	11.8×9.5	深沢コレクション
駒井哲郎	時間の玩具	1970	アクアチント	39.5×24.0	萩原コレクション
浜口陽三	貝	1960	メゾチント	29.5×44.3	萩原コレクション
秀島由己男	melon メロン(『静物考』より)	1985	メゾチント	17.1×17.4	山梨県立美術館協定会寄贈
秀島由己男	cabbage キャベツ(『静物考』より)	1985	メゾチント	17.7×17.0	山梨県立美術館協定会寄贈
一原有徳	「一原有徳の版・1」RIW59(6)	1971	銅版	39.5×32.0	山梨県立美術館協定会寄贈
池田良二	微粒子の伝言	1992	フォトエッチング、エッチング、アクアチント、他	57.0×85.0	保坂幹雄氏寄贈

作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法(縦×横cm)	寄贈者 等
齊藤武士	MEMORY-82-III	1982	エッチング、 アクアチント	45.0×56.0	
齊藤武士	MEMORY-84-I	1984	エッチング、 アクアチント	45.0×56.0	
深沢幸雄	星屑劇場	1983	メゾチント、 アクアチント	74.0×49.5	田中陽子氏寄贈
深沢幸雄	憂愁市街（迷路）	1985	メゾチント、 アクアチント、 エッチング	74.0×49.6	作者寄贈

コレクション展 B（テーマ展示室） 冬季

● 展示期間：2025(令和7)年12月16日(火)～2026(令和8)年3月8日(日)

※は12月9日(火)～2026(令和8)年3月8日(日)

出品目録

作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法(縦×横cm)	寄贈者 等
「冬の情景」					
※ 古屋正壽	宿雪	1937	紙本着色	243.0×181.0	古屋昭寿氏寄贈
※ 山田申吾	霜晨	1936	紙本着色	123.0×242.0	
※ 川崎鈴彦	海鳴り	1987	紙本着色	173.0×216.0	作者寄贈
※ 河野双岑	小正月	1978	紙本着色	123.6×163.3	作者寄贈
※ 野田修一郎	雪の日	1982	紙本着色	95.0×124.0	
※ 野田修一郎	雪原	1982	紙本着色	89.4×145.5	野田倫也氏寄贈
※ 川瀬巴水	河口湖の冬	1937	木版	18.0×24.9	
※ 川瀬巴水	富士の雪晴（忍野付近）	1952	木版	33.4×46.4	
※ 川瀬巴水	上高地大正池	不詳	木版	36.2×29.8	折井正則氏寄贈
※ 笠松紫浪	雪の塔 上野東照宮	1950	木版	36.5×24.3	笠松喬介・充子・三保子氏寄贈
※ 笠松紫浪	護国寺鐘楼（雪晴れ）	1933	木版	36.2×24.1	笠松喬介・充子・三保子氏寄贈
※ 笠松紫浪	相生松（北信濃 往郷村）	1950	木版	36.5×24.4	笠松喬介・充子・三保子氏寄贈
※ 笠松紫浪	信州 渋温泉	1948	木版	36.5×24.3	笠松喬介・充子・三保子氏寄贈
※ 笠松紫浪	狸	1955	木版	36.5×24.4	笠松喬介・充子・三保子氏寄贈
※ 橋口五葉	京都三條大橋	1920	木版	28.3×44.5	清水政治氏寄贈
※ 伊東深水	社頭の雪（現代美人集第一輯の内）	1930	木版	43.2×27.4	小河てる氏寄贈
※ 伊東深水	こたつ（現代美人集第二輯の内）	1931	木版	41.3×25.8	
※ 伊藤孝之	雪だるまをつくる東北地方の子供たち	1950	木版	24.3×36.9	伊藤倫氏寄贈
※ 伊藤孝之	馬ぞり	不詳	木版	24.2×36.8	伊藤倫氏寄贈
※ 伊藤孝之	スキーを習う子供たち	不詳	木版	24.0×36.6	伊藤倫氏寄贈
※ 伊藤禎朗	雪の公園	1984	フレスコ	65.5×91.0	作者寄贈
※ 大場芳男	雪の構内	1974	水彩・紙	96.0×129.0	大場さち子氏寄贈

作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法(縦×横cm)	寄贈者 等
※ 三井桂	雪の朝	2005	水彩・紙	112.2×145.4	作者寄贈
「具象と抽象のあわい」					
室内・静物					
桑原福保	画室の朝	1949	油彩・麻布	116.7×90.9	桑原梅子氏寄贈
鈴木誠	裸婦	1954	油彩・麻布	116.0×90.5	
土屋義郎	あざみ	1975	油彩・麻布	90.9×60.6	作者寄贈
マルク・シャガール	花束	1911	油彩・麻布	81.5×64.8	石原なち子氏寄贈
鈴木千久馬	花	1958	油彩・麻布	100.0×72.7	久米庸江氏寄贈
遠藤享	SPACE&SPACE/PENCIL 6	1985	オフセット・リトグラフ	45.0×45.0	
遠藤享	SPACE&SPACE/APPLE V	1986	オフセット・リトグラフ	45.0×45.0	
人物・動物					
石原長光	裸婦 III	1921-23	油彩・麻布	61.5×51.0	青山道子氏寄贈
ヘンリ・ムーア	空を背景にして横たわる人体	1973	リトグラフ	46.0×39.0	石井己未雄氏寄贈
ヘンリ・ムーア	多勢の横たわる人体	1973	リトグラフ	48.0×40.0	石井己未雄氏寄贈
小林正治	下り階段	2001	複合技法	183.0×116.0	小林美弥子氏寄贈
濱田稔	悪日	1957	油彩・麻布	90.0×60.0	濱田玲児氏寄贈
吉野純	ロマネスクの図像 I	1978	油彩・麻布	145.5×112.0	作者寄贈
遠藤竜太	Physica / sensus II	2006	リトグラフ、デジタルプリント	101.0×74.5	寄託（文化庁）
深沢幸雄	白い抒情の人	1992	メゾチント、アクアチント、エッチング	74.5×49.5	
須田寿	白い馬	1972	油彩・麻布	80.3×60.6	作者寄贈
鳥居雅隆	飛翔	1989	油彩・麻布	130.0×160.0	鳥居みさ子氏寄贈
風景					
田中常太郎	ガスタンクのある風景	1953	油彩・麻布	65.0×80.0	田中醇治氏寄贈
中川一政	富士川風景	1936	油彩・麻布	80.5×117.0	都築正治氏寄贈
竹田稔	街	1963	油彩・麻布	130.3×162.1	竹田良江氏寄贈
手澤宗信	春待つ耕地	1986	油彩・麻布	130.3×80.3	手澤照子氏寄贈
佐野智子	原	1966	油彩・麻布	130.3×193.9	
石村実	Landscape	2008	油彩・麻布	72.7×90.9	作者寄贈
原田勝	夕陽	1964-72	油彩・麻布	63.0×90.0	原田つる子氏寄贈
小林一枝	神護寺近くの茶店	1982	油彩・麻布	116.7×91.0	小林昭三氏寄贈
阪本トクロウ	ドリフター	2008	アクリル絵の具・雲肌麻紙	182.0×227.3	作者寄贈
佐藤正明	Subway No.8	1975	アクリル絵の具・麻布	110.0×135.0	岩間升氏寄贈
木村利三郎	city 457 - WALL STREET -	1997	スクリーンプリント	47.0×61.5	木村秀夫氏寄贈
山本正文	地平線 IV	1990	エッチング、アクアチント、他	66.0×46.5	作者寄贈
1980年代以降の「日本画」					
村松乙彦	コスモス（宙）	1980	紙本着色	227.3×145.4	村松のぶ氏寄贈
川崎春彦	天駆ける	1987	紙本着色	220.0×160.0	作者寄贈
鈴木美江	三人	1988	紙本着色	174.0×160.0	作者寄贈
加藤良造	山水行	2006	墨、彩色・紙本	162.0×130.3	寄託（文化庁）
宇野さおり	陰り	2000	紙本着色	116.8×116.7	作者寄贈

作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法(縦×横cm)	寄贈者 等
川崎麻児	足音	1988	紙本着色	227.0×170.0	作者寄贈
福井江太郎	阿 I	2003	墨、蜜蝋、彩色・紙本	247.0×90.0 (9面)	寄託(文化庁)
杵間宏	沙羅の夢 I	1987	テンペラ、アクリル絵の具・麻布	162.0×194.0	作者寄贈
山口晃	富士北麓参詣曼荼羅	2015	油彩、墨・麻布	116.7×182.0	寄託(山梨県立富士山世界遺産センター)

館内通年展示

作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法 (cm)	寄贈者 等
舟越保武	EVE	1986	ブロンズ	高さ 197.0	
エミリオ・グレコ	うずくまる女	1974	ブロンズ	高さ 70.0	
藤川勇造	黒き像	1931	ブロンズ	高さ 35.0	
藤川勇造	海鳥を射る	1932	ブロンズ	高さ 35.3	
佐藤忠良	KIKO (首)	1976	ブロンズ	高さ 31.0	山梨県立美術館協会寄贈
オシップ・ザッキン	三美神	1950	ブロンズ	高さ155.0	
三木俊治	ミレー“晩鐘”150周年記念へのオマージュ	2009	アルミニウム・ステンレススチール	128.0×600.0 ×50.0	作者寄贈
福澤一郎	失樂園	1980	アクリル・麻布	290.0×900.0	
栗田宏一	SOIL LIBRARY/YAMANASHI	2020	土、瓶		中山芳美氏寄贈

コレクション展C室（萩原英雄記念室）春季 閉室 特別展で利用

コレクション展C室（萩原英雄記念室）夏季

● 展示期間：2025(令和7)年6月10日(火)～8月31日(日)

出品目録

作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法(縦×横cm)	寄贈者 等
萩原英雄のいろいろなカタチ					
○丸を探してみよう					
萩原英雄	サーカス	1959	木版	43.0×28.0	作者寄贈
萩原英雄	星月夜 No. 5	1980	木版	90.0×60.0	作者寄贈
萩原英雄	追憶 No. 11	1992	木版	86.0×57.0	作者寄贈
萩原英雄	三つの輪	1996	油彩・麻布	60.5×73.0	作者寄贈
△三角形を探してみよう					
萩原英雄	コンポジション(R)	1958	木版	54.0×38.0	作者寄贈
萩原英雄	星月夜 No. 4	1980	木版	91.0×60.4	作者寄贈

作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法(縦×横cm)	寄贈者 等
□四角形を探してみよう					
萩原英雄	構成5	1996	油彩・麻布	60.5×50.0	作者寄贈
萩原英雄	古い記録 No. 6	1998	木版	90.0×60.0	作者寄贈
×バツテンを探してみよう					
萩原英雄	星月夜 No. 16	1980	木版	91.0×60.0	作者寄贈
萩原英雄	星月夜 No. 18	1980	木版	91.0×60.0	作者寄贈
萩原英雄	追憶 No. 16	1992	木版	90.0×60.0	作者寄贈
萩原英雄	ドアの向こうに	1996	油彩・麻布	50.0×65.0	作者寄贈
萩原英雄	空からのメッセージ	1996	油彩・麻布	73.0×81.0	作者寄贈
☆星を探してみよう					
萩原英雄	道化師 No. 8	1969	木版	67.0×42.0	作者寄贈
萩原英雄	一つ星	1981	木版	36.2×46.0	作者寄贈
⇒矢印を探してみよう					
萩原英雄	サーカス No. 6	1968	木版	41.0×68.0	作者寄贈
萩原英雄	新しき風景 No. 2	1968	木版	81.0×60.0	作者寄贈
萩原英雄	木のある風景	1996	油彩・麻布	65.0×53.0	作者寄贈
萩原英雄	立木のある街	1996	油彩・麻布	45.5×60.5	作者寄贈
萩原英雄	クロスワードパズル	1987	コラージュ、グワッシュ・紙	50.0×65.5	作者寄贈
👁️目を探してみよう					
萩原英雄	影法師 No. 5	1971	木版	60.0×91.0	作者寄贈
萩原英雄	風神	1996	油彩・麻布	53.0×65.5	作者寄贈
萩原英雄	対話	1996	油彩・麻布	89.5×115.0	作者寄贈
萩原英雄	二つの顔	1996	油彩・麻布	45.5×53.0	作者寄贈

コレクション展C室（萩原英雄記念室） 秋季

● 展示期間：2025(令和7)年9月2日(火)～12月7日(日)

出品目録

作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法(縦×横cm)	寄贈者 等
萩原英雄の版画の始まり					
萩原英雄	干支版画「午」	1954	木版	14.0×9.0	作者寄贈
萩原英雄	にわとり	1954	木版	7.1×8.5	作者寄贈
萩原英雄	水差	1954	木版	20.5×25.0	作者寄贈
萩原英雄	桃の静物	1954	木版	25.0×35.5	作者寄贈
萩原英雄	ひまわり	1954	木版	35.5×25.0	作者寄贈
キリストを描く					
萩原英雄	キリストの涙(1)	1954	木版	31.0×18.0	作者寄贈
萩原英雄	連作〈イエスの生涯〉最後の晩餐	1956	モノタイプ	38.0×53.0	作者寄贈
萩原英雄	茨の冠	1958	木版	54.0×38.0	作者寄贈
萩原英雄	十字架	1958	木版	72.0×53.5	作者寄贈
萩原英雄	十字架	1954	彩色、紙粘土	51.0×35.0×3.0	作者寄贈

作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法(縦×横cm)	寄贈者 等
萩原英雄	広島のカリスト	1970	油彩・麻布	130.3×89.0	作者寄贈
萩原英雄	広島のカリスト	1976	パステル・紙	55.0×37.8	作者寄贈
萩原英雄	悲しみのマリア	1970	油彩・麻布	116.7×91.0	作者寄贈
萩原英雄	悲しみのマリア	1970	水彩、コラージュ・紙	37.1×26.6	個人蔵
抽象のイメージ 版画と油彩画					
萩原英雄	回想No.1	1964	木版	90.0×60.0	作者寄贈
萩原英雄	天使昇天No.8	1970	木版	63.0×44.4	作者寄贈
萩原英雄	砂上の星No.14	1983	木版	91.0×61.0	作者寄贈
萩原英雄	追憶No.13	1992	木版	85.5×57.0	作者寄贈
萩原英雄	空に飛ぶ	1995	油彩・麻布	73.0×91.0	作者寄贈
萩原英雄	追憶No.20	1995	木版	90.0×60.0	作者寄贈
萩原英雄	夜明け前	1996	油彩・麻布	60.5×73.0	作者寄贈
萩原英雄	鶏のイメージ	1999	油彩・麻布	90.0×60.0	作者寄贈

コレクション展C室（萩原英雄記念室） 冬季

● 展示期間：2025(令和7)年12月9日(火)～2026(令和8)年3月8日(日)

出品目録

作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法(縦×横cm)	寄贈者 等
新聞を彫る					
萩原英雄	影法師 No.7	1972	木版	60.0×91.0	作者寄贈
萩原英雄	影法師 No.9	1972	木版	42.0×67.0	作者寄贈
萩原英雄	影法師 No.10	1972	木版	56.0×75.0	作者寄贈
萩原英雄	影法師 No.11	1972	木版	41.5×67.2	作者寄贈
萩原英雄	影法師 No.12	1972	木版	41.6×67.5	作者寄贈
萩原英雄	影法師 No.13	1972	木版	60.0×90.0	作者寄贈
雑誌を貼る					
萩原英雄	ランプ(『イソップ物語』より)	1976-86	グワッシュ、コラージュ・紙	50.0×39.0	作者寄贈
萩原英雄	朝	1989	コラージュ・紙	57.0×41.0	作者寄贈
萩原英雄	夢の中の果実店	1985	コラージュ、グワッシュ・紙	50.0×66.0	作者寄贈
萩原英雄	ベッドの上	1991	コラージュ、グワッシュ・紙	45.0×63.0	作者寄贈
萩原英雄	無題(魚・海の中)	2000	コラージュ、木版・紙	40.5×57.8	作者寄贈
多彩な木版表現					
萩原英雄	コンポジション (Q)	1958	木版	67.0×45.0	作者寄贈
萩原英雄	窓	1959	木版	58.0×41.0	作者寄贈
萩原英雄	石の花(黒)	1960	木版	88.0×59.0	作者寄贈
萩原英雄	赤の幻想 No.1	1962	木版	85.0×59.5	作者寄贈
萩原英雄	お伽の国 No.1	1966	木版	60.0×90.0	作者寄贈
萩原英雄	ピクニック No.4	1976	木版	56.0×75.0	作者寄贈
萩原英雄	追憶 No.1	1986	木版	54.5×72.5	作者寄贈
萩原英雄	〈大富士〉雪化粧富士	1991	木版	48.5×64.0	作者寄贈

高精細画像を使った動画、タブレットを使ったマップ情報

令和2～6年度に実施された文化観光推進事業の「文化資源デジタル化・コンテンツ開発事業」のうち、令和4年度に制作されたミレー作品の高精細画像を使った動画と、タブレットを使ったマップ情報については、ギャラリー・エコーおよびミレー館にて継続して上映、提供している。

高精細画像を使った動画

令和2～6年度のミレー作品の高精細画像撮影では油彩画とパステル画の計13点が撮影されたが、うち6点を使った動画を高輝度プロジェクターで上映している。ギャラリー・エコー（美術館エントランス）の空間で細部までとらえられたミレー作品を動画によって紹介し、鑑賞を補完する役割を担っている。



タブレットを使ったマップ情報

ミレー館内に設置されたバルビゾンのイラストマップを格納したタブレットにより、来館者がタッチパネル操作で情報を得ることができる。マップ上の複数のポイントから現地の写真や作家のエピソードを表示するなど、展示作品の鑑賞を補助している。



ポケット学芸員

「ポケット学芸員」とは、展示作品などの情報を案内するアプリで、当館では2022年12月からミレー館で運用を開始した。該当作品は日・英・中（簡）・中（繁）・韓・仏語の各言語で作品解説をアプリ上で読むことができる。2025年度末には一部作品に日本語音声を追加し、解説を聞くことができるようにした。

ミュージアム展示ガイド

ポケット学芸員

Museum Exhibit Guide

POCKET CURATOR

ダウンロードはこちら
Download Here

FREE
無料

「ポケット学芸員」は、展示作品をはじめとするさまざまな情報を案内するアプリです。展示の鑑賞にお楽しみください。対象作品につけられている番号を入力すると、解説や関連情報を得ることができます。

下記の言語に対応中：
日本語、English、
中文(简体)、中文(繁體)、
한국어、français

"POCKET CURATOR" is an app that provides various information about museum exhibits. Input the number assigned near the exhibit for information in English, Simplified Chinese, Traditional Chinese, Korean and French.

イラスト：ゆきな（Shobline Cammo）

この番号サインをご利用いただけます。
Look for this number sign for information on the exhibits.

FREE Wi-Fi

SSID: bijutsukan

■キュレーターズ・アイ

星野友幸展

甲府市出身の陶芸家、星野友幸の作品には一貫してピンク色が見られる。2013年頃から使い始めたこの色彩は、今では自身を象徴する色として作家はとらえ、磁土の白色にピンク色が練り込まれていくと、自分の思いも一緒に浸透していくように感じると言う。その静穏でありながら、どこか熱を帯びた星野のピンクは人々の心をそっと引き寄せる。本展では独自の技法である「練継」の技法が光った器のみならず、生命体を思わせる有機的な〈figure〉シリーズや、陶の花器など、多様な作品を展示した。磁器・陶器、工芸・アートの境を鷹揚に行き来する、星野の作品を故郷の山梨で展示する機会となった。

会 期 令和7年11月18日（火）～令和8年2月1日（日）

会 場 ギャラリー・エコー（美術館エントランス）

出品目録

作品名	制作年	技法・材質
Figures	2019年	磁器
鉢 大桃	2025年	磁器
練継器 ピンクグレージュ	2025年	磁器
鉢 ピンクグレージュネリアージュ	2024年	磁器
Synapse	2017年	磁器
Figure	2021年	磁器
壺 ピンクグラス	2025年	磁器
花器 苺乳	2025年	陶器
花器 糖衣	2025年	陶器
練継水差 ピンクグラス	2025年	磁器
茶器 ピンクグレージュ	2025年	磁器
茶皿 苺乳	2025年	陶器
THE SMALL APPLE	2025年	陶器



会場風景

■ 教育普及活動

美術講演会

No.	開催日時	演題	講師	内容	関連展覧会
1	令和7年5月10日 (土) 午後1時30分～3時	皇居三の丸尚蔵館の収蔵 品とこれまでのあゆみ	木谷知香氏（皇居三の 丸尚蔵館研究員）	講演、 スライド	特別展 「皇室の美と山梨 皇居三の 丸尚蔵館の名品」
2	令和7年10月25日 (土) 午後2時～3時30分	家族が語る山下清	山下浩氏（山下清作品 管理事務所代表、山下 清の甥）	講演、 スライド	特別展 「生誕100年 山下清展一百 年目の大回想」

県民ギャラリー等施設の使用状況

山梨県立美術館のワークショップ室・工房は、作品の制作や展示、実技研修会等の場として、講堂は、研究会、表彰式等の場として、県内の各団体に有効に利用された。県民ギャラリーも、県民文化祭、高校芸術文化祭、各団体の公募展、グループ展、個展など、作品発表の場として、多くの県民に利用されている。県民の文化・芸術の発信拠点として期待され、その役割を果たしていると言える。県民ギャラリー等施設は、今後も、多くの団体・個人に利用されていくことと思われる。

令和7年度に県民ギャラリー A・B・C を使用した団体等は総数94団体であった。

使用会場の「A」「B」「C」の表示は、県民ギャラリー A・B・C の略。

※領域表示 絵：絵画 彫：彫刻 工：工芸 篆：篆刻
デ：デザイン 書：書道 写：写真 油：油彩
版：版画 水：水彩 陶：陶芸 日：日本画
立：立体 染：染色 墨：墨画

詳細に表記するようにしたが、わかりにくいものは絵、工というような大きな括りで表記した。



※令和7年度の利用団体数

展覧会名	使用期間	会場	領域	作品 点数	内 容
青群美術展2025	4月 1日(火)～ 4月 6日(日)	A	絵・彫・陶	40	会員の油絵、アクリル画などの展示発表会
第43回 蒼の会書展	4月 1日(火)～ 4月 6日(日)	B	書	78	書を志す蒼の会会員が1年間の成果を発表
第54回 太平洋山梨支部展	4月 8日(火)～ 4月13日(日)	A・B	絵・彫	55	日頃の成果発表の場としての展示
藤森寿石書作展	4月 8日(火)～ 4月13日(日)	C	書	31	独学で50年書き続けてきた書作品の展示
第47回 玖人展	4月15日(火)～ 4月20日(日)	A	絵・工	50	県内在住の女性作家によるグループ展
第35回 千羽会書展	4月15日(火)～ 4月20日(日)	B	書	68	1年間の会員の作品研究成果の発表
キルト展（山梨文化学園 針っ子の会）	4月16日(火)～ 4月20日(日)	C	工	300	一針一針、布の配色で表現する楽しさを伝えるキルト展
第14回 <美術のプラクシ ス(実践)>展 2025	4月22日(火)～ 4月27日(日)	A・B	絵・工・写	175	H23年改組して再出発した現代美術のグループ発表
和紙絵「コスモス会展」	4月22日(火)～ 4月27日(日)	C	絵	64	日頃の制作活動の集大成を発表
峡北美術協会 第78回展	4月28日(月)～ 5月 3日(土)	A・B	絵・工	67	峡北地域に関係のある、美術の愛好者が日頃の成果を発表、展示
遊彩会展	4月28日(月)～ 5月 3日(土)	C	絵	58	1年間の成果を観ていただくための展示
第40回 NOWHERE 2025	5月 4日(日)～ 5月10日(土)	A・B・C	絵・工・彫・陶	130	山梨ゆかりの作家によるグループ展
第53回 白濤会美術展	5月13日(火)～ 5月18日(日)	A・B	絵・工・陶	84	会員と一般公募（入賞・入選）作品による日頃1年間の制作活動の集大成を展示
第20回 竹中むつ絵「梨 里」絵画作品展	5月11日(日)～ 5月18日(日)	C	絵	60	竹中むつ絵絵画教室の生徒作品展 31名による日頃の制作活動の集大成の発表
第29回 版画の会 リトル バード展	5月20日(火)～ 5月25日(日)	A・B	絵	147	版画を発表する団体展
第14回 正野会展	5月20日(火)～ 5月25日(日)	C	絵	80	水墨・墨彩画の愛好者が、日頃の学習の成果を発表する展示
第14回 二科山梨支部展	5月27日(火)～ 6月 1日(日)	A	絵	28	二科山梨支部同人を中心に、二科展出品作品及び県内一般出品者の支部展入選作品の展示
第40回 山梨能彫展	5月27日(火)～ 6月 1日(日)	B	工	56	会員が1年間に作った課題作を含めた能面、狂言面を展示
美しい山梨の自然展（水 越教室）	5月28日(火)～ 6月 1日(日)	C	絵	105	水墨画を通して地域に根ざした仲間作りと普及活動に取り組む
第74回 玄遠書道全国展	6月 3日(火)～ 6月 8日(日)	A・B・C	書	450	74回の歴史と伝統を繋げる玄遠書道会主催の書道展
第23回 山梨県写真団体 連絡協議会合同展	6月10日(火)～ 6月15日(日)	A	写	82	加盟21クラブから選出された代表者による写真展

展覧会名	使用期間	会場	領域	作品 点数	内 容
第36回 二科会写真部山梨支部展	6月10日(火)～ 6月15日(日)	B	写	37	創作活動の集大成を発表するとともに、二科会写真部展の出品作品を展示
第12回 すいさい花水木展	6月10日(火)～ 6月15日(日)	C	絵	51	水彩画のサークルによる作品展示
西美会展	6月18日(火)～ 6月22日(日)	A	絵・工・陶	57	甲府西高校同窓の美術愛好者、在校生の参加展
第34回 スクエア展	6月17日(火)～ 6月22日(日)	B	絵	22	平面作品を中心にした展示、発表
一瓦當拓本展一	6月19日(木)～ 6月22日(日)	C	書・工	270	山梨県・四川省友好県締結40周年を記念して「中国古代瓦當展 山梨」を開催
第14回 山梨書作家展	6月24日(火)～ 6月29日(日)	A・B	書	126	会員相互が高め合い、県内の書活動を活気づけ観客を元気づける書道展
コメント展	6月24日(火)～ 6月29日(日)	C	絵	62	絵画教室の仲間による展覧会
第87回 山梨美術協会展 (公募)	7月 3日(木)～ 7月11日(金)	A・ B・C	絵・工・彫	198	一般公募入選作品及び山梨美術協会会員、準会員の作品展示発表
第37回 アトリエ・ポ シエット作品展 特別参加 ひかりの家学園	7月12日(土)～ 7月18日(金)	A・B	絵・工	216	幼児から一般までの日本画、油彩、水彩作品を展示
志村暢三 写真展	7月12日(土)～ 7月18日(金)	C	写	32	長年の活動の集大成としての個展を開催
グループWOW	7月19日(土)～ 7月25日(金)	A	絵・工・彫・ 写	229	それぞれジャンルの違う造形作家による作品展
PHOTO CLUB RETURN 第47回 写真展	7月19日(土)～ 7月25日(金)	B	写	65	会員11名による写真展
植松 茂美個展	7月19日(土)～ 7月25日(金)	C	絵	36	豊かな色彩感覚で描かれた植松茂美の個展
第51回 UTY教育美術展	7月26日(土)～ 8月 1日(金)	A・ B・C	絵	758	県内の小中高生の美術への関心を高め、美術教育の振興と文化の向上に資することを目的とした美術展
第67回 青樹展	8月 2日(土)～ 8月 8日(金)	A・B	絵	49	県内美術団体の具象絵画を追究する油彩グループ14名の展覧会
Challenge絵画展	8月 2日(土)～ 8月 8日(金)	C	絵	42	これまでの制作活動の集大成を発表
夢・色・形展	8月 9日(土)～ 8月14日(木)	A	絵・工	71	女子美術大学卒業生を中心とした、山梨にゆかりのある女性作家の作品を展示
女流画家協会 山梨展	8月 9日(土)～ 8月14日(木)	B・C	絵	68	年に一度東京都美術館で開催する女流画家協会展の山梨巡回展
甲斐水彩画会 会員展	8月15日(金)～ 8月21日(木)	A・B	絵	102	会員22名の制作による水彩画を鑑賞して頂き、批評を受ける事を目的とした展示
甲斐明日香と水の彩り水彩画教室展	8月15日(金)～ 8月20日(木)	C	絵	60	水彩画の作品展示

展覧会名	使用期間	会場	領域	作品 点数	内 容
石和絵の会 作品展	8月22日(金)～ 8月28日(木)	A	絵	100	全会員による油彩・水彩、日本画を展示
水墨・墨彩画「墨游会 第37回展」	8月22日(金)～ 8月28日(木)	B	墨	46	日頃の制作活動の集大成を発表
第60回記念 創元会 山梨支部展	8月29日(金)～ 9月 4日(木)	A	絵	36	創元会の会員・準会員・会友及び一般を合わせた14名による平面作品の展示
山梨フォトクラブ 第41回写真展	8月29日(金)～ 9月 4日(木)	B	写	56	出展会員12名による県内外の風景写真の新作を展示
第37回 全日本写真連盟 甲府支部 写真展	8月29日(金)～ 9月 4日(木)	C	写	57	甲府支部会員の作品を展示
第10回 日本画院と山梨の日本画展	9月 5日(金)～ 9月11日(木)	A・B	絵	82	望月春江と日本画院に関わる日本画の展示
太平洋美術会 山梨支部小品展	9月 5日(金)～ 9月11日(木)	C	絵	77	日頃の研修成果の発表の場
第52回 柳蛙書道展	9月12日(金)～ 9月18日(木)	A・B	書	200	書道芸術の普及と会員相互の技量向上を図るための書道作品展
フォト日記 (はい☆チーズ)	9月12日(金)～ 9月18日(木)	C	写	84	テーマに沿った作品や県内外の自然風景・名所・旧跡等の作品を発表
第69回 公募山梨造形美術展	9月19日(金)～ 9月25日(木)	A・B	絵・工・彫	104	彫刻、工芸、絵画、デザイン画等の総合美術会の展示
第29回 キャノンフォトクラブ山梨写真展	9月19日(金)～ 9月25日(木)	C	写	60	活動のアピール、クラブ員の撮影技術向上を目指すための作品発表
CWY企画展	9月26日(金)～ 10月 2日(木)	A	絵・工・彫・陶	118	毎年共通のテーマを決め、各作家が思い思いの作品づくりにチャレンジする企画展
セーラーズバレンタイン 生徒作品展	9月26日(金)～ 10月 2日(木)	B	工	90	アメリカ西海岸発祥の伝統員がら工芸「セーラーズ・バレンタイン」の展示
第13回 是空美術展	9月27日(土)～ 10月 2日(木)	C	絵・書・工・彫・写	64	市川三郷町に縁ある作家諸氏の作品を展示
お・び・の会	10月 3日(金)～ 10月 9日(木)	A・B	絵・書・工・写・彫	183	山梨大学美術部に在籍していた団塊世代が中心の、親しみやすく楽しめる展覧会
ひかりフォトクラブ 第17回 写真展	10月 3日(金)～ 10月 9日(木)	C	写	60	クラブ員の活動発表
第6回 日本画 ミモザ展	10月10日(金)～ 10月16日(木)	A	絵	30	2年に一度の成果発表としての展覧会
第28回 日本画山梨会展	10月10日(金)～ 10月16日(木)	B	絵	43	会員の創作活動の成果を発表する作品展
ニケの会 美術展	10月10日(金)～ 10月16日(木)	C	絵	56	広瀬正樹他会員が夫々3点程の油彩画の出品
第9回 輪の会展	10月17日(金)～ 10月23日(木)	A	絵・工	33	油彩・水彩・ミクストメディア等を展示
日本水彩画会 山梨支部展	10月17日(金)～ 10月23日(木)	B	絵	37	13名の会員による、日頃の研鑽結果を発表

展覧会名	使用期間	会場	領域	作品 点数	内 容
第30回 山梨読売写真クラブ 会員作品展	10月17日(金)～ 10月23日(木)	C	写	64	会員が1年間撮りまとめた作品を展示
第24回 やまなし県民文化祭 書道展	10月25日(土)～ 10月31日(金)	A・ B・C	書	328	一般県民より作品を公募し、審査上、入賞、入選作品を展示
第24回 やまなし県民文化祭 写真展	11月 2日(日)～ 11月 9日(日)	A・B	写	134	一般県民より作品を公募し、審査上、入賞、入選作品を展示
第24回 やまなし県民文化祭ハンドクラフト展	11月 3日(月)～ 11月 9日(日)	C	工	60	一般県民より作品を公募し、審査上、入賞、入選作品を展示
第46回 山梨県高等学校芸術文化祭	11月11日(火)～ 11月16日(日)	A・B	絵・書・工	93	県高校芸術文化祭展示部門の美術・工芸・書道・写真専門部による合同作品展
水墨 墨彩画展 (松風会)	11月11日(火)～ 11月16日(日)	C	絵	33	日頃の制作活動の集大成を発表
山梨県高等学校美術部連盟展	11月18日(火)～ 11月23日(日)	A・B	絵・工	315	県内高等学校の美術部に所属する生徒による作品展
写真展 (創写光画塾)	11月18日(火)～ 11月23日(日)	C	写	42	日頃の制作活動の成果としての展示
第24回 やまなし県民文化祭 美術展	11月27日(木)～ 12月 2日(火)	A・ B・C	絵・工・彫	184	一般県民より作品を公募し、審査上、入賞、入選作品を展示
第77回 山梨書道協会展 併催 教育書道展	12月 4日(木)～ 12月 7日(日)	A・B	書	834	書を通じての文化向上発表、1年間の成果発表
第19回 蕩墨書道會展・併催 望月一誠写真展	12月 4日(木)～ 12月 7日(日)	C	書・写	50	会員相互の親睦と日頃の成果を作品にまとめて発表
第28回 謙慎書道会 甲信北越展	12月11日(木)～ 12月14日(日)	A・ B・C	書	200	会の発展、自己研鑽、他県会員との交流のための展覧会
第53回 山梨県書道会展	12月17日(火)～ 12月23日(火)	A・ B・C	書	290	県書道会員の1年間の研鑽の発表をする展覧会
駿台甲府高等学校 美術デザイン科展	12月25日(木)～ 1月 6日(火)	A・ B・C	絵・立体	940	美術デザイン科の生徒162名による作品展
第75回 教育祭県下小中学校図画工作・美術作品展	1月 8日(木)～ 1月12日(月)	A・ B・C	絵・工	1,576	県内の小中学校の図工・美術に対する意識高揚のための作品展
第69回 徽墨会展	1月14日(火)～ 1月20日(火)	A・ B・C	書	270	漢字、調和体、大字書、仮名、篆刻、硬筆などの書作品展
春陽会 山梨研究会展	1月21日(火)～ 1月25日(日)	A・B	絵	81	春陽会山梨研究会会員による絵画展
みなび展「やまなしをつくろう」	1月22日(木)～ 2月 1日(日)	C	工	300	「やまなしをつくろう」をテーマに、山梨の人と人、人と地域との関わりに目を向け、ワークショップで制作した作品を展示
第75回 教育祭県下小中学校書きぞめ大会展覧会	1月27日(火)～ 2月 1日(日)	A	書	2,028	県内の小中学生の書写に対する意識高揚のための作品展
第52回 山梨美術協会会員展	2月 3日(火)～ 2月 8日(日)	A・ B・C	絵・工・彫	124	山梨美術協会会員約110名による作品展示発表

展覧会名	使用期間	会場	領域	作品 点数	内 容
サンテクノカレッジ 第6 回デザイン展	2月10日(火)～ 2月17日(火)	A・B	絵・工	200	専門学校サンテクノカレッジ、マ ルチメディア科グラフィックデザ インコースの卒業制作展
第75回 山梨大学卒業制 作・在学生作品展	2月10日(火)～ 2月17日(火)	C	絵・工	60	山梨大学 教育学部 学校教育課程 芸 術身体教育コース 美術教育系の卒 業制作展
第48回 ニッコールクラ ブ山梨支部写真展	2月18日(水)～ 2月23日(月)	A	写	60	支部会員17名の作品展示
東土会絵画展	2月18日(水)～ 2月23日(月)	B	絵	35	東土会の会員による油彩、水彩、 日本画の作品展示
第20回 道 (TAO) 展	2月18日(水)～ 2月23日(月)	C	絵	40	メンバー9名による、日頃の制作活 動の成果発表
玄遠書道師範会 会員展	2月26日(木)～ 3月 1日(日)	A・ B・C	書	400	玄遠書道師範会主催による同会員 の書展
第44回 山梨墨画院展	3月 6日(金)～ 3月19日(木)	A・B	墨	45	墨を基調とした風景、花鳥などの 水墨、墨彩画の自由作品展
パステル画展	3月 6日(金)～ 3月19日(木)	C	絵	97	これまで制作してきたパステル画 教室の生徒作品展
山梨人ねっこアート展	3月20日(金)～ 3月25日(水)	A・B	絵・陶・書	379	障がいのある人達の、創作品を公 募し、広く社会に展示
書・三人展	3月20日(金)～ 3月25日(水)	C	書	50	書くことの好きな三人が一致し、 書きためた作品を出展
第20回 リシプロカル展	3月26日(木)～ 3月31日(火)	A・B	絵・工・陶・ 写	171	誰でも参加できるビギナーズ展、 またメインアーティストを決定 し、アーティストとして自律を支 えるグループ展
芝草の会 50周年記念作 品展	3月26日(木)～ 3月31日(火)	C	絵・工	50	ダウン症当事者による障がい者 アートの展示、創立50周年の記念 行事

美術体験・実技講座

当館では、生涯学習の拠点として広く一般の県民を対象に制作の機会を提供するため、初心者向けの体験講座と経験者向けの実技講座を設け、合わせて「美術体験・実技講座」として実施している。

初心者向けの講座は、表現方法の理解と基本的な制作技法の体験を目的としている。この体験は参加者にとって当館の展示作品を鑑賞するときの手助けにもなっている。

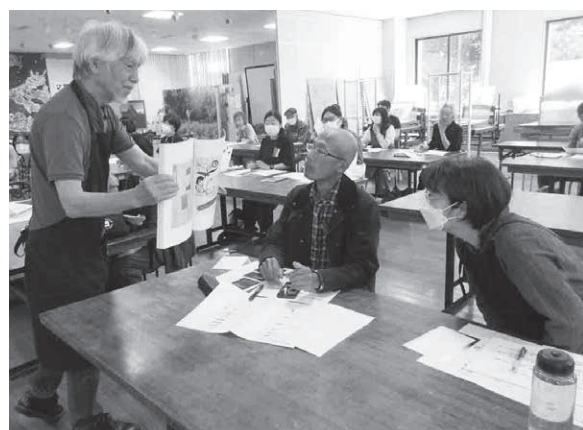
国内外で活躍中の作家を講師とする実技講座は、ある程度経験を積んだ参加者が、作家の制作に対する姿勢や芸術観に接しながら、自身の創作活動を深める場として開設されている。

「オープンアトリエ」では、油彩画、日本画、版画、彫刻などの制作の場として、当館の施設を提供している。その他、障がいのある方や幼児、特別支援学校・学級の生徒を対象に「わかば講座」を開設している。

※対象は中学生以上、但しわかば講座は年齢制限なし。

実技状況

	講座名	講師	実施日時	参加人数
①	はじめての銅版画	小林次男氏（作家）	5月11日（日） 午前10時～午後3時30分	19名
②	銅版画（全4回）	小林次男氏（作家）	6月22日（日）・28日（土）・29日（日）・7月6日（日） 各日午前10時～午後4時 6月24日（火）～7月4日（金）自主制作可	22名
③	はじめての木版画	河内成幸氏（作家）	9月7日（日） 午前10時～午後4時	23名
④	木版画（全4回）	河内成幸氏（作家）	9月21日（日）・27日（土）・28日（日）・10月5日（日） 各日午前10時～午後4時 9月22日（月）～10月3日（金）自主制作可	27名
⑤	わかば講座 「パペットのともだちをつくろう！」	矢崎育子氏 （パペットセラピスト）	10月9日（木）①午前10時～11時半 ②午後1時半～3時 みんなでつくる美術館（みなび）のワークショップと兼ねる。	①23名 ②25名
⑥	日本画（全4回）	目黒祥元氏（作家）	11月30日（日）・12月7日（日）・13日（土）・14日（日） 各日午前10時～午後4時 12月2日（火）～12月12日（金）自主制作可	22名
⑦	油彩画（全4回）	赤池宏己氏（作家）	2月8日（日）・15日（日）・22日（日）・3月1日（日） 各日午前10時～午後4時 2月10日（火）～28日（土）自主制作可	31名



①はじめての銅版画



②銅版画



③初めての木版画



④木版画



⑤わかば講座



⑥日本画



⑦油彩画

◆オープンアトリエ① (延べ参加者135名)

銅版画講座から引き続き制作、版画制作中心のオープンアトリエ

期 間：7月8日（火）～7月20日（日） 午前9時～午後4時30分

◆オープンアトリエ② (延べ参加者112名)

木版画講座から引き続き制作、版画制作中心のオープンアトリエ

期 間：10月7日（火）～10月19日（日） 午前9時～午後4時30分

◆オープンアトリエ③ (延べ参加者43名)

日本画、油彩画、彫刻など版画を除くオープンアトリエ

期 間：3月3日（火）～3月22日（日） 午前9時～午後4時30分

創作教室（つくろう！あそぼう！造形広場を含む）

■創作教室

小学生以上を対象に、つくる楽しさを体験できる企画を実施している。

「ミレーを描く会」

ミレー作品を鑑賞し、自分の好きな画材で模写活動を楽しんだ。描いた絵の写真を本館2Fロビーに掲示した。

講 師：美術館職員

日 時：1月3日（土）午前10時～12時、午後1時～3時（各時間帯 随時参加可能）

場 所：本館2F ミレー館前ロビー

対 象：どなたでも（幼児から大人まで。参加者112名）



ミレーを描く会

■つくろう！あそぼう！造形広場

「つくろう！あそぼう！造形広場」は週5日制実施による土曜日活用の一環として平成15年から行われている。造形活動を楽しみながら、美術の素晴らしさを味わう機会になっている。近年は参加する子どもの低年齢化とともに、子育て支援の性格も帯びており、山梨県の指針と合致している。

運営にあたっては、元・山梨学院短期大学保育科教授であり造形教育研究者の伊藤美輝氏を講師に迎え、ご指導いただく形で進めた。また、造形活動の材料にはできるだけ空き箱や容器など日常生活で出てくる廃材を利用した。

講 師：伊藤 美輝 氏（造形教育研究者）

場 所：ワークショップ室・工房

対 象：幼児から大人まで

時 間：午後1時30分～3時

No	開催日	内容／テーマ	参加人数
1	5月 3日	「魔法のじゅうたんを作る」 団扇（うちわ）で動かそう	63名
2	6月 7日	「ステンシル遊び」 クレヨンと紙で描く遊び	66名
3	7月 5日	「立つ動物を作る」 組込み構造で動物を作ろう	98名
4	8月 2日	「動く絵を作ろう」 絵が動く？アニメではないよ！	91名
5	9月 6日	「君だけの自動車を作ろう」 自分だけの動く自動車を作ろう	103名
6	10月 4日	「ハロウィンの変身遊び」 君は何に変身したいかな？	94名
7	11月 1日	「コラージュ（貼り絵）」 切ったり貼ったりして描く遊び	67名
8	12月 6日	「ポップアップXマツリー」 箱の中にクリスマスの世界が！	101名
9	1月10日	「凧を作って飛ばして遊ぶ」 自分の描いた絵を空に飛ばす！	59名
10	2月 7日	「ステンドグラスを描く」 キラキラ光る絵を描きます！？	40名
11	3月 7日	「ふくらむ絵を作ろう」 奥行きのある絵を作ります？	64名



5月「魔法のじゅうたんを作る」



6月「ステンシル遊び」



7月「立つ動物を作る」



8月「動く絵を作ろう」



9月「君だけの自動車を作ろう」



10月「ハロウィンの変身遊び」



11月「コラージュ（貼り絵）」



12月「ポップアップXマツリー」



1月「凧を作って飛ばして遊ぶ」



2月「ステンドグラスを描く」



3月「ふくらむ絵を作ろう」

対話型鑑賞プログラム「アートでトーク」

◇日時 毎月1～2回程度を基本としている。

午前は11時～11時40分、午後の部は1時30分～2時10分。

		延べ参加人数	備 考
4月	16日午前、16日午後	8名	大人のためのアートでトーク
5月	6日午前	6名	かぞくのためのアートでトーク
6月	14日午前、14日午後	19名	大人のためのアートでトーク
7月	12日午前、12日午後	17名	大人のためのアートでトーク
8月	9日午前	7名	かぞくのためのアートでトーク
9月	4日午前、4日午後	7名	大人のためのアートでトーク
10月	11日午前、11日午後	11名	大人のためのアートでトーク
	2日午前、2日午後	10名	特別展版アートでトーク
11月	8日午前	4名	かぞくのためのアートでトーク
12月	9日午前、9日午後	2名	大人のためのアートでトーク
	14日午前、14日午後	8名	特別展版アートでトーク
1月	10日午前	10名	かぞくのためのアートでトーク
2月	11日午前、11日午後	16名	大人のためのアートでトーク
3月	18日午前、18日午後	16名	大人のためのアートでトーク

◇場所 テーマ展示室・ミレー館（特別展版アートでトークは特別展示室）

◇ファシリテーター 山梨県立美術館協力員（対話型鑑賞部門）

◇プログラムについて

このプログラムでは、昨年度より山梨県立美術館協力会の新たな部門として、「対話型鑑賞部門」が設置された。同部門の会員がファシリテーターとなり、VTS、VTCを元にした独自の方法で鑑賞ワークショップを行った。募集する参加者は毎回20名程度とした（1グループあたり4～5名、最大4グループ）。参加者からは「作品について対話しながら鑑賞することで、新たな気づきが生まれることを体験できた」など好評を得ている。



博学連携・教育課程での利用状況

学校等教育機関との連携の中で美術館が利用された。児童生徒の美術館訪問（遠足、校外学習等）に際しては、オリエンテーション、DVDによるミレーの生涯の紹介などを実施した。また、移動アートボックスの貸出、出前授業、教職員の研修会などでの利用もあった。

利用内容		件数	延べ人数	備考
見学・実技体験	小学校	34	728	
	中学校	30	954	
	高校	17	1117	
	その他	7	183	幼稚園・こども園等
職場体験		6	13	白根高校、山梨高校、西中学校、富竹中学校、北中学校、南中学校
教材貸出		5	131	山梨英和中学校等
出前授業		3	238	富士河口湖高校、塩山高校、竜王北小学校
教員研修		7	283	教師のための鑑賞研究会、県幼児教育研修、山梨県総合教育センター研修
合計		109	3647	

特に、甲府市立新田小学校とは学期に1度来館し、作品鑑賞をしたり創作活動をしたりする取り組みを続けてきた。こういった活動により、新田小の子どもたちにとって美術館は、特別な存在ではなく、身近な存在となってきた。6年生の最後には、一般の来館者を対象とし、本物の作品を前にしてギャラリートークを行うことを目標としている。

新田小学校ギャラリートークの様子



リハーサルの様子



本番当日の様子



オリエンテーション実施状況

（令和7年4月1日～令和8年3月31日）

種 別	団体数	延人数	種 別	団体数	延人数
小 学 校	0	0	職 員 研 修	0	0
中 学 校	0	0	婦 人 団 体	0	0
高 等 学 校	0	0	文 化 団 体	10	284
大学・短大・専門学校	0	0	そ の 他	16	151
P T A	0	0	計	26	435

映 画 会

月に1回、BD／DVD／LD／フィルム等による映画会（ミュージアムシアター）を、山梨県立美術館協力員（情報担当）の協力を得て開催している。芸術全般、また特別展やコレクション展に関連する内容の映画を上映している。

令和7年度

4月19日（土）

「落穂拾い」（2000年、82分）

5月24日（土）

「モリコーネ 映画が恋した音楽家」（2021年、157分）

6月21日（土）

「映画はアリスから始まった」（2018年、103分）

7月19日（土）

「アドバンスト・スタイル そのファッションが、人生」（2014年、72分）

※特別展「ポップ・アート」関連上映

8月23日（土）

「モリのいる場所」（2018年、99分）

9月20日（土）

「ノーマ、世界を変える料理」（2015年、100分）

10月18日（土）

「長岡大花火 打ち上げ、開始でございます」（2024年、100分）

※特別展「生誕100年 山下清展—百年目の大回想」関連上映

11月15日（土）

「キカイ デ ミルコト—日本のビデオアートの先駆者たち—」（2013年、82分）

12月13日

「ファッション・リイマジン」（2022年、100分）

1月24日（土）

「明日をへぐる」（2021年、73分）

※特別展「『日本画』の挑戦者たち それぞれの葛藤と探求」関連上映

2月14日（土）

「幸せへのまわり道」（2019年、109分）

3月21日（土）

「掘る女 縄文人の落とし物」（2022年、111分）

時間 午後1時30分～

定員 各回80名

会場 講堂

博物館実習

実施日時

令和7年7月29日（火）～8月2日（土）

※補講日8月9日（土）

午前9時～午後4時30分

実習生所属大学及び人数

専修大学	1名	
山梨大学	2名	
金沢学院大学	1名	計4名



令和7年度学芸員実習内容、およびスケジュール

日時			内容	場所	主担当
7月29日(火)	午前	9:00～10:20	オリエンテーション、館内諸施設（テーマ展示室以外）の自主見学	講堂、展示室	高野
		10:30～11:50	夏のコレクション展の概要と見学	講堂、テーマ展示室	森川
	午後	1:00～ 2:00	コレクション展の企画①	講堂	森川、下東、森
		2:10～ 3:10	コレクション展の企画②	講堂	森川、下東、森
		3:20～ 4:20	美術館組織と運営に関して	講堂	井澤
		4:20～	実習ノート記入等	講堂	高野
7月30日(水)	午前	9:00～10:20	特別展ができるまで	講堂	森川
		10:30～11:50	コレクション展の企画③	講堂	森川、下東、森
	午後	1:00～ 2:00	美術作品の取り扱いと点検〔掛け軸／額装〕	収蔵庫	平林／高野
		2:10～ 3:10	コレクション展の企画④	講堂	森川、下東、森
		3:20～ 4:20	コレクション展の企画⑤	講堂	森川、下東、森
		4:20～	実習ノート記入等	講堂	高野
7月31日(木)	午前	9:00～11:50	教育普及について(理論、アートボックス等)	ワークショップ室	太田、内藤、遠藤、雨宮
	午後	1:00～ 4:20	アートカード実践、対話型鑑賞について	ワークショップ室	太田、内藤、遠藤、雨宮
		4:20～	実習ノート記入等	ワークショップ室	内藤
8月1日(金)	午前	9:00～10:00	コレクション展の企画⑥～発表、講評	講堂	学芸課全員
		10:10～11:00	総務課の仕事／指定管理の仕事	講堂	天野／五味(指定管理者)
		11:10～12:00	広報について①	講堂	興石（指定管理者）
	午後	1:10～ 2:10	広報について②	講堂	森川
		2:20～ 3:20	作品の保存と管理	講堂／収蔵庫	高野
		3:30～ 4:30	美術館施設の管理と防災(機械室見学含む)	講堂／機械室	中澤（指定管理者）
		4:30～	実習ノート記入等	講堂	高野
8月2日(土)	午前	9:00～10:20	収蔵品管理について	講堂	下東
		10:30～12:00	美術館の活動と課題	講堂	井澤
	午後	1:10～ 3:10	造形広場見学・補助	ワークショップ室	普及担当
		3:30～	まとめ、実習ノート記入、片付け	講堂	高野
8月9日(土) ※補講日	午前	10:30～12:00	「かぞくのためのアートでトーク」補助・見学	展示室	普及担当、高野
	午後	1:00～ 2:00	文学館見学	文学館	高野
		2:10～	まとめ、実習ノート記入、片付け	会議室	高野

みんなでつくる美術館 2025



ワークショップチラシ



展覧会チラシ

目的 参加者に対して造形活動や体験活動を提供することにより、県民の文化レベルの向上と美術館への関心を高めること。

主催 山梨県立美術館・みんなでつくる美術館実行委員会

実行委員会 委員長 青柳正規

副委員長 市川知都理

委員 柏原恵美 木村理香 齊藤翔
村岡由季子 長谷川創

監事 島津久美子 山口博

事務局 井澤英理子

事務局 太田智子 内藤雅士 遠藤和香
雨宮千鶴

テーマ『やまなしをつくらう』

「みんなでつくる美術館(みなび)」は、大人も子どもも、障がいのある人も、アーティストも、一般の人も、誰もが自由に参加して、楽しみながらつくり上げる展覧会であり、年ごとのテーマに沿ってプログラムを実施している。本年度は、前年度3カ年のテーマとして設定した『やまなしをつくらう』の3年目にあたり、プレワークショップを含め展覧会前に計8回のワークショップを行い、そこで生まれた作品を「みなび展」の中で展示した。会期中にもワークショップにつながる内容のイベントを2回実施した。

本年度は、山梨に暮らす人と人とのつながり、人と地域との関わりへと視点を広げた。「つながる・ひろがる・うまれる」を年間テーマに、地域の伝承や方言、甲府盆地を囲む山々とのつながり、人と人、人と人形の関係性など、「人」を軸に多様な表現が生まれた。

プログラムと実施状況

ワークショップ

①「だいだらぼっちを描こう！」

紙の真ん中に寝そべった人を、山に住むという巨人だいだらぼっちに見立てて、参加者が描き出した。

日 時：7月27日（日） ①午前10時～11時30分 ②午後1時30分～3時

講 師：柏原恵美氏（作家）

場 所：ワークショップ室

参加者：午前26名 午後31名

ボランティア（学生含む）：午前5名 午後6名



「だいだらぼっちを描こう！」

②「藍の葉っぱのたたき染めを楽しもう」

4月に参加者に藍の種を配布、自宅で育てた藍の葉を持ち寄り、たたき染めをした。水で洗うことで、緑色が藍色に変わる瞬間を楽しんだ。

日 時：8月1日（金） 午前9時30分～

講 師：美術館職員

場 所：屋外テラス

参加者：63名

ボランティア：8名+13名（職場体験学生）



「藍の葉っぱのたたき染めを楽しもう」

③「目でみる甲州弁 ちょびちょび・わにわに・ごっちょでござい」

五緒川津平太氏が選んだ甲州弁の言葉を、参加者が組み合わせて文章を作り、さらにそれを絵で表現した。

日 時：8月30日（土） ①午前10時～11時30分

②午後1時30分～3時

講 師：五緒川津平太氏（『キャン・ユー・スピーク甲州弁？』著者）

場 所：南アルプス市立美術館 研修室

参加者：午前18名 午後16名

ボランティア：午前5名 午後6名



「目でみる甲州弁」

④「今日だけは出会ったことの無い誰かに」

参加者が自分の本名から離れて、いつもの自分とは違う名前や性格を考え、それにあわせてコスチュームを制作し、違う人物になりきって自己紹介をした。

日 時：9月13日（土） ①午前10時～11時30分

②午後1時30分～3時

講 師：飯島大地氏（作家）

場 所：ワークショップ室

参加者：午前19名 午後19名

ボランティア：午前6名 午後6名



「今日だけは出会ったことの無い誰かに」

⑤「パペットのともだちをつくろう！～みて、つくって、動かそう～」

ミトンや靴下や布でパペットをつくり、動かして遊んだ。みなび展会期中に参加者が集合してパペットを手に歌や踊りを発表した。

日 時：10月9日（木） ①午前10時～11時30分 ②午後1時30分～3時

講 師：矢崎育子氏（パペットセラピスト）

場 所：ワークショップ室

参加者：午前23名 午後24名

ボランティア：午前7名 午後9名



「パペットのともだちをつくろう！」

⑥「じかんのつみき」

当館所蔵の風景画を大きな紙に投影し、参加者がパーツごとになぞり、立体的に制作した。それらを組み合わせて、ひとつの大きな風景を作り上げた。

日 時：11月3日（月・祝） 午前10時～午後3時30分

講 師：原田裕規氏（アーティスト）

場 所：ワークショップ室

参加者：22名

ボランティア：14名



「じかんのつみき」

⑦「県立美術館展望台」

もしも美術館に展望台があって甲府盆地から見える山々を見渡せたら、と想像し、山々のかたちを自分の体で再現して写真を撮り、それを写した紙に各自で絵を描いた。

日 時：11月29日（土） 午後1時～4時

講 師：長谷川創氏（作家）

場 所：ワークショップ室

参加者：17名

ボランティア：午前2名（準備のため） 午後7名



「県立美術館展望台」

展覧会

「みなび展」

日 時：2026年1月22日（木）～2月1日（日）

場 所：山梨県立美術館 県民ギャラリー C、他

観覧者数：10,341名



みなび展 会場風景

みなび展会期中イベント

①五緒川津平太氏による紙芝居「甲州弁シンデレラ」読み聞かせ

「甲州弁シンデレラ」の読み聞かせのほか、甲州弁講座やクイズなどを通して甲州弁に触れる機会となった。

日 時：2026年1月31日（土） 午後2時～

講 師：五緒川津平太氏（『キャン・ユー・スピーク甲州弁？』著者）

場 所：みなび展会場（県民ギャラリー B）

参加者：747名

②矢崎育子さんと一緒にパペットを作ろう！／パペットステージ

パペットを作った後、10月のワークショップの参加者も一緒に、ステージや踊りを発表した。

日 時：2026年2月1日（日） 制作：午前11時30分～

発表：午後2時～

講 師：矢崎育子氏（パペットセラピスト）

場 所：ワークショップ室、みなび展会場（県民ギャラリー B）

参加者：651名（内、パペット制作10名）

みなび展会期前と会場でのミニワークショップ「つながる似顔絵」

日 時：7月19日（土）～9月30日（火）

場 所：ギャラリー・エコー、みなび展会場（県民ギャラリー A、B）

参加者：約3,000名

みなび展会場でのミニワークショップ「富士山をかこう！」
日 時：みなび展会期中（2026年1月22日～2月1日）
場 所：みなび展会場（県民ギャラリー C）、1F ロビー
参加者：774名



記録集

特別展関連ワークショップ

①「たいけん！はっけん！日本美術」（参加者18名）

講 師：当館職員

対 象：どなたでも

日 時：5月25日（日） 午後1時30分～3時

内 容：特別展「皇室の美と山梨 皇居三の丸尚蔵館の名品」関連プログラム。掛け軸や屏風など、日本美術に特有のかたちについて学んだ。屏風作り体験を通じて、「皇室の美術について触れることのできる貴重な機会になった。」といった声があり、充実したものとなった。



「たいけん！はっけん！日本美術」

②「シルクスクリーンでオリジナルトートバッグを作ろう！」（参加者22名）

講 師：当館職員

対 象：小学生以上

日 時：8月10日（日） 午後1時30分～4時

内 容：特別展「ポップ・アート 時代を変えた4人」関連プログラム。ポップ・アート作品にしばしば使われる版画技法であるシルクスクリーンにより、単色でトートバックに自分だけのデザインを刷った。シルクスクリーンに初めて挑戦する参加者も多く、技法にとっても興味を持っていた様子が見られた。参加者からは、貴重な体験であったことや、親子で楽しめたこと、再参加を希望する声などがあり、創作の楽しさを伝える有意義な時間となった。



「シルクスクリーンで
オリジナルトートバッグを作ろう！」

③「日本画の岩絵具・つぶつぶの感覚を楽しもう」（参加者16名）

講 師：当館職員

対 象：小学生～大人（低学年は保護者の付添可）

日 時：1月11日（日） 午後1時30分～3時30分

内 容：特別展「『日本画』の挑戦者たち それぞれの葛藤と探求」関連プログラム。孔雀石を砕いて、発色と質感が特徴の岩絵具を作った。自らが作った岩絵具を用いて絵を描く体験をすることで、日本画制作の難しさを体感し、日本画の特徴をより深く理解する様子が見られた。



「日本画の岩絵具・
つぶつぶの感覚を楽しもう」

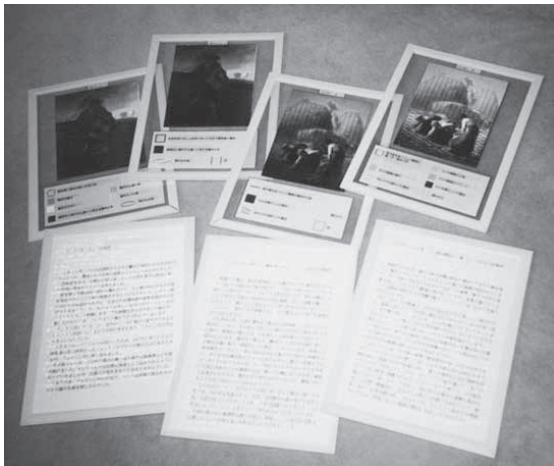
手で見るミレー

当館では開かれた美術館として、一人でも多くの人たちにミレーの作品を紹介することを目的として昭和58年に視覚障がい者のための「手でみるミレー」を制作した。最近では視覚障がいのない、一般の方で触察を希望する人も多く、障がい者理解の一助ともなっている。

通常は、オリエンテーションも含めて、触察が可能なシステムをとっており、特別支援学校への貸し出しなども行っている。

平成21年のミレー館開館にともない、ミレー館の入口に設置して、来館者が常に利用できるようにした。

また、山梨大学が中心となって研究が進められてきた「手でみるプロジェクト」が令和4年度に完結し、レリーフ版《種をまく人》が当館に寄贈された。多様な鑑賞のかたちを提案する教材としてこれからも活用されることが期待される。



手で見るミレー



設置状況



レリーフ版《種をまく人》



レリーフ版《種をまく人》近影

教師のための鑑賞研究会・教育団体の研修会

「教師のための鑑賞研究会」は、県内の小・中・高等・支援学校等の教職員を対象として、特別展ごとに、学芸員によるギャラリートークなどを行い、児童生徒への鑑賞教育のヒントを得る機会となっている。

また、学校教育と美術館教育との連携をはかるため、各教育機関が主催する各種教員向け研修会に講師として赴き、対話型鑑賞をはじめとした鑑賞研修、アートカードや移動アートボックスの授業での利用方法、実技研修などを行っている。

■教師のための鑑賞研究会

①第1回（参加者18名）

展覧会：皇室の美と山梨 皇居三の丸尚蔵館の名品
内 容：特別展担当学芸員によるギャラリートークと自由観覧
開催日：5月13日（火）午後3時45分～5時

②第2回（参加者27名）

展覧会：ポップ・アート 時代を変えた4人
内 容：特別展担当学芸員によるギャラリートークと自由観覧
日 時：7月24日（木）午後3時45分～5時

③第3回（参加者24名）

展覧会：生誕100年 山下清展一百年目の大回想
内 容：特別展担当学芸員によるギャラリートークと自由観覧
日 時：10月21日（火）午後3時45分～5時

④第4回（参加者16名）

展覧会：「日本画」の挑戦者たち それぞれの葛藤と探求
内 容：特別展担当学芸員によるギャラリートークと自由観覧
日 時：12月18日（木）午後3時45分～5時



教師のための鑑賞研究会

■教育団体の研修会

No	開催日	団体名	会場	参加人数(名)
1	7月30日	幼稚園・保育所等新規採用教員研修会（講師）	県立図書館	52
2	8月 6日	山梨県教育センター図工美術授業力アップ研修会（講師）	工房	17
3	10月17日	山梨県教育センター博学連携研修会（講師）	県教育センター	129



「図工美術授業力アップ研修会」

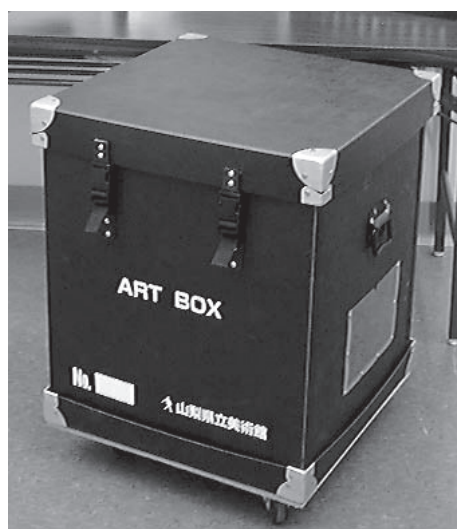
移動アート・ボックス

「移動アート・ボックス」は、一人でも多くの子どもたちに本物の美術に接してほしいという願いを実現するために考案された移動型教材の貸出システムである。近年、鑑賞・実技演習ガイドとして「ティーチャーズ・ガイド」を加え、現場でアート・ボックスをより活用しやすくした。また当館のワークショップにおいても、鑑賞の一助としての役割を果たしている。

移動アート・ボックス内容

木版画	・ティーチャーズ・ガイド ・笠松紫浪（遺作版木、順序摺り、作品） 《放牧》《ねぎの花》《阿修羅》《落暉》《秋の大原》《潮どき》《川ぞい》《白い猫》 ・河内成幸（版木、作品）《今を翔べ（Ⅴ）》《翔べ北斎（Ⅲ）》《赤い花束》 ・佐藤正明（順序摺り、作品）《Newsstand No.66-W》 ・用具 創作ばれん 創作ブラシ 創作ハケ
銅版画	・ティーチャーズ・ガイド ・齊藤武士（銅版原版、順序刷り、作品）《MEMORY-86 I（KOFU）》3版 ・深沢幸雄（銅版原版、作品） 銅版画集 宮沢賢治『春と修羅』より ・アルブレヒト・デューラー作 《フィリップ・メランヒトン》模刻エッチング（銅版原版） ・山本正文（銅版原版、作品）
石版画	・ティーチャーズ・ガイド ・遠藤竜太（リトグラフ原版、順序刷り、作品）《The Vessel/body-Ⅶ》5版 ・用具
グラフィック・アート	・ティーチャーズ・ガイド ・遠藤享（ネオンサイン模型、ネオン点滅工程図式図） ・ネオンサインのビデオテープ
フレスコ画	・ティーチャーズ・ガイド ・富永泰雄オリジナル作品 ・フレスコ画制作工程作品（富永氏によるポンペイ壁画模写） ・フレスコ画に用いる顔料
テンペラ画	・ティーチャーズ・ガイド ・沓間宏オリジナル作品 《レインフォレスト・ドリームⅡ》 ・テンペラ画制作工程作品（沓間氏によるボッティチェリ 《ヴィーナスの誕生》部分模写） ・テンペラ画に用いる用具
シルクスクリーン	・秋山令一オリジナル作品 ・シルクスクリーン制作工程及び工具
パステル画	・増田実オリジナル作品 ・パステル画制作工程作品 ・パステル画に用いる用具
油彩画	・齊藤静輝オリジナル作品 ・油彩画制作工程作品 ・油彩画に用いる用具

日本画	・鈴木美江オリジナル作品 ・望月春江オリジナル作品 ・望月春江《惜春》部分制作工程作品 ・日本画に用いる用具 ・屏風・掛け軸 2 ・ 絵巻物 11 ミニチュア
小学生用 アート・ボックス	ミレーの絵画を楽しむ ☐ミレー編（種をまく人） ・《種をまく人》鑑賞資料用ポスター ・ワークシート（小学校 1 年生～中学校 3 年生対象） ・《種をまく人》衣装（教師用・身長 160cm 生徒用・身長150cm） ☐ミレー編（落ち穂拾い、夏） ・《落ち穂拾い、夏》農民衣装（大人・M、中人・身長 150cm、小人・身長 126cm） ・ミレー作品と同寸大の粹ぶち 6 枚 ・稲の穂と麦の穂 ☐混色あそび編 ・混色あそび用アクリル板 10 枚× 3 色 ・教師用アクリル板混色セット - ライト、木箱、影絵（木、雲、風景）シート



移動アート・ボックス外観



油彩画（齊藤静輝）



小学生用アート・ボックス
ミレーの絵画を楽しむ、《種をまく人》衣装

アートカード「みるえ」



アートカード

小・中学生に美術館の所蔵作品に親しんでもらうことを目的として、平成25年度に開発した。ミレーとバルビゾンの作品を中心にした主要作品のカードとガイドブックから成る。27年度に県内すべての小・中・高校に配布した。

例年、山梨県教員研修センターとの共催事業として夏季教員研修会を開催し、図工・美術科以外の教職員へも利用の働きかけを行っている。



鑑賞活動での活用の様子



夏季教員研修会

広報活動

<広報活動>

コレクション展、特別展など展覧会の告知について、企画内容に合わせてターゲットを設定し、チラシやポスターの作成、配送先の検討や、CM制作などをおこなった。そのほか展覧会関連イベントを企画。会期にあわせて実施することにより集客に繋げる取組みを行った。

【実施内容】

- ・美術館の概要や現況の紹介、鑑賞や教育の資料として活用するため、美術館案内、図録、年報、美術館ニュース等を発行。全国関係諸機関及び来館者等に提供した。
- ・特別展ごとにポスターおよびチラシを作成し、全国関係諸機関、県下各市町村および小学校、大学、教育機関その他に配布した。さらに、各展覧会の客層やターゲットに合わせ、書店や他美術館などへも発送した。
- ・各特別展・コレクション展の展示替えなどに合わせて、報道機関や出版社へニュースリリースを配信した。
- ・特別展に合わせてイベント・観光情報サイトへの登録を行った。
- ・公式X（旧Twitter）、Instagram、Facebookを活用し、来館のきっかけ作りを行った。
- ・近県（東京都・神奈川県・千葉県・埼玉県・愛知県）の旅行业社へ向けた観光商談会に参加し、ツアー誘致を行った。
- ・11月3日から始まった「3のつく日はミレーの日」に向けて、報道機関や出版社へニュースリリースを配信し、Instagramでの情報拡散を促した。また、レストラン事業者と協力し、ミレーの日にちなんだ特別メニューを提供した。
- ・美術館のPRとファミリー層の集客のため、県内の商業施設や自治体のイベントに出向き、展覧会の告知とワークショップを実施した。

ラザウオーク甲斐双葉

開催日 8月3日（日） 参加者 計534名

富士河口湖まちフェス

開催日 10月5日（日） 参加者 計464名

- ・芸術の森公園と美術館の相互誘客を図るため、芸術の森公園で満開に咲き誇るバラを楽しむよう、ワークショップやバラ園をめぐるガイドツアーを実施した。

開催日 5月17日（土）・18日（日）

ワークショップ参加者 合計243名 ガイドツアー参加者 合計30名

ニューイヤーコンサート

山梨交響楽団と連携し、新年の音楽鑑賞の機会を創出している「ニューイヤーコンサート」を今年も開催。クラシックの名曲だけでなく、誰もが馴染みのあるお正月らしい曲や童謡も加え、美術館で気軽に音楽に親しめる機会とした。地元山梨で人気のアマチュアオーケストラの演奏を無料で楽しめるとあって、受付開始日から多くの申し込みがあり早々に満席となった。参加したお客様からは、「生の演奏を間近で楽しむことができて良かった」、「毎年このコンサートを楽しみにしている」等の声をいただき、満足度の高いイベントになったことが伺えた。

日 時：1月12日（月・祝） 開場13時30分 開演14時

出演者：山梨交響楽団（小編成によるアンサンブル）

会 場：山梨県立美術館 講堂

参加数：定員50名／満席

【曲 目】

I. フルート二重奏

ドップラー／アルベルト・フランツ 作曲
アンダンテとロンド 作品25

II. 弦楽四重奏

ボロディン 作曲 弦楽四重奏曲 第2番

III. ホルン四重奏

富士の山 作曲：田中 穂積

一月一日 作曲：上 真行

ふるさと 作曲：岡野 貞一 ほか



ニューイヤーコンサート 会場風景

ロビーコンサート

各月第3日曜日の午後に、山梨県ゆかりの演奏家によるロビーコンサートを開催。来館されたお客様に気軽に音楽をお楽しみいただいた。出演者にとっても貴重な発表の場として機能している。各回ほぼ満席であった。

開 催 日：5月18日（日）、6月15日（日）、7月20日（日）、8月17日（日）、12月7日（日）クリスマスコンサート、令和8年3月22日（日）

開演時間：14時～ 約30分

会 場：山梨県立美術館 1階ロビー

令和7年度実績（実施回数／観客数）

- ・ロビーコンサート 計4回／計483名
- ・クリスマスコンサート 計1回／計122名



クリスマスコンサート会場風景

美術館システム・美術館ホームページ

■美術館システム

平成12年4月1日、運用開始

山梨県立美術館の全収蔵作品の文字データと約1,000点の画像データから構成される収蔵作品データベースを核とした情報システムである。館内はネットワーク化され、職員の業務支援システムとしての役割を果たすと同時に、一般の方への情報公開・情報提供も行っている。（ただし、画像に関しては著作権のないもの、画像使用の承諾を得られたもののみを公開）

平成17年10月1日、新システムへの移行

平成22年10月1日、サーバーを更新、収蔵品データベースは職員のみ利用に変更

一般の方へは、美術館ホームページの「主な収蔵作品」において、「ミレー・バルビゾン派」「その他の美術館」「日本の近代美術」として紹介することとなった。

平成28年3月28日、収蔵品データベース（収蔵品検索システム）を一新。美術館ホームページで公開

平成29年12月13日、セキュリティクラウド移行。県総務部情報政策課の指示のもと移行作業を完了した。

ホームページのみ指定管理者委託先の保守業者のシステム（WAF）を使用

■美術館ホームページ

平成12年4月1日、ホームページ開設

平成17年10月1日、新システムへの移行

平成22年10月1日、ホームページの運営及び情報更新を指定管理者が行うこととなり、デザインなどを一新

平成26年6月28日、ホームページに公式 Facebook を開設。ホームページにバナーを設置

平成28年3月28日、インバウンドに対応するため、英語、中国語（簡体・繁体）、韓国語、フランス語のページを作成しデザインも一新

平成29年8月22日、「特別展」ページ内に県掲載の YouTube 動画を埋め込み、同ページ内で特別展の CM 動画掲出

平成30年4月、キャッチコピーとアイコンを作成、ホームページにキャッチコピーとアイコンを掲載

平成30年9月、開館40周年記念事業紹介ページを作成

令和元年10月、6館連携事業の一環として、県立図書館、県立文学館、県立博物館、県立考古博物館、県立富士山世界遺産センター、各ホームページへのリンクバナーを追加

令和3年3月18日、文化庁の文化観光推進事業によりホームページデザインを一新、スマートフォンやタブレットに対応したフレキシブルページを採用、ホームページ内のコンテンツを「利用案内」「展覧会・イベント」「コレクション」「みる。つくる。まなぶ」「美術館について」にまとめた。Instagram、YouTube、Twitter へのリンクを新たに設置したり、《種をまく人》《落ち穂拾い、夏》《夕暮れに羊を連れ帰る羊飼 い》の高精細画像を掲載

令和6年9月、これまでの刊行物を広く閲覧・紹介できるよう、刊行物に関わるページを新たに作成。また開館以来の展覧会情報も改めて掲載し、過去に遡る情報を充実させた。

またレストラン事業者の変更に伴う情報の更新や、ホームページ各所の改良を行った。

美術館ホームページ URL <https://www.art-museum.pref.yamanashi.jp/>



トップページ



コレクション展ページ



3DVR等のコンテンツ



外国語ページ



収蔵品データベース(収蔵品検索システム)

■ 所蔵作品・資料

新 収 蔵 作 品

寄 贈

作家	作品名	制作年	技法・材質	サイズ (縦×横) cm	寄贈者 ※敬称略
岩崎永人	Torso-05	2005	流木	H98.0×W27.0× D25.0	本阿弥清(本波 潔)
三浦硯鈴	孔雀耀変壺	1985頃	陶	直径35.0、H37.0	三浦喜久江
三浦硯鈴	孔雀耀変鉢	1985頃	陶	各直径26.0、H8.5 (6点1組)	三浦喜久江
伊藤孚	道化 clown	1993	ガラス、針金	H46.5×W10.5× D8.0	倉本陽子
伊藤孚	三角 三角	2012	ガラス、紙	H86.5×W61.5× D3.0	倉本陽子
東山魁夷	甲州湯村附近	1944	水彩・紙	29.0×25.5	川崎麻児
近藤浩一路	大原路	1923頃	紙本墨画	47.5×53.5	松田百合子
土屋義郎	梅林之図	1972	紙本着色	32.0×42.0	依田安雄・幸治
土屋義郎	庭隅之図	1973	紙本着色	33.0×45.0	依田安雄・幸治
土屋義郎	土器	1975	油彩・麻布	33.0×42.0	依田安雄・幸治
土屋義郎	不詳(樹海)	1978	油彩・麻布	62.0×52.0	依田安雄・幸治
深沢軍治	ヒマラヤ杉	1986	アクリル・板	各182.5×91.5 (6点1組)	作者
深沢軍治	赤い花の咲く樹	1986	アクリル・板	各182.5×91.5 (3点1組)	作者
深沢軍治	くろい土	1988	油彩・麻布	193.9×162.1	作者
深沢軍治	窓 (A)	1992～93	油彩・麻布	91.0×72.7	作者
深沢軍治	窓 (B)	1992～93	油彩・麻布	91.0×72.7	作者
深沢軍治	窓	1992～93	アクリル、木炭、 毛糸・和紙	各91.0×72.7 (10点1組)	作者
深沢軍治	風のかたち	1998	油彩・麻布	各227.0×182.0 (4点1組)	作者
深沢軍治	無題	2015	油彩・麻布	162.0×130.3	作者
深沢軍治	無題	2016	油彩・麻布	各162.0×130.3 (2点1組)	作者

寄 託

作家	作品名	制作年	技法・材質	サイズ (縦×横) cm
ミレー、ジャン＝フランソワ	習作 (オーヴェルニュの風景)	1866～67頃	鉛筆、インク、パ ステル、水彩・紙	6.9×10.8
ミレー、ジャン＝フランソワ	習作(女性像)	不詳	鉛筆・紙	7.7×5.8



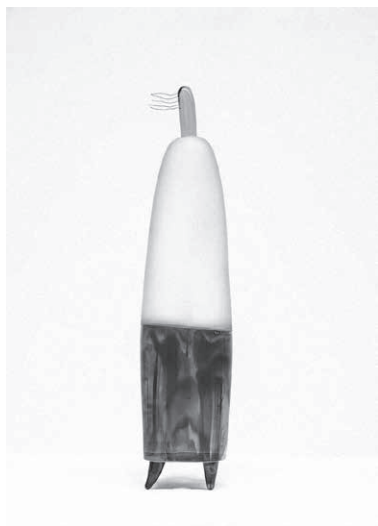
岩崎永人
Torso-05
2005
流木
H98.0×W27.0×D25.0
本阿弥清（本波潔）氏寄贈



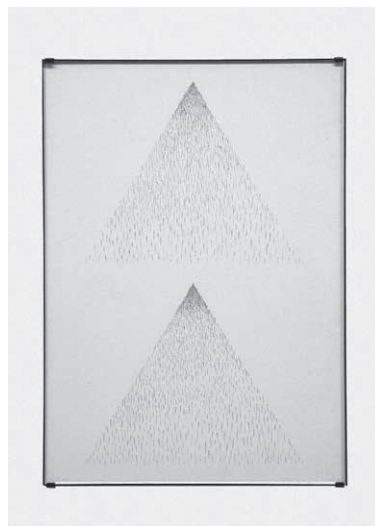
三浦殊鈴
孔雀耀変壺
1985頃
陶
直径35.0、H37.0
三浦喜久江氏寄贈



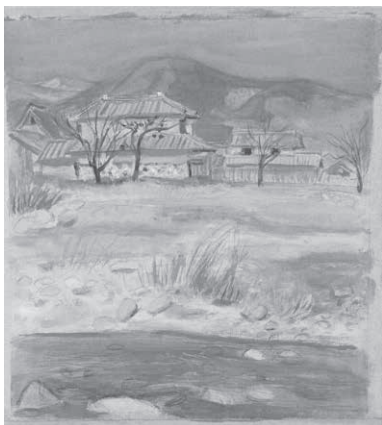
三浦殊鈴
孔雀耀変鉢
1985頃
陶
各直径26.0、H8.5（6点1組）
三浦喜久江氏寄贈



伊藤孚
道化 clown
1993
ガラス、針金
H46.5×W10.5×D8.0
倉本陽子氏寄贈



伊藤孚
三角 三角
2012
ガラス、紙
H86.5×W61.5×D3.0
倉本陽子氏寄贈



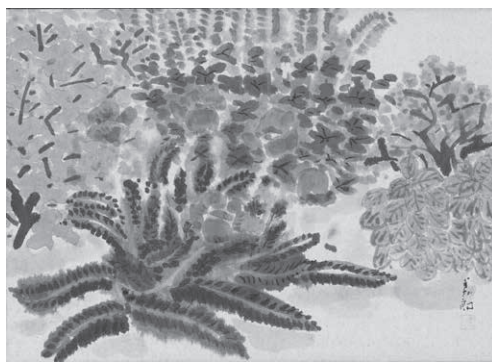
東山魁夷
甲州湯村附近
1944
水彩・紙
29.0×25.5
川崎麻児氏寄贈



近藤浩一路
大原路
1923頃
紙本墨画
47.5×53.5
松田百合子氏寄贈



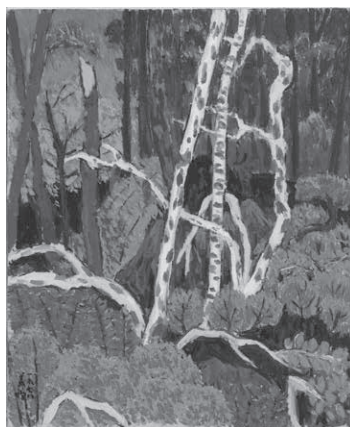
土屋義郎
梅林之図
1972
紙本着色
32.0×42.0
依田安雄氏・幸治氏寄贈



土屋義郎
庭隅之図
1973
紙本着色
33.0×45.0
依田安雄氏・幸治氏寄贈



土屋義郎
土器
1975
油彩・麻布
33.0×42.0
依田安雄氏・幸治氏寄贈



土屋義郎
不詳（樹海）
1978
油彩・麻布
62.0×52.0
依田安雄氏・幸治氏寄贈



深沢軍治
ヒマラヤ杉
1986
アクリル・板
各182.5×91.5（6点1組）
作者寄贈



深沢軍治
赤い花の咲く樹
1986
アクリル・板
各182.5×91.5（3点1組）
作者寄贈



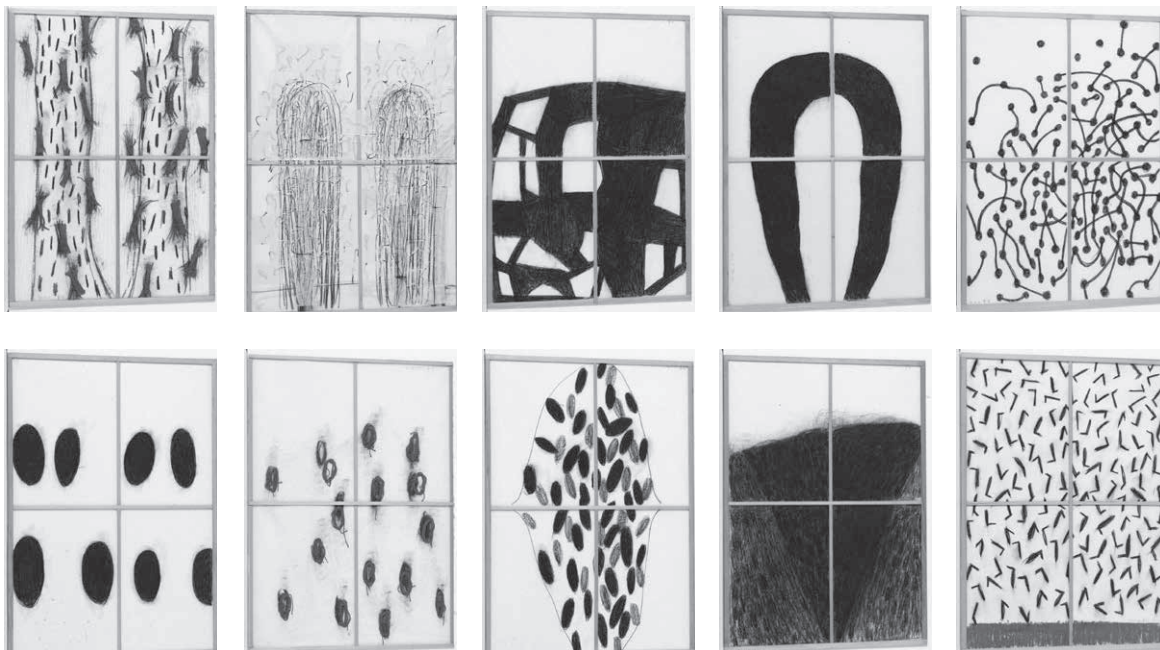
深沢軍治
くろい土
1988
油彩・麻布
193.9×162.1
作者寄贈



深沢軍治
窓（A）
1992～93
油彩・麻布
91.0×72.7
作者寄贈



深沢軍治
窓（B）
1992～93
油彩・麻布
91.0×72.7
作者寄贈



深沢軍治

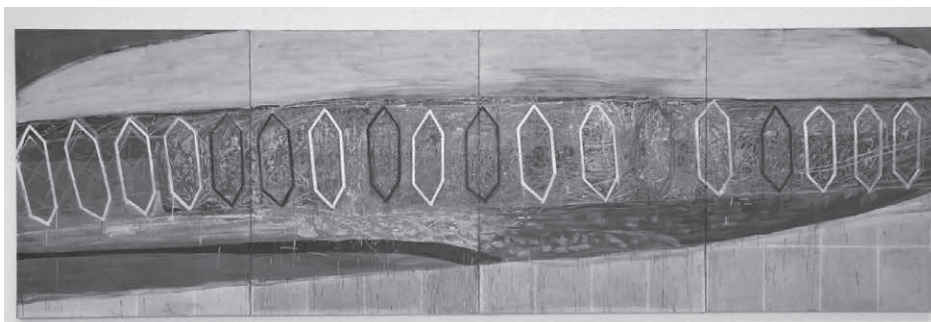
窓

1992～93

アクリル、木炭、毛糸・和紙

各91.0×72.7（10点1組）

作者寄贈



深沢軍治

風のかたち

1998

油彩・麻布

各227.0×182.0（4点1組）

作者寄贈



深沢軍治

無題

2015

油彩・麻布

162.0×130.3

作者寄贈



深沢軍治

無題

2016

油彩・麻布

各162.0×130.3（2点1組）

作者寄贈

項目別収蔵作品

令和8年3月31日現在

区分	作家名	寄贈点数	購入点数	寄託(借入れを含む)	計
日本画・東洋画	東 韶光			1	1
	渥美 芙峰	1			1
	穴山 勝堂	36	6	6	48
	猪瀬 東寧	1			1
	宇野 さおり	1			1
	呉 団良	2			2
	大河内 夜江	4	4	1	9
	小野 竹喬	1			1
	加倉井 和夫		3		3
	堅山 南風	1			1
	加藤 和夫	3		1	4
	加藤 良造			1	1
	川崎 麻児	3			3
	川崎 小虎	137	1	2	140
	川崎 鈴彦	6			6
	川崎 春彦	4			4
	河内 雅溪	2	1	1	4
	川手 青郷			1	1
	高 芙蓉		3		3
	河野 双岑	1			1
	小室 翠雲	1			1
	近藤 乾年	5		1	6
	近藤 浩一路	79	7	3	89
	三枝 雲岱	12		1	13
	三枝 茂雄	9	11		20
	斎藤 倭文緒	2	1		3
	阪本 トクロウ	5			5
	佐久間 鉄園	1			1
	白瀧 幾之助	1			1
	鈴木 美江	8			8
	須藤 貌	5			5
	関 主税			1	1
	高野 史静	1			1
	竹邨 三陽			1	1
	谷 文晁	2			2
	田能村 直入	1			1
	津田 青楓	1	1		2
	鶴田 機水			1	1

区分	作家名	寄贈点数	購入点数	寄託(管理換えを含む)	計
日本画・東洋画	富岡 鉄斎	3			3
	中澤 一僑		1		1
	中澤 年章	12			12
	中丸 精十郎	3			3
	中村 岳陵			1	1
	中村 蘭林	1			1
	名取 春仙	5	2		7
	野口 小蕙	5	5		10
	野口 小蘋	17	9	1	27
	野田 修一郎	10	2		12
	のむら 清六	30	2	1	33
	平福 百穂			1	1
	福井 江太郎			1	1
	古屋 正壽	6		1	7
	前田 青邨	2			2
	松林 桂月	1			1
	三輪 晁勢	1			1
	棟方 志功			1	1
	村松 乙彦	2			2
	望月 定夫	2	1	5	8
	望月 春江	29	1	2	32
	森 寛斎	1			1
	山口 晃			1	1
	山田 敬中	6			6
	山田 申吾	30	7		37
	横山 大観	5			5
	和田 三造			1	1
	計	507	68	38	613
洋画	赤松 麟作	1			1
	秋山 泉	3			3
	飯田 四郎	7	1		8
	飯室 哲也	1			1
	池田 龍雄	9	2		11
	石井 精一	2			2
	石原 長光	8			8
	石原 美登利		1		1
	石村 実	1			1
	伊藤 純子	1			1
	今澤 正			1	1
	今関 一馬	1			1
	鶴澤 明民	1			1
	内田 一郎	3			3

区分	作家名	寄贈点数	購入点数	寄託(管理換えを含む)	計
洋画	梅原 龍三郎	1			1
	榎並 和春	1			1
	小川 マリ	6			6
	荻 太郎	2			2
	小野 洋	5			5
	數野 繁夫	2			2
	加藤 富也	1			1
	菊島 明	2			2
	杳間 宏	3			3
	工藤 和男		1		1
	窪田 知矩	6	1		7
	窪田 守義	3			3
	久里 洋二	7			7
	桑原 福保	13		1	14
	小磯 良平		1		1
	小出 櫛重		1		1
	河野 通勢	1			1
	河野 良朝			1	1
	小林 一枝	3			3
	小林 正治	3			3
	小林 萬吾		1		1
	五味 祥子	1			1
	近藤 浩一路	1	24	1	26
	三枝 茂雄	2			2
	齊藤 静輝	3	2		5
	櫻井 孝美	3			3
	佐藤 正明	2		13	15
	里見 勝蔵	1			1
	佐野 智子	4	2		6
	佐分 眞	1			1
	島田 利一	1			1
	清水 誠一	2			2
	進藤 章	2			2
	神中 糸子	1			1
	鈴木 千久馬	5		3	8
	鈴木 誠		1		1
	須田 寿	2			2
	砂田 正巳	2			2
	高野 真美	3			3
	高山 良策	10			10
	滝沢 忠三	2			2
	武田 好文	2	1		3

区分	作家名	寄贈点数	購入点数	寄託(管理換えを含む)	計
洋画	竹田 稔	3			3
	田中 繁吉	5	1		6
	田中 常太郎	3			3
	田邊 喜規	2			2
	辻 葦夫	7			7
	土屋 義郎	22	1		23
	手澤 宗信	5	2		7
	寺田 竹雄	1			1
	鳥居 雅隆	10			10
	中川 一政	1			1
	中込 勇			1	1
	中込 靖成	1			1
	中西 夏之		1		1
	中丸 精十郎	4	2		6
	中村 修二	1			1
	中村 宗久	4			4
	西村 陽平	5			5
	根津 莊一	3			3
	濱田 稔	4			4
	早川 重章	9	2		11
	早川 二三郎	10	1		11
	服部 賢司	1			1
	埴原 久和代	7			7
	原 勝郎	15	3		18
	原田 勝	3			3
	半田 強	3			3
	深沢 軍治	9			9
	福沢 一郎		1		1
	藤田 嗣治	1			1
	藤間 清	3			3
	船窪 敏夫	2			2
	古沢 岩美	1			1
	降矢 組人	3			3
	古屋 浩蔵	2			2
	ホリウチ、ポール	2			2
	堀内 孝恵	2			2
	堀内 洋子	1			1
	増井 和弘	3			3
	増田 誠	5			5
	松本 鋭次	2			2
	水出 陽平	7	1		8
	南 薫造		1		1

区分	作家名	寄贈点数	購入点数	寄託(管理換えを含む)	計
洋画	宮下 圭介	1			1
	宮田 重雄	9			9
	宮田 晨哉	2			2
	森川 勇	5	2		7
	八代 美紀	1			1
	山川 輝夫	6	1		7
	山崎 隆夫	1	1		2
	山下 新太郎		1		1
	山田 耕三	8	1		9
	山本 日子士良	5	1		6
	吉野 純	7			7
	米倉 壽仁	60	1		61
	若菜 寿夫	4			4
	和田 三造			2	2
	わたなべ ゆう	4	1	2	7
	アルピニー、アンリ=ジョセフ		1		1
	ヴェラッサ、ジュール・ジャック			1	1
	ヴェロン、アレクサンドル・ルネ			1	1
	クチュール、トマ		1		1
	グリムー、アレクシス	1			1
	クールベ、ギュスターヴ		2		2
	ケデス、ルイ=ウジェーヌ	1			1
	コラン、ラファエル	1			1
	コロー、カミーユ		1		1
	シャガール、マルク	1			1
	ジャック、シャルル		2	3	5
	シャントルイユ、アントワーヌ			1	1
	セラマン、シャルル=フェルディナン	1			1
	ディアズ・ド・ラ・ペーニャ、ナルシス=ヴィルジール		3	2	5
	デュプレ、ジュール		3		3
	デュプレ、ジュリアン		1		1
	ドービニー、シャルル=フランソワ		1		1
	ドフォー、アレクサンドル		1		1
	トロワイヨン、コンスタン		2	1	3
	ブルトン、ジュール		1		1
	ヘリック、ウィリアム・ソルター	1			1
	ベルナール、エミール	1			1
	マハト、ヴェラ		3		3
	ミシェル、ジョルジュ		1		1
	ミレー、ジャン=フランソワ	1	8	3	12
	ヨンキント、ヨハン・バルトールト		1		1
	ライスダール、ヤーコプ・ファン		1		1

区分	作家名	寄贈点数	購入点数	寄託(管理換えを含む)	計
洋画	ルソー、テオドール	1	1		2
	ルドン、オディロン	1			1
	ルノワール、ピエール=オーギュスト			1	1
	レルミット、レオン=オーギュスタン		1		1
	ロラン、クロード		1		1
	計	442	100	38	580
版画	池田 満寿夫	2			2
	池田 良二	2			2
	石塚 翰	1			1
	一原 有徳	10			10
	伊東 深水	10	8		18
	伊藤 孝之	42			42
	遠藤 享	165	91		256
	遠藤 竜太	2		1	3
	大久保 婦久子	1			1
	岡本 太郎	9			9
	小川 兵衛	1			1
	郭 徳俊	1			1
	笠松 紫浪	254			254
	片岡 球子	1			1
	鐙木 清方	3			3
	川瀬 巴水	3	24		27
	河内 成幸	103	6		109
	河内 美榮子	12			12
	北川 民次	1			1
	木村 利三郎	20			20
	清原 啓子	25			25
	栗山 茂	14			14
	小磯 良平		7		7
	小枝 繁昭	3			3
	近藤 浩一路	1			1
	郷倉 和子	1			1
	齊藤 武士	7	9		16
	佐藤 正明	13	3		16
	佐野 めい	1			1
	篠田 桃紅			1	1
	荘司 福	1			1
	竹田 鎮三郎	1			1
	多田 美波	1			1
	月岡(大蘇) 芳年	6			6
	月舘 れい	1			1
	長岡 国人		5		5

区分	作家名	寄贈点数	購入点数	寄託(管理換えを含む)	計
版画	中澤 年章	27			27
	中西 夏之	5			5
	名取 春仙	10	72		82
	野田 正明	7			7
	梅堂 国政	1			1
	萩原 英雄	11	79		90
	橋口 五葉	12			12
	蜂須賀 国明	1			1
	浜田 知明	2	4		6
	秀島 由己男	6			6
	深沢 幸雄	215	85		300
	福沢 一郎	6			6
	福田 美蘭	1			1
	藤田 修	6			6
	古沢 岩美	1			1
	堀 文子	1			1
	堀井 英男	21			21
	前田 守一	2			2
	巻 白			1	1
	増田 誠	47			47
	松田 青風	1			1
	丸木 俊	1			1
	三岸 節子	1			1
	水野 年方	4			4
	棟方 志功			1	1
	森 義利	8			8
	山本 正文	34	10		44
	楊洲 周延	1			1
	渡辺 庄三郎	1			1
	アルナイス、ドレテオ	3			3
	オリベラ、フェルナンド	1			1
	オロスコ、ホセ・クレメンテ	1			1
	クラーベ、アントニ	3	3		6
	グレコ、エミリオ	4	17		21
	ゴヤ、フランシスコ・デ		33		33
	コルヴィッツ、ケーテ		12		12
	コルメンザーナ、エンリク		3		3
	コロー、カミーユ	19			19
	サリーナス、バルジュ	2			2
	サント、クロード	1			1
	シーレ、エゴン		2		2
	シャガール、マルク		2		2

区分	作家名	寄贈点数	購入点数	寄託(管理換えを含む)	計
版画	シャム、A. C. H.	30			30
	ジョーンズ、ジャスパール	1	1		2
	タピエス、アントニ		2		2
	チリーダ、エドゥワルド		9		9
	デューラー、アルブレヒト		1		1
	デュシャン、マルセル		1		1
	ドニ、モーリス	1			1
	ドービニー、シャルル=フランソワ	16	16		32
	ドーミエ、オノレ	23	11		34
	ドラクロワ、ウジェーヌ	19	13		32
	トレド、フランシスコ	1			1
	バスターナク、モーリス	2			2
	パチェコ、フェルナンド・カストロ	1			1
	バルラッハ、エルンスト		2		2
	ピサロ、カミーユ	2			2
	ピジュアン、エルナンデス	12			12
	フリードランド、ヨニー		12		12
	ブレイク、ウィリアム	12	29		41
	ブレダン、ロドルフ		1		1
	ベーハム、ハンス・ゼバルト	1			1
	ホガース、ウィリアム	10			10
	ホックニー、デイヴィッド		1		1
	ミレー、ジャン=フランソワ	35	1		36
	ミロ、ジョアン		1		1
	ムーア、ヘンリ	6			6
	メリヨン、シャルル	3			3
	ヨンキント、ヨハン・バルトールト		7		7
	ラソ、フルヘンシオ	2			2
	ルオー、ジョルジュ		14		14
	ルソー、テオドール	2			2
	『腐食銅版画家協会：近代の腐食銅版画』全5巻		329		329
	詩画集『ソネットとエッチング』全1巻		42		42
	「オリジナル・ワインラベル」のための原画	17			17
	詩画集『オアハカの3つの伝説』	1			1
	『闘争の450年ーメキシコ民衆へのオマージュ』	1			1
	作者不詳	1			1
	計	1384	968	4	2356
素描・水彩・パステル	秋山 泉	1			1
	浅岡 慶子	2			2
	浅川 伯教	1			1
	池田 龍雄		30		30
	石原 簡	2			2

区分	作家名	寄贈点数	購入点数	寄託(管理換えを含む)	計
素描・水彩・パステル	伊藤 孝之	1			1
	伊藤 禎朗	2			2
	大場 芳男	2			2
	尾澤 真蔵	2			2
	小山 周次	12			12
	鎗木 昌弥	7			7
	川崎 小虎	24			24
	橘田 正光	1			1
	小磯 良平		1		1
	小林 正治	18			18
	三枝 茂雄	1			1
	佐藤 正明			6	6
	沢田 哲郎		20		20
	白瀧 幾之助		38		38
	進藤 春木	5	2		7
	神中 糸子	12			12
	須田 国太郎		26		26
	宋 滌	1			1
	高山 良策	11			11
	武田 好文	2	1		3
	田辺 喜規	3			3
	土屋 義郎	5			5
	中山 正樹	1			1
	野田 修一郎	4			4
	のむら 清六	7			7
	萩原 英雄	72			72
	早川 重章	6			6
	東山 魁夷	1			1
	藤田 嗣治		3		3
	不破 章	15			15
	増田 実	2			2
	三井 桂	2			2
	南 薫造		1		1
	安井 曾太郎		30		30
	山田 耕三	100			100
	山田 申吾	2	13		15
	コクトー、ジャン		1		1
	ターナー、ウィリアム		1		1
	ドニ、モーリス	1			1
	ピカソ、パブロ			4	4
	プーセルデル、エミール=アントワーヌ	2			2
	ミレー、ジャン=フランソワ	6	15	3	24

区分	作家名	寄贈点数	購入点数	寄託(管理換えを含む)	計
素描・水彩・パステル	ロワゾー、エミール	1			1
	計	337	182	13	532
彫刻	吾妻 兼次郎		1		1
	雨宮 治郎		1		1
	井上 公雄	1			1
	岩崎 永人	1			1
	圓鰐 勝三		1		1
	岡本 太郎		1		1
	金田 豊	1			1
	小池 藤雄	1			1
	古賀 忠雄		1		1
	小林 泰彦	1			1
	佐藤 忠良	1	1		2
	佐藤 正明		1	1	2
	樋川 治之	3			3
	晝間 弘		1		1
	深沢 雄二			1	1
	藤川 勇造		3		3
	舟越 保武			2	2
	古川 順三		1		1
	柳原 義達	1			1
	カレラ、マヌエル	1			1
	グレコ、エミリオ		1		1
	クロチェッティ、ヴェナンツォ			1	1
	ザッキン、オシップ			2	2
	ブールデル、エミール=アントワヌ		1	1	2
	ボテロ、フェルナンド		1		1
	マイヨール、アリスティード			1	1
	マリーニ、マリノ		1		1
	ムーア、ヘンリ			1	1
	ロダン、オーギュスト		1		1
	計	11	17	10	38
工芸	浅川 伯教	6			6
	秋山 逸生	1			1
	雨宮 静軒	4	1		5
	雨宮 弥太郎	1		1	2
	市島 桜魚			1	1
	伊藤 北斗			1	1
	伊藤 東彦			1	1
	井伏 圭介	5			5
	今泉 善雄			1	1
	内野 薫			1	1

区分	作家名	寄贈点数	購入点数	寄託(管理換えを含む)	計
工芸	白井 和成			1	1
	江里 佐代子			1	1
	大井 正則			1	1
	岡村 康子			1	1
	荻野 令子			1	1
	小野寺 玄			1	1
	角 偉三郎			1	1
	角 好司			1	1
	加藤 伸也			1	1
	勝又 智志			1	1
	勝間田 千恵子			1	1
	川北 良造	1			1
	川瀬 忍			1	1
	木村 芳郎			1	1
	久保田 厚子			1	1
	黒澤 千春			1	1
	鯉江 良二			1	1
	小泉 竹雄	5			5
	河野 三秋			1	1
	河野 すゝむ	1			1
	河野 道一	1			1
	小林 英夫(ガラス)			1	1
	小林 英夫(陶器)			1	1
	古伏脇 司			1	1
	坂 高麗左衛門			1	1
	佐藤 和彦			1	1
	末岡 信彦			1	1
	鈴木 三成			1	1
	高野 誠	2			2
	高橋 誠			1	1
	滝口 和男			1	1
	宅間 正一	9			9
	宅間 裕	3			3
	武田 成功	5			5
	田中 信行			1	1
	茅野 恒雄	4			4
	辻 賢三			1	1
	徳田 八十吉			1	1
	徳丸 鏡子			2	2
	富岡 鉄斎			4	4
	内藤 香石	2			2
	中島 晴美			1	1

区分	作家名	寄贈点数	購入点数	寄託(管理換えを含む)	計
工芸	長野 烈			1	1
	夏目 有彦			1	1
	西端 正			1	1
	根本 曠子			1	1
	野口 小蘋			2	2
	橋本 真之			1	1
	蓮田 修吾郎	1			1
	畠山 耕治			1	1
	花川 七郎	1			1
	林 茂松(二代)	2			2
	林 敏夫			1	1
	妣田 圭子	2			2
	福島 武山			1	1
	藤田 潤			1	1
	藤田 敏彰			1	1
	藤塚 松星			1	1
	古屋 真知子	3			3
	深見 陶治			1	1
	堀口 光彦	1			1
	堀田 一昌	3			3
	前田 昭博			1	1
	前田 正博			1	1
	益田 芳徳			1	1
	増村 紀一郎			1	1
	松井 康陽			1	1
	松田 富彌	11			11
	松田 百合子	2		1	3
	三浦 硯鈴	2			2
	三上 亮			1	1
	水上 隆志			1	1
	三田村 有純			1	1
	三好 かがり			1	1
	三輪 和彦	1			1
	三輪 休雪(十一代)	1			1
	室瀬 和美			1	1
	山田 和			1	1
	山本 陶秀	1			1
	山本 雄一			1	1
	山脇 洋二	1			1
	吉田 美統	1		1	2
	計	83	1	70	154

区分	作家名	寄贈点数	購入点数	寄託(管理換えを含む)	計
複合造形	浅井 裕介	2			2
	秋山 令一	3			3
	浅岡 慶子		2		2
	浅川 洋	1			1
	石田 泰道	2			2
	伊東 茂広	2			2
	伊藤 孚	2			2
	井上 麦	1			1
	河内 成幸	2			2
	橘田 尚之	2			2
	窪 譲二	2			2
	栗田 宏一	1			1
	小林 正治	18			18
	佐藤 時啓	1			1
	佐藤 聖美	1			1
	白井 嘉尚	2			2
	須田 悦弘	8		2	10
	たかくら かずき	4			4
	富永 泰雄	1			1
	中山 正樹	1			1
	早川 重章	1			1
	深沢 修	1			1
	深沢 軍治	2			2
	福田 美蘭	1			1
	福村 龍哉	2			2
	三木 俊治	1			1
	柳 幸典	5			5
	山崎 宏	1			1
	山本 正文	1			1
	クリスト	36			36
	ボイス、ヨーゼフ		1		1
	ヤンセン、テオ	1			1
	グループ 汎	13			13
	計	121	3	2	126
資料	穴山 勝堂	1			1
	河内 成幸	7			7
	近藤 浩一路			7	7
	神中 糸子	4			4
	名取 春仙	1			1
	野口 小蕙	1			1
	野口 小蘋	1			1
	のむら 清六	1			1

区分	作家名	寄贈点数	購入点数	寄託(管理換えを含む)	計
資料	萩原 英雄	1			1
	埴原 久和代	4			4
	深沢 幸雄	7			7
	増田 誠	2			2
	松下 一身	1			1
	山田 申吾	1			1
	米倉 壽仁	1			1
	ヴェルナー、カール	1			1
	クリスト	1			1
	ミレー、ジャン＝フランソワ	1	1		2
	伊勢型紙	6			6
	クローン文化財			1	1
	触覚鑑賞教材	1			1
	計	43	1	8	52
写真	カルマン、ベラ			1	1
	ナダール		1		1
	ティオリエ、フェリックス		2		2
	計	0	3	1	4
計		2928	1343	184	4455

萩原英雄作品	版画(含むエッチング、リトグラフ)	1086			4050 ※1
	版画以外の作品	2964			
萩原コレクション		892			892 ※1
深沢幸雄作品	版画	689			1416 ※2
	版画以外の作品	727			
深沢コレクション		393			393 ※2
野口コレクション		437		207	644 ※3
計		7188		207	7395

総計		10116	1343	391	11850
----	--	-------	------	-----	-------

※1. 平成11、12、16、17、26年度に寄贈された。

※2. 平成19年度に一括寄贈された。

※3. 平成30年度に一括寄贈、令和6年度に一括寄託された。

新 収 蔵 図 書

※受入順

(令和7年4月1日～令和8年3月31日)

<寄贈図書>

タ イ ト ル	出 版 社 ・ 発 行 元 名 称
愛知県美術館年報 32号 2023 (令和5) 年度版	愛知県美術館
令和5年度 長崎県美術館年報 No.18	長崎県美術館
果てなきスペイン美術—拓かれる表現の地平	長崎県美術館、三重県立美術館
特別展 グライズデール・アーツと下関 ライフパーク/人生という芸術の肖像	下関市立美術館
ホー・ツーニエン エージェントのA	torch press
菊舎 旅と友を愛したひと	下関市立美術館
久万美の原点—洲之内徹	町立久万美術館
開発好明 ART IS LIVE—ひとり民主主義へようこそ	現代企画室
日本現代美術私観：高橋龍太郎コレクション	国書刊行会
MOTコレクション 歩く、赴く、移動する 1923→2020 Eye to Eye 一見ること	東京都現代美術館
MOTコレクション 竹林之七妍 特集展示 野村和弘 Eye to Eye 一見のこと	東京都現代美術館
MOTコレクション 竹林之七妍 小さな光 開館30周年記念プレ企画 イケムラレイコ マーク・マンダース Rising Light/Frozen Moment	東京都現代美術館
豊島康子 発生法—天地左右の裏表	書肆九十九
翻訳できない わたしの言葉	東京都現代美術館
相国寺展—金閣・銀閣 鳳凰がみつめた美の歴史	NHK、NHKプロモーション、日本経済新聞社
カラーズ—色の秘密にせまる 印象派から現代アートへ	公益財団法人ポーラ美術振興財団 ポーラ美術館
2024年度 国立美術館巡回展 超絶技巧からモダンへ—京都・近代工芸の新展開—	長崎県美術館、京都国立近代美術館
パウル・クレー展—創造をめぐる星座	中日新聞社
長崎県美術館研究紀要 No.10	長崎県美術館
福岡市美術館研究紀要 第13号	福岡市美術館
美曾手 川瀬忍	中長小西
ポーラ美術館コレクション選	公益財団法人ポーラ美術振興財団 ポーラ美術館
2024年度企画展「くらしの道具」展示解説書 たんけんブック	一宮市博物館
第54回 日本彫刻会展覧会 図録	公益社団法人 日本彫刻会
現代の眼 639号	独立行政法人国立美術館 東京国立近代美術館
芸術学 28号	三田芸術学会
企画展「ふるさと四季」長崎莫人展	朝日町立ふるさと美術館
アートの今2024 第4回公募アートハウスおやべ現代造形展 受賞作家展	アートハウスおやべ
国際芸術祭「あいち」地域展開事業 底に触れる 現代美術 in 瀬戸	国際芸術祭「あいち」地域展開事業実行委員会、瀬戸市
多摩美術大学博士課程展 2025	多摩美術大学
公益財団法人 石橋財団 アニュアル・レポート 2024	公益財団法人 石橋財団
「清流の国ぎふ」文化祭2024 生誕130年荒川豊蔵展	生誕130年荒川豊蔵展実行委員会
多摩美術大学研究紀要 第39号 2024年	多摩美術大学

タ イ ト ル	出 版 社 ・ 発 行 元 名 称
浦幌町立博物館紀要 第25号	浦幌町立博物館
飯田市美術博物館 研究紀要 第35号 2025年	飯田市美術博物館
岐阜県現代陶芸美術館 研究紀要 第9号	岐阜県現代陶芸美術館
中西夏之資料の調査研究 2024	永松左知、福元崇志、常深新平
北海道立北方民族博物館資料目録20 井上文庫目録・藤城文庫目録	北海道立北方民族博物館
山形美術館のあゆみ 60周年記念誌	山形美術館
SOMPO美術館 研究紀要 第2号	公益財団法人 SOMPO美術財団／ SOMPO美術館
横尾忠則現代美術館 年報 令和4・5 (2022・2023) 年度	横尾忠則現代美術館
MUSEOLOGIST 40 明治大学学芸員養成課程年報	明治大学学芸員養成課程
MUSEUM STUDY 36 明治大学学芸員養成課程紀要	明治大学学芸員養成課程
横須賀美術館年報 令和5年度版 [2023.4.1-2024.3.31]	横須賀美術館
令和5年度 兵庫県立美術館 年報	兵庫県立美術館
JIDAデザインミュージアムセレクションVOL.26	公益社団法人 日本インダストリアルデ ザイン協会 (JIDA) ミュージアム委員会
瑛九 ―まなざしのその先に―	横須賀美術館
描く人、安彦良和	毎日新聞社、毎日放送
石岡瑛子Iデザイン	朝日新聞出版
1995⇄2025 30年目のわたしたち Book 1	兵庫県立美術館
1995⇄2025 30年目のわたしたち Book 2+その他の事業記録	兵庫県立美術館
黒川古文化研究所紀要 古文化研究 第24号	黒川古文化研究所
開館30周年記念・生誕100年記念 深澤幸雄展―彫刻に依って歌う詩人	佐倉市立美術館
1959―スペインにいった現代日本版画展	神奈川県立近代美術館
岩竹理恵+片岡純也×コレクション 重力と素材のための図鑑	神奈川県立近代美術館
栗林隆 Roots	求龍堂
石田尚志 絵と窓の間	ケンエレブックス
てあて・まもり・のこす 神奈川県立近代美術館の保存修復	神奈川県立近代美術館
尚蔵 ― 皇居三の丸尚蔵館紀要 創刊号 (通号30号) 2024 (令和6) 年度	皇居三の丸尚蔵館
うらわ美術館年報 令和5年度	うらわ美術館
第75回 モダンアート展 作品集	モダンアート協会
中世の華・黄金テンペラ画―石原靖夫の復元模写 チェンニーノ・チェンニーニ 『絵画術の書』を巡る旅	目黒区美術館
研究図録シリーズ11 文雅の典範 清朝盛世の書画	黒川古文化研究所
障がいのあるアーティストによる作品集 日々のよろこび2024 記録集	目黒区
藝叢 筑波大学芸術学研究誌 第40号 (2025)	筑波大学芸術系美術史研究室
博物館学年報 第56号	同志社大学博物館学芸員課程
久留米市美術館年報7 2023.4-2024.3	久留米市美術館 (公益財団法人 久留米 市文化振興会)
目黒区美術館年報 令和3 (2021) ・4 (2022) ・5 (2023) 年度	目黒区美術館
現代の日本画―その冒険者たち	岡崎市、中日新聞社
博士学位論文 内容の要旨および審査結果の要旨 第22号	多摩美術大学大学院
安曇野市豊科近代美術館報 第32号 令和5年度 2023年	安曇野市豊科近代美術館
爆誕!!かわさき100年物語	川崎市市民ミュージアム

タ イ ト ル	出 版 社 ・ 発 行 元 名 称
東京国立近代美術館 研究紀要 第29号	東京国立近代美術館
川崎市市民ミュージアム 紀要 第37集	川崎市市民ミュージアム
山梨県立博物館 研究紀要 第19集 2025	山梨県立博物館
山梨県立博物館開館20周年記念 特別展 武田勝頼	山梨県立博物館
山梨県立博物館調査・研究報告17 月岡芳年筆「甲府道祖神祭幕絵 太閤記 佐久間盛政羽柴秀吉を狙ふ」修理報告書 —「月岡芳年筆「甲府道祖神祭幕絵 太閤記 佐久間盛政羽柴秀吉を狙ふ」(山梨県立博物館蔵)に関する基礎的研究」報告書—	山梨県立博物館
令和5年度 山梨県立博物館年報	山梨県立博物館
「交ひ」開かれた山国 山梨県立博物館展示案内	山梨県立博物館
川村学園女子大学 研究紀要 第三十六巻	川村学園女子大学図書委員会
令和六年 真田宝物館特別展「象山、何者?!」	長野市文化財課 松代文化施設等管理事務所(真田宝物館)
倉俣史朗のデザイン—記憶のなかの小宇宙	朝日新聞社
LOVEファッション—私を着がえるとき	京都服飾文化研究財団
生誕120年 人間国宝 黒田辰秋—木と漆と螺鈿の旅—	京都国立近代美術館
没後100年 富岡鉄斎	毎日新聞社
武蔵野美術大学 美術館・図書館 所蔵 大辻清司アーカイブフィルムコレクション 8 変貌する山河—梓川電源開発	武蔵野美術大学美術館・図書館
サントリー美術館 研究紀要 第九号	サントリー美術館
名古屋市博物館研究紀要 第48巻	名古屋市博物館
第111回光風会展作品集	光風会
美史研ジャーナル 第20号	武蔵野美術大学美学美術史研究室
富士山御師のヒミツ	富士吉田市教育委員会
保存科学 第64号	独立行政法人国立文化財機構 東京文化財研究所
東京工芸大学写大ギャラリー年報 Annual Report 2024	東京工芸大学芸術学部
女子美術大学研究紀要 第55号	女子美術大学 女子美術大学短期大学部
美術史学 第46号	東北大学大学院文学研究科美術史学講座
島根県立美術館研究紀要 第6号	島根県立美術館
佐賀県立博物館・佐賀県立美術館 調査研究所 第49集	佐賀県立博物館、佐賀県立美術館
出光美術館研究紀要 第三十号 (二〇二四年度)	出光美術館
DIC川村記念美術館	DIC川村記念美術館
カール・アンドレ 彫刻と詩、その間	DIC川村記念美術館
西村勝人 静寂の響き	DIC川村記念美術館
2024 高松宮殿下記念世界文化賞	公益財団法人 日本美術協会
大槻孝之 ワークス1979-2024	大槻孝之
彫刻研究誌アートライブラリー No.24 2024	公益社団法人 日本彫刻会
2020-2025 八戸市美術館 学校連携事業活動報告	八戸市美術館
2025年 第41回写真の町東川賞 受賞者発表 授賞式及びフォトフェスタ案内	東川町＜写真の町＞実行委員会
共同研究プロジェクト報告書 平版印刷における原初の技法を記録保存するための調査・研究	武蔵野美術大学

タ イ ト ル	出 版 社 ・ 発 行 元 名 称
石に遊ぶ―愛石家たちの想像と創造 日比義也コレクション名品展	早稲田大学會津八一記念博物館
美術研究 第四百四十五号	独立行政法人国立文化財機構 東京文化財研究所
岡山県立美術館紀要 第15号 令和6年度	岡山県立美術館
牛島智子「ホクソ笑む葉緑素」ARCHIVE BOOK	九州産業大学美術館
豊田市美術館 年報 No.28 令和5年度	豊田市美術館
正倉院紀要 第47号	宮内庁正倉院事務所
豊田市美術館紀要 No.17	豊田市美術館
しないでおく、こと。芸術と生のアナキズム	月曜社
玉山拓郎:FLOOR	Rondade
TOKYO MIDTOWN AWARD 2024	東京ミッドタウンマネジメント
北日本新聞創刊140周年・富山県水墨美術館開館25周年記念 歌麿、北斎、若冲、蕭白、秋暉…魅惑の摘水軒コレクション 江戸絵画の奇才たち	摘水軒名品展実行委員会
令和5年度 富山県水墨美術館 年報	富山県水墨美術館
高松コンテンポラリーアート・アニュアル vol.12 わたしのりんかく	高松市美術館
令和3・令和4・令和5年度 高松市美術館／高松市塩江美術館年報	高松市美術館、高松市塩江美術館
Art Anthropology 20	多摩美術大学アートとデザインの人類学研究所 (IAAD)
飯野一朗 退任記念展	東京藝術大学
一宮市博物館開館10周年記念特別展 画家佐分眞の軌跡	一宮市博物館
一般財団法人 地域創造 設立30年のあゆみ 1994-2024	財団法人地域創造
第63回 日本現代工芸美術展 2025	一般社団法人現代工芸美術家協会
第120回記念 太平洋展作品集	太平洋美術会
LE MUSEE THOMAS HENRY à Cherbourg les collections et leur histoire	ART de BASSE-NORMANDIE
Felix BUHOT 1847-1898 Peintre d'atmosphères	CHARBOURG en Contentin
2015 山梨・人ねっこアート展	山梨・人ねっこアートワーク
A WINNING END-GAME FRANCIS COTES,WILLIAM EARLE WELBY AND HIS WIFE PENELOPE	MATTHIESEN
三井美術文化史論集 第18号	公益財団法人三井文庫 三井記念美術館
高松松平家歴史資料目録Ⅶ 小品盆栽道具	香川県立ミュージアム
夢―歌会始御題によせて―	式年遷宮記念神宮美術館
静岡県立美術館紀要 第40号	静岡県立美術館
フィロカリア 第42号	大阪大学大学院人文学研究科芸術学専攻
待兼山論叢 第58号	大阪大学人文学研究科・文学会
甲斐 第166号	山梨郷土研究会
IAMAS 2024 第22期生修了研究発表会	情報科学芸術大学院大学 [IAMAS]
企画展示 時代を映す錦絵 ―浮世絵師が描いた幕末・明治―	大学共同利用機関法人 人間文化研究機構 国立歴史民俗博物館
謙慎書道会展役員作品図録 第八十七回展	謙慎書道会
富士山と日本人 豊かな「富士山学」への誘い	静岡新聞社
丸山芳子 MARUYAMA YOSHIKO works:1982-2024	丸山芳子
ひだまりの絵本画家 柿本幸造展	ひろしま美術館

タ イ ト ル	出 版 社 ・ 発 行 元 名 称
日本画の名作展 大観と春草から杉山寧を中心に	ひろしま美術館
東京造形大学 研究報 26	東京造形大学
梶光夫コレクション EMAUX エマーユ 炎の芸術エマーユ／美しき女神たちの肖像	東京美術
梶コレクション展 ―色彩の宝石、エマーユの美	国立西洋美術館
山田啓貴展 ―旅への出発―	至峰堂画廊
水害と博物館 ―川崎市市民ミュージアム 被災収蔵品レスキューの記録―	求龍堂
京都市京セラ美術館開館記念展 京都の美術 250年の夢 第1部 江戸から明治へ：近代への飛躍	光村推古書院
京都市京セラ美術館開館記念展 京都の美術 250年の夢 第2部 明治から昭和へ：京都画壇の隆盛	光村推古書院
京都市京セラ美術館開館記念展 京都の美術 250年の夢 第3部 戦後から現代へ：未来への挑戦	光村推古書院
東京藝術大学美術学部紀要 第58号	東京藝術大学美術学部
東京藝術大学美術学部論叢 第21号	東京藝術大学美術学部
没後100年 中村彝展―アトリエから世界へ	茨城県近代美術館
山崎修二 寄贈作品披露展	浜田市世界こども美術館
哲学会誌 第四十九号	学習院大学哲学会
寄贈彫刻作品集	南相馬市博物館
加賀谷武作品集 空間の探索者 Vol.2 2015年から2022年	公益財団法人クロスランドおやべ
碌山美術館報 第45号	財団法人 碌山美術館
東京都写真美術館年報 2024-25 (令和6年度)	公益財団法人 東京都歴史文化財団 東京都写真美術館
東京ステーションギャラリー 2024-25 活動報告 研究紀要第11号	東京ステーションギャラリー
2025 山梨・人ねっこアート展	山梨・人ねっこアートワーク
第23回 NAU21世紀美術連立展	NAU21世紀美術連立展事務局
第84回 日本画院展	日本画院
コレクション・リーディングvol.8 ふたたび！プロダクツで作る善三展の記録	坂本善三美術館
ムゼイオン 立教大学博物館研究 No.68	立教大学 学校・社会教育講座 学芸員課程
「國華清話会」会報 第四十五号 令和七年春刊	國華清話会・國華社
奈良県立美術館 紀要 第39号	奈良県立美術館
奈良県立美術館 年報 令和5年度	奈良県立美術館
山梨科学アカデミー会報 創立30周年記念特別号 第54号	公益社団法人 山梨科学アカデミー
鶴見大学博物館学芸員課程年報 第6号	鶴見大学博物館学芸員課程
PARALLEL MODE: オディロン・ルドン―光の夢、影の輝き	岐阜県美術館、ひろしま美術館、パナソニック汐留美術館
皇居三の丸尚蔵館特別協力 PARALLEL MODE：山本芳翠―多彩なるヴィジュアル・イメージ	岐阜県美術館
ヨハネ・パウロ2世美術館展	ホワイトインターナショナル
瀬戸内海国立公園指定90周年 わたしのうみ ART／LIFE	愛媛県美術館
愛媛県美術館 令和5年度年報・研究紀要第23号	愛媛県美術館
水墨画公募展 2025 美しい山梨の自然展	水越夏絵水墨画教室
浜田市世界こども美術館創作活動館 令和5・6年度年報	浜田市世界こども美術館創作活動館

タ イ ト ル	出 版 社 ・ 発 行 元 名 称
トーキョーアーツアンドスペース アニュアル 2024	東京都歴史文化財団 東京都現代美術館、トーキョーアーツアンドスペース
博多のみほとけ	特別展「博多のみほとけ」実行委員会 (福岡市美術館、西日本新聞社、西日本新聞イベントサービス)
受贈記念特別公開 まぼろしの春画 国貞三源氏	福岡市美術館、読売新聞西部本社、FBS福岡放送、チケットぴあ九州
KYNE	KYNE展実行委員会
〔企画展〕あらがう	福岡市美術館
足立区立郷土博物館紀要 第45号 ―令和5年度 調査研究報告・年報―	足立区
アート・ドキュメンテーション研究 第33号	アート・ドキュメンテーション学会
2024年度(令和6年度)鹿児島県霧島アートの森年報	鹿児島県霧島アートの森
二〇二四年度 五島美術館研究紀要 第十三号	五島美術館
町田市立国際版画美術館紀要 第28号	町田市立国際版画美術館
αMプロジェクト2023-2024 開発の再開発	武蔵野美術大学出版局
昭和の報道写真秘話 戦争前後を中心に 同盟通信社カメラマン活動を振り返る	公益財団法人新聞通信調査会
大月短大論集 第56号	大月短期大学
大原芸術研究所紀要 第1号 2025	公益財団法人大原芸術財団
特別展「異文化は共鳴するのか?大原コレクションでひらく近代への扉」記念シンポジウム「美術交流と異文化の共鳴 西洋/日本を中心に」記録集	公益財団法人大原芸術財団
中之条ビエンナーレ 国際芸術交流プログラム	中之条ビエンナーレ実行委員会
2023年度 京都工芸繊維大学美術工芸資料館年報32	京都工芸繊維大学 美術工芸資料館
藝術学研究 第三十五号	明治学院大学藝術学会
八戸市美術館収蔵品目録 1986-2019 版画	八戸市美術館
ヒルマ・アフ・クリント展	日本経済新聞社
ハニワと土偶の近代	東京国立近代美術館
TRIO:パリ・東京・大阪 モダンアート・コレクション	日本経済新聞社
MOMATコレクション小特集 プレイバック「日米抽象美術展」(1955)	東京国立近代美術館
極上の仮名 ―王朝貴族の教養と美意識―	勉誠社
美をたどる 皇室と岡山〜三の丸尚蔵館収蔵品より	特別展「美をたどる 皇室と岡山〜三の丸尚蔵館収蔵品より」実行委員会
重要文化財指定記念特別展 百草蒔絵薬筆笥と飯塚桃葉	根津記念館
武家の正統 片桐石州の茶	根津美術館
根津美術館 新蔵品選 考古	根津美術館
根津美術館 新蔵品選 仏画	根津美術館
根津美術館紀要 此君 第十五号	根津美術館
東京国立博物館紀要 第六〇号	東京国立博物館
MUSEUM 東京国立博物館研究誌 第712号	東京国立博物館
MUSEUM 東京国立博物館研究誌 第713号	東京国立博物館
MUSEUM 東京国立博物館研究誌 第714号	東京国立博物館
MUSEUM 東京国立博物館研究誌 第715号	東京国立博物館
日本美術の鉤脈展 未来の国宝を探せ!	大阪中之島美術館、日本経済新聞社、NHK大阪放送局、NHKエンタープライズ近畿

タ イ ト ル	出 版 社 ・ 発 行 元 名 称
百花ひらくー花々をめぐる美ー	独立行政法人国立文化財機構 皇居三の丸尚蔵館
開館記念展 皇室のみやびー受け継ぐ美ー 第4期 三の丸尚蔵館の名品	独立行政法人国立文化財機構 皇居三の丸尚蔵館
開館記念展 皇室のみやびー受け継ぐ美ー 第3期 近世の御所を飾った品々	独立行政法人国立文化財機構 皇居三の丸尚蔵館
開館記念展 皇室のみやびー受け継ぐ美ー 第2期 近代皇室を彩る技と美	独立行政法人国立文化財機構 皇居三の丸尚蔵館
開館記念展 皇室のみやびー受け継ぐ美ー	独立行政法人国立文化財機構 皇居三の丸尚蔵館
花鳥風月ー水の情景・月の風景	独立行政法人国立文化財機構 皇居三の丸尚蔵館
皇室の名宝と秋田 三の丸尚蔵館収蔵品展	皇室の名宝と秋田実行委員会
奈良国立博物館開館一三〇年記念特別展 超 国宝 ー祈りのかがやきー	奈良国立博物館、朝日新聞社、NHK奈良放送局、NHKエンタープライズ近畿
鹿園雑集 奈良国立博物館研究紀要 第27号	奈良国立博物館
諏訪市博物館特別展 諏訪のお殿さま ー歴代高島藩主諏訪家の人・もの・思いー	諏訪市博物館
浮世絵でめぐる隅田川の名所	たばこと塩の博物館
宮内庁京都事務所 年報6	宮内庁京都事務所
2024年度版 たばこと塩の博物館 年報 (40号)	たばこと塩の博物館
森美術館活動記録 2018-2023	森美術館
大地の五億年 せめぎあう土と生き物たち	山と溪谷社
心象工芸展	国立工芸館
ANNUAL REPORT OF IBARAKI NATURE MUSEUM ー年報第31号 令和6年度ー	ミュージアムパーク茨城県自然博物館
パナソニック汐留美術館『年報+研究発表』2022-2024 (令和4ー令和6年度) Vol.7	パナソニック汐留美術館
2024年度 東北福祉大学芹沢銈介美術工芸館 年報16	東北福祉大学芹沢銈介美術工芸館
ジャン・フランソア・ミレエ	木星社書院
仙台市・宇和島市歴史姉妹都市連携50周年記念特別展 図録 伊達を継ぐものー仙台藩を築立った殿様たち	仙台市博物館
2024年度「ZEN AIR -Artist in Residence EIHEIJI」活動記録集	ふくいArts Center and Residenceプロジェクト実行委員会
令和7 (2025) 年度 国立歴史民俗博物館 要覧	国立歴史民俗博物館
安曇野高橋節郎記念美術館 美術館一年のあゆみ 令和6年度 (令和6年4月～令和7年3月)	安曇野高橋節郎記念美術館
愛知洋画壇物語 PARTⅢ	風媒社
独立行政法人 国立文化財機構 東京文化財研究所 概要 2025	東京文化財研究所
明治美術学会40周年国際シンポジウム 明治から／明治へー書き直し 近代日本美術	明治美術学会
静岡県立美術館年報 令和6年度	静岡県立美術館
現代フランス・ナイーブ派絵画	ホワイトインターナショナル
没後30年 木下佳通代	赤々舎
メキシコへのまなざし	埼玉県立近代美術館
令和6年度 東北芸術工科大学 文化財保存修復研究センター紀要	東北芸術工科大学 文化財保存修復研究センター
AOMORI GOKAN アートフェス2024 公式ガイドブック	グラフ青森
よむ あむ うつつ 勝城蒼鳳ー人間国宝に訊く竹の道	栃木県立美術館
裸の大將放浪記 第一巻	ノーベル書房
裸の大將放浪記 第二巻	ノーベル書房

タ イ ト ル	出 版 社 ・ 発 行 元 名 称
裸の大將放浪記 第三巻	ノーベル書房
裸の大將放浪記 第四巻	ノーベル書房
第43回 明日をひらく絵画 上野の森美術館大賞展	公益財団法人日本美術協会 上野の森美術館
VOCA展 2025 現代美術の展望—新しい平面の作家たち	「VOCA展2025」実行委員会／公益財団法人日本美術協会 上野の森美術館
新潟市美術館・新潟市新津美術館研究紀要 第10号（令和6年度）	新潟市美術館
東京大学大学院人文社会系研究科・文学部美術史研究室紀要 美術史論叢 41	東京大学大学院人文社会系研究科・文学部美術史研究室
第52回 美術講演会講演録	鹿島出版会
舟と人類—アジア・オセアニアの海の暮らし	河出書房新社
浦田和義作品集	浦田啓子
日本の版画1200年—受けとめ、交わり、生まれ出る	町田市立国際版画美術館
令和6年度 山梨県富士山科学研究所年報 第28号	山梨県富士山科学研究所
令和6年度 広島県立美術館年報	広島県立美術館
広島県立美術館 研究紀要 第28号	広島県立美術館
岡田文化財団所蔵 萬古焼コレクション	（財）岡田文化財団
日仏美術学会会報 2024年 第44号	日仏美術学会
第4回 三井ゴールデン匠賞	三井広報委員会
第5回 三井ゴールデン匠賞	三井広報委員会
慶應義塾大学アート・センター 年報／研究紀要32（2024/25）	慶應義塾大学 アート・センター
第60回記念 主体展作品集 2025	主体美術協会
主体美術 創立60周年記念誌	主体美術協会
人間国宝 鈴木藏展	高島屋
公益財団法人札幌市芸術文化財団 2024 令和6年度 事業年報	公益財団法人札幌市芸術文化財団
第4回本郷新記念札幌彫刻賞受賞記念 藤原千也展 生まれようとした時の光をみたい 図録	公益財団法人札幌市芸術文化財団
山内壮夫 共鳴する彫刻	中西出版
札幌美術展 マイ・ホーム（仮）	中西出版
彫刻60年 鈴木吾郎 悠久を舞う	中西出版
小松美羽 祈り 宿る	求龍堂
共振—本郷新+北海道の現代アーティスト	公益財団法人札幌市芸術文化財団
大沢昌助展 Part.01	川田（川田画廊）
信州から考える絵画表現の50年	長野県立美術館
自然と人間／あいだの美術	長野県立美術館
2024年度 オープンギャラリー 山の画家 足立源一郎	長野県立美術館
長野県立美術館紀要 第19号	長野県立美術館
長野県立美術館2024年度（令和6年度） 館報 No.27	長野県立美術館
原田祐規：ドリームスケープ 公開制作vol.4、NAMコレクション2024 第Ⅲ期 記録集	this and that
高間眞「陶の貌」作品集	高間吉子
永田生慈 北斎コレクション総目録〈2〉—「葛飾北斎期」「戴斗期」編	島根県立美術館
美術研究 第四百四十六号	独立行政法人国立文化財機構 東京文化財研究所

タ イ ト ル	出 版 社 ・ 発 行 元 名 称
宮崎県立美術館 年報 令和6年度	宮崎県立美術館
第88回 新制作展図録	新制作協会
仙台市博物館調査研究報告 第45号・令和6年度	仙台市博物館
仙台市博物館年報 第52号 令和6年度	仙台市博物館
ウチの江戸美人	晶文社
ローマ経済の考古学	平凡社
レオナルド・フジタ近作集	彩壺堂
富士フィルム スクエア 2024年度 活動報告書	富士フィルム
甲斐 第167号	山梨郷土研究会
花をみつめて	秋山書店
旅の待合室Ⅱ 国の光を観て	丸善プラネット
信家	gallery陽々 youyou
山口蓬春記念館研究紀要 第十二号	山口蓬春記念館
調査研究報告書 第7号	公益財団法人吉野石膏美術振興財団
山梨県立博物館開館20周年記念特別展 甲州財閥展	山梨県立博物館
京都府埋蔵文化財情報 第149号	京都府埋蔵文化財調査研究センター
MIKI SELECTED WORKS 1968~2010	三木俊治
吉田千鶴子―踊れ、謳へ、描け 戦後の熱き時代を生きた美術家	三鷹市美術ギャラリー
高森碎巖 ―長南に生まれた最後の南画家―	城西国際大学水田美術館
傘寿記念 中島千波展	三越伊勢丹
開館30周年記念展 会津の系譜―近現代の歩み	喜多方市美術館
令和5年度 大分県立美術館年報	公益財団法人 大分県芸術文化スポーツ振興財団・大分県立美術館
大分県立美術館 研究紀要 第8号	公益財団法人 大分県芸術文化スポーツ振興財団・大分県立美術館
大分県立美術館 研究紀要 第9号	公益財団法人 大分県芸術文化スポーツ振興財団・大分県立美術館
積層する時間:この世界を描くこと	マイブックサービス
第78回 二紀展	社団法人 二紀会
小野竹喬から猪熊弦一郎、李禹煥まで リトグラフで辿るアトリエMMGの33年	早稲田大学會津八一記念博物館
菊畑茂久馬 月光 1985-1988	HY's コンテンポラリーヘイズ
天理参考館報 第38号	天理大学出版部
ミュージアム・クルーズ記録集2024	金沢21世紀美術館
WEB3?ART WEB3とアートの本当の話	金沢21世紀美術館、デロイト トーマツグループ
2024年度 町田市立博物館 年報/紀要	町田市立博物館
府中市美術館年報 令和4-5年度	府中市美術館
橋口五葉のデザイン世界	INDEPENDENT
司馬江漢と亜欧堂田善 かつていい油絵	東京美術
アルフォンス・ミュシャ ふたつの世界	筑摩書房
吉田遠志展 ―私たちは見つめられている―	府中市美術館
小西真奈 Wherever	府中市美術館
吉田遠志 作品資料目録	府中市美術館
風景画への道 大津英敏展	三越伊勢丹

タ イ ト ル	出 版 社 ・ 発 行 元 名 称
特集展示 人吉球磨の玉手箱	九州国立博物館
特別展 はにわ	朝日新聞社、NHK、NHKプロモーション
東風西声 九州国立博物館紀要 第20号	九州国立博物館
平成30-令和元年度 九州国立博物館 文化財修理報告	九州国立博物館
直野宣子展 ―ノスタルジア―	名古屋画廊
出光美術館 館報 第200号	出光美術館
滋賀県アール・ブリュット全国作品調査研究 令和5年度報告書	ボーダレス・アートミュージアムNO-MA社会福祉法人グロー (GLOW) ～生きることが光になる～法人事務局地域共生部
滋賀県アール・ブリュット全国作品調査研究 令和4年度報告書	ボーダレス・アートミュージアムNO-MA社会福祉法人グロー (GLOW) ～生きることが光になる～法人事務局地域共生部
滋賀県アール・ブリュット全国作品調査研究 令和3年度報告書	ボーダレス・アートミュージアムNO-MA社会福祉法人グロー (GLOW) ～生きることが光になる～法人事務局地域共生部
滋賀県アール・ブリュット全国作品調査研究 令和2年度報告書	ボーダレス・アートミュージアムNO-MA社会福祉法人グロー (GLOW) ～生きることが光になる～法人事務局地域共生部
滋賀県アール・ブリュット全国作品調査研究 令和元年度報告書	社会福祉法人グロー (GLOW) ～生きることが光になる～法人本部企画事業部
滋賀県アール・ブリュット全国作品調査研究 平成30年度報告書	社会福祉法人グロー (GLOW) ～生きることが光になる～法人本部企画事業部
平成29年度アール・ブリュット作品調査報告書	社会福祉法人グロー (GLOW) ～生きることが光になる～法人本部企画事業部
平成28年度アール・ブリュット作品調査報告書	社会福祉法人グロー (GLOW) ～生きることが光になる～法人本部企画事業部
滋賀県アール・ブリュット推進事業～全国作品調査研究～ 平成27年度報告書	社会福祉法人グロー (GLOW) ～生きることが光になる～法人本部企画事業部
滋賀県アール・ブリュット推進事業～全国作品調査研究～ 平成26年度報告書	社会福祉法人グロー (GLOW) ～生きることが光になる～法人本部企画事業部
滋賀県アール・ブリュット推進事業～全国・アジア地域作品調査研究～ 平成25年度報告書	社会福祉法人 滋賀県社会福祉事業団 (ボーダレス・アートミュージアムNO-MA)
滋賀県アール・ブリュット推進事業～全国・アジア地域作品調査研究～ 平成24年度報告書	社会福祉法人 滋賀県社会福祉事業団 (ボーダレス・アートミュージアムNO-MA)
滋賀県アール・ブリュット推進事業～全国・アジア地域作品研究～平成23年度報告書	社会福祉法人 滋賀県社会福祉事業団 (ボーダレス・アートミュージアムNO-MA)
障害者アートの推進及び全国普及事業～わが国における障害者の芸術作品調査研究～平成22年度報告書	社会福祉法人滋賀県社会福祉事業団
障害者アートの推進及び全国普及事業～わが国における障害者の芸術作品調査研究～	社会福祉法人滋賀県社会福祉事業団
障害者芸術活動推進事業～わが国における障害者の芸術活動調査～活動報告 (2006年度～2008年度)	社会福祉法人滋賀県社会福祉事業団
ライシテからみるフランス美術―信仰の光と理性の光	下野新聞社
やすらぎの近代絵画―ユニマットコレクション ミレーからワイエスまで―	神戸新聞社
岩手県文化振興事業団創立40周年記念事業 澤田哲郎展	岩手県立美術館、公益財団法人岩手県文化振興事業団

タ イ ト ル	出 版 社 ・ 発 行 元 名 称
没後50年 堂本印象 自在なる創造	京都国立近代美術館
鹿島美術研究 年報第42号別冊	鹿島美術財団
鹿島美術財団年報 第42号	鹿島美術財団
千葉美術散歩	千葉市美術館
蔵品図録 熊野御幸記と藤原定家の書	公益財団法人三井文庫 三井記念美術館
白河市合併20周年記念特別企画展 松平定信の文化力 一つくり・しらべ・うつし・つたえるー	白河市歴史民俗資料館
松平定信を知るためのガイドブック	白河市歴史民俗資料館
鳥取県立博物館年報 令和6年度 No.53	鳥取県立博物館
美学論究 第四十一編	関西学院大学美学芸術学会
開館20周年特別展 円山応挙ー革新者から巨匠へ	公益財団法人三井文庫 三井記念美術館
ハッピーエンド 遠山昇司	熊本市現代美術館
雑踏展	YAN 山梨アール・ブリュットネットワークセンター
阪急文化研究年報 第14号	阪急文化財団
國學院大學博物館學紀要 第49輯	國學院大學博物館学研究室
岡山市立オリエント美術館研究紀要 第33巻	岡山市立オリエント美術館
Musetteー國學院大學博物館學研究 第4号	國學院大學博物館學
アイヌの美ー彩りと輝き	アイヌ民族文化財団
筑波大学芸術年報2025	筑波大学芸術系
短く 鮮やかに 土橋芳次回顧展	南アルプス市立美術館
古染付と祥瑞 ー愛しの青ー	淡交社
甲斐黄金村・湯之奥金山博物館 研究紀要17 金山史研究 ～「佐渡島の金山」世界遺産登録記念特集号～	甲斐黄金村・湯之奥金山博物館
女子美術大学創立125周年記念展 ー教えるまれてきた才能たちー（明治から令和へ）	女子美術大学
野村正治郎とジャポニズムの時代ー着物を世界に広げた人物	大学共同利用機関法人 人間文化研究機構 国立歴史民俗博物館
河野愛 灯台へ、	田辺市立美術館
田辺市立美術館年報・紀要 令和6年度〈年報第17号・紀要第2号〉	田辺市立美術館
戦後80年 石井柏亭 えがくよろこび	松本市美術館
桜井実作品集 カレンダー10号記念 ～暦の四季～	桜井実
高田安規子・政子 Perspectives この世界の捉え方	資生堂
「國華清話会」会報 第四十六号 令和七年秋刊	國華清話会・國華社
ドキュメント 時代と刺し違えた画家 中村正義の生涯	『中村正義の生涯』出版委員会
生誕100年 中村正義 その熱と渦	豊橋市美術博物館、平塚市美術館、奈良県立美術館、中日新聞社
日本画壇の風雲児 中村正義 新たなる全貌	中日新聞社
創造は醜なり	中村正義の美術館
令和7年度「心の輪を広げる体験作文」「障害者週間のポスター」入賞作品集	内閣府
高知県立美術館 館蔵品目録11 石元泰博コレクション(2) 石元泰博・コレクション展 2014ー2023 目録編	高知県立美術館
第9回トリエンナーレ豊橋 星野眞吾賞展 ー明日の日本画を求めてー	豊橋市美術博物館

タ イ ト ル	出 版 社 ・ 発 行 元 名 称
ブルターニュの光と風	ホワイトインターナショナル
足立区立郷土博物館文化遺産調査特別展 千住宿400年	足立区立郷土博物館
三井記念美術館20年のあゆみ	公益財団法人三井文庫 三井記念美術館
富士吉田市歴史民俗博物館資料叢書 第7集 菊田日記⑥ 第三十番～第三十三番	富士吉田市教育委員会
第42回特別展 PAPUA×JOMON 縄文文化の謎を考える ―パプアニューギニアの民族誌―	山梨県立考古博物館
神奈川県立博物館研究報告 ―人文科学― 第52号	神奈川県立歴史博物館
第52回 近代日本美術協会展画集	近代日本美術協会
DNP文化振興財団 学術研究助成紀要 Vol.7	公益財団法人DNP文化振興財団
つくるよろこび 生きるためのDIY	公益財団法人 東京都歴史文化財団 東京都美術館
神田日勝記念美術館所蔵作品集	神田日勝記念美術館
下関市立美術館 研究紀要 第18号	下関市立美術館
第92回版画展 ―版画の現場から Ⅲ― 日本版画協会画集	日本版画協会
飯田市美術博物館 飯田市考古博物館 年報 第35号 令和6年度	飯田市美術博物館
2026年版 美術大鑑	ビジョン企画出版社
自然・祈り・美術	富士化学工業株式会社・西田美術館
第80回記念行動展作品集	行動美術協会
近代画説 明治美術学会誌 第三四号	明治美術学会
馬場まり子画集 ひとびと	求龍堂
京都文化博物館研究紀要 朱雀 第37集	京都府京都文化博物館
一宮市三岸節子記念美術館 特別展「岡田三郎助 優美な色彩・気品ある女性像」	一宮市三岸節子記念美術館
一宮市三岸節子記念美術館 企画展 「のこぎり屋根アートと吉田家のレンガ工場」	一宮市三岸節子記念美術館
游牧・諧擬・蘇旺仲	國立臺灣美術館
跨界・蠟染・黃歌川	國立臺灣美術館
造境・殺墨・洪根深	國立臺灣美術館
遺世・永恆・葉世強	國立臺灣美術館
光影・心跡・卓有瑞	國立臺灣美術館
堅定・深刻・黃清埕	國立臺灣美術館
仙才・卓絶・于彭	國立臺灣美術館
淑世・才女・張李德和	國立臺灣美術館
逐光・淨美・江賢二	國立臺灣美術館
悲心・反骨・陳來興	國立臺灣美術館
曲勢・風動・陳天乞	國立臺灣美術館
詩詞・畫藝・盧雲生	國立臺灣美術館
存真・唯美・吳承硯	國立臺灣美術館
跌宕・金燦・鄭瓊娟	國立臺灣美術館
傳藝・膠采・陳壽彝	國立臺灣美術館
人體・變奏・顧福生	國立臺灣美術館

タ イ ト ル	出 版 社 ・ 発 行 元 名 称
心韻・象徴・李元亨	國立臺灣美術館
行彩・謳歌・倪朝龍	國立臺灣美術館
蒼潤・墨韻・李重重	國立臺灣美術館
幻象・淨悦・陳世明	國立臺灣美術館
特別展 紀伊徳川家の威風	和歌山県立博物館
多摩美術研究 第15号 2026年	多摩美術大学
高松市美術館収蔵品図録 1988	高松市美術館
高松市美術館収蔵品図録・Ⅲ	高松市美術館
落合陽一展 ヌルの共鳴: 計算機自然における空性の相互接続	hiromiyoshii
Start for Business 美術館と企業が出会う事業のつくり方	独立行政法人国立美術館 国立アートリサーチセンター
多摩美術大学創立90周年記念事業 EXPLOSION & EXPANSION 爆発と拡張—多摩美術大学の制作の現場から	多摩美術大学
多摩美術大学美術館 年報 2024年度版	多摩美術大学美術館事務室
馬の博物館研究紀要 第25号	馬事文化財団・馬の博物館
山口県立美術館年報 令和5～6年度	山口県立美術館
佐野ぬい まだ見ぬ「青」を求めて	佐野ぬい展実行委員会
MUSEUM 東京国立博物館研究誌 第716号	東京国立博物館
MUSEUM 東京国立博物館研究誌 第717号	東京国立博物館
MUSEUM 東京国立博物館研究誌 第718号	東京国立博物館
MUSEUM 東京国立博物館研究誌 第719号	東京国立博物館
美術館堆肥化計画2023+美術館堆肥化宣言 記録集	青森県立美術館
第18回 shiseido art egg	資生堂
[令和7年度] 東京藝術大学卒業・修了制作作品集 美術学部/大学院美術研究科修士課程	東京藝術大学美術学部
美術研究 第四百四十七号	独立行政法人国立文化財機構 東京文化財研究所
抜萃のつづり その八十五	クマヒラ・ホールディングス
土谷武とは何か 26人の証言	日本大学芸術学部
小沢剛の讃岐七不思議	香川県立ミュージアム
没後35年 北澤映月展	平塚市美術館
大正・昭和のモダニスト 露谷虹児展	平塚市美術館
令和6年度 茨城県近代美術館年報	茨城県近代美術館
跡見学園女子大学花蹊記念資料館 収蔵資料総合目録特別号 跡見学園創立一五〇周年記念 跡見花蹊 一画家・書家・教育者—	跡見学園女子大学花蹊記念資料館
日本美術年鑑 令和5年版	東京文化財研究所
IAMAS 2025 第23期生修了研究発表会・プロジェクト研究発表会	情報科学芸術大学院大学 [IAMAS]
CCBTアニュアル 2024	公益財団法人東京都歴史文化財団 アーツカウンシル東京 シビック・クリエイティブ・ベース東京 [CCBT]
令和5・6年度 米子市美術館年報 第3号	米子市美術館
ブルガリ カレイドス 色彩・文化・技巧	国立新美術館
長谷川等伯展 ～帰ってきた国宝・松林図屏風～	公益財団法人七尾美術財団
醜端亭プロジェクト 記録集	佐賀大学芸術地域デザイン学部

タ イ ト ル	出 版 社 ・ 発 行 元 名 称
令和4年度 国立国際美術館 活動報告	国立国際美術館
令和5年度 国立国際美術館 活動報告	国立国際美術館
ノー・バウンダリーズ	国立国際美術館
コレクション1 80/90/00/10	国立国際美術館
梅津庸一 クリスタルパレス	ライブアートブックス
ホーム・スイート・ホーム	国立国際美術館
ピカソとその時代 ベルリン国立ベルクグリュン美術館蔵	共同通信社
美術史研究 第63冊	早稲田大学美術史学会
国際興業コレクション 追い続けてきた80年	国際興業ホールディングス株式会社
第77回 正倉院展	奈良国立博物館
奈良国立博物館開館130年 天理大学創立100周年記念特別展 世界探検の旅 —美と驚異の遺産—	奈良国立博物館、天理大学附属天理参考館、日本経済新聞社、テレビ大阪
Fields of Memory	NUKAGA GALLERY
Spirit and Form: Works on Paper	NUKAGA GALLERY
永遠なる瞬間 ヴァン クリーフ&アーペル —ハイジュエリーが語るアール・デコ	日本経済新聞社
岡崎乾二郎 而今而後 ジコンジゴ Time Unfolding Here	Oraibi Paahu (オライビパアフ)
笹本晃 ラボラトリー	torch press
坂本龍一 音を視る 時を聴く	朝日新聞社
開館30周年記念展 日常のコレオ	水声社
GO FOR KOGEI 2025 工芸的なもの	認定NPO法人 趣都金澤
開館30周年記念 MOTコレクション マルチプル_セルフ_ポートレイト/特集 展示 中西夏之 池内晶子—弓形とカテナリー—	東京都現代美術館
開館30周年記念 MOTコレクション 9つのプロフィール 1935→2025	東京都現代美術館
出光美術館 館報201	出光美術館
開館20周年記念企画展 美術館がうまれて、それから —コレクションと石見美術館の20年—	島根県立石見美術館
開館二〇周年記念企画展「石見の祈りと美—未来へつなぐ中世の宝—」	島根県立石見美術館
加藤泉 何者かへの道	くま出版
雨引の里と彫刻 2025	雨引の里と彫刻実行委員会
「水野暁 視覚の層 絵画の層」作品集	アートダイバー
群馬青年ビエンナーレ2025	群馬県立近代美術館
島根県立石見美術館 研究紀要 第19号	島根県立石見美術館
根付 高円宮コレクション	東京国立博物館
東京国立博物館セレクション 高野切と仮名の美	東京国立博物館
東京国立博物館セレクション 小袖 江戸デザインの絆	東京国立博物館
びじゅつって、すげえ! 2025—2026	公益財団法人 大分県芸術文化スポーツ振興財団
没後二〇年 東野芳明と戦後美術	富山県美術館
DESIGN with FOCUS デザイナーの冒険展	富山県美術館
富山県美術館 年報2024-25 (令和6年度)	富山県美術館
神奈川県立近代美術館 年報 2024 (令和6) 年度	神奈川県立近代美術館
記録集「なまことだいず」2024年度 中学生まるびいアートスクール「考え方を考える」	金沢21世紀美術館

タ イ ト ル	出 版 社 ・ 発 行 元 名 称
ムゼイオン 立教大学博物館研究 No.69	立教大学 学校・社会教育講座 学芸員課程
SIDE CORE Living road,Living space／生きている道、生きるための場所	torch press
令和5・6年度 富山県美術館 教育普及活動記録集	富山県美術館
世田谷文学館開館30周年記念誌	財団法人せたがや文化財団 世田谷文学館
bronze as Bronze II	中長小西
田中正巳 自選展 50年の軌跡	田中正巳
風痕―線の呼吸 ムラカズユキ作品集 1971-2025 裸婦と風景、etc.	株式会社ギャラリーステーション
三嶽伊紗 カゲ ヲ ウツス	高知県立美術館
生誕二〇〇年 河田小龍―激動期への眼差し	高知県立美術館
浜田浄 めぐる 1975―	高知県立美術館
日本の色 染司よしおか 吉岡更紗の仕事	青幻舎プロモーション
絵と文の泳ぐところ	Atsushi Ichino Design
群馬県立女子大学紀要 第47号	群馬県立女子大学
時代のプリズム：日本で生まれた美術表現 1989-2010	平凡社
荒川ナッシュ医 ペインティングス・アー・ポップスターズ	国立新美術館
尾道市立大学芸術文化学部 紀要 第24号	尾道市立大学
国立新美術館研究紀要 第11号	国立新美術館
収蔵資料目録15	香川県立ミュージアム
NACT YOUTH PROJECT 2024 新美塾！	国立新美術館
ミュージアム調査研究報告 第16号	香川県立ミュージアム
アートメゾン・インターナショナル Vol.30	麗人社
宮城県美術館コレクション 絵本のひみつ展	キュレイターズ
田畑あきら子展図録	新潟県立万代島美術館
光の小宇宙―世界のガラス	集英社
現代世界のガラス	納屋嘉治
エミール・ガレ展	札幌テレビ放送
ルネ・ラリック1860-1945展	アプトインターナショナル
山梨県立博物館開館20周年記念特別展 山梨の禅宗文化	山梨県立博物館
シンビズム6―信州ミュージアムネットワークが選んだ作家たち	一般財団法人長野県文化振興事業団
刺繍―針がすくい出す世界	東京都美術館
ゴッホ展 家族がつかない画家の夢	NHK、NHKプロモーション、中日新聞社、東京新聞
ミロ展	朝日新聞社
スウェーデン絵画 北欧の光、日常のかがやき	NHK、NHKプロモーション、東京新聞、中日新聞社
うらわ美術館開館25周年記念 約束の場所で ブック・アートで広がるイマジネーション	うらわ美術館
ブラチスラバからやってきた！世界の絵本パレード	足利市立美術館、うらわ美術館、喜多方市美術館、千葉市美術館、砺波市美術館、横須賀美術館
大西伸明 あらゆる透明なユーレイの複合体	真庭市（生活環境部スポーツ・文化振興課）

タ イ ト ル	出 版 社 ・ 発 行 元 名 称
山本修司展：描写する水面／枯山水の水面	真庭市（生活環境部スポーツ・文化振興課）
中島佑太 だれかと逃げ出せグーチョコキパー！	北九州市立美術館
中村ミナト ―nexus―	北九州市立美術館
鉄と美術 鉄都が紡いだ美の軌跡	北九州市立美術館
蒔醤 山下義人展	高松市美術館
藝術43	大阪芸術大学
東京都写真美術館 紀要 No.25	公益財団法人東京都歴史文化財団 東京都写真美術館
東京都美術館紀要 No.32	公益財団法人東京都歴史文化財団 東京都美術館
令和6年度 東京都美術館年報	公益財団法人東京都歴史文化財団 東京都美術館
北九州市立美術館年報 No.50	北九州市立美術館
うらわ美術館年報 令和6年度	うらわ美術館
2025写真の町通信 vol.41	東川町＜写真の町＞実行委員会
大田区立郷土博物館紀要 第26号 令和7年（2025）年度	大田区立郷土博物館
奈良県立美術館 年報 令和6年度	奈良県立美術館
大正・昭和“モード”の源泉 国立美術館 コレクション・ダイアローグ	岐阜県美術館、国立工芸館、国立アート リサーチセンター
武蔵野美術大学研究紀要 2025-no.56	武蔵野美術大学
海外美術家印象記	アトリエ社
アトリエにて	新潮社
ウィリアム・モリス評傳	下出書店
日本洋画の人脈	新潮社
日本絵画史の展望	美術出版社
近代日本画論	高桐書院
朝鮮とその藝術 柳宗悦選集IV	春秋社
芸術の叛乱 針生一郎評論1	田畑書店
近代日本画の人脈	新潮社
RUSKIN'S WRITINGS ON ART	Phaidon Press Ltd
Art and Act On Causes in History- Manet, Gropius, Mondrian	Harper & Row Publishers
Meditations on a Hobby Horse	Phaidon Press Ltd
Norm & Form	Phaidon Press Ltd
Symbolic Images	Phaidon Press Ltd
ROMAN CATHOLICISM	HARPER TORCHBOOKS
Dictionary of Subjects & Symbols in Art	HARPER & ROW PUBLISHERS
日本美術の特質 第二版／日本美術の特質 図録	岩波書店
ソ連邦所蔵のフランス近代絵画展 プーシキン・エルミタージュ両美術館から	全国朝日放送株式会社（テレビ朝日）
国際芸術祭「あいち2025」灰と薔薇のあいまに	ライブアートブックス
2025年度 ACYアーティスト・フェローシップ助成 活動報告書	公益財団法人横浜市芸術文化振興財団
新潟県立近代美術館研究紀要 第24号	新潟県立近代美術館 新潟県立万代 島美術館

タ イ ト ル	出 版 社 ・ 発 行 元 名 称
令和6年度岐阜県美術館年報No.41・研究紀要No.9	岐阜県美術館
GIOIA 水野薫子の煌めきの世界	世界文化社
芸術資源センター紀要 COMPOST vol.05	京都市立芸術大学芸術資源研究センター
メセナアワード2025	公益社団法人企業メセナ協議会
なら歴史芸術文化村 滞在アーティスト誘致交流事業「文化村AIR」ドキュメント2025	なら歴史芸術文化村滞在アーティスト誘致交流事業実行委員会
サントリー美術館 研究紀要 第十号	サントリー美術館
クヴェレ美術館名品選	哲文化創造公益財団法人
特別展 やまと絵と歴史画 ―現代に生きる日本画の系譜―	式年遷宮記念神宮美術館
ふくやま美術館・ふくやま書道美術館年報 2023年度➡2024年度	ふくやま美術館
練馬区立美術館 研究紀要 第2号	練馬区立美術館
二つの祖国を生きる在日コリアン美術家たち―続・架橋雑記	明石書店
アートでつなぐ	クオン
野球とデザイン ―デザインで辿る阪神タイガース―	西宮市大谷記念美術館
西宮市一〇〇周年 めでたい松展 祝いましょう、松の絵さまざま	西宮市大谷記念美術館
嵯峨美術大学・嵯峨美術短期大学紀要 第51号	嵯峨美術大学 嵯峨美術短期大学 学長 江村耕市
河正雄コレクション 資料集 第6号 千葉成夫	河正雄
大阪市立美術館紀要 第二十六号	大阪市立美術館
グラフィックデザインの曙 ―加藤孝司とシルクスクリーン	岐阜県美術館
シルクロードの商人語り サマルカンドの遺跡とユーラシア交流	創元社
令和6年度企画展 国吉清尚	那覇市立壺屋焼物博物館
令和6年度 那覇市立壺屋焼物博物館年報	那覇市立壺屋焼物博物館
壺屋焼物博物館紀要 第26号	那覇市立壺屋焼物博物館
渡辺達正 銅版画集	阿部出版
新潟市新津美術館 長期休館中の美術館活動ノート	新潟市新津美術館
愛知県美術館年報 33号 2024 (令和6) 年度版	愛知県美術館
近代日本画のトップランナー 竹内栖鳳	竹内栖鳳展実行委員会
愛知県美術館 研究紀要 第31号 木村定三コレクション編	愛知芸術文化センター 愛知県美術館
愛知県美術館 研究紀要 第31号	愛知芸術文化センター 愛知県美術館
高階修爾先生 年譜・著作目録 改訂・増補版	西洋美術振興財団
令和6 (2024) 年度 静岡市美術館 年報No.15	静岡市美術館
徳島県立近代美術館年報 令和6年度 (2024年度)	徳島県立近代美術館
2022 (令和4) 年度 和歌山県立近代美術館年報	和歌山県立近代美術館
2023 (令和5) 年度 和歌山県立近代美術館年報	和歌山県立近代美術館
オルセー美術館所蔵 印象派一室内をめぐる物語	国立西洋美術館
倉俣史朗と静岡	静岡市美術館
開館35周年記念展「キミに夢中♡～学芸員のおしごとと愛すべき人間像コレクション～」	徳島県立近代美術館
開館35周年記念展 美術と野獣―人間の根源へ	徳島県立近代美術館
国際シンポジウム「時の作用」	国立西洋美術館
徳島県立近代美術館 研究紀要 第25号	徳島県立近代美術館

タ イ ト ル	出 版 社 ・ 発 行 元 名 称
国立西洋美術館研究紀要 No.29	国立西洋美術館
山梨県の図書館 2025 ―山梨県図書館白書―	山梨県立図書館 山梨県公共図書館協会
なつやすみの美術館12 妻木良三「はじまりの風景」記録集	和歌山県立近代美術館
和歌山県立近代美術館50年史	和歌山県立近代美術館
スウェーデン国立美術館 素描コレクション展 ―ルネサンスからバロックまで	国立西洋美術館、読売新聞東京本社
西洋絵画、どこから見るか？―ルネサンスから印象派まで サンディエゴ美術館 vs 国立西洋美術館	日本経済新聞社
生誕120年 村井正誠展 ―色はやどり・形のうぶすな―	和歌山県立近代美術館
トランスボーダー 和歌山とアメリカをめぐる移民と美術	和歌山県立近代美術館
原勝四郎展 南海の光を描く	和歌山県立近代美術館
なつやすみの美術館13 feat.橋本知成 記録集	和歌山県立近代美術館
なつやすみの美術館11 野田裕示「集まる庭」展示記録集	和歌山県立近代美術館
世界遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」登録20周年記念特別展「仙境 南画の聖地、ここにあり」	和歌山県立近代美術館、田辺市立美術館
ゴッホ・インパクト―生成する情熱	青幻舎
HIRAKU Project Vol.17 ヤマダカズキ 地に木霊す	公益財団法人ポーラ美術振興財団 ポーラ美術館
伊藤誠一夢を見るための機械	武蔵野美術大学 美術館・図書館
甦るポストモダン ―倉俣史朗、小松誠、高崎正治、デザインの人間主義	武蔵野美術大学 美術館・図書館
ドラマチック大陸―風景画でたどるアメリカ	名古屋ボストン美術館
武蔵野美術大学教授退任記念 別の山に登る―赤塚祐二	武蔵野美術大学 美術館・図書館
小枝繁昭 花のワンダーランド―夢見る花―	西脇市岡之山美術館
東京都江戸東京博物館紀要 第16号	東京都歴史文化財団 東京都江戸東京博物館
如何なるや人倫 94歳、迷いながら生きてきた	未知谷
戦争政治家 東條英機と近衛文麿	彩流社
卵殻モザイク 桑原浜子の世界 [改訂版]	同時代社
現代オマーン文学選集	オマーン文化協会運営委員会
セカイノコトワリ―私たちの時代の美術	京都国立近代美術館
きもののヒミツ 友禅のうまれるところ	読売新聞大阪本社
キュレトリアル・スタディズ16 荒木悠 Reorienting―100年前に海を渡った作家たちと―	京都国立近代美術館
若きポーランド―色彩と魂の詩 1890-1918	NHKプロモーション
ウィリアム・モリス 英国の風景とともにめぐるデザインの軌跡	ウィリアム・モリス出版委員会
英国キュー王立植物園 おいしいボタニカル・アート 食を彩る植物のものがたり	「おいしいボタニカル・アート」カタログ 製作委員会
日本画コレクション再発見と片岡球子「蔦屋重三郎の浮世絵たち」	神奈川県立近代美術館
川口起美雄 Thousands are Sailing	神奈川県立近代美術館
あわいのほとりのひとり	平凡社
木茂先生の挿絵考	神奈川県立近代美術館
若江漢字とヨーゼフ・ボイス 撮影されたボイスの記録、そして共振	神奈川県立近代美術館
いつも世界は遠く、	赤々舎

タ イ ト ル	出 版 社 ・ 発 行 元 名 称
杉本みゆき展 無限の空間、無限の色彩―	萬鉄五郎記念美術館
高橋和展	萬鉄五郎記念美術館
企画展「勇払幻視／北海道、勇払原野のイメージをたどる―砂田 友治・北川 豊・高橋 伸・高橋 正敏」	苫小牧市美術博物館
企画展 こどもとおとなの美術展 2024 いのちと自然の造形譚―ものがたり	苫小牧市美術博物館
里見勝蔵第一回自選展	日本橋・三越
里見勝蔵第二回自選展	日本橋・三越
里見勝蔵第三回自選展	日本橋・三越
特別展 銀と彩―人間国宝《釉下彩》・中田一於の世界―	小松市
生成する日常 ―道南ゆかりの作家たちによる表現	中西出版株式会社
多摩美術大学博士課程展 2026	多摩美術大学
TRUE TO LIFE	Maison d' Art
開館35周年記念 呉市立美術館のあゆみ展	呉市立美術館
福井県立美術館 年報 令和6年度・研究紀要 第16号	福井県立美術館
宇都宮美術館 No.28 令和6年度(2024.4～2025.3)	宇都宮美術館 公益財団法人うつのみや文化創造財団
宮城県美術館 令和6年度年報 令和7年度研究報告	宮城県美術館
第5回 全国美術館会議社員総会報告書	全国美術館会議
飯田市美術博物館 研究紀要 第36号 2026年	飯田市美術博物館
富士山学 第6号	雄山閣出版
博士学位論文 内容の要旨および審査結果の要旨 第23号	多摩美術大学大学院
滋賀県立琵琶湖文化館 研究紀要 第四十二号	滋賀県立琵琶湖文化館
岐阜県現代陶芸美術館 研究紀要 第10号	岐阜県現代陶芸美術館
ティーカップ・メリーゴーラウンド ヨーロッパ陶磁にみるモダンデザイン100年―岐阜県現代陶芸美術館コレクション	茨城県陶芸美術館
伊藤慶二 祈・これから	大垣書店
タピオ・ヴィルカラ 世界の果て	ブルーシープ
甲斐善光寺 山梨歴史美術シリーズ3	山梨歴史美術研究会
武田神社・武田氏館跡 山梨歴史美術シリーズ4	山梨歴史美術研究会
巴里通信	非売品(編集責任者:水上敬久)
非文学資料研究叢書1 国策紙芝居からみる日本の戦争	勉誠出版
改訂版 金曜ロードショーとジブリ展 公式図録	講談社
福島県立美術館開館40周年記念展 福島の美術家たち2024	福島県立美術館
ARTISTS IN TOYAMA & TOKYO	島敦彦
イワタリ展 息づくガラス	中西出版
金閣・銀閣 相国寺展 若冲・応挙・芦雪―禅文化の名宝と美	日本経済新聞社
謎解き浮世絵叢書 歌川広重 富士三十六景	二玄社
福島県立美術館年報 令和6年度 2024	福島県立美術館
2024 高岡市美術館 年報	高岡市美術館
令和6(2024)年度 渋谷区立松濤美術館 年報第28号/紀要第3号	渋谷区立松濤美術館
茅野市美術館年報2016-2017・研究紀要 第9号	茅野市美術館
茅野市美術館年報2018-2019・研究紀要 第10号	茅野市美術館

タ イ ト ル	出 版 社 ・ 発 行 元 名 称
東京芸術大学西洋美術史研究室紀要	東京藝術大学 美術学部芸術学科 西洋美術史研究室
アートによる新生ふくしま交流事業「アートで広げる子どもの未来プロジェクト」学 校連携共同ワークショップ おとなりアーティスト 2025	特定非営利活動法人ドリームサポート 福島
福島アートアニュアル2025 site——representation	福島県立美術館
北海道立美術館・芸術館紀要 第35号 2026	北海道立近代美術館、北海道立旭川美 術館、北海道立函館美術館、北海道立 帯広美術館、北海道立釧路芸術館、北 海道立三好好太郎美術館
村松俊夫「STEAMS」のために… —教科横断型触知教育遊具の展開—	村松俊夫
日本基礎造形学会 論文集・作品集2025 基礎造形034	日本基礎造形学会事務局
滋賀県立近代美術館 年報 令和3・4年度 2021・2022年度	滋賀県立美術館
滋賀県立美術館 研究紀要 第13号	滋賀県立美術館
滋賀県立美術館 研究紀要 第14号	滋賀県立美術館
2017 山梨・人ねっこアート展	山梨・人ねっこアートワーク
2024 山梨・人ねっこアート展	山梨・人ねっこアートワーク

<購入図書>

タ イ ト ル	出 版 社 ・ 発 行 元 名 称
別冊太陽 絵本名画館 探偵・怪奇のモダニズム 竹中英太郎・松野一夫	平凡社
更紗 いのちの華布	淡交社
更紗	紫紅社
よくわかるヒンドゥー教	KADOKAWA
列島の日本美術史 ―知られざる美の交錯―	ミネルヴァ書房
改訂新版 博物館資料論	一般財団法人 放送大学教育振興会
現代博物館学入門	ミネルヴァ書房
深澤直人のアトリエ	平凡社
ON JEWELLERY	ARNOLDSCHÉ Art Publishers
NAOTO FUKASAWA	Phaidon Press Ltd
OTTO KÜNZLI THE BOOK	ARNOLDSCHÉ Art Publishers
月刊美術 6月号	サン・アート
日本の美術 No.175 更紗	至文堂
別冊太陽 更紗	平凡社
今日のジュエリー 世界の動向	京都国立近代美術館
江戸の異国万華鏡―更紗・びいどろ・阿蘭陀	MIHO MUSEUM
中西夏之新作展 絵画の鎖・光の森	渋谷区立松濤美術館
古渡り更紗と和更紗	根津記念館
更紗 美しいテキスタイルデザインとその染色技法	誠文堂新光社
ふつう	D&DEPARTMENT PROJECT
Book of Textiles The Karun Thakar Collection	ACC ART BOOKS
THE NEW JEWELRY: TRENDS+TRADITIONS	Thames & Hudson
Contemporary Jewelry in Perspective.	LARK JEWELRY & BEADING
INDIAN COTTON TEXTILES	ACC ART BOOKS
ここからどう進む?対話型鑑賞のこれまでとこれから アート・コミュニケーションの可能性	淡交社
Art Seminar Series 2002-2003 絵画は二度死ぬ、あるいは死なない	ART TRACE
大括弧 緩やかにみつめるためにいつまでも佇む、装置	筑摩書房
Natsuyuki Nakanishi	McCaffrey
二箇所―絵画場から絵画衝動へ―中西夏之	中西夏之展実行委員会
浮遊的前衛	東京大学出版会
日本美術襍稿 佐々木剛三先生古希記念論文集	明德出版社
アート・ビギナーズ・コレクション もっと知りたいミレー 生涯と作品	東京美術
ジャクエツ×深澤直人:YUUGU	日販アイ・ピー・エス
SCHMUCK + IMAGE	Stuttgart, Arnoldsche Art Publishers
Jiro Kamata "VOICES"	Stuttgart, Arnoldsche Art Publishers
THE OUTLINE 見えていない輪郭	アシェット婦人画報社
民藝誕生100年―京都が紡いだ日常の美	青幻舎
目の見えない白鳥さんとアートを見にいく	集英社インターナショナル
和英対照 日本視覚文化用語辞典	東京美術
Constable's Clouds	National Galleries of Scotland

タ イ ト ル	出 版 社 ・ 発 行 元 名 称
John Constable' s Skies A Fusion of Art and Science	The University of Birmingham
Ornament as Art	Arnoldsche Art Publishers/Museum of Fine Arts,Houston
ライシテ、道徳、宗教学 もうひとつの19世紀フランス宗教史	勁草書房
美のヤヌス [テオフィール・トレと19世紀美術批評]	スカイドア
キテレツ絵画の逆襲「日本洋画」再発見	新潮社
アンチ・アクション 日本戦後絵画と女性の画家	筑摩書房
カルテット 着陸と着水X 中西夏之展	川村記念美術館
Jewelry of Our Time: Art, Ornament and Obsession	New York, Rizzoli
L'ÂGE ATOMIQUE	Paris Musses/Musee d'art moderne de Paris
日本の美術 女性画家の全貌。一疾走する美のアスリートたち	美術年鑑社
『日刊美術通信』『美術文化新聞』(1932年～1949年) 第7巻『日刊美術通信』1937年1月～4月	ゆまに書房
『日刊美術通信』『美術文化新聞』(1932年～1949年) 第8巻『日刊美術通信』1937年5月～8月	ゆまに書房
『日刊美術通信』『美術文化新聞』(1932年～1949年) 第9巻『日刊美術通信』1937年9月～12月	ゆまに書房
きつねがはしる—チェコのわらべうた	岩波書店
『日刊美術通信』『美術文化新聞』(1932年～1949年) 第11巻『日刊美術通信』1938年5月～8月	ゆまに書房
『日刊美術通信』『美術文化新聞』(1932年～1949年) 第10巻『日刊美術通信』1938年1月～4月	ゆまに書房
きつねものがたり	福音館書店
ニューヨークの日本人画家たち 一戦前期における芸術活動の足跡	六花出版
文化財保存環境学 第3版	朝倉書店
彫刻の投影 一六〇年代ニューヨークの邦人作家たち	論創社
博物館資料保存論 第2版 学芸員の現場で役立つ基礎と実践	講談社
改訂 保存修復の技法と思想 古代芸術・ルネサンス絵画から現代アートまで	平凡社
富士山噴火 その日に備える	岩波書店
これから首都直下、南海トラフ地震を経験する人たちに	KADOKAWA
入門 大災害時代の文化財防災	同成社
博物館資料取扱いガイドブック 一文化財、美術品等梱包・輸送の手引き— ＜第2次改訂版＞	ぎょうせい
災害対応オペレーションBOOK47	東京大学出版会
どうやって美術品を守る?保存修復の世界をのぞいてみよう	創元社
必携 文化財防災の手引き	丸善出版
文化財をしらべる・まもる・いかす 一国立文化財機構 保存・修復の最前線—	アグネ技術センター
富士山噴火と南海トラフ 海が揺さぶる陸のマグマ	講談社

定期購読雑誌

(令和7年度)

タイトル
芸術新潮
月刊文化財
國華
美術手帖
美育文化ポケット
美術フォーラム
版画芸術
須田記念 視覚の現場
Bulletin de la Société de l'histoire de l'art français
journal of the warburg and courtauld institutes
The Art Bulletin
The Burlington Magazine
Metropolitan Museum Journal

新収蔵映像資料

(令和8年3月31日現在)

<寄贈>

	タイトル	時間	制作	媒体
1	令和5年度アイヌ文化伝承活動アーカイブス「技」vol.8	60分	札幌映像プロダクション	DVD
2	令和5年度アイヌ文化伝承活動アーカイブス「技」vol.9	60分	札幌映像プロダクション	DVD
3	桑原浜子 卵殻モザイクの世界	16分	NPO法人地域資料化デジタル研究会	DVD

<購入>

	タイトル	時間	制作	媒体
1	ピーター・ブルックの世界一受けたいお稽古	116分	サイモン・ブルック(監督)	DVD
2	掘る女 縄文人の落とし物	141分	松本貴子(監督)	DVD
3	ファッション・リイマジン	100分	ベッキー・ハトナー(監督)	DVD
4	ふたりのマエストロ	88分	ブリュノ・シッシュ(監督)	DVD
5	ビバ・マエストロ!指揮者ドゥダメル挑戦	103分	テッド・ブラウン(監督)	DVD
6	地藏とリビドー	62分	笠谷圭見(監督)	DVD
7	ちゃんやのはなし—四百年の旅人—	117分	松倉大夏(監督)	DVD

修復記録

2025（R7）年度 修復記録

作品データ	修復前状態	修復事項	修復者
堀内孝恵 《秋果》 1954年 油彩・麻布 修復前寸法 天地：697mm 左右：1081mm 修復後寸法 天地：689mm 左右：1050mm	〈ワニス層〉 ワニスは全体に塗布されているが、部分的に厚いワニスをかけている。絵の所々に分厚いワニスの垂れ跡と強い光沢が見られ、作品の鑑賞に障る。ワニスはやや黄化している。 〈絵具層〉 左辺に穴が多数あり、右辺張りしろに描画が見られることから、本作制作時に前の絵画から25mm程度右方向にずらして張り直したと考えられる。全体に固着は良いが層間剥離が数カ所、亀裂や剥落が数カ所生じている。下辺部に黴とチョーキングが集中し、白濁した色調になっている。 〈支持体〉 画面からみて左辺のみ張りしろがほぼない状態。他の辺も若干短い。支持体の変形が全面に見られる。地塗りが裏面に染み出ている。木枠と画布裏面に隙間が無く、接触している。 〈支持体付属物〉 木枠には割れや部分欠損が生じており、若干不安定である。	1. 調査 2. 浮き上がり接着 3. 画面洗浄 4. 変形修正 5. 耳補強 6. 支持体張り調整 7. 充填整形 8. 補彩 9. ワニス塗布	修復研究所21
窪田知矩 《宇宙・記号の詩》 1989年 油彩・麻布 2点1組 修復前寸法 天地：1300mm 左右：1620mm 修復後寸法 天地：1300mm 左右：1620mm	〈絵具層〉 埃などの汚れが付着している。全体に固着状態は良好であるが、右側の作品はところどころに亀裂と浮き上がりが生じている。周縁部に微小な剥落が生じている。下方に黴跡が多数見られる。 〈地塗層〉 周縁部に微小な剥落が生じている。 〈支持体〉 僅かに隅じわが生じている。裏面は埃などの汚れが付着している。 〈支持体付属物〉 部分的に割れが見られるが接着されている。全体に汚れが付着している。	1. 調査 2. 浮き上がり接着 3. 画面洗浄 4. 裏面清掃・殺菌 5. 補彩	修復研究所21
萩原英雄 《不詳（静物）》 制作年不詳 油彩・麻布 修復前寸法 天地：908mm 左右：733mm 修復後寸法 天地：908mm 左右：733mm	〈絵具層〉 全体に汚れが付着している。画面中央から左辺辺りに黒色のカビが点在している。また、下辺には茶褐色のシミが点在している。中央右辺には層間剥落が集中している。 〈地塗層〉 固着状態は良好であるが、左辺に一部、地塗りからの剥落箇所が見られる。 〈支持体〉 裏面全体にカビによる茶色のシミが散在している。汚れの付着も見られる。 〈支持体付属物〉 木枠の下辺部に、カビ跡が見られる。キャンバス張り器の跡が複数見られるが、損傷はない。 〈額縁〉 埃の付着があるが、損傷等は見られない。	1. 調査 2. 裏面清掃・殺菌 3. 画面洗浄 4. 充填整形 5. 補彩	修復研究所21

作品データ	修復前状態	修復事項	修復者
松本鋭次 《パンと梨》 1926年 油彩・麻布 修復前寸法 天地：501mm 左右：730mm 修復後寸法 天地：503mm 左右：732mm	〈ワニス層〉 光沢がまばらで反射が目立ち、鑑賞の妨げとなっている。汚れが付着している。 〈絵具層〉 固着はよいが、数カ所に層間剥離が見られる。現在見えている構図と異なる形状の筆触がある。広範囲に縮緬状の皺が生じ、亀裂、微細な剥落が確認できる。 〈支持体〉 全体に波打つような変形が生じている。画面に見えている構図や下層に描かれた静物の輪郭や絵具層の厚みに伴って、へこみやふくらみなどの変形が生じている。 〈支持体付属物〉 通常、画布と木枠が接しないよう、画布を張り込む画面側の枠の片側は斜めに傾斜させて加工されているが、本作品は画布が裏面側に張り込まれている。 〈額縁〉 四隅に欠損、所々に擦れなどによる傷がみられる。裏面、どろあしの左側の棧が細く削られ、脆くなっている。固定している釘が錆び、ほとんど外れた状態でぐらぐらしている。全体に汚れが付着している。	1. 調査 2. 浮き上がり接着 3. 画面洗浄 4. 裏面清掃・殺菌 5. 仮張り変形修正 6. 耳補強 7. 木枠調整 8. 張り直し 9. 充填整形 10. 補彩 11. ワニス噴霧 12. 額装改修 13. 額装	修復研究所21
河野良朝 《増富村（みづがき山）》 1948年 油彩・麻布 修復前寸法 天地：457mm 左右：531mm 修復後寸法 天地：455mm 左右：533mm	〈ワニス〉 紫外線蛍光写真では蛍光反応があることから旧保護ワニスに塗布されている。点状に溜まったと思われるワニスもしくは描画用油が茶褐色のシミ状になっている。 〈絵具層〉 画面全面に汚れが付着している。目立った損傷は特になく、四隅に小さな剥落がある。画面全体に点状に付着物（ワニス層のシミ）がある。 〈支持体〉 裏面は汚れており、白色塗料は支持体、木枠に飛び散って付着している。右下隅にたわみがある。裏面左下にタイトルラベルが画布に直接接着されている。 〈額縁〉 なし	1. 調査 2. 画面洗浄 3. 裏面清掃 4. 裏面殺菌 5. 耳補強布取り付け 6. 新調木枠に張り込み 7. 充填整形 8. 画面殺菌・防黴処置 9. 補彩 10. ワニス塗布 11. 額縁新調・額装	修復研究所21
中込勇 《日の出頃》 1954年 油彩・麻布 修復前寸法 天地：697mm 左右：1023mm 修復後寸法 天地：699mm 左右：1029mm	〈絵具層〉 全面に汚れの付着がある。下辺付近の黒色部に、白い黴の付着が散在する。古キャンバスを用いて現在の木枠よりも一回り小さな木枠に張って描画した後、右辺の旧張りしろ部分を広げて、現在の木枠に張り込んでいる。画面中央左の支持体破損部に、浮き上がりや剥落が生じている。 〈支持体〉 裏面全体に埃汚れの付着と、黴によるしみが散在する。画面中央左には、裏面から何か当たって生じた破れがあり、破損箇所の周囲は画面側にやや膨らんだ状態になっている。裏面上辺右端付近に、ボンドのようなものが付着しており、液だれした状態で固まっている。右下の茶紙も、同様の接着剤に付着している。 〈支持体付属物〉 手製の木枠を用いている。木枠四辺の中央部分はやや内側に反っている。 〈額縁〉 なし	1. 調査 2. 浮き上がり接着 3. 破損部の変形修正・接着 4. 画面洗浄 5. 裏面清掃と殺菌 6. 耳補強 7. 仮張り変形修正 8. 支持体張り直し 9. 充填整形 10. ワニス噴霧 11. 補彩 12. ワニス噴霧 13. 額装	修復研究所21

刊 行 物 記 録

刊行物名	規格(縦×横) ページ数 作品図版点数	発行年月	内容
皇室の美と山梨 皇居三の丸尚蔵館の名品	B5版 109ページ 84点	令和7年4月	編集・発行：山梨県立美術館 制作：シマトミ企画
ポップ・アート 時代を変えた4人	A5版 175ページ 126点	令和6年10月	編集：株式会社ブレントラスト 印刷：株式会社シナノパブリッシングプレス 発行：「ポップ・アート 時代を変えた4人」 カタログ制作委員会 ©2024
生誕100年 山下清展一百年目の大回想	A4版変形 224ページ 191点	令和4年	監修：山下浩（山下清作品管理事務所代表） 編集：ステップ・イースト 印刷：瞬報社 発行：ステップ・イースト ©2022
「日本画」の挑戦者たち それぞれの葛藤と探求	A4版 160ページ 76点	令和7年12月	編集：井澤英理子（当館学芸幹） 制作：株式会社少國民社 発行：山梨県立美術館 ©2025
みんなでつくる美術館 2025年記録集	B5版 13ページ	令和8年3月	編集：みんなでつくる美術館実行委員会事務局 発行：みんなでつくる美術館実行委員会
令和6年度 山梨県立美術館年報	A4版 180ページ	令和7年9月	編集・発行：山梨県立美術館
山梨県立美術館 研究紀要 第38号	A4版 53ページ	令和8年3月	編集・発行：山梨県立美術館

美術資料貸出記録

「展覧会名」	作家名	作品名	展示期間	展示会場	借用申請者
「ベル・エポック —美しき時代— パリに集った芸術家たち」	マルク・シャガール	花束	R.6.7.13-9.8 R.6.10.5-12.15 R.7.4.11-5.18	栃木県立美術館 パナソニック汐留美術館 岡山県立美術館	栃木県立美術館 パナソニック汐留美術館 岡山県立美術館
	ジョルジュ・ルオー	『回想録』ボードレー ルの肖像			
	ピエール＝オー ギュスト・ルノワール	ジャンヌ・ボドーの肖像			
「PARALLEL MODE： オディロン・ルドン —光の夢、影の輝き—」	オディロン・ルドン	鎖につながれたアンド ロメダ	R.6.9.27-12.8 R.7.1.11-3.23 R.7.4.12-6.22	岐阜県美術館 ひろしま美術館 パナソニック汐留美術館	岐阜県美術館 ひろしま美術館 パナソニック汐留美術館
「田村文雄版画展 —虚が実を支配する—」	田村文雄	暗い静寂	R7.3.15-5.6	佐久市立近代美術館	佐久市立近代美術館
		Speak to me I			
		暗い粧ひをした女- I			
		氷の涯			
		風の粧ひ III			
「木版画の玉手箱 —浮世絵から現代の木 版画まで—」	磯田湖龍斎	遊女と禿	R7.9.20-11.16	南アルプス市立美術館	南アルプス市立美術館
	喜多川歌麿	柱絵 遊女			
	歌川国芳	加賀の国千代女			
	二代 歌川国貞	里見八犬伝狗草紙之内 芳流閣上図			
	溪斎英泉	団扇を持つ遊女			
	歌川広重	江戸百景 佃島住吉之 景			
	歌川広重	山海見立相撲 摂津有 馬山			
	葛飾北斎	富嶽百景 初編			
	小林清親	日清戦争			
	二代 歌川国輝	東京名所之内 国立銀 行			
「ライシテからみるフ ランス美術—信仰の光と 理性の光」	ジャン＝フランソ ワ・ミレー	無原罪の聖母	R7.10.12- 12.21	宇都宮美術館 三重県立美術館	宇都宮美術館 三重県立美術館
		クローン文化財《種をま く人》	R8.1.17-3.22		
「オディロン・ルドン 夢の交叉—画家として、 批評家として—」	オディロン・ルドン	鎖につながれたアンド ロメダ	R7.10.24- R8.2.23	ヤマザキマザック美 術館	ヤマザキマザック美 術館
「白の魔法—モネ、大 観も使った最強の色 —」	テオドール・ル ソー	フォンテーヌブローの森 のはずれ	R7.12.13- R8.3.22	ひろしま美術館	ひろしま美術館
	ヤーコプ・ファン・ ライスダール	ベントハイム城の見える 風景			
	フェリックス・ブ ラックモン	冬			
「中西夏之 緩やかに みつめるためにいつま でも佇む、装置」	中西夏之	白、緑より白く—Ⅳ	R8.3.14-6.14 R8.11.12- R9.1.17	国立国際美術館 茨城県近代美術館	国立国際美術館 茨城県近代美術館

■ 関係法規

●山梨県立美術館設置及び管理条例

昭和53年 3 月28日

山梨県条例第 5 号

(設置)

第 1 条 美術に関する県民の知識及び教養の向上を図り、県民文化の発展に寄与するため美術館を設置する。

(名称及び位置)

第 2 条 美術館の名称及び位置は、次のとおりとする。

名称 山梨県立美術館

位置 甲府市

(事業)

第 3 条 山梨県立美術館（以下「美術館」という。）は、次に掲げる事業を行う。

- 一 美術品及び美術に関する模写、模型、文献、写真、フィルム等（以下「美術品等」という。）を収集し、保管し、及び展示すること。
- 二 美術に関する専門的、技術的な調査研究を行うこと。
- 三 美術に関する講演会、講習会、映写会、研究会等を開催すること。
- 四 美術品等の利用に関し、必要な助言、指導等を行うこと。
- 五 一般展示室、工房等を一般の使用に供すること。
- 六 前各号に掲げるもののほか、美術館の設置の目的を達成するため必要な事業

(平16条例26・一部改正)

(職員)

第 4 条 美術館に、館長その他の職員を置く。

(指定管理者による管理)

第 5 条 知事は、地方自治法（昭和 2 2 年法律第 6 7 号）第244条の2第3項の規定により、知事が指定する法人その他の団体（以下「指定管理者」という。）に美術館の管理を行わせるものとする。

(平20条例19・追加、令 2 条例 5 ・一部改正)

(指定管理者が行う業務の範囲)

第 6 条 指定管理者は、次に掲げる業務を行うものとする。

- 一 利用の承認（第 11 条第 1 項の承認を除く。）に関する業務
- 二 施設及び設備器具の維持保全に関する業務
- 三 第 3 条第五号に掲げる事業に関する業務
- 四 前三号に掲げるもののほか、知事が必要と認める業務

(平20条例19・追加)

(指定の手続)

第 7 条 指定管理者の指定を受けようとするものは、規則で定めるところにより、申請書に事業計画書その他の書類を添付して、知事が定める日までに知事に提出しなければならない。

2 知事は、前項の規定による申請書の提出があつたときは、次に掲げる基準により指定管理者の候補者を選定し、議会の議決を経て指定管理者に指定するものとする。

- 一 事業計画の内容が、美術館の効用を発揮することができるものであること。
- 二 事業計画の内容が、美術館の適正かつ効率的な管理を図ることができるものであること。
- 三 事業計画に沿った管理を安定して行うために必要な人的能力及び経理的基礎を有していること。

(平20条例19・追加、令 2 条例 5 ・一部改正)

(休館日)

第 8 条 美術館の休館日は、次に掲げるとおりとする。ただし、第一号又は第二号に掲げる日が 1 月 2 日、同月 3 日又は 4 月30日から 5 月 5 日までの日である場合には、休館日としないものとする。

- 一 月曜日（この日が国民の祝日に関する法律（昭和23年法律第178号）に規定する休日（以下「休日」

という。)である場合を除く。)

二 休日の翌日(この日が日曜日である場合を除く。)

三 12月29日から翌年の1月1日までの日

四 1月の第2火曜日(この日が1月8日である場合にあつては第3火曜日)から翌週の月曜日までの日

2 前項の規定にかかわらず、指定管理者は、知事の承認を受けて、臨時に休館日に開館し、又は休館日以外の日に休館することができる。

(昭61条例1・平11条例40・平17条例63・一部改正、平20条例19・旧第5条繰下・一部改正、令2条例5・一部改正)

(開館時間)

第9条 美術館の開館時間は、午前9時から午後5時までとする。

2 前項の規定にかかわらず、指定管理者は、知事の承認を受けて、開館時間を変更することができる。

(平20条例19・追加、令2条例5・一部改正)

(観覧の承認等)

第10条 美術館に展示されている美術品等(知事が指定するものに限る。次条において同じ。)を観覧しようとする者は、指定管理者の承認を受けなければならない。

2 指定管理者は、前項の規定により観覧の承認を受けようとする者が次の各号のいずれかに該当するときは、同項の承認をしないものとする。

一 公の秩序又は善良の風俗に反するおそれがあると認められるとき。

二 施設、設備器具又は美術品等を損傷するおそれがあると認められるとき。

三 前二号に掲げる場合のほか、管理上支障があると認められるとき。

3 第1項の承認を受けた者は、別表第1に定める観覧料を納付しなければならない。

4 指定管理者は、第1項の承認を受けた者が第2項各号のいずれかに該当すると認めるときは、当該承認を取り消すものとする。

(平20条例19・旧第6条繰下・一部改正、平29条例4・令2条例5・一部改正)

(特別観覧の承認等)

第11条 美術館に展示されている美術品等又は美術館に保管されている美術品等についての模写、模造等又は撮影(以下単に「特別観覧」という。)をしようとする者は、知事の承認を受けなければならない。

2 前項の承認を受けた者は、別表第2に定める特別観覧料を納付しなければならない。

3 前条第2項の規定は、第1項の承認について準用する。この場合において、同条第2項中「指定管理者」とあるのは、「知事」と読み替えるものとする。

4 知事は、第1項の承認を受けた者が前条第2項各号のいずれかに該当すると認めるときは、当該承認を取り消すものとする。

(平20条例19・旧第7条繰下・一部改正、平29条例4・一部改正)

(一般展示室、工房等の使用の承認等)

第12条 美術館の一般展示室、工房等を使用しようとする者は、指定管理者の承認を受けなければならない。

2 指定管理者は、前項の規定により使用の承認を受けようとする者が次の各号のいずれかに該当するときは、同項の承認をしないものとする。

一 第10条第2項各号のいずれかに該当すると認められるとき。

二 その使用が暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律(平成3年法律第77号)第2条第2号に規定する暴力団の利益となると認められるとき。

3 第1項の承認を受けた者は、別表第3に定める使用料を納付しなければならない。

4 指定管理者は、第1項の承認を受けた者が第2項各号のいずれかに該当すると認めるときは、当該承認を取り消すものとする。

(平16条例26・一部改正、平20条例19・旧第8条繰下・一部改正、平24条例26・平29条例4・一部改正)

(観覧料等の還付)

第13条 既に納付した観覧料、特別観覧料又は使用料は、還付しない。ただし、知事が特別の理由があると認めるときは、その全部又は一部を還付することができる。

(平15条例35・一部改正、平20条例19・旧第9条繰下・一部改正、平29条例4・旧第14条繰上)

(観覧料等の免除)

第14条 知事が特別の理由があると認めるときは、観覧料、特別観覧料又は使用料の全部又は一部を免除することができる。

(平15条例35・一部改正、平20条例19・旧第10条繰下・一部改正、平29条例4・旧第15条繰上)

(事業報告書の作成及び提出)

第15条 指定管理者は、毎年度終了後2月以内に、次に掲げる事項を記載した事業報告書を作成し、知事に提出しなければならない。ただし、年度の途中において指定管理者の指定を取り消された場合にあつては、その取り消された日から2月以内に当該年度の当該日までの事業報告書を提出しなければならない。

- 一 第6条各号に掲げる業務の実施の状況
- 二 美術館の管理の業務に係る収支の状況
- 三 前二号に掲げるもののほか、美術館の管理の状況を把握するために知事が必要と認める事項

(平20条例19・追加、平29条例4・旧第16条繰上、令2条例5・一部改正)

(知事による管理)

第16条 第5条の規定にかかわらず、知事は、指定管理者の指定を受けるものがないとき、指定管理者を指定することができないとき、又は地方自治法第244条の2第11項の規定により指定管理者の指定を取り消し、若しくは期間を定めて管理の業務の全部若しくは一部の停止を命じたときは、指定管理者を指定し、又は当該停止の期間が終了するまでの間、臨時に、第6条に規定する美術館の管理の業務の全部又は一部を行うものとする。

2 前項の場合における第8条第2項及び第9条第2項の規定の適用については、これらの規定中「指定管理者は、知事の承認を受けて」とあるのは、「知事は、特に必要があると認めるときは」とする。

3 第1項の場合（業務の一部の停止を命じたことによる場合にあつては、当該停止を命じた業務に第10条第1項の規定による美術品等の観覧の承認が含まれるときに限る。）における同条の規定の適用については、同条第1項、第2項及び第4項中「指定管理者」とあるのは「知事」と、同条第1項中「ならない」とあるのは「ならない。ただし、当該観覧について指定管理者の承認を受けている場合は、この限りでない」とする。

4 第1項の場合（業務の一部の停止を命じたことによる場合にあつては、当該停止を命じた業務に第12条第1項の規定による美術館の一般展示室、工房等の使用の承認が含まれるときに限る。）における同条の規定の適用については、同条第1項、第2項及び第4項中「指定管理者」とあるのは「知事」と、同条第1項中「ならない」とあるのは「ならない。ただし、当該使用について指定管理者の承認を受けている場合は、この限りでない」とする。

5 第1項の規定により知事が管理の業務の全部又は一部を行つた後指定管理者が当該業務を行うこととなつた場合における第10条第1項及び第12条第1項の規定の適用については、第10条第1項中「ならない」とあるのは「ならない。ただし、当該観覧について知事の承認を受けている場合は、この限りでない」と、第12条第1項中「ならない」とあるのは「ならない。ただし、当該使用について知事の承認を受けている場合は、この限りでない」とする。

(平29条例4・追加、令2条例5・一部改正)

(警察本部長への情報提供依頼)

第17条 知事は、次に掲げる場合においては、第12条第1項（前条第4項の規定により読み替えて適用する場合を含む。）の承認（以下この条及び次条において「使用承認」という。）を受けようとする者又は受けた者（当該者が法人である場合には、その役員。次条において同じ。）に関し、山梨県暴力団排除条例（平成22年山梨県条例第35号）第2条第3号に規定する暴力団員等（次条において単に「暴力団員等」という。）であるか否かについて、警察本部長に対し、情報の提供を求めることができる。

- 一 指定管理者又は知事が使用承認をしようとする場合
- 二 指定管理者又は知事が第12条第4項（前条第4項の規定により読み替えて適用する場合を含む。）の規定による使用承認の取消しをしようとする場合

(平24条例26・追加、平29条例4・令2条例5・一部改正)

(知事への情報提供)

第18条 警察本部長は、前条の規定により情報の提供を求められた場合のほか、その保有する情報により使

用承認を受けようとする者又は受けた者が暴力団員等であると認める場合においては、知事に対し、その情報を提供することができる。

(平24条例26・追加、平29条例4・令2条例5・一部改正)

(委任)

第19条 この条例の施行に関し必要な事項は、規則で定める。

(平15条例35・旧第12条繰下、平20条例19・旧第13条繰下、平24条例26・旧第17条繰下、令2条例5・一部改正)

附 則

この条例は、昭和53年4月1日から施行する。

附 則 (昭和59年条例第22号) 抄

(施行期日)

1 この条例は、昭和59年4月1日から施行する。

附 則 (昭和61年条例第1号) 抄

(施行期日)

1 この条例は、公布の日から施行する。

附 則 (昭和62年条例第11号)

この条例は、昭和62年4月1日から施行する。

附 則 (平成元年条例第33号)

この条例は、平成元年4月1日から施行する。

附 則 (平成4年条例第21号) 抄

(施行期日)

1 この条例は、平成4年4月1日から施行する。

附 則 (平成7年条例第19号) 抄

(施行期日)

1 この条例は、平成7年4月1日から施行する。

附 則 (平成9年条例第29号)

この条例は、平成9年4月1日から施行する。

附 則 (平成11年条例第40号)

この条例は、公布の日から施行する。

附 則 (平成13年条例第26号)

この条例は、平成13年7月1日から施行する。

附 則 (平成15年条例第35号)

この条例は、公布の日から施行する。

附 則 (平成16年条例第26号)

この条例は、平成16年4月1日から施行する。

附 則 (平成17年条例第63号)

この条例は、公布の日から施行する。

附 則 (平成18年条例第30号)

この条例は、平成18年4月1日から施行する。

附 則 (平成20年条例第19号) 抄

(施行期日)

1 この条例は、平成21年4月1日から施行する。ただし、次項及び附則第4項の規定は公布の日から、第1条中山梨県立美術館設置及び管理条例別表第3の改正規定(「(第8条関係)」を「(第12条関係)」に改める部分を除く。)及び第2条中山梨県立文学館設置及び管理条例別表第3の改正規定(「(第8条関係)」を「(第12条関係)」に改める部分を除く。)は平成20年4月1日から施行する。

(経過措置)

2 教育委員会は、この条例の施行の日(次項、附則第4項及び第5項において「施行日」という。)前においても、第1条の規定による改正後の山梨県立美術館設置及び管理条例(次項において「新条例」という。)

第5条及び第7条の規定の例により、山梨県立美術館の管理に関し、地方自治法（昭和22年法律第67号）第244条の2第3項に規定する指定管理者（附則第4項において「指定管理者」という。）を指定することができる。

- 3 第1条の規定による改正前の山梨県立美術館設置及び管理条例第6条第1項又は第8条第1項の規定によりされた承認であって、当該承認に係る利用の日が施行日以後であるものは、新条例第10条第1項又は第12条第1項の規定によりされた利用の承認とみなす。

（山梨県立美術館等の観覧等の特例に関する条例の一部改正）

- 6 山梨県立美術館等の観覧等の特例に関する条例（平成19年山梨県条例第36号）の一部を次のように改正する。

〔次のよう〕略

附 則（平成24年条例第26号）抄

（施行期日）

- 1 この条例は、平成24年4月1日から施行する。

（山梨県立美術館設置及び管理条例の一部改正に伴う経過措置）

- 10 第9条の規定による改正後の山梨県立美術館設置及び管理条例第12条第2項の規定は、施行日以後に行われる同条第1項の承認の申請について適用し、施行日前に行われた第9条の規定による改正前の山梨県立美術館設置及び管理条例第12条第1項の承認の申請については、なお従前の例による。

附 則（平成26年条例第3号）

この条例は、公布の日から施行する。

附 則（平成26年条例第50号）

この条例は、平成26年4月1日から施行する。

附 則（平成29年条例第4号）

この条例は、公布の日から施行する。

附 則（平成31年条例第25号）

この条例は、平成31年10月1日から施行する。

附 則（令和2年条例第5号）抄

（施行期日）

- 1 この条例は、令和2年4月1日から施行する。

別表第1（第10条関係）

（平26条例3・全改、平26条例50・平31条例25・一部改正）

1 常設の展示の場合

区 分	観 覧 料	
	個 人	団 体
一般	1 人 520 円	1 人 420 円
大学生及びこれに準ずる者	1 人 220 円	1 人 170 円
小学生、中学生及び高校生並びにこれらに準ずる者	無 料	

備考 団体とは、20 人以上をいう。

2 特別の企画による展示の場合

次の表に定める観覧料の額の範囲内で、それぞれの展示ごとに知事が定める額

区 分	観 覧 料	
	個 人	団 体
一般	1 人 1,100 円	1 人 880 円
大学生及びこれに準ずる者	1 人 550 円	1 人 440 円
小学生、中学生及び高校生並びにこれらに準ずる者	無 料	

備考 団体とは、20 人以上をいう。

3 常設の展示及び特別の企画による展示の定期観覧の場合

区 分	観 覧 料
一般	1 人 3,140 円
大学生及びこれに準ずる者	1 人 1,570 円

備考 1 定期観覧とは、第10条第1項の承認の日から起算して1年間の観覧をいう。

2 小学生、中学生及び高校生並びにこれらに準ずる者は、定期観覧の対象としない。

別表第2（第11条関係）

（昭62条例11・平元条例33・平4条例21・平7条例19・平9条例29・平20条例19・平26条例50・平31条例25・一部改正）

区 分			特 別 観 覧 料	
模 写 ・ 模 造 等			1 点 1 日につき	820 円
撮 影	モノクローム	学術研究を 目的とする場合	1 点 1 回につき	220 円
		出版等の収入を 伴う場合	1 点 1 回につき	3,520 円
	カラー	学術研究を 目的とする場合	1 点 1 回につき	490 円
		出版等の収入を 伴う場合	1 点 1 回につき	7,090 円

- 備考 1 びょうぶは、1 双を 1 点とする。
2 1 そろいをなす卷子は、1 巻を 1 点とする。
3 対幅は、1 幅を 1 点とする。
4 その他の美術品等は、各個を 1 点とする。

別表第3（第12条関係）

（昭62条例11・平元条例33・平4条例21・平7条例19・平9条例29・平16条例26・平18条例30・平20条例19・平26条例50・平31条例25・一部改正）

区 分	入場料金を徴収しない場合			入場料金を徴収する場合
	午前 9 時から正午まで	午後 1 時から午後 5 時まで	午前 9 時から午後 5 時まで	
一 般 展 示 室 A (県民ギャラリー A)			6,160 円	上記使用料金に 2 割の割増率を乗じて得た額を当該使用料金に加算した額
一 般 展 示 室 B (県民ギャラリー B)			5,230 円	
制 作 展 示 室 (ワークショップ室)	1,320 円	1,490 円	2,810 円	
工 房 A	2,560 円	2,870 円	5,430 円	
工 房 B	1,330 円	1,490 円	2,820 円	
総 合 実 習 室 (講 堂)	2,770 円	3,100 円	5,870 円	
講 堂 (県民ギャラリー C)	3,160 円	3,540 円	6,700 円	

備考 使用料金に10円未満の端数があるときは、その端数金額を切り捨てる。

●山梨県立美術館設置及び管理条例施行規則

令和2年3月31日
山梨県規則第24号

(趣旨)

第1条 この規則は、山梨県立美術館設置及び管理条例（昭和53年山梨県条例第5号。以下「条例」という。）の施行に関し、必要な事項を定めるものとする。

(指定管理者の指定の申請)

第2条 条例第7条第1項の規定による山梨県立美術館の指定管理者の指定の申請は、指定管理者指定申請書（第1号様式）に、次に掲げる書類を添付して提出することにより行わなければならない。

- 一 事業計画書
- 二 収支計画書
- 三 実施体制を記載した書類
- 四 団体の概要を記載した書類
- 五 定款、寄附行為又はこれらに準ずるもの
- 六 法人の登記事項証明書（法人の場合に限る。）
- 七 知事が指定する事業年度の貸借対照表及び損益計算書又はこれらに準ずるもの
- 八 前各号に掲げるもののほか、条例第7条第2項各号に掲げる基準による指定管理者の選定のため知事が必要と認める書類

(特別観覧の承認)

第3条 条例第11条第1項の規定による特別観覧の承認を受けようとする者は、特別観覧申請書（第2号様式）を館長に提出しなければならない。

2 館長は、特別観覧を承認したときは、当該申請者に対し、特別観覧承認書（第3号様式）を交付するものとする。

(観覧料等の還付)

第4条 条例第13条ただし書の特別の理由は、次の各号に掲げる場合のいずれかに該当することとし、同条ただし書の規定により還付する額は、当該各号に掲げる場合の区分に応じ当該各号に定める額とする。

- 一 観覧、特別観覧又は使用の承認を受けた者の責めに帰することのできない理由により観覧、特別観覧又は使用することができなくなったとき 全額
- 二 特別観覧又は使用をしようとする日の3日前までに特別観覧又は使用の取消しを届け出たとき 2分の1に相当する額

2 条例第13条ただし書の規定による観覧料、特別観覧料又は使用料の還付を受けようとする者は、観覧料等還付申請書（第4号様式）を館長に提出しなければならない。

(観覧料等の免除)

第5条 条例第14条の特別の理由は、次の各号に掲げる場合のいずれかに該当することとし、同条の規定により免除する額は、当該各号に掲げる場合の区分に応じ当該各号に定める額とする。

- 一 県内の小学生、中学生及び高校生並びにこれらに準ずる者の引率者が、教育課程に基づく教育活動として観覧するとき 条例別表第1に定める額の全額
- 二 65歳以上の者が観覧（県内に住所を有しない者にあつては、常設の展示の場合に限る。）するとき 条例別表第1に定める額の全額
- 三 障害者基本法（昭和45年法律第84号）第2条に規定する障害者及びその介護を行う者が観覧するとき 条例別表第1に定める額の全額
- 四 同一の日において、常設の展示及び特別の企画による展示を観覧しようとする者（団体により観覧する者を除く。）が、常設展・特別展共通観覧券の交付を受けて観覧するとき 条例別表第1第1号に定める個人の観覧料と団体の観覧料との差額及び同表第2号においてそれぞれの展示ごとに知事が定める個

人の観覧料と団体の観覧料との差額

五 同一の日において、美術館及び山梨県立文学館の常設の展示を観覧しようとする者（団体により観覧する者を除く。）が、美術館・文学館常設展共通観覧券の交付を受けて観覧するとき 条例別表第1第1号に定める個人の観覧料と団体の観覧料との差額

六 特別の企画による展示を観覧しようとする者（団体により観覧する者を除く。）が、当該展示に係る開催期間の初日の前日までに前売り観覧券の交付を受けて観覧するとき 条例別表第1第2号においてそれぞれの展示ごとに知事が定める個人の観覧料と団体の観覧料との差額

七 同一の日において、常設の展示及び特別の企画による展示を観覧しようとする者（団体により観覧する者を除く。）が、当該特別の企画による展示に係る開催期間の初日の前日までに常設展・特別展共通前売り観覧券の交付を受けて観覧するとき 条例別表第1第1号に定める個人の観覧料と団体の観覧料との差額及び同表第2号においてそれぞれの展示ごとに知事が定める個人の観覧料と団体の観覧料との差額

八 山梨県内に所在する宿泊施設に宿泊する者（団体により観覧する者を除く。）が、当該宿泊施設に宿泊した日又はその翌日に観覧するとき 条例別表第1第1号に定める個人の観覧料と団体の観覧料との差額又は同表第2号においてそれぞれの展示ごとに知事が定める個人の観覧料と団体の観覧料との差額

九 山梨県内に所在する美術館、博物館等で相互に個人の観覧料の免除を実施することとしたものに係る定期利用券（一定期間の利用の許可、承認等を受けたものをいう。）を有する者が観覧するとき 条例別表第1第1号に定める個人の観覧料と団体の観覧料との差額又は同表第2号においてそれぞれの展示ごとに知事が定める個人の観覧料と団体の観覧料との差額

十 前各号に掲げるもののほか、館長が特別の理由があると認めるとき 観覧料、特別観覧料又は使用料のうち館長が相当と認める額

2 前項第1号又は第10号に該当する場合において、観覧料、特別観覧料又は使用料の免除（次項において「免除」という。）を受けようとする者は、あらかじめ観覧料等免除申請書（第5号様式）を館長に提出し、その承認を受けなければならない。

3 館長は、前項の規定により免除を承認したときは、当該申請者に対し、観覧料等免除承認書（第6号様式）を交付するものとする。

4 第1項第2号、第3号、第8号又は第9号の規定に該当する場合において、観覧料の免除を受けようとする者は、これらの規定のいずれかに該当することを証する書類を館長に提示するものとする。

（館長への委任）

第6条 知事は、この規則に定めるもののほか、館長に次の事項を委任する。

- 一 条例第8条第2項の規定による休館日の変更の承認に関すること。
- 二 条例第9条第2項の規定による開館時間の変更の承認に関すること。
- 三 条例第11条第1項の規定による特別観覧の承認に関すること。

附 則

この規則は、令和2年4月1日から施行する。

●山梨県立美術館等の観覧等の特例に関する条例

平成19年7月9日

山梨県条例第36号

(趣旨)

第1条 この条例は、山梨県立美術館その他の県立の施設における観覧の承認及び観覧料の特例に関し必要な事項を定めるものとする。

(承認及び観覧料)

第2条 次に掲げる行為を別表に定める期間にわたり行おうとする者(小学生、中学生及び高校生並びにこれらに準ずる者を除く。)は、山梨県立美術館設置及び管理条例(昭和53年山梨県条例第5号)第10条第1項及び山梨県立文学館設置及び管理条例(平成元年山梨県条例第10号)第10条第1項の規定にかかわらず、これらの行為について一括して知事の承認を受けることができる。

一 山梨県立美術館設置及び管理条例第10条第1項の規定による観覧

二 山梨県立考古博物館設置及び管理条例(昭和57年山梨県条例第5号)第6条第1項の規定による観覧

三 山梨県立文学館設置及び管理条例第10条第1項の規定による観覧

四 山梨県立博物館設置及び管理条例(平成17年山梨県条例第8号)第6条第1項の規定による観覧

2 前項の承認を受けた者は、山梨県立考古博物館設置及び管理条例第6条第2項及び山梨県立博物館設置及び管理条例第6条第2項の規定にかかわらず、別表に定める観覧料を納付しなければならない。

(平20条例19・平26条例3・令2条例5・一部改正)

(観覧料の還付)

第3条 既に納付した観覧料は、還付しない。ただし、知事は、特別の理由があると認めるときは、その全部又は一部を還付することができる。

(観覧料の免除)

第4条 知事は、特別の理由があると認めるときは、観覧料の全部又は一部を免除することができる。

(委任)

第5条 この条例の施行に関し必要な事項は、規則で定める。

附 則

この条例は、公布の日から施行する。

附 則(平成20年条例第19号)抄

(施行期日)

1 この条例は、平成21年4月1日から施行する。

附 則(平成26年条例第3号)

この条例は、公布の日から施行する。

附 則(平成26年条例第50号)

この条例は、平成26年4月1日から施行する。

附 則(平成31年条例第25号)

この条例は、平成31年10月1日から施行する。

附 則(令和2年条例第5号)抄

(施行期日)

1 この条例は、令和2年4月1日から施行する。

別表(第2条関係)(平26条例3・平26条例50・平31条例25・一部改正)

区 分	期 間	観 覧 料
一般	1 年	1 人につき 5,240 円
大学生及びこれに準ずる者	1 年	1 人につき 2,620 円

備考 期間については、第2条第1項の承認の日から起算する。

●山梨県立美術館等の観覧等の特例に関する条例施行規則

令和2年3月31日

山梨県規則第32号

(趣旨)

第1条 この規則は、山梨県立美術館等の観覧等の特例に関する条例（平成19年山梨県条例第36号。以下「条例」という。）の施行に関し、必要な事項を定めるものとする。

(観覧の承認)

第2条 条例第2条第1項の規定による知事の承認は、共通定期観覧券（第1号様式）の交付があったときに行われたものとする。

(観覧料の納入)

第3条 観覧料の納入は、共通定期観覧券の交付の際現金をもって行うものとする。ただし、特別の理由があると認めるときは、共通定期観覧券を交付した日以後、当該共通定期観覧券を交付した館長（山梨県立美術館長、山梨県立考古博物館長、山梨県立文学館長及び山梨県立博物館長をいう。以下同じ。）の指定した日までに納付させることができる。

(観覧料の還付)

第4条 条例第3条ただし書の特別の理由は観覧の承認を受けた者の責めに帰することのできない理由により観覧をすることができなくなった場合に該当することとし、還付する額は観覧料のうち共通定期観覧券を交付した館長が相当と認める額とする。

2 条例第3条ただし書の規定による観覧料の還付を受けようとする者は、観覧料還付申請書（第2号様式）を共通定期観覧券を交付した館長に提出しなければならない。

(観覧料の免除)

第5条 条例第4条の特別の理由は次の各号のいずれかに掲げる場合に該当することとし、免除の額は当該各号に定めるとおりとする。

- 一 山梨県立美術館設置及び管理条例（昭和53年山梨県条例第5号）第10条第1項の規定による承認（定期観覧に係るものに限る。）、山梨県立考古博物館設置及び管理条例（昭和57年山梨県条例第5号）第6条第1項の規定による承認（定期観覧に係るものに限る。）、山梨県立文学館設置及び管理条例（平成元年山梨県条例第10号）第10条第1項の規定による承認（定期観覧に係るものに限る。）又は山梨県立博物館設置及び管理条例（平成17年山梨県条例第8号）第6条第1項の規定による承認（定期観覧に係るものに限る。）を受けた者が、これらの承認のあった日から起算して11月以内に条例第2条第1項の承認を受けたとき 観覧料のうち館長が相当と認める額

- 二 前号に掲げるもののほか館長が特に必要と認めたとき 観覧料のうち館長が相当と認める額

- 2 第1項第1号に該当する場合において、条例第4条の規定による観覧料の免除を受けようとする者は、観覧の承認の申請の際、観覧料免除申請書（第3号様式）を館長に提出しなければならない。
- 3 館長は、前項の場合において、観覧料の免除の決定をしたときは、当該免除に係る申請をした者に対し、免除後の観覧料の額を記載した共通定期観覧券を交付するものとする。
- 4 第1項第2号に該当する場合において、条例第4条の規定による観覧料の免除を受けようとする者は、観覧の承認の申請の際、観覧料免除申請書（第4号様式）を館長に提出しなければならない。
- 5 館長は、前項の場合において、観覧料の免除の決定をしたときは、当該免除に係る申請をした者に対し、観覧料免除決定通知書（第5号様式）を交付するものとする。

（平20教委規則14・一部改正）

(委任)

第6条 知事は、館長に次の事項を委任する。

- 一 条例第2条の規定による観覧の承認に関すること。
- 二 条例第3条ただし書の規定による観覧料の還付に関すること。
- 三 条例第4条の規定による観覧料の免除に関すること。

(補則)

第7条 この規則に定めるもののほか、この規則の実施に関し必要な事項は、知事の承認を得て館長が定める。

附 則

この規則は、令和2年4月1日から施行する。

●山梨県美術資料取得基金条例

昭和51年3月27日
山梨県条例第4号

(設置)

第1条 美術作品及び美術に関する資料の取得を円滑かつ、効率的に行うため、山梨県美術資料取得基金（以下「基金」という。）を設置する。

(基金の額)

第2条 基金の額は、1億5千万円とする。

2 必要があるときは、予算の定めるところにより基金に追加して積立てをすることができる。

3 前項の規定により積立てが行われたときは、基金の額は積立額相当額増加するものとする。

(昭52条例8・昭53条例2・一部改正)

(運用)

第3条 知事は、基金の設置の目的に応じ、基金の確実かつ効率的な運用に努めなければならない。

(管理)

第4条 基金に属する現金は、金融機関への預金その他最も確実かつ有利な方法により保管しなければならない。

(繰替運用)

第5条 知事は、財政上必要があると認めるときは、確実な繰戻しの方法、期間及び利率を定めて、基金に属する現金を歳入歳出現金に繰り替えて運用することができる。

(運用益金の処理)

第6条 基金の運用から生ずる収益は、一般会計歳入歳出予算に計上して基金に編入するものとする。

(委任)

第7条 この条例に定めるもののほか、基金の管理に関し必要な事項は、知事が定める。

附 則

この条例は、昭和51年4月1日から施行する。

附 則（昭和52年条例第8号）

この条例は、昭和52年4月1日から施行する。

附 則（昭和53年条例第2号）

この条例は、公布の日から施行する。

●山梨県附属機関の設置に関する条例

昭和60年 3月29日

山梨県条例第3号

(趣旨)

第1条 この条例は、法令又は他の条例に別に定めのあるものを除くほか、地方自治法（昭和22年法律第67号）第138条の4第3項に規定する附属機関に関し、必要な事項を定めるものとする。

(附属機関の設置及び担件事務)

第2条 執行機関の附属機関として、別表第1に掲げる機関を設置し、その担任する事務は、同表の担件事務欄に掲げるとおりとする。

2 執行機関は、必要があると認めるときは、その附属機関として、別表第2に掲げる機関を設置することができる。この場合において、その機関の担任する事務は、同表の担件事務欄に掲げるとおりとする。

3 前2項に定めるもののほか、執行機関は、その設置期間が1年未満である附属機関を設置することができる。

4 前項の規定により附属機関を設置するときは、執行機関は、あらかじめ、その機関の名称、担任する事務その他必要な事項を告示しなければならない。

第3条～第3条の2 (略)

(組織)

第4条 附属機関は、別表第1、別表第2、別表第3及び別表第4の委員の定数欄に掲げる数の委員で組織する。

2 委員は、別表第1、別表第2、別表第3及び別表第4の委員の要件欄に掲げる者のうちから、執行機関が任命し、又は委嘱する。

3 委員の任期は、別表第1、別表第2、別表第3及び別表第4の委員の任期欄に掲げるとおりとする。

4 附属機関に、執行機関の規則で定めるところにより、特別委員、専門委員又は臨時委員（以下「特別委員」と総称する。）を置くことができる。

5 特別委員は、執行機関の規則で定めるところにより、知事が任命し、又は委嘱する。

(会長等)

第5条 附属機関に、執行機関の規則で定めるところにより、会長又は委員長（以下「会長」と総称する。）及び副会長又は副委員長（以下「副会長」と総称する。）を置く。

2 会長及び副会長は、委員の互選によりこれを定める。

3 会長は、会務を総理し、附属機関を代表する。

4 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるときは、その職務を代理する。

5 副会長が置かれていない附属機関にあつては、会長に事故があるときは、あらかじめ会長の指名する委員が、その職務を代理する。

(会議)

第6条 附属機関の会議は、会長が招集し、会長が議長となる。

2 会議は、執行機関の規則で定める場合を除くほか、委員の2分の1以上が出席しなければ、開くことができない。

3 会議の議事は、出席した委員の過半数で決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

(部会等)

第7条 附属機関に、執行機関の規則で定めるところにより、部会又は小委員会を置くことができる。

(第2条第3項の規定により設置された附属機関に係る関係規定の適用の特例)

第8条 第2条第3項の規定により設置された附属機関に係る次の表の上欄に掲げる規定の適用については、これらの規定中同表の中欄に掲げる字句は、それぞれ同表の下欄に掲げる字句とする。

第4条第1項	別表第1、別表第2、別表第3及び別表第4の委員の定数欄に掲げる	執行機関が別に定める
第4条第2項	別表第1、別表第2、別表第3及び別表第4の委員の要件欄に掲げる	執行機関が別に定める
第4条第3項	別表第1、別表第2、別表第3及び別表第4の委員の任期欄に掲げるとおりとする	執行機関が別に定める
第4条第4項、 第4条第5項、 第5条第1項、 第6条第2項 及び第7条	執行機関の規則で	執行機関が別に

第9条 この条例に定めるもののほか、附属機関の担当事務、組織及び運営等に関し必要な事項は、執行機関の規則で定める。

附 則

(施行期日)

1 この条例は、昭和60年4月1日から施行する。

(略)

附 則

この条例は、令和8年4月1日から施行する。

別表第1（第2条、第4条関係）

1 知事の附属機関

附属機関	担当事務	委員の定数	委員の要件	委員の任期
(略)				
山梨県立美術館協議会	博物館法（昭和26年法律第285号）第23条第2項の規定による山梨県立美術館の運営に関する事項の調査審議及び意見の具申に関する事務	15人以内	1 学校教育の関係者 2 社会教育の関係者 3 家庭教育の向上に資する活動を行う者 4 学識経験のある者	2年
山梨県立美術館 専門委員会	山梨県立美術館における資料の収集、保存及び展示並びにその実施する事業に関する調査審議に関する事務	7人以内	1 学識経験のある者 2 優れた識見を有する者	2年
(略)				

2 教育委員会の附属機関（略）

別表第2（略）

別表第3（略）

別表第4（略）

●山梨県附属機関の設置に関する条例施行規則

昭和60年 3 月29日

山梨県規則第 8 号

(趣旨)

第 1 条 この規則は、山梨県附属機関の設置に関する条例(昭和 6 0 年山梨県条例第 3 号。以下「条例」という。)の施行に関し、必要な事項を定めるものとする。

(補欠の委員の任期)

第 2 条 委員に欠員を生じた場合における補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

第 3 条 (略)

(会長等)

第 4 条 条例第 5 条第 1 項の規定により、附属機関(次に掲げる附属機関を除く。)に会長を、次に掲げる附属機関に委員長を置く。

(略) ※該当なし

2 条例第 5 条第 1 項の規定により副会長を置く附属機関及び当該附属機関に置かれる副会長の定数は、次の表のとおりとする。

(略) ※該当なし

3 副会長を 2 人以上置く附属機関にあつては、あらかじめ会長が指名する副会長が、会長の職務を代理する。

(定足数の特例)

第 5 条 条例第 6 条第 2 項の規則で定める場合は、次の表の附属機関欄に掲げる附属機関の会議について、同表の定足数欄に掲げる数の委員が出席しなければ開くことができない場合とする。

附 属 機 関	定足数
(略)	
山梨県立美術館協議会	過半数
(略)	

(部会等)

第 6 条 条例第 7 条の規定により、部会又は小委員会を置く附属機関及び当該附属機関に置かれる部会又は小委員会は、次の表のとおりとする。

附 属 機 関	部会又は小委員会
(略)	
山梨県立美術館専門委員会	部会
(略)	

2 部会又は小委員会に属すべき委員及び特別委員は、会長が指名する。

(幹事)

第 7 条 附属機関に、その定めるところにより、幹事を置くことができる。

(資料の提出等の要求)

第 8 条 附属機関は、その担任する事務を遂行するため必要があると認めるときは、関係行政機関の長に対して、資料の提出、意見の開陳、説明その他の必要な協力を求めることができる。

(意見の陳述)

第 9 条 関係行政機関の職員は、会長の許可を得て、附属機関の会議に出席し、審議事項に関して意見を述べることができる。

第10条～第11条（略）

（庶務）

第12条 附属機関の庶務は、別に定めるところにより、処理する。

（委任）

第13条 この規則に定めるもののほか、附属機関の組織及び運営に関し必要な事項は、会長が当該附属機関に諮つて定める。

附 則

（施行期日）

1 この規則は、昭和60年4月1日から施行する。

（略）

附 則

この規則は、令和4年4月1日から施行する。

●山梨県立美術館協力員設置要綱

(設置)

第1条 山梨県立美術館（以下「美術館」という。）にボランティア活動をとおり、美術館の利用者の便宜を図るとともに円滑な美術館運営を促進し、もって県民のための美術館として地域文化の向上に資することを目的として、美術館協力員（以下「協力員」という。）を設置する。

(活動)

第2条 協力員は、美術館の利用者に対し必要に応じて、次の活動を行う。

- ① 鑑賞のための助言及び相談
- ② 鑑賞者の誘導、案内及び館内の秩序の維持
- ③ その他、利用者の便宜や美術館の発展に寄与する活動

(委嘱等)

第3条 協力員は、美術館が募集し、次の条件を満たす応募者の中から、概ね150名を館長が委嘱する。

- ① 美術文化等について専門知識を有する者
- ② 美術文化等について理解と関心を有する者
- ③ 前2号のいずれかに該当する者で、美術館ボランティアとして必要な所定の研修を受け、月に1回（1日8時間）以上のボランティア活動が可能な者。

2 協力員の任期は2年とする。ただし、再任を妨げない。

(協力会等)

第4条 協力員は、相互に協力し、第2条の活動を円滑に行うため、山梨県立美術館協力会（以下「協力会」という。）を組織する。

- 2 協力会に必要な役員、事務局等を置く。
- 3 協力会は活動に必要な規定を整備する。

(美術館の関与)

第5条 館長は、協力会の活動に関して、助言または指導する。

- 2 美術館の職員は、協力会の活動に協力するものとする。
- 3 協力会の自主的な活動に支障がなく、また、必要最低限の範囲で美術館の職員が協力会の事務局員等に就くことができる。
- 4 前項の場合、当該職員は職務に専念する義務を免除する。

(その他)

第6条 館長は、協力会の活動に必要な範囲で、観覧料等を免除することができる。

附 則

昭和59年 4月 1日一部改正

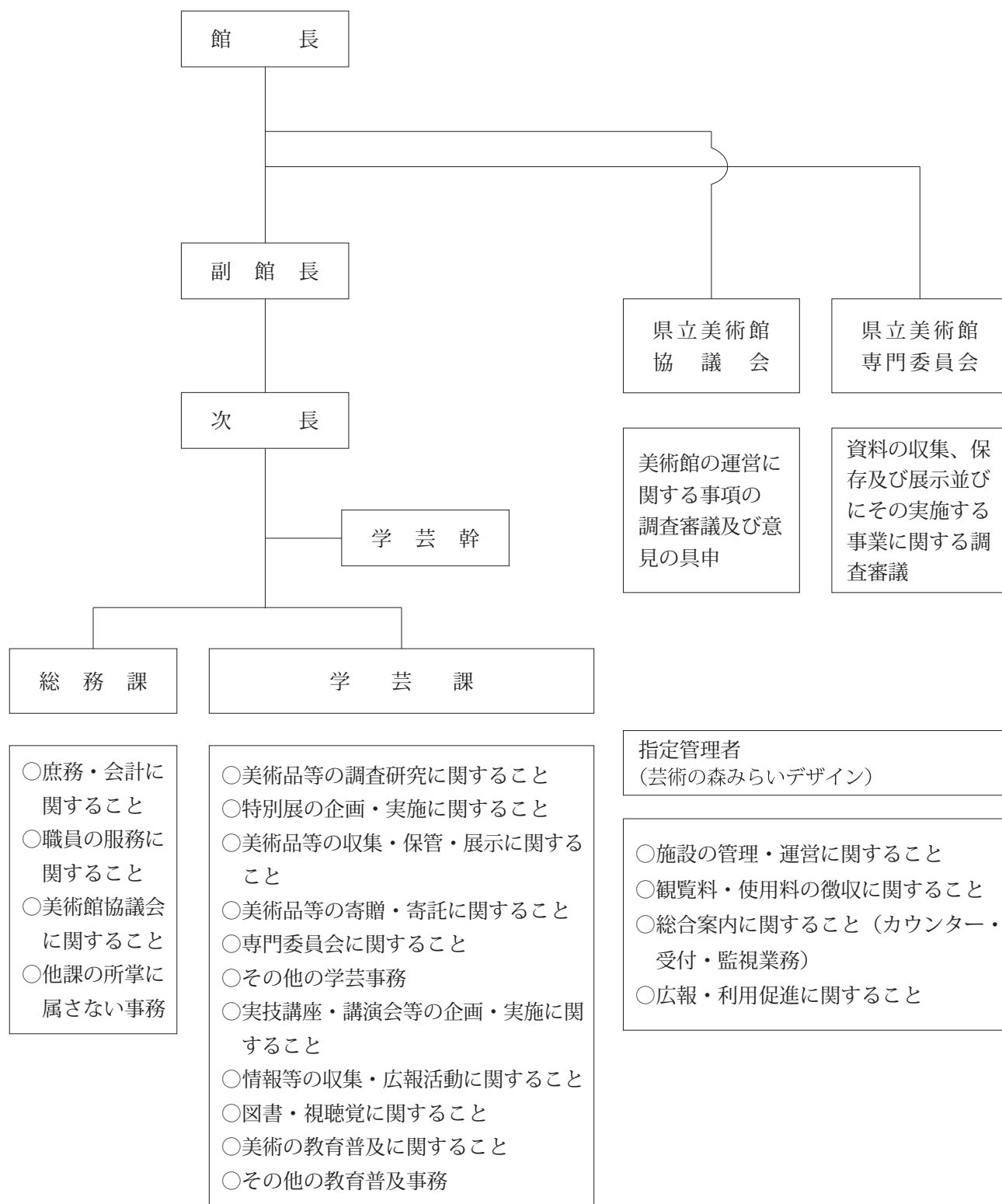
平成 6年12月 2日一部改正

平成26年12月12日一部改正

附 則

この要綱は、令和5年4月1日から適用する。

■ 組 織 図



■ 関係委員等名簿

順不同、敬称略
(令和8年3月31日)

●山梨県立美術館協議会委員

高野孫左エ門	株式会社吉字屋本店代表取締役社長
向山富士雄	南アルプス市立美術館長
堀内 麻実	anlib 株式会社代表取締役
和田信太郎	東京芸術大学大学院映像研究科助教
中野 宗夫	山梨美術協会代表
野口 英一	山梨放送・山梨日日新聞社社長
原田由起彦	テレビ山梨代表取締役社長
藤原 和昭	N H K 甲府放送局局長
仲田 道弘	公益社団法人やまなし観光推進機構理事長
大木 貴之	一般社団法人ワインツーリズム代表理事
乙黒 理絵	公募委員
三澤 伊織	公募委員
石田 秀博	山梨県市町村教育委員会連合会代表（副会長）
内田 浩恵	山梨県公立小中学校長会代表
伊藤 裕之	山梨県高等学校長協会代表

●山梨県立美術館専門委員会委員

島田 紀夫	西洋絵画史	元ブリヂストン美術館館長
馬淵 明子	西洋絵画史	前国立西洋美術館館長
佐藤 道信	日本美術史	東京藝術大学名誉教授
白石 和己	日本美術史	前山梨県立美術館館長
三浦 篤	西洋絵画史	大原美術館館長
秋元 雄史	現代美術	東京藝術大学名誉教授
林 洋子	日本美術史	兵庫県立美術館館長

●美術館職員

館 長	青柳 正規	
副 館 長	和光 達夫	
次 長 (兼)	天野 祥子	
学 芸 幹	井澤英理子	
総 務 課 課長(事務取扱)	天野 祥子	
副 主 幹	武田 強	
主 任	笠井 愛	
会計年度任用職員	小尾 祐子	
学 芸 課 課 長	平林 彰	近世近代美術(日本)
学芸担当 学 芸 員	高野早代子	県関係作家(近現代)、保存
学 芸 員	森川もなみ	近現代美術(西洋・日本)
学 芸 員	下東 佳那	現代美術(西洋・日本)
学 芸 員	森 卓也	近現代美術(西洋・日本)
会計年度任用職員	雨宮 千鶴	学芸補助
会計年度任用職員	井上智恵子	学芸補助
会計年度任用職員	回木 茜	学芸補助
普及担当 学 芸 員	太田 智子	近現代美術(西洋・日本)
主 査	内藤 雅士	学校教育との連携、美術の教育普及
主 任	遠藤 和香	学校教育との連携、美術の教育普及
会計年度任用職員	小澤 俊朗	ボランティアの育成・指導

●指定管理者(芸術の森みらいデザイン)

支配人	山口 博
管理運営責任者	名取 司保
貸館・営業責任者	五味 勇二
広報責任者	興石 梨絵
施設管理責任者	中澤 貴明
経理・総務担当	塩澤 知見
スタッフ管理担当	小松 由美
貸館運営担当	須藤 美奈、佐竹 和宏
事業担当	神原 文江、依田 智徳
広報担当	河野 泰乃

●第24期山梨県立美術館協力員

協 力 員 165名（令和7年4月1日）

期 間 令和7年4月1日～令和9年3月31日

- 活動内容
- (1) 案内担当（入館者の総合案内、情報提供、P R活動）
 - (2) 解説担当（展示作品の解説）
 - (3) 図書担当（図書資料の整理）
 - (4) 情報担当（ポスター張り替え、DVD等による映画会の開催補助）
 - (5) 実技担当（実習、講座等の補助）
 - (6) ワークショップ担当（ワークショップ等の補助）
 - (7) バラ園担当（芸術の森内のバラ園の管理補助）
 - (8) 対話型推進担当（対話型鑑賞会のファシリテーター）

担 当		協力員数（人）
案 内 担 当	火 曜 日	10
	水 曜 日	11
	木 曜 日	9
	金 曜 日	9
	土 曜 日	10
	日 曜 日	9
解 説 担 当		31
図 書 担 当		13
情 報 担 当		12
実 技 担 当		22
ワークショップ担当		21
バ ラ 園 担 当		25
対 話 型 推 進 担 当		19
計		201

年 齢	協力員数（人）
20 歳 代	2
30 歳 代	5
40 歳 代	6
50 歳 代	26
60 歳 代	55
70 歳 代	68
80 歳 代	3
計	165

（重複36人）

●山梨県立美術館協力会

会 長 古屋 知子
 副 会 長 小西 秀樹・日比野理津子
 顧 問 青柳 正規（館長）
 参 与 和光 達夫（副館長）・天野 祥子（次長）
 常任理事 小澤 俊朗
 事務局長 井澤英理子（学芸幹）
 事務局次長 武田 強（総務課副主幹）
 事務局員 小杉 佳子（事務）・矢崎 理江（事務）

■ 入館者状況

令和7年4月1日～令和8年3月31日現在

区 分		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	常設展	令和6年度 新収蔵品展 (開催無し)	特別展				計
開館日数		27	27	25	27	27	26	27	25	24	26	22	20	303	0	室宮の美と山梨 ～市民・山の 博物館の宝物～	ボツア・アート時代 を巡る展覧会	生誕100年 山田清綱 ～百首詩の人間性～	「日本画」の挑戦 若たな さとみ の展覧会	
個 人	一 般	1,674	3,038	1,801	2,492	5,000	2,711	3,753	4,413	1,205	1,724	1,530	1,641	30,982	0	4,423	8,364	19,828	3,192	35,807
	大学生	126	208	110	222	564	208	153	235	74	138	142	227	2,407	0	164	633	505	145	1,447
	計	1,800	3,246	1,911	2,714	5,564	2,919	3,906	4,648	1,279	1,862	1,672	1,868	33,389	0	4,587	8,997	20,333	3,337	37,254
団 体	一 般	19	51	31	134	89	72	130	131	0	48	0	5	710	0	41	59	187	0	287
	大学生	234	316	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	551	0	85	0	4	0	89
	計	253	367	32	134	89	72	130	131	0	48	0	5	1,261	0	126	59	191	0	376
無 料 券		2,205	5,098	3,051	2,868	3,978	3,001	5,191	8,032	1,496	2,348	1,628	1,820	40,716	0	8,419	7,092	31,472	4,404	51,387
合 計		4,258	8,711	4,994	5,716	9,631	5,992	9,227	12,811	2,775	4,258	3,300	3,693	75,366	0	13,132	16,148	51,996	7,741	89,017
一日平均観覧者		158	323	200	212	357	230	342	512	116	164	150	185	249	0	398	414	912	172	512

【上記入館者内訳】

個人	個人	一 般	460	757	598	422	670	623	303	499	246	367	471	539	5,955	0	1,717	3,061	8,805	776	14,359
		大学生	43	47	37	25	60	63	24	33	9	27	52	57	477	0	28	138	138	18	322
		計	503	804	635	447	730	686	327	532	255	394	523	596	6,432	0	1,745	3,199	8,943	794	14,681
	パスポート券	一 般	292	1,379	88	1,280	2,968	1,167	3,020	3,168	537	946	64	0	14,909	0	1,759	4,248	7,355	1,547	14,909
		大学生	19	109	2	161	310	47	119	179	43	74	2	0	1,065	0	130	471	345	119	1,065
		計	311	1,488	90	1,441	3,278	1,214	3,139	3,347	580	1,020	66	0	15,974	0	1,889	4,719	7,700	1,666	15,974
	文学館共通券	一 般	325	176	446	208	360	256	66	147	77	63	395	445	2,964	*****	*****	*****	*****	*****	0
		大学生	32	10	37	18	91	39	3	6	14	5	62	98	415	*****	*****	*****	*****	*****	0
		計	357	186	483	226	451	295	69	153	91	68	457	543	3,379	*****	*****	*****	*****	*****	0
	定期観覧券	一 般	25	38	18	30	48	21	27	34	27	51	26	11	356	0	125	164	241	150	680
		大学生	0	1	0	0	3	0	1	0	1	0	1	1	8	0	2	4	6	1	13
		計	25	39	18	30	51	21	28	34	28	51	27	12	364	0	127	168	247	151	693
	4館共通券	一 般	18	43	22	46	40	33	35	44	42	56	24	24	427	0	180	230	402	201	1,013
		大学生	1	1	1	0	1	1	1	1	1	0	0	1	9	0	3	5	6	2	16
		計	19	44	23	46	41	34	36	45	43	56	24	25	436	0	183	235	408	203	1,029
	宿泊割引券	一 般	554	645	629	506	914	611	302	521	276	241	550	622	6,371	0	632	653	2,985	518	4,788
		大学生	31	40	33	18	99	58	5	16	6	32	25	70	433	0	1	15	10	5	31
		計	585	685	662	524	1,013	669	307	537	282	273	575	692	6,804	0	633	668	2,995	523	4,819
	相互割引券	一 般	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		大学生	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
前売り券 (特別展)	一 般	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	10	8	40	0	58	
	大学生	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	10	8	40	0	58	
前売り券 (パスポート)	一 般	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	*****	*****	*****	*****	0	
	大学生	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	*****	*****	*****	*****	0	
	計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	*****	0	*****	*****	*****	*****	0	
団体	団 体	一 般	19	51	31	134	89	72	130	131	0	48	0	5	710	0	41	59	187	0	287
		大学生	234	316	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	551	0	85	0	4	0	89
計		253	367	32	134	89	72	130	131	0	48	0	5	1,261	0	126	59	191	0	376	
無料券	高 齢 者	1,612	3,205	2,009	1,789	1,851	1,995	3,714	4,183	1,019	1,285	1,040	1,016	24,718	0	5,367	2,223	19,781	2,471	29,842	
	身 障 者	226	477	270	390	664	486	624	773	194	318	166	317	4,905	0	888	1,240	3,635	533	6,296	
	小・中・高校生	169	298	130	402	1,093	199	251	467	128	210	136	270	3,753	0	273	1,773	1,591	219	3,856	
	招 待 者	46	192	54	116	216	73	147	2,016	46	163	44	50	3,163	0	985	1,141	5,147	696	7,969	
	業務視察者	52	75	129	58	42	84	71	73	85	77	72	78	896	0	260	326	377	285	1,248	
	教育課程	79	814	437	74	12	109	348	442	0	257	98	60	2,730	*****	621	104	584	174	1,483	
	新設入居共済制度等	*****	*****	*****	*****	*****	*****	*****	*****	*****	*****	*****	*****	*****	*****	*****	*****	*****	*****	0	
	幼 児	21	37	22	39	100	55	36	78	24	38	72	29	551	*****	25	285	357	26	693	
	計	2,205	5,098	3,051	2,868	3,978	3,001	5,191	8,032	1,496	2,348	1,628	1,820	40,716	0	8,419	7,092	31,472	4,404	51,387	

区分	貸し出し展示室	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	総計
	一般展示室A室	2,825	3,853	4,137	3,849	3,236	3,514	3,065	3,342	3,838	19,186	6,392	2,792	60,029
	一般展示室B室	3,013	3,746	4,033	3,878	3,147	3,380	3,080	3,342	3,838	17,348	6,450	2,792	58,047
	一般展示室C室	2,235	3,829	3,263	3,189	2,633	2,632	3,254	3,156	3,181	15,326	3,498	1,784	47,980
	総合実習室	111	653	702	328	204	430	495	504	205	257	264	146	4,299
	工房A	83	122	128	125	123	156	112	83	77	116	128	101	1,354
	工房B	83	120	126	113	123	149	102	81	67	104	116	107	1,291
	制作展示室	180	275	348	270	214	337	279	232	212	107	229	161	2,844
	図書室	98	260	110	209	435	216	246	438	110	268	135	105	2,630
	人数	27	27	25	27	27	26	27	25	24	26	22	20	303
人数	8,628	12,858	12,847	11,961	10,115	10,814	10,633	11,178	11,528	52,712	17,212	7,988	178,474	
平均	320	476	514	443	375	416	394	447	480	2,027	782	399	584	

備考

- * 定期観覧券及び共通観覧券（美・文）は平成13年4月1日より実施
- * 総計は常設展・特別展・貸出展示室・図書室の各室合計に平成18年4月1日よりロビー等を加えた。その人数を美術館入館者数とした。
- * 宿泊割引（常設・特別展）、前売券（特別展）を平成18年10月19日より実施、常設展・特別展共通前売観覧券を平成19年3月15日より実施
- * 4館共通観覧券を平成19年7月9日より実施
- * 平成20年4月1日より相互割引実施
- * 平成21年1月より山交券発売
- * 平成26年3月12日より小学校、中学校、高等学校、特別支援学校の児童・生徒の観覧料無料
- * 入館者内訳欄 団体については省略（上段と同様）

■ 利用案内

開館時間 9：00～17：00（ただし入館は16：30まで）

休館日 月曜日（祝日の場合はその翌日）、祝日の翌日（日曜日の場合は開館）、
年末年始〔その他臨時開館、休館あり〕

観覧料

区 分	常設展示の場合		特別の企画による展示の場合	
	個 人	団体(20人以上)	個 人	団体(20人以上)
一 般	520 円	420 円	1,000 円	840 円
大 学 生 及 び これに準ずる者	220 円	170 円	500 円	420 円
小学生、中学生 及び高校生並びに これらに準ずる者	無 料			

常設展示及び特別の企画による展示の定期観覧の場合

区 分	観 覧 料
一 般	3,140 円
大学生及びこれに準ずる者	1,570 円

観覧料等の免除等については、山梨県立美術館設置及び管理条例施行規則第5条（p.147～148）を参照。

■ 交通アクセス

<電車・バス>

JR中央本線甲府駅より

- ・JR甲府駅バスターミナル（南口）1番乗り場より、03・04系統 竜王駅経由敷島営業所、30系統 貢川^{くがわ}団地、35系統 大草^{みだい}経由韮崎駅、39系統 御^み勅^{だい}使^い各行きのバスで約15分、「山梨県立美術館」下車。

※山梨県立美術館ホームページからも、バスの時刻表をご覧ください。

- ・タクシーの場合 約15分

<車>

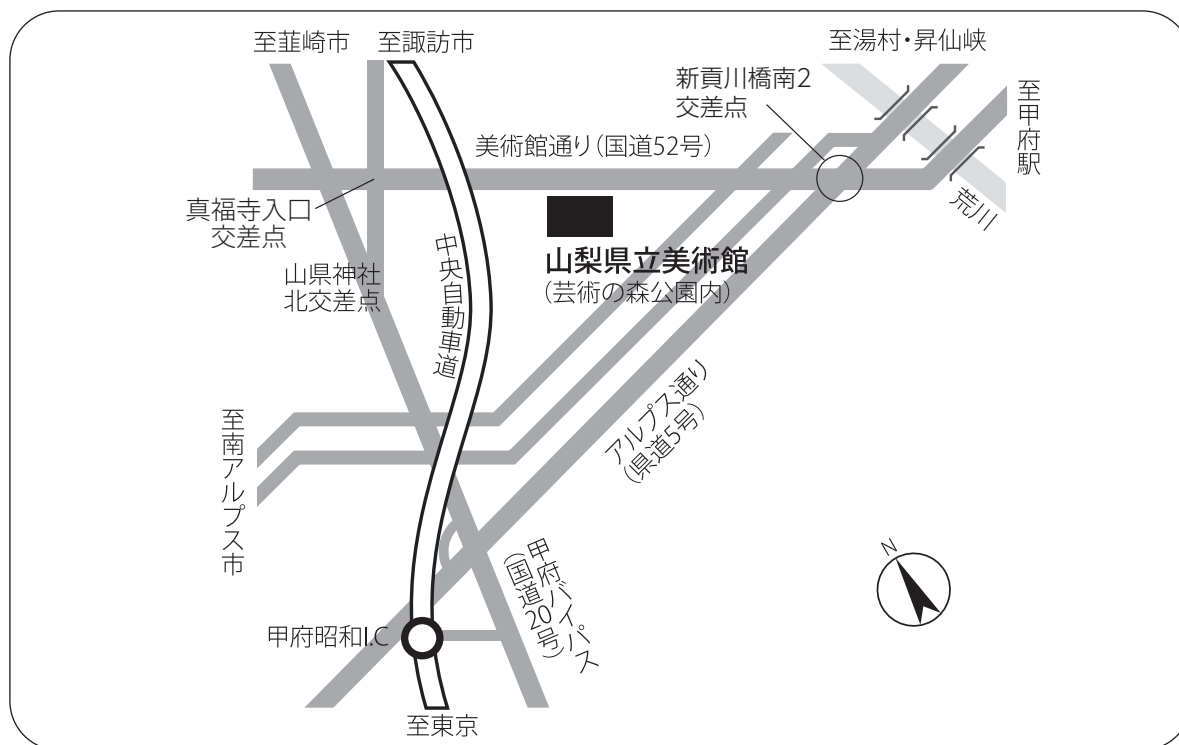
中央自動車道

- ・甲府昭和インターチェンジより約10分
- ・双葉スマートインターチェンジより約10分 ※ETC専用

中部横断自動車道

- ・白根インターチェンジより約20分 ※ETC専用

案 内 図



令和7年度 山梨県立美術館年報

発 行 令和8年9月18日

編 集 山梨県立美術館

甲府市貢川一丁目4番27号

〒400-0065

TEL 055 (228) 3322

印 刷 (株)オズプリンティング

ANNUAL REPORT OF
YAMANASHI PREFECTURAL MUSEUM OF ART 2025
